

# 市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事

図面リスト

図面No	図面名称	図面No	図面名称	図面No	図面名称	図面No	図面名称
A-01	工事タイトル・図面リスト	A-27	A棟 1階 印刷室 既存平面詳細図・展開図	A-53	その他工事 A棟～体育館-1 渡り廊下① 改修図-2 (改修)	M-01	器具表・凡例・プロパン庫改修図
-02	特記仕様書-1	-28	A棟 1階 印刷室 改修平面詳細図・展開図	-54	その他工事 A棟～技術科室-1 渡り廊下② 撤去図	-02	A棟 各階衛生設備撤去改修図
-03	特記仕様書-2	-29	A棟 1階 印刷室 天井伏図 (既存・改修)	-55	その他工事 A棟 プロパン庫①・② 撤去図	-03	B棟 各階衛生設備撤去改修図
-04	特記仕様書-3	-30	A棟 1階 荷受・配膳室、2・3階 配膳室 矩計図 (改修)	-56	その他工事 A棟、体育館-1・2 外部建具ガラス改修図	-04	A棟 各階空調設備撤去改修図
-05	特記仕様書-4	-31	A棟 1階 荷受・配膳室外部 プラットホーム 改修図 (既存・改修)	-57	仮設計画 図-1 (全体図) ※参考図	M-05	B棟 各階空調設備撤去改修図
-06	特記仕様書-5	-32	B棟 工事概要、仕上表	-58	仮設計画 図-2 (A棟) ※参考図		
-07	特記仕様書-6	-33	B棟 1階平面図 (既存・改修)	A-59	仮設計画 図-3 (B棟) ※参考図		
-08	付近見取り図、配置図	-34	B棟 2階平面図 (既存・改修)				
-09	A棟 工事概要、仕上表	-35	B棟 3階平面図 (既存・改修)	S-01	構造設計標準仕様書		
-10	A棟 1階平面図 (既存・改修)	-36	B棟 4階平面図 (既存・改修)	-02	鉄筋コンクリート構造配筋詳細図 (1)		
-11	A棟 2階平面図 (既存・改修)	-37	B棟 1階 昇降口・廊下・ホール 平面詳細図-1 (既存)	-03	鉄筋コンクリート構造配筋詳細図 (2)		
-12	A棟 3階平面図 (既存・改修)	-38	B棟 1階 昇降口・廊下・ホール 平面詳細図-2 (改修)	-04	鉄骨構造標準図 (1)		
-13	A棟 1階 荷受・配膳室、廊下 平面詳細図-1 (既存)	-39	B棟 1階 荷受・配膳室 平面詳細図 (既存・改修)	-05	鉄骨構造標準図 (2)		
-14	A棟 1階 荷受・配膳室、廊下 平面詳細図-2 (改修)	-40	B棟 1階 荷受・配膳室 展開図-1 (既存)	-06	A棟 基礎、1階床、2階床、3階床伏図		
-15	A棟 2階 配膳室、廊下 平面詳細図 (既存・改修)	-41	B棟 1階 荷受・配膳室 展開図-2 (改修)	-07	A棟 巻上機設置部、R階床伏図		
-16	A棟 3階 配膳室、廊下 平面詳細図 (既存・改修)	-42	B棟 1階 荷受・配膳室 天井伏図 (既存・改修)	-08	A棟 断面図		
-17	A棟 1階 荷受・配膳室、廊下 天井伏図 (既存・改修)	-43	B棟 2～4階 配膳室 平面詳細図-1 (既存)	-09	A棟 構造詳細図 (大梁、鉄骨リスト)		
-18	A棟 2階 配膳室、廊下 天井伏図 (既存・改修)	-44	B棟 2～4階 配膳室 平面詳細図-2 (改修)	-10	A棟 基礎配筋図		
-19	A棟 3階 配膳室、廊下 天井伏図 (既存・改修)	-45	B棟 2～4階 配膳室 展開図-1 (既存)	-11	B棟 基礎、1階床、2階床伏図		
-20	A棟 1階 荷受・配膳室、廊下 展開図-1 (既存)	-46	B棟 2～4階 配膳室 展開図-2 (改修)	-12	B棟 3階床、4階床伏図		
-21	A棟 1階 荷受・配膳室、廊下 展開図-2 (改修-1)	-47	B棟 2～4階 配膳室 天井伏図 (既存・改修)	-13	B棟 巻上機設置部、R階床伏図		
-22	A棟 1階 配膳室、廊下 展開図-3 (改修-2)	-48	B棟 1階 荷受・配膳室、2～4階配膳室 矩計図 (改修)	-14	B棟 断面図		
-23	A棟 2階 配膳室、廊下 展開図-1 (既存)	-49	建具表	-15	B棟 構造詳細図 (大梁、鉄骨リスト)		
-24	A棟 2階 配膳室、廊下 展開図-2 (改修)	-50	雑詳細図 - 1	S-16	B棟 基礎配筋図		
-25	A棟 3階 配膳室、廊下 展開図-1 (既存)	-51	雑詳細図 - 2				
A-26	A棟 3階 配膳室、廊下 展開図-2 (改修)	A-52	その他工事 A棟～体育館-1 渡り廊下① 改修図-1 (既存・改修)				

特記仕様書		項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項
1. 本特記仕様書は、本工事における建築関連工事に適用する。	2. 本特記仕様書における採用事項	1.4	工事実績情報登録: ○適用 ・不適用	1. 一般事項	防水工の保証書の提出及び保証年限	4.3 種別及び工法	◎屋根露出防水密着工法
①. 項目番号等に○印を付したものを適用する。	②. 項目番号に○印を付し特記事項欄に○印を付していない場合は標準仕様による。	1.1	建築基準法の風圧	2. 監督員事務所、	1.2	2. 既存防水層の処理	◎屋根露出防水絶縁工法
③. 特記事項に○印を付したものを適用する。但し○印の付かない場合は※印の付した事項を採用する。	○印と◎印を付した場合は共に適用する。	1.2	積雪に関する規定	受注者事務所等	1.3	2重ドレンの設置	◎屋根露出防水絶縁断熱工法
3. 本特記仕様書に記載なき事項については下記による。	・国土交通省大臣官房長官官階等事務官階等事務官階標準仕様書(建築工事編)平成28年版	1.3	電気保安技術者	3.1	2. 既存防水層の処理	3. アスファルト防水	◎屋根露出防水絶縁断熱工法
・国土交通省大臣官房長官官階等事務官階等事務官階標準仕様書(建築工事編)平成28年版	・国土交通省大臣官房長官官階等事務官階等事務官階標準仕様書(建築工事編)平成24年版	3.2	施工条件	4.1	3.2 材料	改質アスファルトルーフィングシートの種別・厚さ	◎屋根露出防水絶縁断熱工法
・「改正建築基準法に対応した建築物のシックハウス対策マニュアル」(編集:国土交通省住宅局建築指導課)	・「改正建築基準法に対応した建築物のシックハウス対策マニュアル」(編集:国土交通省住宅局建築指導課)	3.3	4. 使用材料	4.2	3.3 種別及び工法	改質アスファルトルーフィングシートの種別・厚さ	◎屋根露出防水絶縁断熱工法
4. その他事項	・各項目番号(例:1.4○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に照合する	3.4	5. 2 施工数量調査	4.3	4. 改質アスファルトシート防水	改質アスファルトルーフィングシートの種別・厚さ	◎屋根露出防水絶縁断熱工法
・各項目番号(例:1.*○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に該当しない項目とする	・各項目番号(例:●○○章***、公***、●公*** )は公共建築工事標準仕様書の各項目に相当する	3.5	5.3 調査のための破壊部分の補修	4.4	改質アスファルトルーフィングシートの種別・厚さ	部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種別・厚さ	◎屋根露出防水絶縁断熱工法
		3.6	6. 5 施工の検査等	4.5	改質アスファルトルーフィングシートの種別・厚さ	粘着層付改質アスファルトルーフィングの種別・厚さ	◎屋根露出防水絶縁断熱工法
		3.7	6.9 化学物質の濃度測定	4.6	改質アスファルトルーフィングシートの種別・厚さ	保護防水断熱工法の断熱材の材質	◎屋根露出防水絶縁断熱工法
		3.8	8.1 完成時の提出図書	4.7	改質アスファルトルーフィングシートの種別・厚さ	露出防水断熱工法の断熱材の厚さ	◎屋根露出防水絶縁断熱工法
		3.9		4.8	改質アスファルトルーフィングシートの種別・厚さ	露出防水断熱工法の断熱材の厚さ	◎屋根露出防水絶縁断熱工法
		3.10		4.9	改質アスファルトルーフィングシートの種別・厚さ	露出防水断熱工法の断熱材の厚さ	◎屋根露出防水絶縁断熱工法
		3.11		4.10	改質アスファルトルーフィングシートの種別・厚さ	露出防水断熱工法の断熱材の厚さ	◎屋根露出防水絶縁断熱工法
		3.12		4.11	改質アスファルトルーフィングシートの種別・厚さ	露出防水断熱工法の断熱材の厚さ	◎屋根露出防水絶縁断熱工法
		3.13		4.12	改質アスファルトルーフィングシートの種別・厚さ	露出防水断熱工法の断熱材の厚さ	◎屋根露出防水絶縁断熱工法
		3.14		4.13	改質アスファルトルーフィングシートの種別・厚さ	露出防水断熱工法の断熱材の厚さ	◎屋根露出防水絶縁断熱工法
		3.15		4.14	改質アスファルトルーフィングシートの種別・厚さ	露出防水断熱工法の断熱材の厚さ	◎屋根露出防水絶縁断熱工法
		3.16		4.15	改質アスファルトルーフィングシートの種別・厚さ	露出防水断熱工法の断熱材の厚さ	◎屋根露出防水絶縁断熱工法
		3.17		4.16	改質アスファルトルーフィングシートの種別・厚さ	露出防水断熱工法の断熱材の厚さ	◎屋根露出防水絶縁断熱工法
		3.18		4.17	改質アスファルトルーフィングシートの種別・厚さ	露出防水断熱工法の断熱材の厚さ	◎屋根露出防水絶縁断熱工法
		3.19		4.18	改質アスファルトルーフィングシートの種別・厚さ	露出防水断熱工法の断熱材の厚さ	◎屋根露出防水絶縁断熱工法
		3.20		4.19	改質アスファルトルーフィングシートの種別・厚さ	露出防水断熱工法の断熱材の厚さ	◎屋根露出防水絶縁断熱工法

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
3章	7.2材料	7. シーリング 種類及び施工箇所： 種類は標準仕様書表3.7.1により施工箇所は下表による ノンブリードタイプシーリング材の適用： ※使用する ・使用しない 施工箇所： ・ボリウム系シーリング材で仕上げありの部位 ⑦材料目録 ⑧材料目録	4章	1.5 外壁改修塗り 仕上げの種類 ⑨塗り仕上げ外壁 新規仕上げの種類： ・薄付仕上げ塗材塗り ・厚付仕上げ塗材塗り ・複層仕上げ塗材塗り ・可とう形改修用仕上げ塗材塗り ・各種塗料塗り ・マステック塗材塗り ⑩建築用遮断防水材塗り (JIS A6021) (ローラー さざ波模様 シリコン仕上げ) ⑪下地調整： C-1	2章	2.2工法別仕様材料 種類(呼び名) 仕上げの形状 工法 ・可とう形改修塗材E 平坦状・さざ波 ローラー塗り ・可とう形改修塗材R E ゆず肌状 吹付け ・可とう形改修塗材C E ⑫耐候性： ※耐候性3種 ⑬上塗材溶媒： ※水系 溶剤系 弱溶剤系 ⑭上塗材樹脂： ※アクリル系 シリコン系 ・ボリウム系 ・アクリルシリコン系 ・ふっ素系 ⑮上塗材外観： ※つやあり ・つやなし ・メタリック 防水形の増設材の適用： ・する ・しない	4章	5.7 5.8部分張替え工法 5.9～5.15 アンカーピンニング工法 張付け材料： ・ボリウム系樹脂 ・変成シリコン樹脂 ・シリコン樹脂 伸縮目地の位置： ※標準仕様書表4.5.1による ・図示 誘発目地の位置： ※標準仕様書表4.5.1による ・図示 ⑯タイル張り工法 施工部位 工法 接着力試験 ・密着張り ・改良圧着張り ・行う ・行わない ・改良積上げ張り ・タイル張り ・タイル張り ・図示 ・陶磁器タイル接着剤張り ⑰有機系接着剤による陶磁器タイル張り工法 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地： ※ボリウム系樹脂塗材 ・伸縮調整目地、その他の目地： ※変成シリコン系樹脂塗材 ⑱アンカーピンニング工法 工法名称 アーカーピン(本/m) 注入孔数(箇所/m <sup>2</sup> ) 1箇所当り 一般部分指定部分 一般部分指定部分 充填量(cc)	4章	6.2一般事項 6.3 既存塗膜等の除去 7.2マステック塗材塗り 張付け材料： ・ボリウム系樹脂 ・変成シリコン樹脂 ・シリコン樹脂 伸縮目地の位置： ※標準仕様書表4.5.1による ・図示 誘発目地の位置： ※標準仕様書表4.5.1による ・図示 ⑯タイル張り工法 施工部位 工法 接着力試験 ・密着張り ・改良圧着張り ・行う ・行わない ・改良積上げ張り ・タイル張り ・タイル張り ・図示 ・陶磁器タイル接着剤張り ⑰有機系接着剤による陶磁器タイル張り工法 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地： ※ボリウム系樹脂塗材 ・伸縮調整目地、その他の目地： ※変成シリコン系樹脂塗材 ⑱アンカーピンニング工法 工法名称 アーカーピン(本/m) 注入孔数(箇所/m <sup>2</sup> ) 1箇所当り 一般部分指定部分 一般部分指定部分 充填量(cc)	
	7.3目地寸法	施工箇所 シーリング材の種類 目地寸法(mm) 保証年限 ・各階打継ぎ部分 ※標準仕様書9.6.2による 15(W) x 10(D) 3年 ・タイル伸縮目地 15(W) x 10(D) 年		2.2 工法別仕様材料			5.5 樹脂注入工法			6.2一般事項	
	7.8シーリング材の試験	※簡易接着性試験 引張接着性試験 シーリング保証書： ・提出する ・提出しない ・保証書(請負人、材料製造所、シーリング施工者連帯保証)は各2通提出すること。		2.2 工法別仕様材料	⑳タイルの種類： ・図示 ・下表による		5.5 樹脂注入工法			6.2一般事項	
	8.2材料	8. とい 軒どいの材種： ・アセチレン被覆鋼板 ・耐候性被覆鋼板 縦どいの材種： ・配管用鋼管 ・塩化ビニル管【 ・カ-VP ・カ-VU ・VP 掃除口： ・有 ・無 飾り板： ・塩化ビニル板 ・鋼板製 とい受け金物： ・ステンレス製 ・重鉛めっき鋼板製		2.2 工法別仕様材料	⑲タイルの試験張り： ・行わない ・行う ⑳タイルの見本焼き： ・行わない ・行う ㉑塗り仕上げ用材料 薄付仕上げ塗材の施工箇所： ・図示 材料の防火指定： ・無 ・有( )		5.5 樹脂注入工法			6.2一般事項	
	8.3工法	ルーフトレイン： ・ステンレス製 ・鍍金製 ・アセチレン製 既存といの撤去及び降雨時の養生： ・仮設のといを設置する ・図示 鋼管製といの防露： ・行う ・行わない 施工箇所： ※標準仕様書表3.8.5による たてとい受金物の取付： ・図示 ・@2,000内外 ・@1,800内外 ルーフトレインの取替え： ・行わない ・行う【 ・標準仕様書3.8.3(h)による ｝		2.2 工法別仕様材料	㉒薄付仕上げ塗材の施工箇所： ・図示 材料の防火指定： ・無 ・有( )		5.5 樹脂注入工法			6.2一般事項	
	9.6.3種別	※ケイ酸質系塗膜防水(公共建築工事業標準仕様書9.6.1による)		2.2 工法別仕様材料	㉓厚付仕上げ塗材の施工箇所： ・図示 材料の防火指定： ・無 ・有( )		5.5 樹脂注入工法			6.2一般事項	
	4章	1. 一般事項 ⑳コンクリート打放し仕上げ外壁 ひび割れ部改修工法の種類： ※樹脂注入工法 ・ウカトル材充填工法 ・シール工法 欠損部改修工法の種類： ※充填工法 ⑳モルタル塗り仕上げ外壁 ひび割れ部改修工法の種類： ※樹脂注入工法 ・ウカトル材充填工法 ・シール工法 欠損部改修工法の種類： ・充填工法 ・モルタル塗り替え工法 浮き部改修工法の種類： ・アカービンニング部分球樹脂注入工法 ・アカービンニング全面球樹脂注入工法 ・アカービンニング全面球樹脂注入工法 ・アカービンニング全面球樹脂注入工法 ・注入口付アカービンニング部分球樹脂注入工法 ・注入口付アカービンニング全面球樹脂注入工法 ・注入口付アカービンニング全面球樹脂注入工法 ・充填工法 ・モルタル塗り替え工法 ㉑タイル張り仕上げ外壁 ひび割れ部改修工法の種類： ・樹脂注入工法 ・ウカトル材充填工法 欠損部改修工法の種類： ・タイル部分張替え工法 ・タイル貼り替え工法 浮き部改修工法の種類： ・アカービンニング部分球樹脂注入工法 ・アカービンニング全面球樹脂注入工法 ・アカービンニング全面球樹脂注入工法 ・注入口付アカービンニング部分球樹脂注入工法 ・注入口付アカービンニング全面球樹脂注入工法 ・注入口付アカービンニング全面球樹脂注入工法 ・アカービンニング全面球樹脂注入工法 ・タイル部分張替え工法 ・タイル貼り替え工法 目地改修工法の種類： ・目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮目地改修工法		2.2 工法別仕様材料	㉔薄付仕上げ塗材の施工箇所： ・図示 材料の防火指定： ・無 ・有( )		5.5 樹脂注入工法			6.2一般事項	
	4章	1.4 外壁改修工法の種類		2.2 工法別仕様材料	㉕厚付仕上げ塗材の施工箇所： ・図示 材料の防火指定： ・無 ・有( )		5.5 樹脂注入工法			6.2一般事項	

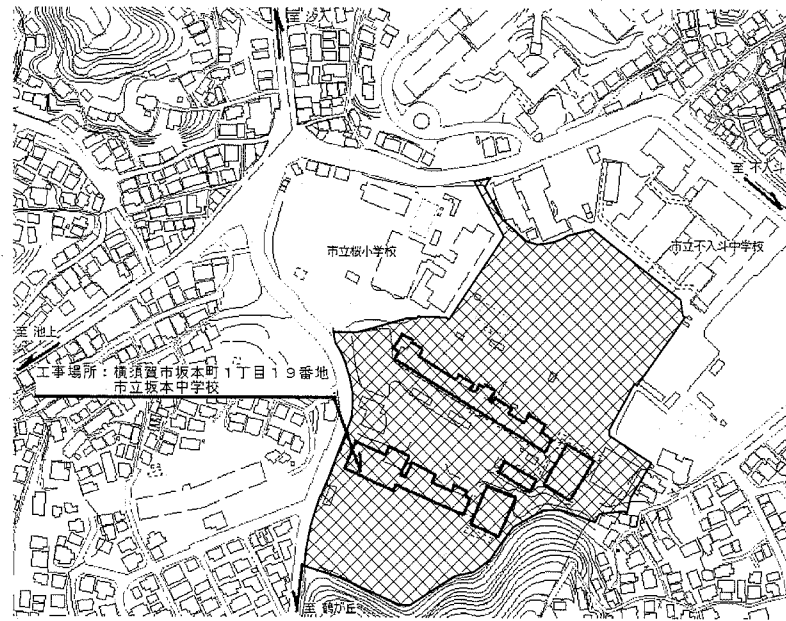




章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
B章 耐震改修工事	2.5 コンクリートの材料及び調合	セメントの種類：◎普通ポルトランドセメント ※混合セメント種 ・高炉セメント ・フライアッシュセメント フェロニッケル系スラグ骨材の使用： ・使用する ・使用しない 骨材のアルカリシリカ反応性による区分： ※A ・B 鋼スラグ骨材の使用： ・使用する ・使用しない 電気炉酸化スラグ骨材の使用： ・使用する ・使用しない 混和剤： ・AE剤 ・AE減水剤 ・高性能AE減水剤 ・ 混和材： ・フライアッシュ ・高炉スラグ微粉炭 ・膨張剤 ・	B章 耐震改修工事	9.1 一般事項	9. 軽量コンクリート 土に接する軽量コンクリートの使用： ・使用する【使用箇所： ・図示 ・ 水に接する軽量コンクリートの使用： ・使用する【使用箇所： ・図示 ・ 軽量コンクリート種類： ・下表による ・図示 ・	B章 耐震改修工事	21.9 既存との取合い	既存構造体と増設壁との取合い： ※標準仕様書8.19.9による ・図示 ・ 増設後の仕上げ： ・図示 ・			
	2.6 構造体用モルタルの材料及び調合	モルタルの圧縮強度： ・図示 ・18N/mm <sup>2</sup> ・ モルタルのフロー値： ・図示 ・180mm未満 ・180mm以上240mm未満 ・ 240mm以上		10.2 材料及び調合	10. 曇中コンクリート 構造体強度補正值(S)： ※6 N/mm ・		22.7 既存との取合い	22.9 仕上げ	2.2. 鉄骨ブレースの設置工事 割裂補強筋の仕様： ・図示 ・ ブレース設置後の仕上げ： ・図示 ・		
2.7 型枠の材料	型枠の材料等： ・下表による ・図示 ・		11.1 一般事項	11. 無筋コンクリート 適用箇所： ※標準仕様書6.14.1(d)による ・下表による ・図示	23.5 溶接金網巻き工法 溶接閉鎖7-7巻き工法	23.1 適用範囲	2.3. 柱補強工事 工法の種別： ・構造特記仕様書による ・溶接金網巻き工法 ・溶接閉鎖7-7巻き工法 ・鋼板巻き工法 ・帯板巻き付け工法 外部に面する打放し仕上げの増打厚さ： ・25mm ・20mm ・15mm ・ 型枠セパレーターとしてのシアコネクタの使用： ・適用する ・適用しない				
2.8 鋼材	鋼材の材質： ・下表による ・図示 ・ 構造図による		12.2 穿孔	12. あと施工アンカー工事 埋込配管等の調査方法： ・図示 ・	23.6 鋼板巻き工法及び 帯板巻き付け工法	23.7 仕上げ	2.4. 連続繊維補強工事 ひび割れ部の改修工法： ・特記仕様書4.1.4に準拠する ・図示 ・ 柱の隅角部の面取りの形状、寸法： ・図示 ・ 連続繊維補強材の引張強度試験の数値： ・図示 連続繊維補強材の付着強度試験の数値： ・図示 補強工事後の仕上げ： ・図示 ・				
2.9 高力ボルト	鋼材の形状及び寸法： ・図示 ・ 種類： ・M17高力ボルト2種(S10T) ・JISの高力ボルト2種(F10T) ・溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T相当)		12.5 施工確認試験	12.5 施工確認試験 施工試験： ※引張試験機による引張試験 ・図示 ・ 確認強度： ・図示 ・	23.6 鋼板巻き工法及び 帯板巻き付け工法	23.7 仕上げ	2.5. 耐震スリット新設工事 スリットの幅、及び深さ： ・図示 ・ 耐火充填材の仕様箇所、及び仕様： ・図示 ・ 遮音充填材の仕様箇所、及び仕様： ・図示 ・				
2.10 溶接材料	高力ボルトの径： ・図示 ・ 溶接棒等(標準仕様書8.2.7)及びガス以外の溶接材料： ・図示 ・		13.10 仮組	13. 鉄骨工作 仮組の実施： ・行わない ・行う	23.6 鋼板巻き工法及び 帯板巻き付け工法	23.7 仕上げ	2.6. 免震改修工事 支材の材質等： ・図示 ・ 減衰材の材質等： ・図示 ・ 性能確認試験の項目： ・図示 ・ 性能確認試験の数値： ・図示 ・ 製品検査の項目等： ・図示 ・				
2.11 柱底均しモルタル及びグラウト材	モルタルの種類： ・図示 ・ ◎無収縮モルタル 無収縮モルタルの割合： ※標準仕様書8.2.10(b)(1)～(4)による ・図示 ・		14.2 摩擦面の性能及び処理	14.2 摩擦面の性能 すべり係数試験の実施： ・行わない ・行う 試験の方法、試験片の摩擦面の状態： ・図示 ・ ボルト長さがねじの呼びの5倍をJIS型ボルトのねじ回転法の回転量： ・120°	23.6 鋼板巻き工法及び 帯板巻き付け工法	23.7 仕上げ	2.7. 制振改修工事 既存鉄骨の撤去範囲及び方法： ・図示 ・ 既存鉄骨の処置： ・図示 ・ 減衰材の材質等： ・図示 ・ 性能確認試験の項目： ・図示 ・ 性能確認試験の数値： ・図示 ・ 製品検査の項目等： ・図示 ・				
2.12 連続繊維シート及び含浸接着樹脂等	材料： ・図示 ・ 工法： ・図示 ・ 引張強度、ヤング係数等： ・図示 ・		14.7 締付け	14.7 締付け 完全溶け込み溶接部の超音波探傷試験： ・適用する ・適用しない	23.6 鋼板巻き工法及び 帯板巻き付け工法	23.7 仕上げ	2.8. 基礎工事 砂利及び砂地業の厚さ： ・図示 ・ ※60mm ・100mm ・120mm ・150mm ・ 捨てコンクリート地業 捨てコンクリートの厚さ： ・図示 ・ ※50mm ・ mm ・120mm ・150mm ・ 床下防湿層の適用： ・適用しない ・適用する ・図示 ・ 床下防湿層の範囲： ・図示 ・				
2.13 鋼材の材料試験等	引張りを受ける鋼板の試験： ・適用する ・適用しない ・図示 ・		15.3 技能資格	15.3 技能資格 溶接技能者の技量付加試験： ・行わない ・行う	23.6 鋼板巻き工法及び 帯板巻き付け工法	23.7 仕上げ	2.9. 現場打ちコンクリート杭地業 工法の適用： ・7-7工法(4.5.4) ・7-7工法(4.5.4) ・ 工法の適用： ・オールド工法(4.5.4) ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法(4.5.5) ・ 拡底杭工法(4.5.5) ・図示 ・				
2.14 基礎工事に用いる材料	杭の材料： ・構造特記仕様書による ・図示 ・ 杭の継手、工法等： ・構造特記仕様書による ・図示 ・		15.4 材料準備	15.4 材料準備 エンドタブの切除の有無： ・有り ・無し 【エンドタブの切除の適用箇所： ・図示 ・ スカラップの形状： ・図示 ・	23.6 鋼板巻き工法及び 帯板巻き付け工法	23.7 仕上げ	2.10. 現場打ちコンクリート杭地業 工法の適用： ・7-7工法(4.5.4) ・7-7工法(4.5.4) ・ 工法の適用： ・オールド工法(4.5.4) ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法(4.5.5) ・ 拡底杭工法(4.5.5) ・図示 ・				
3.4 継手及び定着	3. 鉄筋の加工及び組立 継手の種類： ◎重ね継手 ・ガス圧継手 ・機械継手 ・図示 ・ 継手の位置： ・図示 ・ 主筋の重ね継手長さ： ※標準仕様書5.3.4(c)(1)による ・図示 ・ 耐力壁鉄筋の重ね継手長さ： ※標準仕様書5.3.4(c)(1)による ・図示 ・ 先組み工法等の継手の位置： ・図示 ・ 柱への束引張り鉄筋の定着長さ： ※標準仕様書5.3.4(d)(1)による ・図示 ・		15.7 溶接施工	15.7 溶接施工 完全溶け込み溶接部の超音波探傷試験： ・適用する ・適用しない	23.6 鋼板巻き工法及び 帯板巻き付け工法	23.7 仕上げ	2.11. 現場打ちコンクリート杭地業 工法の適用： ・7-7工法(4.5.4) ・7-7工法(4.5.4) ・ 工法の適用： ・オールド工法(4.5.4) ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法(4.5.5) ・ 拡底杭工法(4.5.5) ・図示 ・				
3.5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	土に接する柱、梁、スラブ及び壁の鉄筋のかぶり厚さ(軽量コンクリートの場合)： ・図示 ・ 40mm ・50mm ◎60mm ・ 塩害を受ける恐れのある部分等の鉄筋のかぶり厚さ： ・図示 ・ 特殊な鉄筋継手のあき寸法： ・図示 ・		15.11 溶接部の試験	15.11 溶接部の試験 ◎工場溶接の場合 製作工場の社内検査： ・行わない ※行う(全数検査を行い試験結果報告書を提出) 第三者機関による検査： ※行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 検査水準： ・第1水準 ・第2水準 ・第3水準 ・第4水準 ・第5水準 ※第6水準 ◎工事現場溶接の場合 第三者機関による検査： ※行う ・行わない A O Q L： ・2.5% ※4.0% 放射線透過試験： ・適用する ・適用しない	23.6 鋼板巻き工法及び 帯板巻き付け工法	23.7 仕上げ	2.12. 現場打ちコンクリート杭地業 工法の適用： ・7-7工法(4.5.4) ・7-7工法(4.5.4) ・ 工法の適用： ・オールド工法(4.5.4) ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法(4.5.5) ・ 拡底杭工法(4.5.5) ・図示 ・				
3.7 壁の配筋及び補強	壁の配筋： ◎図示 ・ 開口部の補強筋： ・図示 ・ 抜取試験の方法： ※超音波探傷試験 ・引張試験 ・		17.3 塗料の種類	17.3 塗料の種類 SRC造の鋼製スリーブ(鉄骨に溶接されたもの)の内面： ・図示 ・ 標準仕様書 表7.3.1【A種 ・B種 ・C種】 耐火被覆材の接着面： ・図示 ・ 標準仕様書 表7.3.1【A種 ・B種 ・C種】 ・	23.6 鋼板巻き工法及び 帯板巻き付け工法	23.7 仕上げ	2.13. 現場打ちコンクリート杭地業 工法の適用： ・7-7工法(4.5.4) ・7-7工法(4.5.4) ・ 工法の適用： ・オールド工法(4.5.4) ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法(4.5.5) ・ 拡底杭工法(4.5.5) ・図示 ・				
3.8 ガス圧接	抜取試験の方法： ※超音波探傷試験 ・引張試験 ・		18.2 種別及び性能	18.2 種別及び性能 耐火被覆材の種別及び性能： ※図示 ・	23.6 鋼板巻き工法及び 帯板巻き付け工法	23.7 仕上げ	2.14. 現場打ちコンクリート杭地業 工法の適用： ・7-7工法(4.5.4) ・7-7工法(4.5.4) ・ 工法の適用： ・オールド工法(4.5.4) ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法(4.5.5) ・ 拡底杭工法(4.5.5) ・図示 ・				
4.2 機械式継手	4. 鉄筋の機械式継手及び溶接継手 機械式継手の種類： ・図示 ・ 機械式継手の工法及び品質の確認方法等： ・図示 ・ ※標準仕様書8.4.2.(c)による		20.4 溶融亜鉛めっき工法	20.4 溶融亜鉛めっき工法 摩擦面の処理： ・構造特記仕様書による ・プラスト処理 ・図示 ・ すべり係数試験の実施： ・行わない ・行う 試験の方法、試験片の摩擦面の状態： ・構造特記仕様書による ・図示 ・	23.6 鋼板巻き工法及び 帯板巻き付け工法	23.7 仕上げ	2.15. 現場打ちコンクリート杭地業 工法の適用： ・7-7工法(4.5.4) ・7-7工法(4.5.4) ・ 工法の適用： ・オールド工法(4.5.4) ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法(4.5.5) ・ 拡底杭工法(4.5.5) ・図示 ・				
4.3 溶接継手	溶接継手の工法： ・図示 ・ 品質の確認方法： ・図示 ・ 不良継手部の修正方法： ・図示 ・ ※標準仕様書8.4.3.(c)による		21.2 既存部分の撤去等	21.2 既存部分の撤去等 21. 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 既存仕上げの撤去範囲： ※標準仕様書8.19.2(a)(1)による ・協議による 設備配管等の撤去範囲： ※標準仕様書8.19.2(a)(2)による 設備配管等の移設範囲等： ※標準仕様書8.19.2(a)(2)による 既存構造体の撤去範囲： ・図示 ・ 協議による 既存構造体の鉄筋、鉄骨の処置： ・図示 ・	23.6 鋼板巻き工法及び 帯板巻き付け工法	23.7 仕上げ	2.16. 現場打ちコンクリート杭地業 工法の適用： ・7-7工法(4.5.4) ・7-7工法(4.5.4) ・ 工法の適用： ・オールド工法(4.5.4) ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法(4.5.5) ・ 拡底杭工法(4.5.5) ・図示 ・				
7.8 型枠工事	7. コンクリートの工事現場内運搬並びに打込み及び締り締め 外部に面する打放し仕上げの増打厚さ： ・25mm ◎20mm ・15mm ・ 型枠セパレーターとしてのシアコネクタの使用： ・適用する ・適用しない		21.3 既存部分の処理	21.3 既存部分の処理 既存部分の目荒し程度： ・図示 ・	23.6 鋼板巻き工法及び 帯板巻き付け工法	23.7 仕上げ	2.17. 現場打ちコンクリート杭地業 工法の適用： ・7-7工法(4.5.4) ・7-7工法(4.5.4) ・ 工法の適用： ・オールド工法(4.5.4) ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法(4.5.5) ・ 拡底杭工法(4.5.5) ・図示 ・				
			21.6 鉄筋の加工、組立	21.6 鉄筋の加工、組立 割裂補強筋の仕様： ・図示 ・	23.6 鋼板巻き工法及び 帯板巻き付け工法	23.7 仕上げ	2.18. 現場打ちコンクリート杭地業 工法の適用： ・7-7工法(4.5.4) ・7-7工法(4.5.4) ・ 工法の適用： ・オールド工法(4.5.4) ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法(4.5.5) ・ 拡底杭工法(4.5.5) ・図示 ・				
			21.8 コンクリートの打込み	21.8 コンクリートの打込み 打込み工法： ・流込み工法 ・圧入工法 ・図示 ・	23.6 鋼板巻き工法及び 帯板巻き付け工法	23.7 仕上げ	2.19. 現場打ちコンクリート杭地業 工法の適用： ・7-7工法(4.5.4) ・7-7工法(4.5.4) ・ 工法の適用： ・オールド工法(4.5.4) ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法(4.5.5) ・ 拡底杭工法(4.5.5) ・図示 ・				

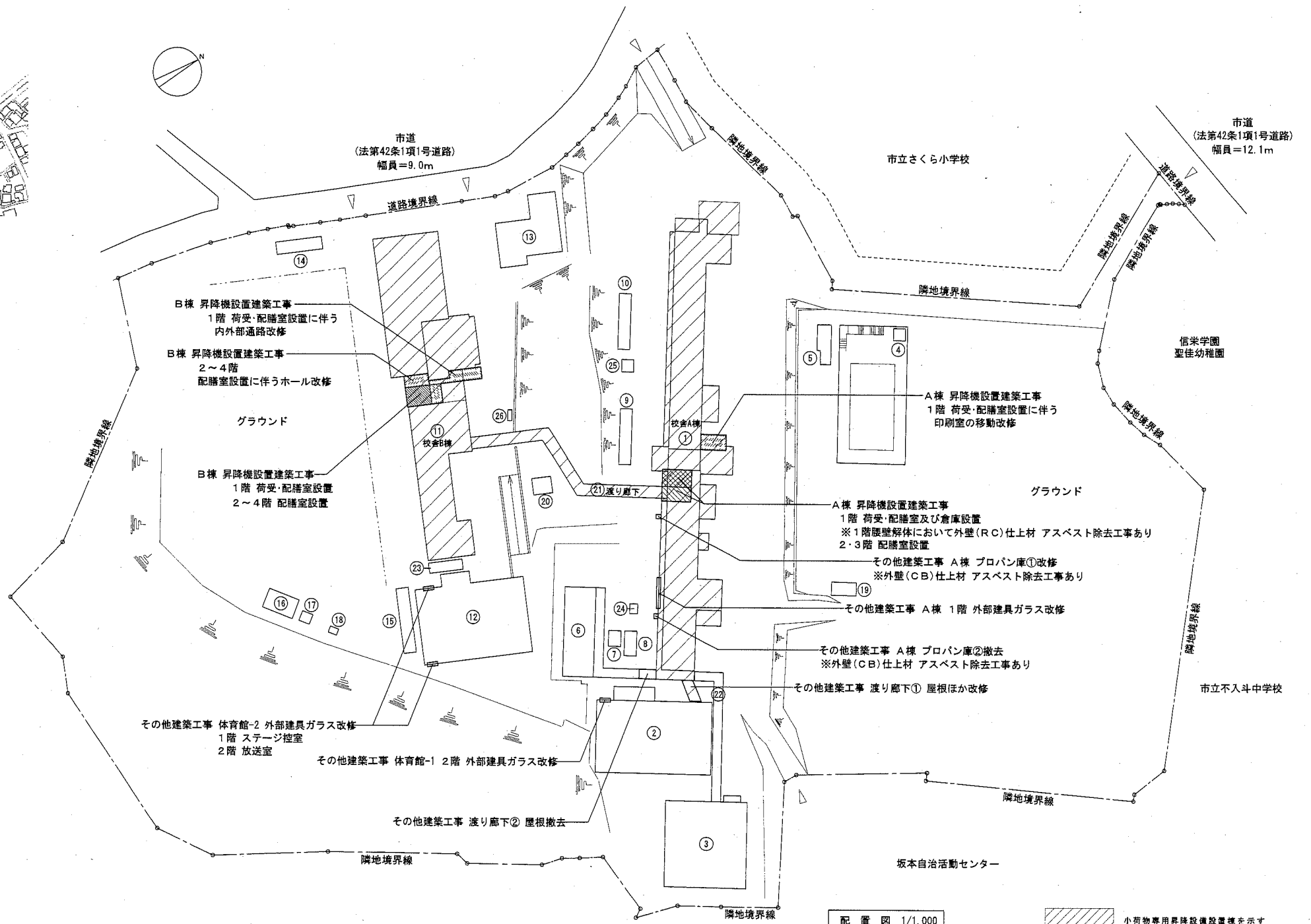
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																					
9章	1.1 一般事項	1. アスベスト含有建材の除去工事 封じ込め処理：・適用しない ・適用する【処理方法：・図示】 囲い込み処理：・適用しない ・適用する【処理方法：・図示】 アスベスト含有建材撤去後の仕上げ：・図示 分析によるアスベスト含有の調査：・JIS A 1481-2 ・JIS A 1481-3 アスベスト粉塵濃度測定：・行わない ・行う ・図示 除去工法：・現場説明書による	9章	7.3 路床	路床安定処理の適用：・適用しない ・適用する 路床安定処理の方法：・添加材料による処理 ・図示 処理内容：【厚さ：・300mm】 【目標CBR：・5以上】 盛土の種別：・A種 ・B種 ・C種 ・D種 フィルター層の材料：・砂 ・図示 砂の品質：・75μmふるい通過量10%以下 路床安定処理用添加材料：・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメント ・生石灰【・特号 ・1号】 ・消石灰【・特号 ・1号】 ジオテキスタイルの適用：・適用しない ・適用する 路床土のCBR試験：・行わない ・行う【・乱した土 ・乱さない土】 路床締固め試験：・行う ・行わない																					
	1.3 アスベスト含有吹付材の除去	除去工法：※標準仕様書9.1.5(b)(1)による ・図示 除去物の処理：※密封処理 ・セメント固化 ・図示		7.4 路盤	車道部の路盤の厚さ：・図示 ・150mm ・200mm 歩道部の路盤の厚さ：・図示 ・100mm 路盤の材料：※砕石【※クワックン ・粒度調整砕石】 ※再生材【※ラップオン ・クワックン鉄鋼スラグ ・粒度調整砕石】																					
	1.5 アスベスト含有成形板の除去			7.5 舗装の構成及び仕上り	舗装の厚さ(mm)：車道部 30mm ・ mm 歩道部【・30mm ・ mm】 舗装の平坦性：・図示 ※標準仕様書による アスファルトの種類(車道部)：・図示 ※再生密粒																					
	2.3 改修工法の種類及び工程	2. 断熱アスファルト防水改修工事 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>工法/種別</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PHR階屋上</td> <td>・P1BI/・BI-1 ・BI-2</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td>・R階屋上</td> <td>・P2AI/・AI-1 ・AI-2</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・P0DI/・DI-1 ・DI-2</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・T1BI/・BI-1 ・BI-2</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・M3DI/・DI-1 ・DI-2</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・M4DI/・DI-1 ・DI-2</td> <td>断熱材：t=</td> </tr> </tbody> </table>	施工部位	工法/種別	備考	・PHR階屋上	・P1BI/・BI-1 ・BI-2	断熱材：t=	・R階屋上	・P2AI/・AI-1 ・AI-2	断熱材：t=		・P0DI/・DI-1 ・DI-2	断熱材：t=		・T1BI/・BI-1 ・BI-2	断熱材：t=		・M3DI/・DI-1 ・DI-2	断熱材：t=		・M4DI/・DI-1 ・DI-2	断熱材：t=		7.9 試験	アスファルトの種類(歩道部)：・図示 ※ストリートアスファルト アスファルトの抽出試験：・行う ・行わない
施工部位	工法/種別	備考																								
・PHR階屋上	・P1BI/・BI-1 ・BI-2	断熱材：t=																								
・R階屋上	・P2AI/・AI-1 ・AI-2	断熱材：t=																								
	・P0DI/・DI-1 ・DI-2	断熱材：t=																								
	・T1BI/・BI-1 ・BI-2	断熱材：t=																								
	・M3DI/・DI-1 ・DI-2	断熱材：t=																								
	・M4DI/・DI-1 ・DI-2	断熱材：t=																								
	3.2 材料	3. 外断熱改修工事 断熱材の種類及び厚さ：・図示 外装材の種類及び防火性能：・図示																								
	3.3 既存外壁の処置	既存外壁仕上げ材の撤去：・図示 ・全面撤去 ・部分撤去 既存外壁下地面の清掃：・図示 既存外壁下地欠損部の改修方法：・図示																								
	3.4 工法	断熱材の施工方法：※ノカ仕様による ・図示 外装材の施工：・図示																								
	4.2 材料	4. ガラス改修工事 複層ガラスの種類・組合せ・厚さ：・図示 複層ガラスの断熱性・日射遮蔽性区分：※U3-1 ・U3-2																								
	5.2 断熱材打込工法	5. 断熱・防露改修工事 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビーズ法<sup>®</sup>リソレンフォーム</td> <td></td> <td>・25</td> </tr> <tr> <td>・押出法<sup>®</sup>リソレンフォーム</td> <td>・3種：土間コンクリート下端</td> <td>・25 ・50</td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム</td> <td>・A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	種類	種別	厚さ(mm)	・ビーズ法 <sup>®</sup> リソレンフォーム		・25	・押出法 <sup>®</sup> リソレンフォーム	・3種：土間コンクリート下端	・25 ・50	・硬質ウレタンフォーム	・A種	・	・フェノールフォーム	・	・									
種類	種別	厚さ(mm)																								
・ビーズ法 <sup>®</sup> リソレンフォーム		・25																								
・押出法 <sup>®</sup> リソレンフォーム	・3種：土間コンクリート下端	・25 ・50																								
・硬質ウレタンフォーム	・A種	・																								
・フェノールフォーム	・	・																								
	5.3 現場吹付発砲断熱材	材料：・吹付け硬質ウレタンフォーム 種類：・A種1 難燃材：・1級 ・2級 ・3級 吹付け厚さ(mm)：・図示 ・25 ・30 ・20																								
	5.4 断熱材後張り工法	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビーズ法<sup>®</sup>リソレンフォーム</td> <td></td> <td>・25</td> </tr> <tr> <td>・押出法<sup>®</sup>リソレンフォーム</td> <td>・3種：土間コンクリート下端</td> <td>・25 ・50</td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム</td> <td>・A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・フェノールフォーム</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	種類	種別	厚さ(mm)	・ビーズ法 <sup>®</sup> リソレンフォーム		・25	・押出法 <sup>®</sup> リソレンフォーム	・3種：土間コンクリート下端	・25 ・50	・硬質ウレタンフォーム	・A種	・	・フェノールフォーム	・	・									
種類	種別	厚さ(mm)																								
・ビーズ法 <sup>®</sup> リソレンフォーム		・25																								
・押出法 <sup>®</sup> リソレンフォーム	・3種：土間コンクリート下端	・25 ・50																								
・硬質ウレタンフォーム	・A種	・																								
・フェノールフォーム	・	・																								
	6.2 材料	6. 屋上緑化改修工事 芝の種類：・コライシバ ・ノハ 地被類の樹種/芽立数/コンテナ径/コンテナ数：・図示 縁材、舗装材、水抜き管、マルチング材等：・図示 建設省告示第1458号に対応した工法： 灌水装置の設置/種類：・設置しない ・設置する【種類：・図示】 既存保護層等の撤去：・撤去しない ・撤去する 新植芝、地被類の保証期間：・1年 ・半年																								
	6.3 工法																									
	6.4 枯補償																									
	7.2 既存舗装の撤去及び再利用	7. アスファルト舗装改修工事 既存舗装の撤去：・撤去しない ・撤去する【範囲等：・図示 ・改修部分全面】 既存舗装の再利用：・再利用しない ・再利用する【範囲等：・図示 ・改修部分全面】																								
	7.3 路床	凍上抑制層の適用：・適用しない ・適用する 厚さ：・車道部 mm ・歩道部 mm 透水性舗装のフィルター層の適用：・適用しない ・適用する 厚さ：車道部【・150mm ・ mm】 歩道部【・50mm ・ mm】																								

No	工事内容	建築	電気(別途工事)	機械	備考
1	小荷物専用昇降機計画通知申請手続き		○		
2	仮設足場(脚立を除く)	○			
3	発生材運搬・処分	○	○	○	
4	発生土運搬・処分	○	○	○	
5	貫通部穴埋め補修		○	○	
6	点検口(天井・壁)取付及び開口補強	○			
7	天井付各種設備器具穴あけ、取付枠及び開口補強	○			
8	天井付各種設備器具取付		○		
9	ステンレス製(木製)流し(トラップ共)	○			
10	同上 水栓金物及び配管接続			○	
11	衛生器具取付			○	
12	衛生器具類取付用下地	○			
13	排水目皿			○	
14	排水目皿廻りシーリング	○			
15	排水溝・樹蓋設置及び配管敷設工事			○	
16	側溝・蓋設置(グレーチング含む)(配管接続は機械設備工事)	○			
17	換気扇取付用アルミパネル	○			
18	同上 穴あけ	○			
19	換気扇スイッチ本体取付、配線		○		
20	給気口及び室内レジスター			○	
21	給気ガラリ	○			
22	空調機各種リモコン			○	
23	空調屋外機・屋内機廻り配線(冷媒管共巻き)			○	
24	空調機一次側電源供給		○		
25	プロパン庫 撤去(コンクリートブロック製)	○			
26	プロパン庫 新設			○	
27	プロパン庫 基礎新設	○			
28	昇降路の築造工事及び仕上げ工事	○			
29	昇降路ビット防水	○			
30	昇降路頂部機器播種用ビームの設置工事	○			
31	各階出入口三方枠、インジケーター、押釦等の取付用下地及び穴あけ	○			
32	出入口三方枠、敷居、インジケーター等取付後の隙間埋め	○			
33	乗場関係機器取付後の壁、床の仕上げ工事	○			
34	ストーブ取外し	○			学校へ返納
35	同上排気筒外部防護カバー撤去	○			
36	窓面取付の換気扇及びウェザーカバー(取付用パネル共)撤去	○			



付近見取り図 NS

建物別面積表 (単位 m <sup>2</sup> )						
番号	建物名称	建築面積	延床面積	構造	階数	最高高さ
①⑪⑫	校舎A・B棟 渡り廊下 (昇降機設置A・B棟)	3,553.52 m <sup>2</sup>	10,426.40 m <sup>2</sup>	RC造 S造	4階	16.10 m
②	体育館-1	756.20 m <sup>2</sup>	776.70 m <sup>2</sup>	S造	1階	11.00 m
③	武道場	600.00 m <sup>2</sup>	600.00 m <sup>2</sup>	S造	1階	9.50 m
④	プール機械室	12.00 m <sup>2</sup>	12.00 m <sup>2</sup>	W造	1階	3.00 m
⑤	プール専用室	38.92 m <sup>2</sup>	38.92 m <sup>2</sup>	CB造	1階	3.00 m
⑥	技術科室-1	267.15 m <sup>2</sup>	267.15 m <sup>2</sup>	S造	1階	4.77 m
⑦	倉庫-1	16.57 m <sup>2</sup>	16.57 m <sup>2</sup>	W造	1階	3.00 m
⑧	更衣室	25.92 m <sup>2</sup>	25.92 m <sup>2</sup>	W造	1階	3.00 m
⑨	部室-1	58.32 m <sup>2</sup>	58.32 m <sup>2</sup>	S造	1階	3.30 m
⑩	部室-2	58.32 m <sup>2</sup>	58.32 m <sup>2</sup>	S造	1階	3.30 m
⑬	体育館-2	735.57 m <sup>2</sup>	735.57 m <sup>2</sup>	S造	1階	11.00 m
⑭	技術科室-2	266.05 m <sup>2</sup>	266.05 m <sup>2</sup>	S造	1階	6.60 m
⑮	部室-3	48.60 m <sup>2</sup>	48.60 m <sup>2</sup>	S造	1階	3.37 m
⑯	部室-4	68.04 m <sup>2</sup>	68.04 m <sup>2</sup>	S造	1階	3.37 m
⑰	体育倉庫-1	45.00 m <sup>2</sup>	45.00 m <sup>2</sup>	S造	1階	3.50 m
⑱	焼窯庫	9.60 m <sup>2</sup>	9.60 m <sup>2</sup>	CB造	1階	2.20 m
⑲	倉庫-2	4.42 m <sup>2</sup>	4.42 m <sup>2</sup>	CB造	1階	2.10 m
⑳	体育倉庫-2	33.13 m <sup>2</sup>	33.13 m <sup>2</sup>	S造	1階	3.60 m
㉑	園芸倉庫	24.85 m <sup>2</sup>	24.85 m <sup>2</sup>	S造	1階	3.60 m
㉒	渡り廊下-1	109.35 m <sup>2</sup>	109.35 m <sup>2</sup>	S造	1階	3.40 m
㉓	渡り廊下-2	30.07 m <sup>2</sup>	30.07 m <sup>2</sup>	S造	1階	3.20 m
㉔	石油庫	3.80 m <sup>2</sup>	3.80 m <sup>2</sup>	CB造	1階	2.20 m
㉕	倉庫-3	4.00 m <sup>2</sup>	4.00 m <sup>2</sup>	CB造	1階	2.20 m
㉖	プロパン庫	3.52 m <sup>2</sup>	3.52 m <sup>2</sup>	CB造	1階	2.15 m
合計		6,772.92 m <sup>2</sup>	13,666.30 m <sup>2</sup>			



配置図 1/1,000

小荷物専用昇降機設置様を示す

公共建築課長 主査等 担当者

横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 平成 31年 2月

工事名称 市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事

図面名称 付近見取り図、配置図

縮尺

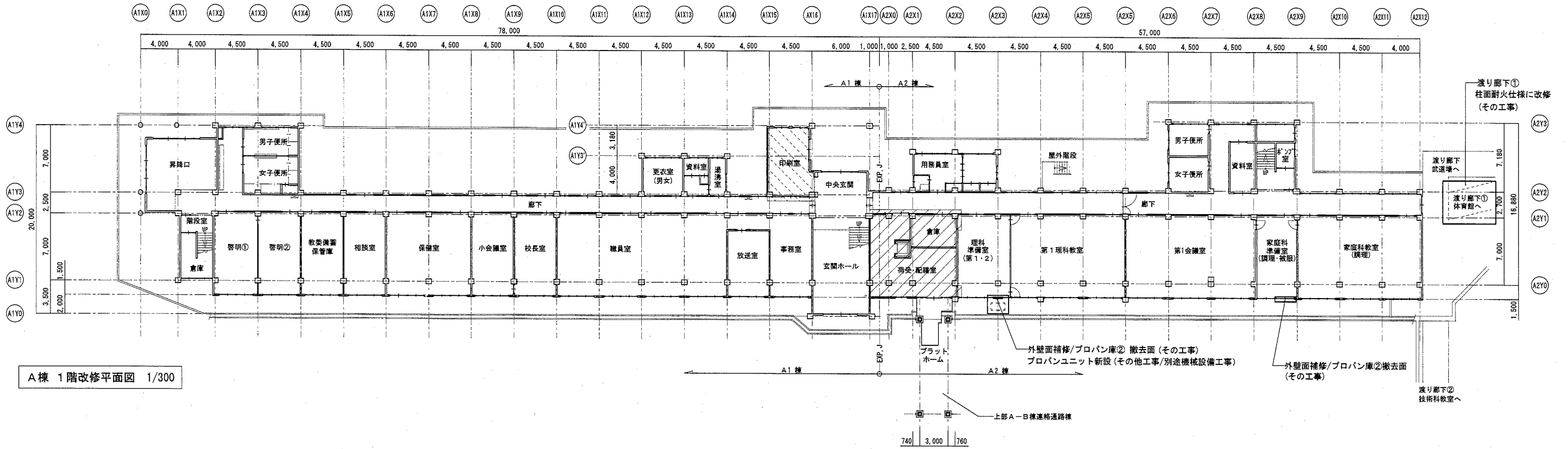
NS-1/1,000

A-08

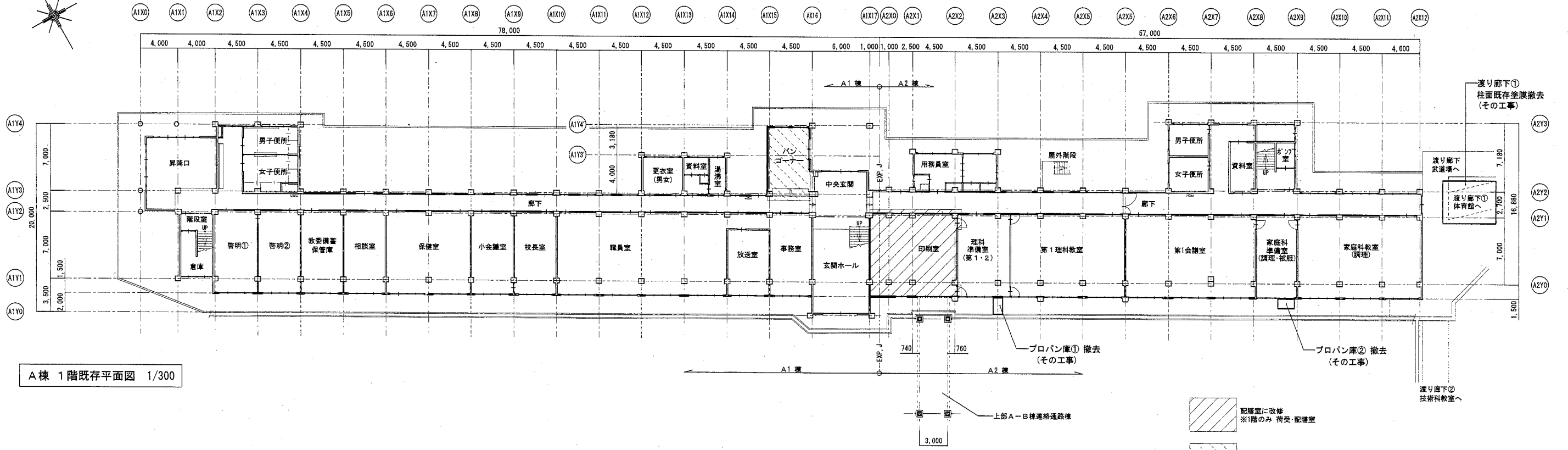
No.







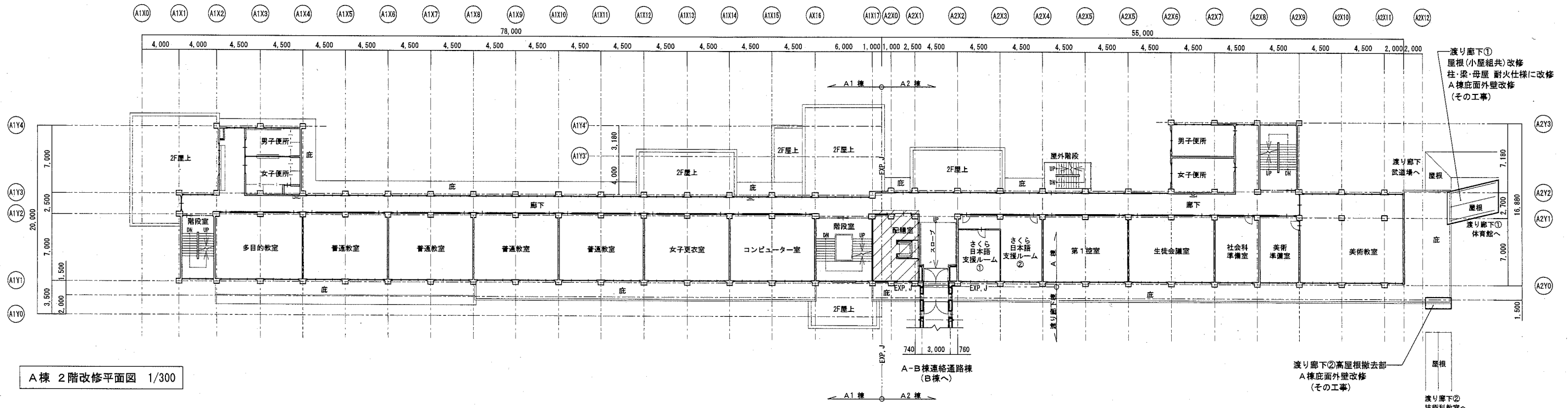
A棟 1階改修平面図 1/300



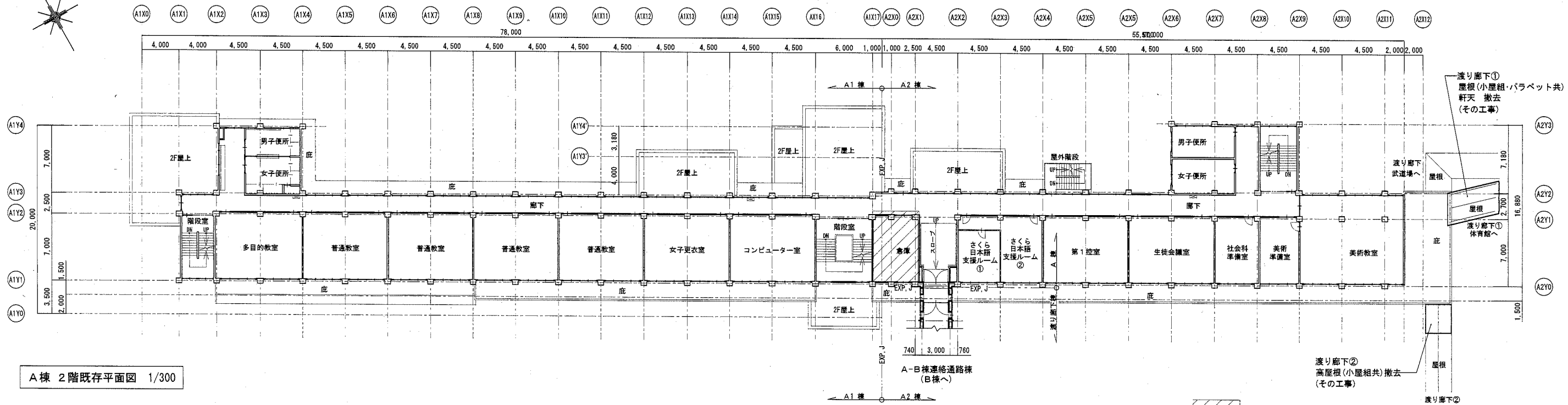
A棟 1階既存平面図 1/300

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
			設計年月日 平成 31年 2月

工事名称	市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/300	A-10 No.
図面名称	A棟 1階平面図 (既存・改修)			



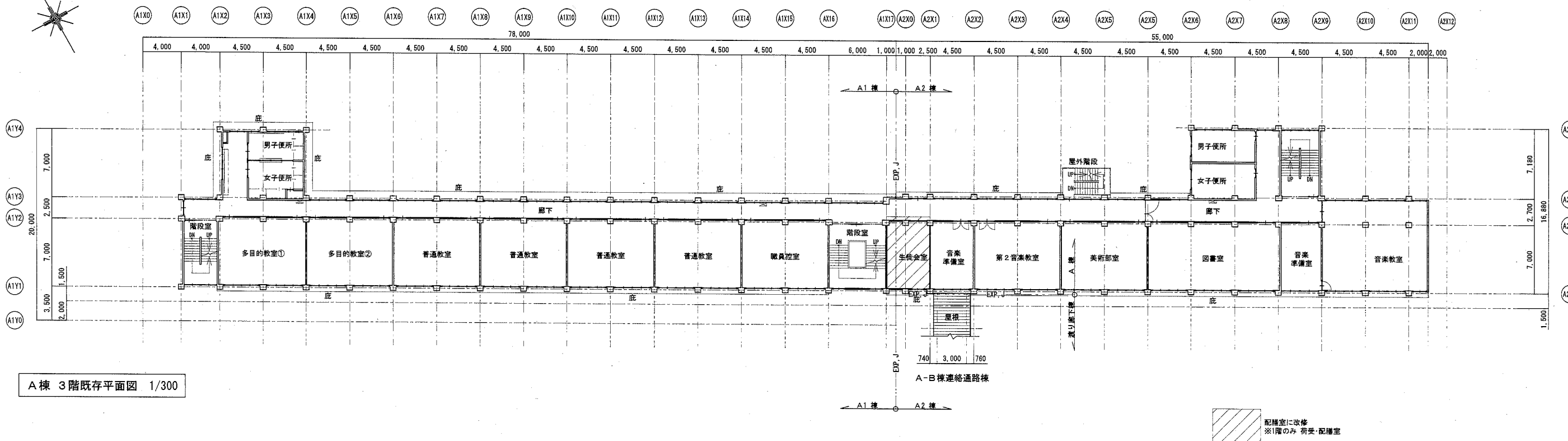
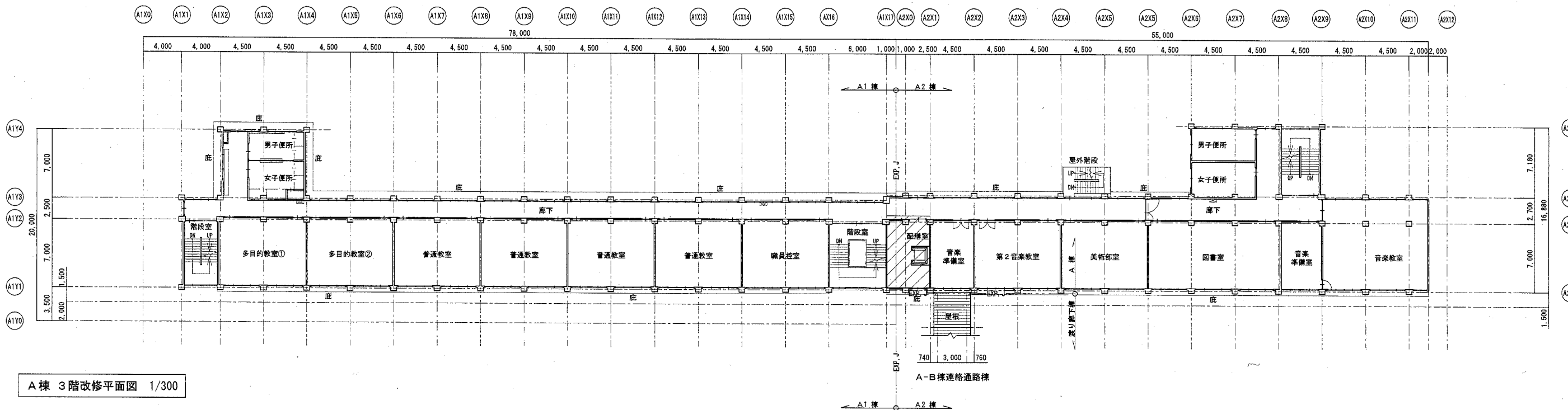
A棟 2階改修平面図 1/300



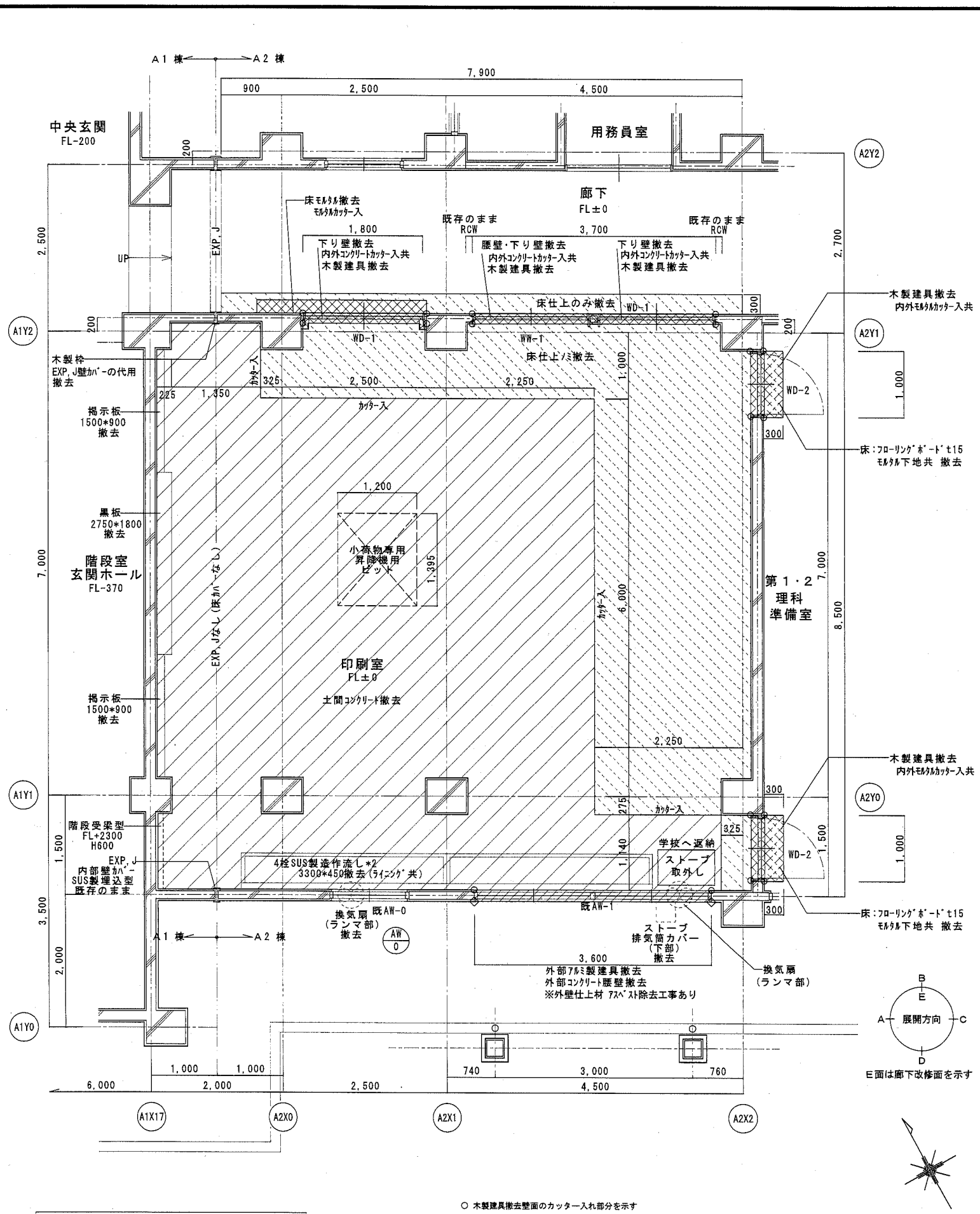
A棟 2階既存平面図 1/300

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課
			設計年月日 平成 31年 2月

工事名称	市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/300	A-11 No.
図面名称	A棟 2階平面図 (既存・改修)			



公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-12
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 A棟 3階平面図 (既存・改修)	1/300	



- 凡例
- 土間コンクリートt120  
モルタル下地t28  
ビニシートt2.0撤去
  - ビニシートのみ撤去

床	モルタル下地ビニシートt-2.0	全面撤去
巾木	塩ビ製 (H100)	全面撤去
壁	コンクリート面 モルタル下地EP-G 廊下界壁面 コンクリート、モルタル下地EP-G	既存のまま 全面撤去
天井	木製下地石膏ボードt-9.5EP (一部有孔石膏ボードt-9.5EP) 廻縁、見切縁木製30*20 一部化粧石膏ボードt-9.5 廻縁塩ビ製	全面撤去 撤去 全面撤去
備考	スラブ下・梁型 モルタル下地EP	既存のまま
備考	EXP、J内部カバー(壁・天井) 黒板、掲示板2ヶ所、SUS造作流し台2ヶ所 カーテンボックス、ストーブ排気筒カバー(外部) 木製建具	一部撤去 撤去 撤去 撤去

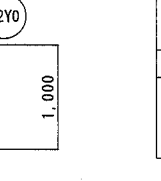
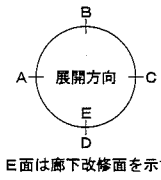
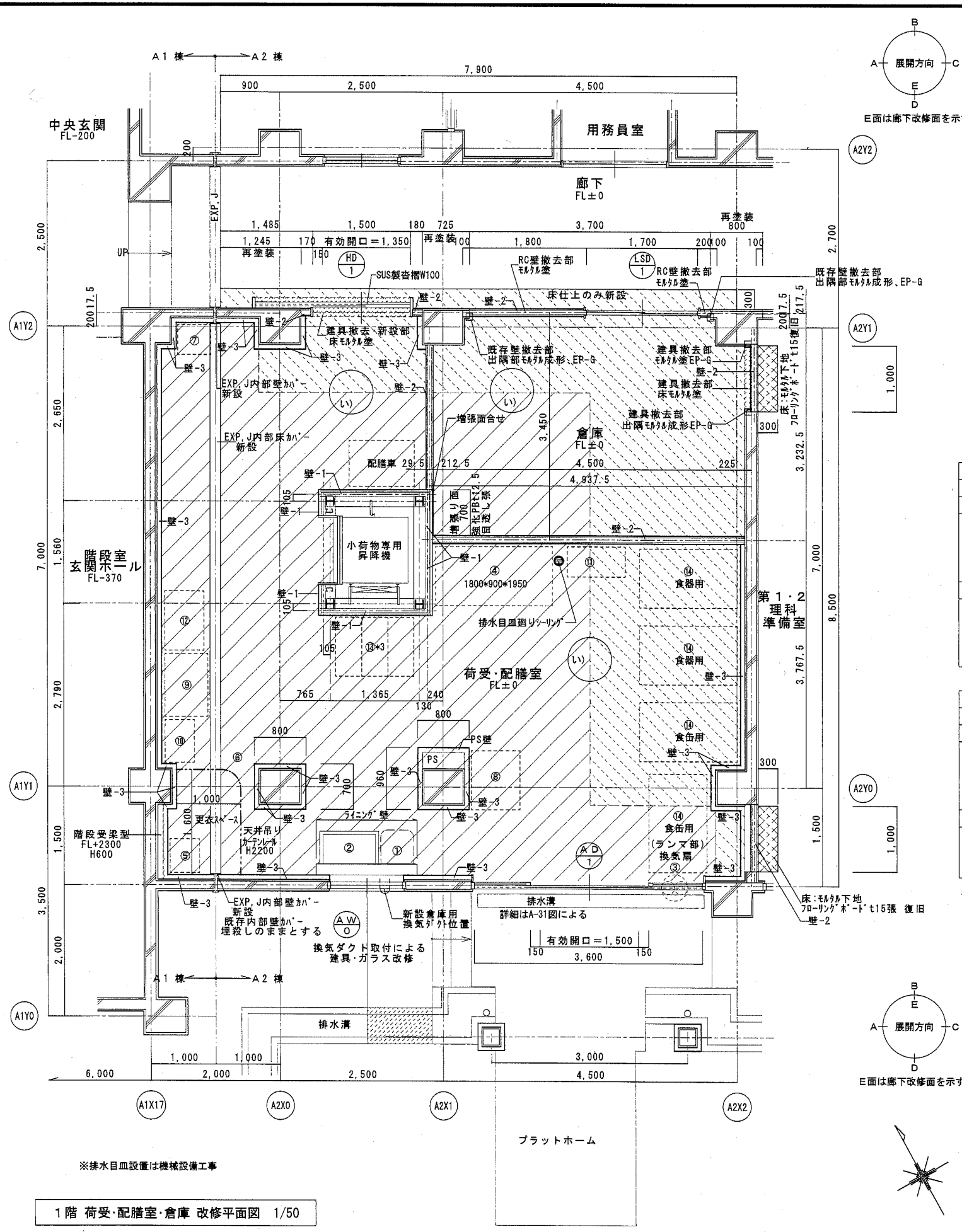
床	モルタル下地ビニシートt-2.5(コイン)	仕上撤去
巾木	コンクリート面 モルタル下地EP-G (H100)	建具撤去面 のみ一部撤去
壁	コンクリート面 モルタル下地EP-G 建具面壁 コンクリート、モルタル下地EP-G	既存のまま 全面撤去
天井	LGS下地化粧石膏ボードt-9.5、廻縁塩ビ製	一部撤去
備考		

床	モルタルt35下地フローリングボードt15	建具撤去面 のみ一部撤去
巾木	木製巾木EP-G (H100)	建具撤去面 のみ一部撤去
壁	コンクリート面 モルタル下地EP-G	建具撤去面 のみ一部撤去
天井	木製下地石膏ボードt-9.5EP (一部有孔石膏ボードt-9.5EP) 廻縁、見切縁木製30*20 スラブ下・梁型 モルタル下地EP	全て 既存のまま
備考		

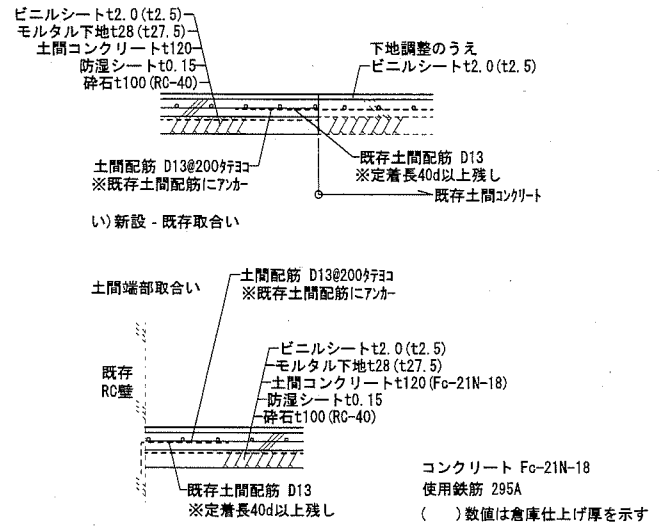
- 撤去内容
- 共通事項
- 印刷室・廊下界壁面を既存木製建具(既WD-1、WW-1)を含め撤去する  
ただし、RC袖壁は既存のままとする
  - 撤去するコンクリート・モルタル面はカッターを入れ撤去する
- 印刷室
- 部の土間コンクリート(床仕上下地共)を解体撤去する
  - 土間コンクリート解体面端部は既存鉄筋(定着長40d以上)残しとする
  - 巾木全面撤去する
  - 外壁面 既存サッシュ(既AW-1)及びサッシュ下部RC腰壁を撤去する
  - 室内のエキスパンションジョイントカバーを撤去する  
ただし、外壁面SUS製埋込みタイプのカバーは撤去しない
  - SUS製造作流し、黒板、掲示板を撤去する
- 廊下
- 界壁面の撤去・改修に影響する部分床及び天井仕上・下地(ハッチ部)を撤去する
- 第1・2理科準備室
- 印刷室に通じる木製建具(WD-2)を撤去する。

1階 荷受・配膳室・廊下 既存平面図 1/50

○ 木製建具撤去壁面のカッター入れ部分を示す



- 凡例
- 土間コンクリートt120新設  
モルタル下地t30  
ビニシート2.0新設
  - 下地調整の上ビニシート新設



床	モルタル下地ビニシートt2.0(耐動荷重性・抗菌)
巾木	ラワン合板t9.0増強、ビニル巾木 H300
壁	壁-1:LGS(65)下地、強化石膏ボードt21*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 壁-2:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 壁-3:LGS(65)下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 PS壁:LGS(65)下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0
天井	LGS(19)下地、化粧石膏ボードt9.5、廻縁塩ビ製
備考	ライニング壁、SUS製流し台、天井吊りカテナール HD-1新設、壁点検口300角:1ヶ所 EXP、J内部加へ(床・壁・天井):新設復旧 室名札、アルミカーテンボックス

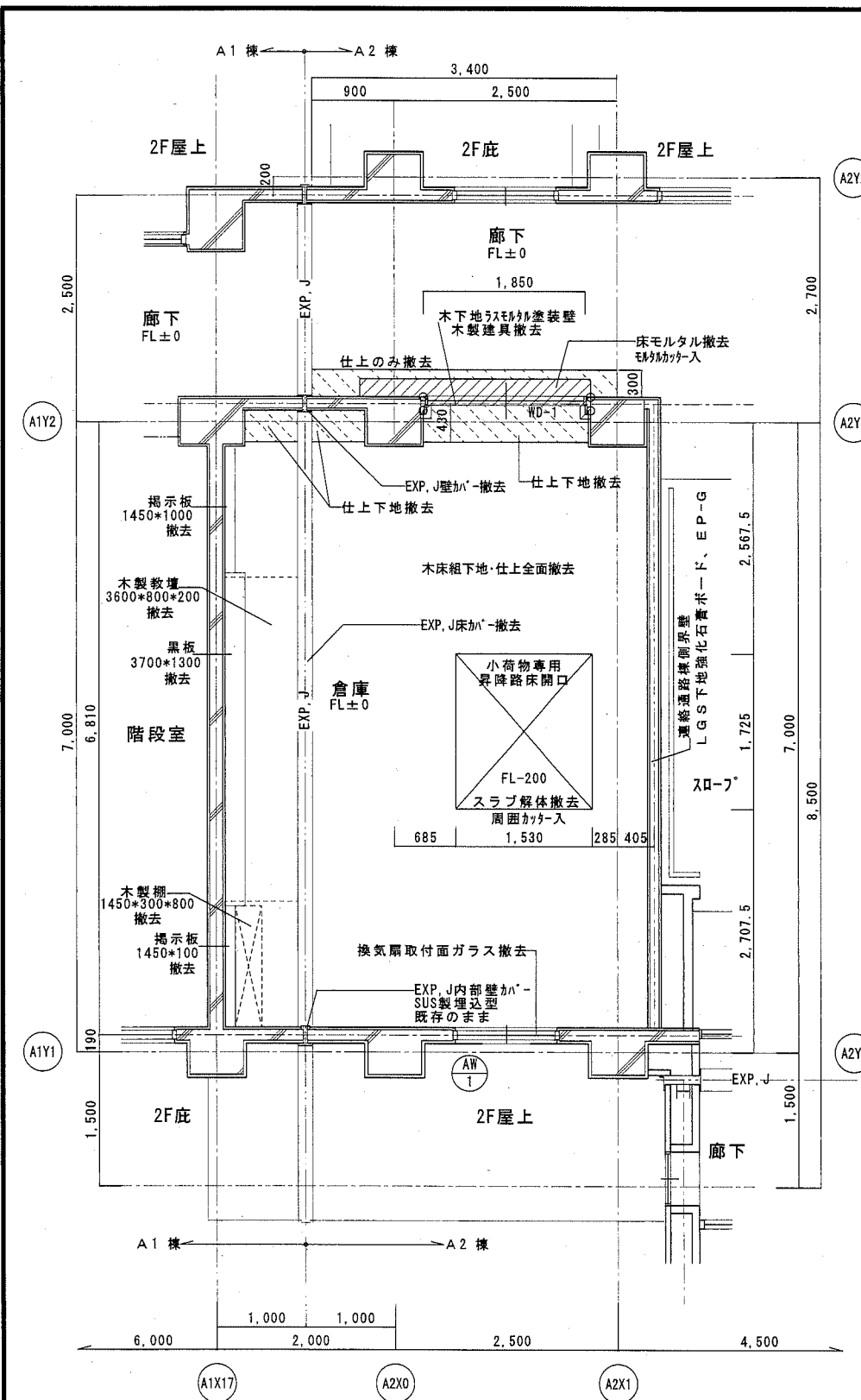
床	モルタル下地ビニシートt2.5
巾木	ビニル巾木 H100
壁	新規面 壁-1:LGS(65)下地、強化石膏ボードt21*2/片面、強化PBT12.5増強(目透し)EP-G 壁-2:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面(目透し)、EP-G 既存面:下地調整のうえEP-G
天井	LGS(19)下地、化粧石膏ボードt9.5、廻縁塩ビ製
備考	LSD-2新設 室名札

床	下地調整の上ビニシートt2.5(コイン)
巾木	新規面 壁-2 塩ビ製(H100) 既存面 柱・袖壁コンクリート面 下地調整のうえEP-G(H100)
壁	新規面 壁-2 LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面 目透し、EP-G HD-1上部新設7ヶ所 壁-6:LGS(50)下地、強化石膏ボードt12.5*5/片面、EP-G塗 既存面 柱・袖壁コンクリート面 下地調整のうえEP-G
天井	LGS下地化粧石膏ボードt9.5、廻縁塩ビ製
備考	RC壁撤去面 出隅モルタル成形のうえEP-G 天井点検口7ヶ所廻縁塩ビ450角:1ヶ所

No	名称	数量	備考
①	手洗い	1	機械設備工事
②	シンク	1	建築工事
③	換気扇	1	機械設備工事
④	牛乳保冷库	1	工事対象外
⑤	更衣ロッカー	1	工事対象外
⑥	カーテンレール(S)	1	建築工事
⑦	掃除用具ロッカー	1	工事対象外
⑧	移動式作業台	1	工事対象外
⑨	リフト用運搬車	1	工事対象外
⑩	作業机	1	工事対象外
⑪	簡易棚	1	工事対象外
⑫	L型台車	1	工事対象外
⑬	スノコ	2~3	工事対象外
⑭	運搬コンテナ	6	工事対象外

※牛乳保冷库を除く備品の配置は参考

1階 荷受・配膳室・倉庫 改修平面図 1/50

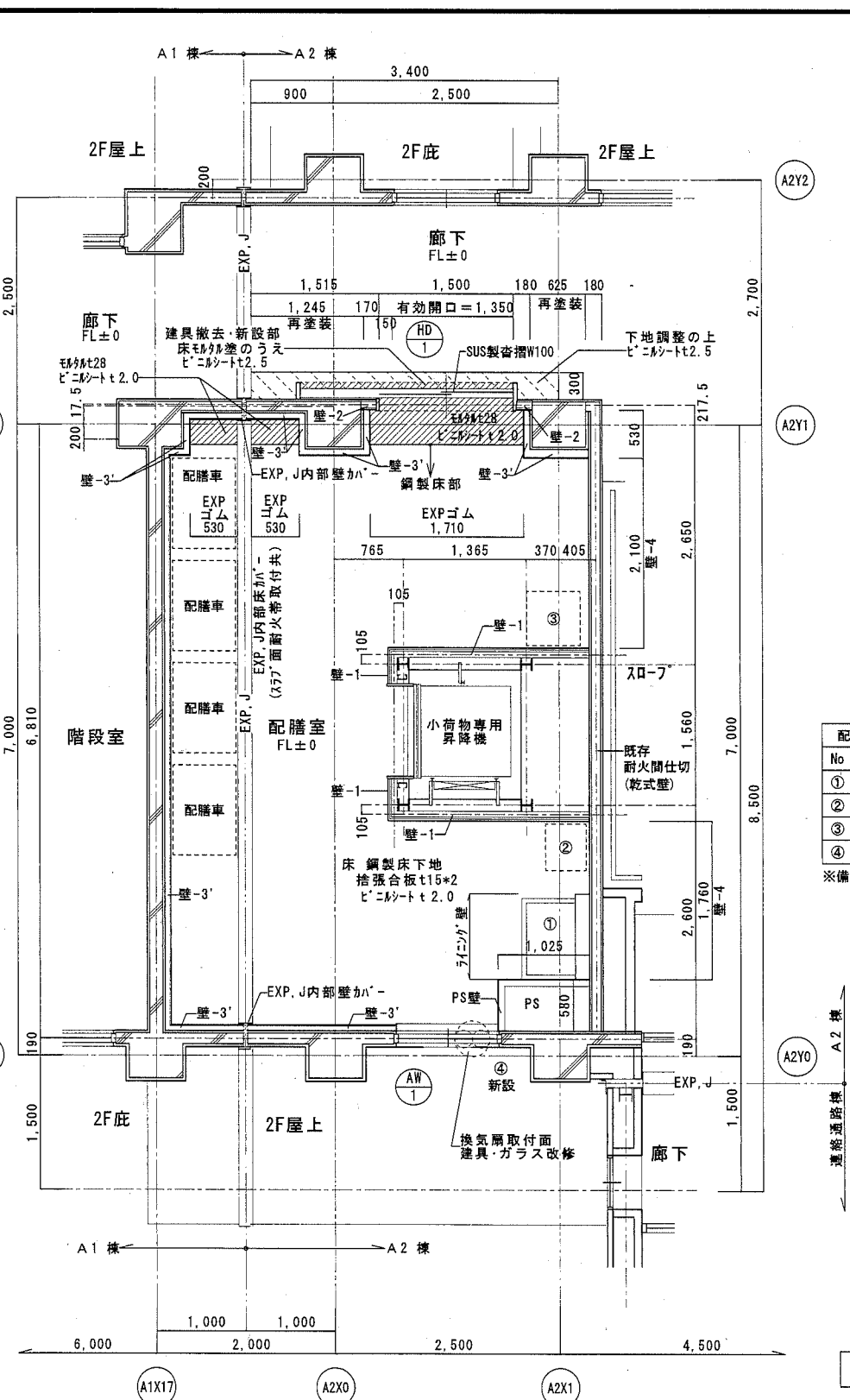


○木製建具撤去壁面の cutter 入れ部分を示す  
 スラブ解体は断面の鉄筋を表しとし  
 復旧する際は 昇降路鉄骨梁上のスタッドに  
 定着させる

2階 配膳室・廊下 既存平面図 1/50

床	木床組下地フローリングt150 SW	全面撤去
出入口前	モルタル30下地、ビニシート	仕上/撤去
巾木	木製t24 (H100) EP-G	全面撤去
壁	コンクリート面 モルタル下地 EP-G	既存のまま
天井	連絡通路側側壁面 LGS下地強化石膏ボード面 EP-G	既存のまま
	スラブ下木毛セメント板t20打込み EP	一部撤去
	一部モルタル下地 EP	既存のまま
	梁型 モルタル下地 EP-G	既存のまま
備考	EXP, J内部カバー (床・壁・天井)	一部撤去
	教壇、黒板、掲示板2ヶ所	撤去
	木製棚	撤去

床	モルタル下地ビニシートt2.5 (コイン)	仕上/撤去
巾木	コンクリート面 モルタル下地 EP-G (H100)	既存のまま
壁	コンクリート面 モルタル下地 EP-G	既存のまま
	建具上下り壁 木下地ラスモルタル EP-G	全面撤去
天井	LGS下地強化石膏ボードt9.5、廻縁塩t製	一部撤去
備考		



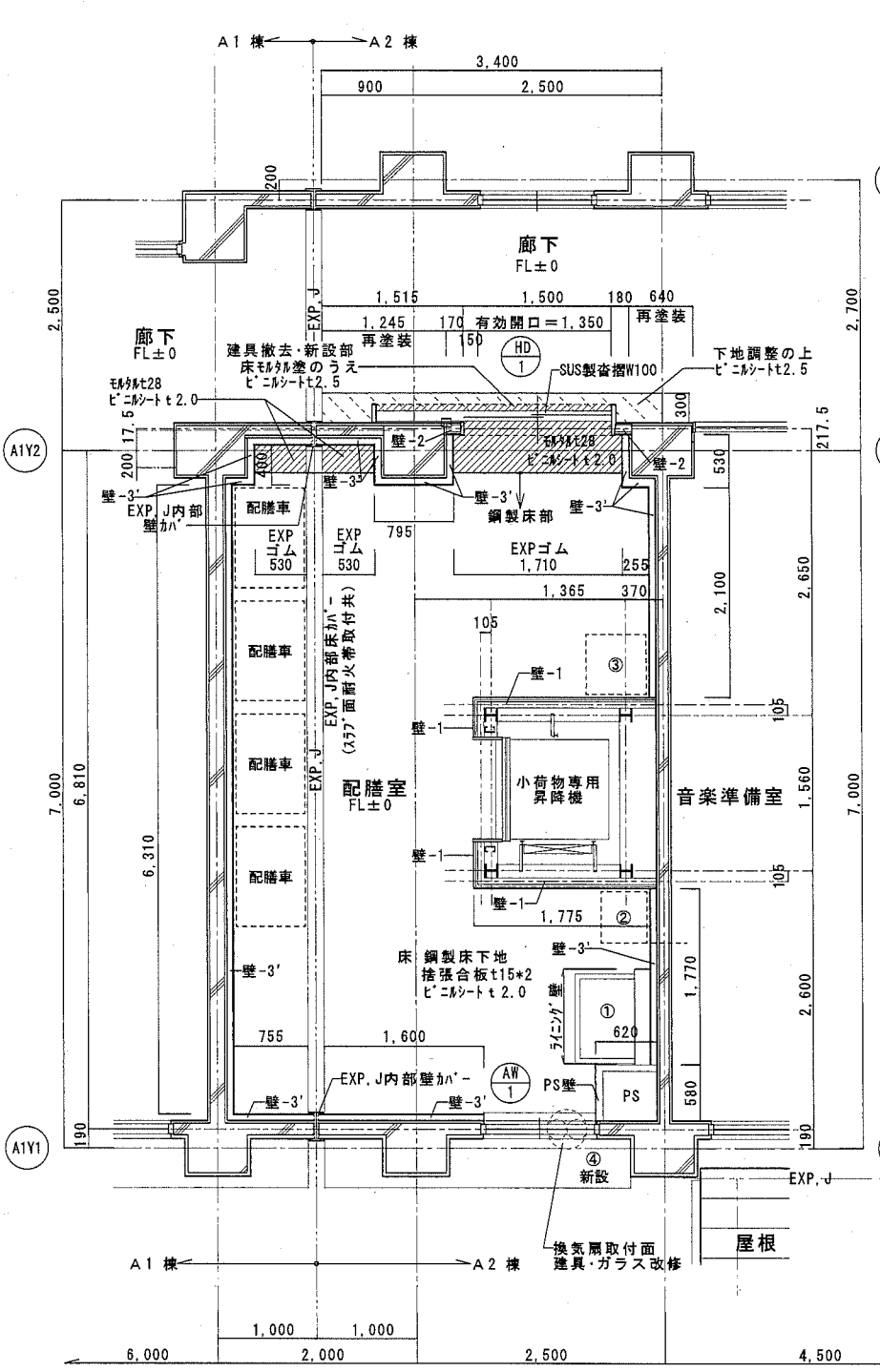
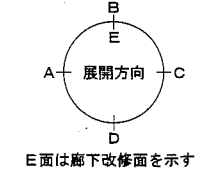
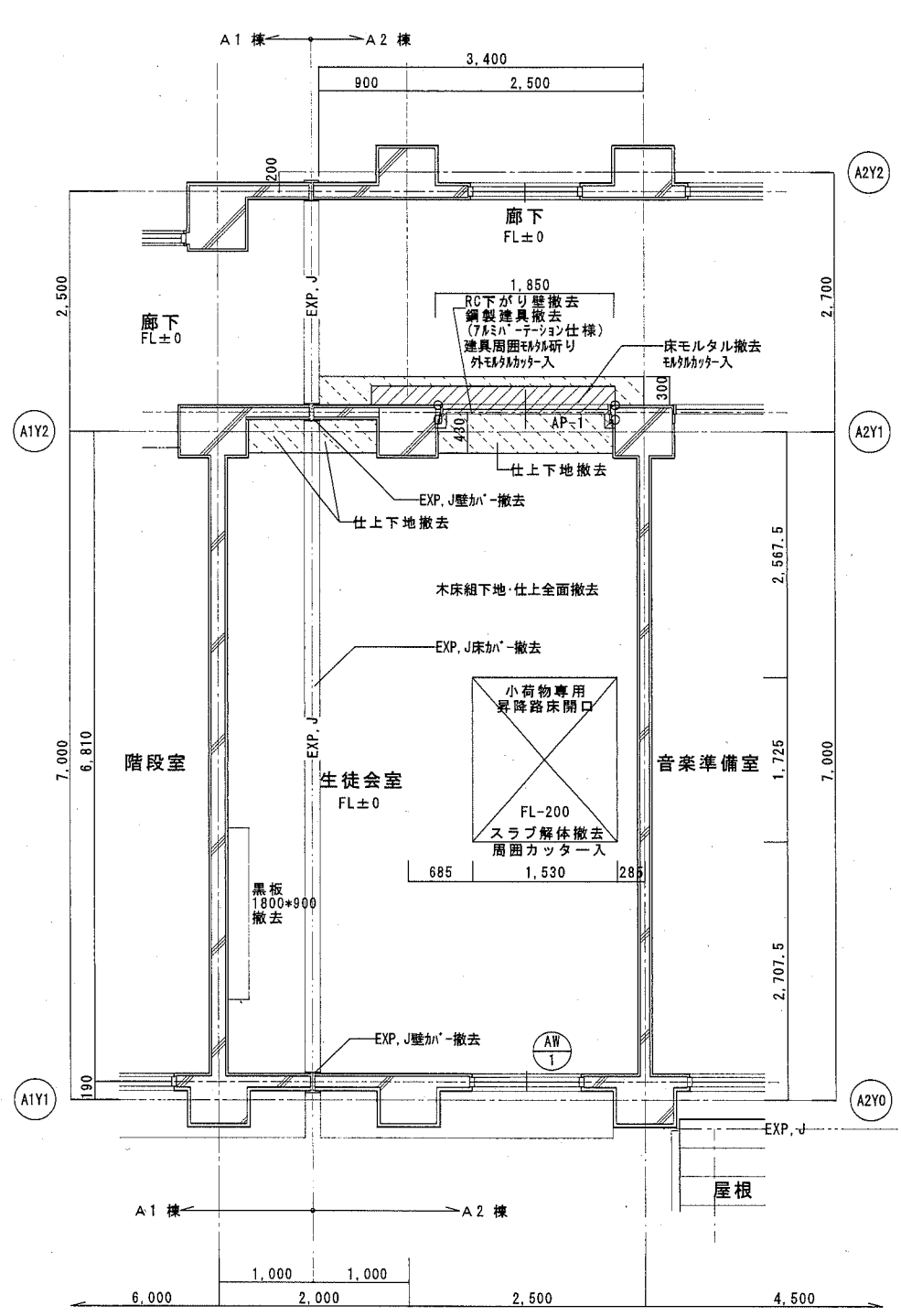
No	名称	数量	備考
①	シンク	1	建築工事
②	掃除用具ロッカー	1	工事対象外
③	SUS製作業台	1	工事対象外
④	換気扇	1	機械設備工事

※備品の配置は参考

2階 配膳室・廊下 改修平面図 1/50

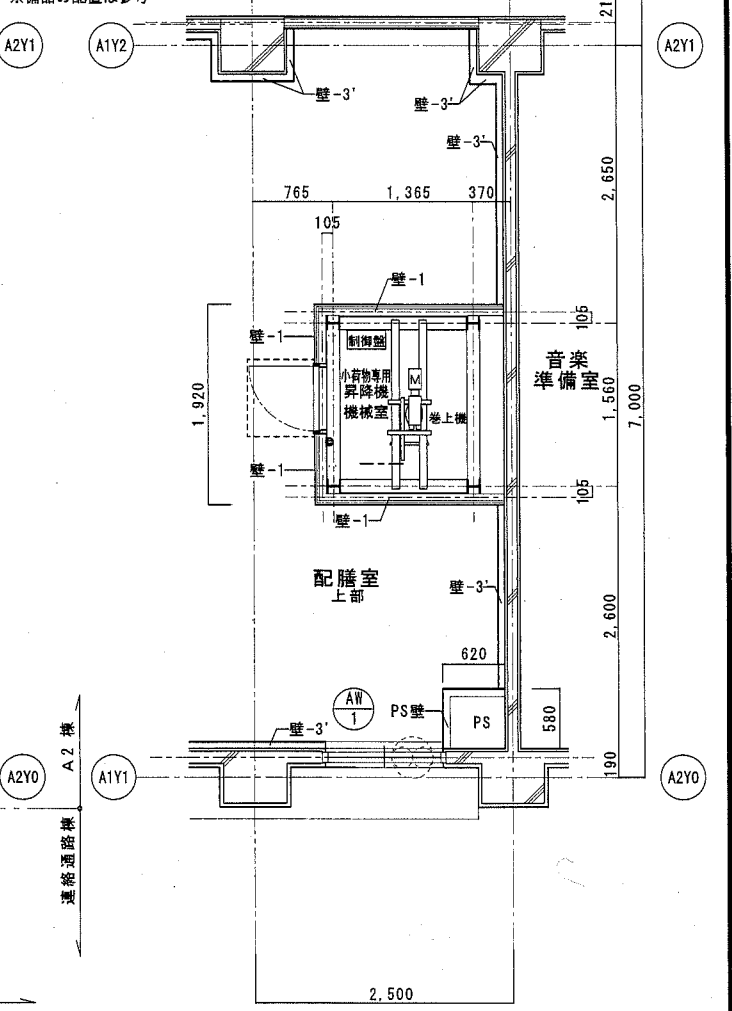
床	鋼製床組下地、針葉樹構造用合板t15+ラワン構造用合板t15捨張 (全高=200)	
出入口前	下地調整の上ビニシートt2.0 (耐動荷重性・抗菌) <td>ビニシートt2.0 (耐動荷重性・抗菌)</td>	ビニシートt2.0 (耐動荷重性・抗菌)
巾木	ラワン合板t9.0増張、ビニ巾木 H300	
壁	壁-1: LGS (65) 下地、強化石膏ボードt21*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0	
	壁-2: LGS (65) 下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面、化粧珪酸カルシウム板t6.0	
	壁-3: LGS (65) 下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0	
	PS壁: LGS (65) 下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0	
	連絡通路側側壁面: 既存壁面に既存壁面に珪酸カルシウム板t6.0増張り、化粧珪酸カルシウム板t6.0	
天井	LGS (19) 下地、化粧石膏ボードt9.5、廻縁塩t製	
備考	ライン壁、SUS製流し台、EXP, J内部カバー (床・壁・天井): 新設復旧	
	HD-1新設、室名札、アルミカーテンボックス、壁点検口70x70mm廻縁塩t300角: 1ヶ所	

床	下地調整の上ビニシートt2.5 (コイン)	
巾木	壁新設面 (壁-2) 塩ビ製 (H100)	既存面 (柱・袖壁コンクリート面) 下地調整の上 EP-G (H100)
壁	壁新設面 (壁-2) LGS (65) 下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面、EP-G	HD-1上部新設フが壁 壁-6: LGS (65) 下地、強化石膏ボードt12.5*5/片面、EP-G差
天井	LGS (19) 下地強化石膏ボードt9.5、廻縁塩t製	既存面 (柱・袖壁コンクリート面) 下地調整の上 EP-G
備考		



配膳室 設備・備品				廊下 FL±0
No	名称	数量	備考	
①	シンク	1	建築工事	
②	掃除用具ロッカー	1	工事対象外	
③	SUS製作業台	1	工事対象外	
④	換気扇	1	機械設備工事	

※備品の配置は参考



部材	仕様	取扱い
床	木床組下地フローリングt150SW	全面撤去
	出入口前モザイクt30下地、ビニシート	仕上/撤去
巾木	木製t24(H100)EP-G	既存のまま
壁	コンクリート面 モルタル下地EP-G	既存のまま
天井	LGS下地、ラワン合板t4.0、EP 廻縁塩ビ製	全面撤去
	梁型 モルタル下地EP-G	既存のまま
		一部撤去
備考	EXP、J内部カバー(床・天井)	撤去
	黒板	撤去

部材	仕様	取扱い
床	モルタル下地ビニシートt2.5(コイン)	仕上/撤去
巾木	コンクリート面 モルタル下地EP-G(H100)	既存のまま
壁	コンクリート面 モルタル下地EP-G	既存のまま
	建具上下り壁 木下地ラスモルタルEP-G	全面撤去
天井	LGS下地化粧石膏ボードt9.5、廻縁塩ビ製	一部撤去
備考		

部材	仕様	取扱い
床	鋼製床組下地、針葉樹構造用合板t15+ラワン構造用合板t15捨張(全高≒200)	
	ビニシートt2.0(耐動荷重性・抗菌)	
	出入口前 下地調整の上ビニシートt2.0(耐動荷重性・抗菌)	
巾木	ラワン合板t9.0下地、ビニ巾木 H300	
壁	壁-1:LGS(65)下地、強化石膏ボードt21*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0	
	壁-2:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面、化粧珪酸カルシウム板t6.0	
	壁-3':LGS(65)下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0	
天井	PS壁:LGS(65)下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0	
	LGS(19)下地、化粧石膏ボードt9.5、廻縁塩ビ製(共通)	
備考	機械室点検口部折上天井:LGS(19)下地、化粧石膏ボードt9.5	
	ライオン壁、SUS製流し台、EXP、J内部カバー(床・壁・天井):新設復旧、室名札、HD-1新設	
	7Mカーテンボックス、天井点検口7M×額縁947 450角:2ヶ所、壁点検口7M×額縁947 300角:2ヶ所	

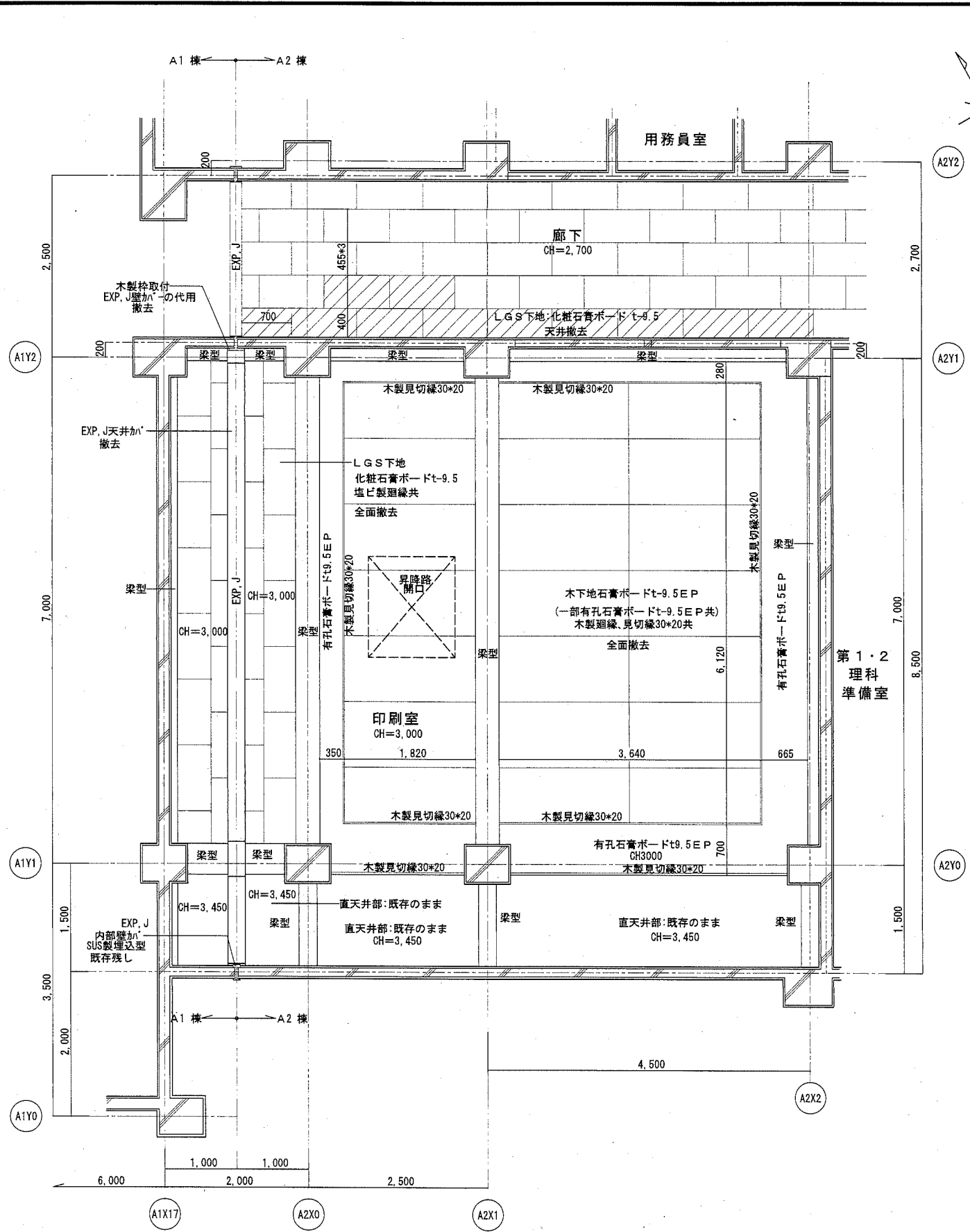
部材	仕様	取扱い
床	下地調整の上ビニシートt2.5(コイン)	
巾木	壁新設面(壁-2)塩ビ製(H100)	
	既存面(柱コンクリート面) 下地調整の上EP-G(H100)	
壁	壁新設面(壁-2) LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面、EP-G	
	HD-1上部新設7ヶ所 壁-6:LGS(50)下地、強化石膏ボードt12.5*5/片面、EP-G塗	
	既存面(柱コンクリート面) 下地調整の上EP-G	
天井	LGS下地化粧石膏ボードt9.5、廻縁塩ビ製	
備考		

3階 配膳室・廊下 既存平面図 1/50

3階 配膳室・廊下 改修平面図 1/50

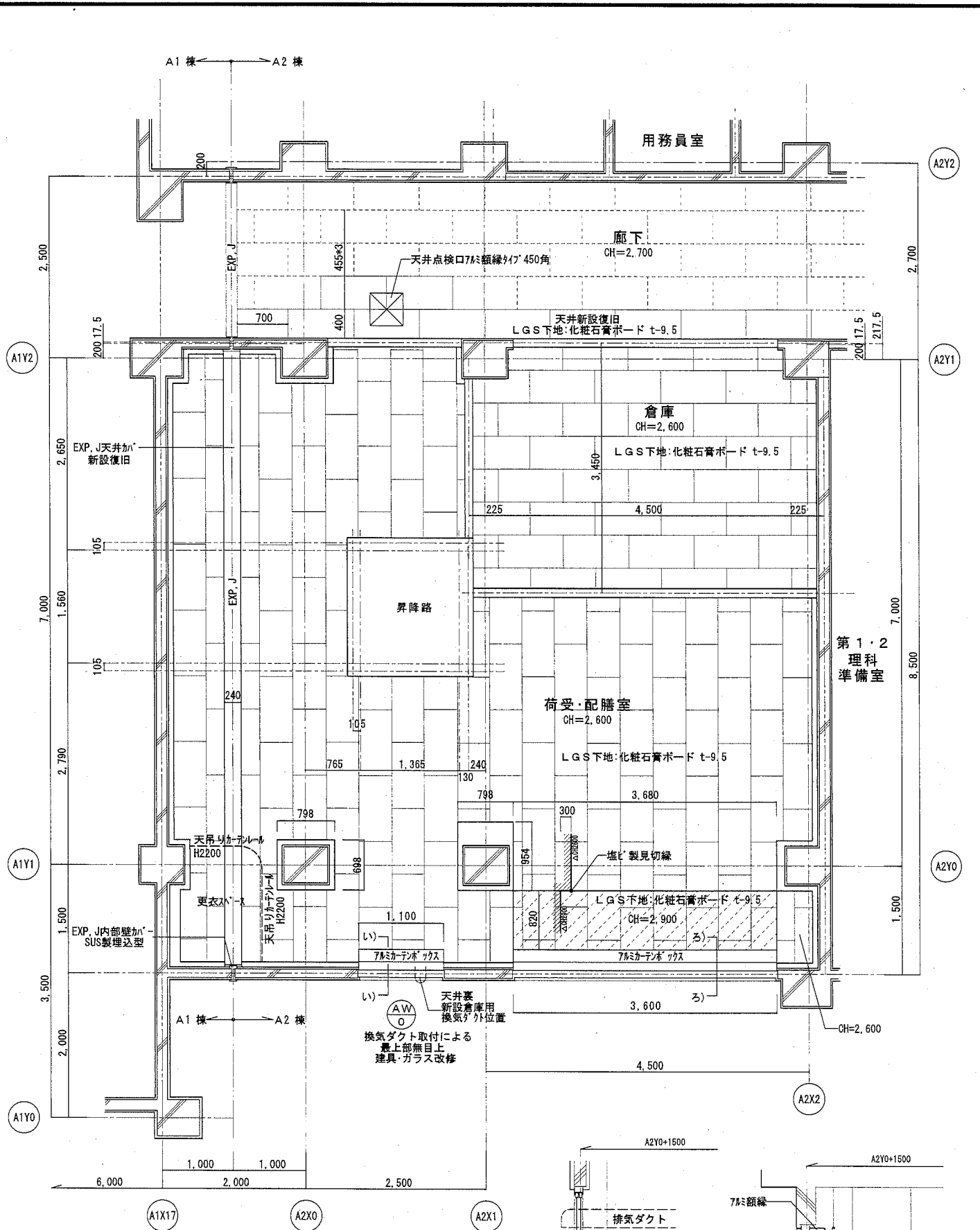
○壁面の解体撤去のカッター入れ部分を示す  
 スラブ解体は切断面の鉄筋を表しとし復旧する際は昇降路鉄骨梁上のスタッドに定着させる





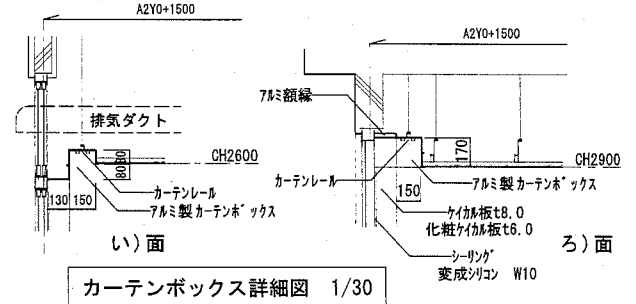
スラブ解体撤去位置 梁型(内装用吹付仕上):既存のまま  
直天井(スラブ下仕上):既存のまま

1階 荷受・配膳室・廊下 既存天井伏図 1/50



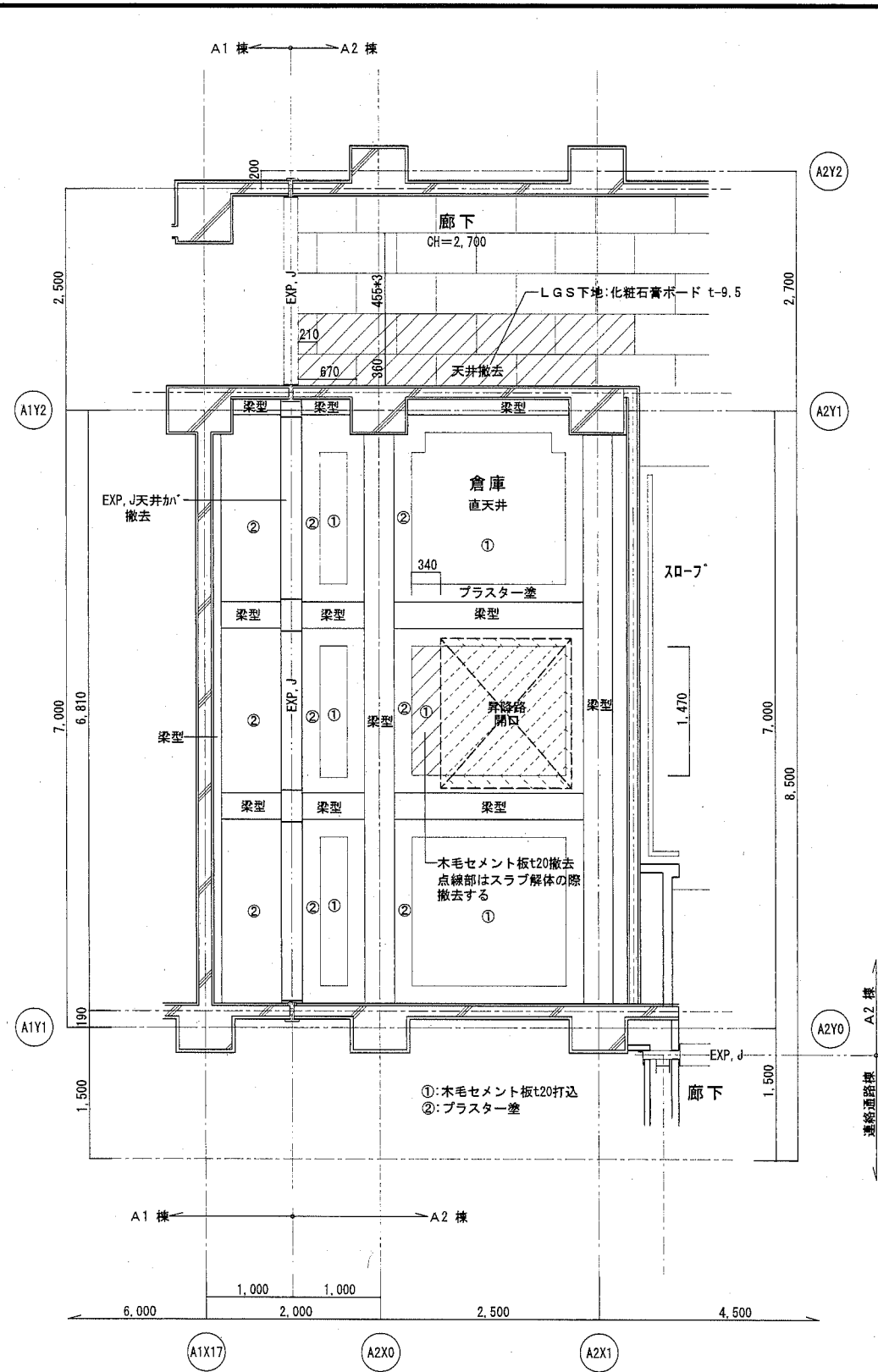
天井点検口450角7M製額縁タイプ1ヶ所  
※天井点検口の位置は、監督員と協議による。

1階 荷受・配膳室・廊下 改修天井伏図 1/50



カーテンボックス詳細図 1/30

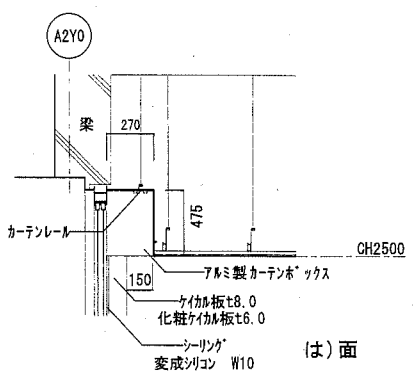
公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	A棟 1階荷受・配膳室・廊下 天井伏図 (既存・改修)	図示	A-17
							No.



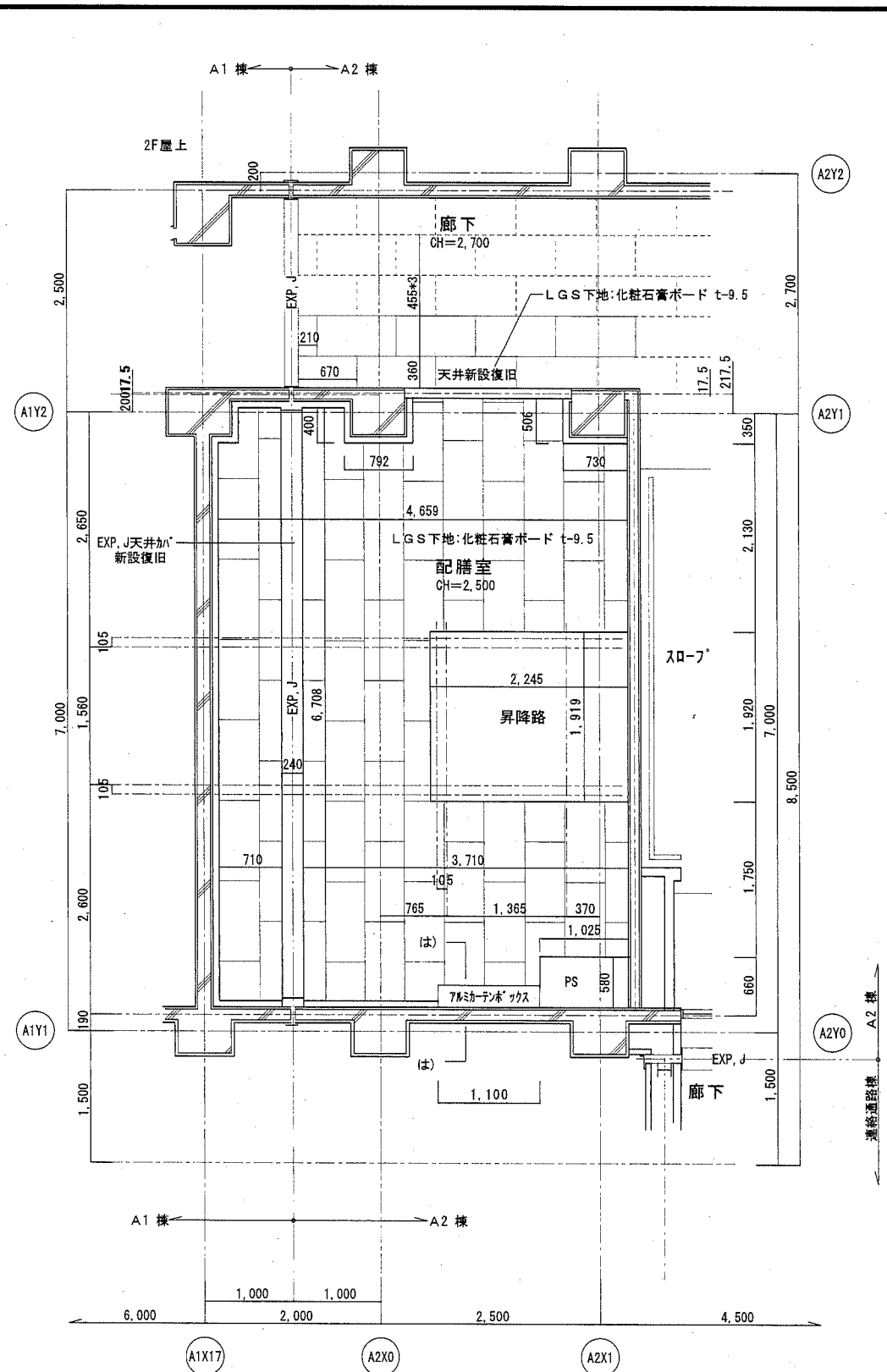
スラブ解体撤去位置

①: 木毛セメント板t20打込  
②: プラスター塗

2階 配膳室・廊下 既存天井伏図 1/50

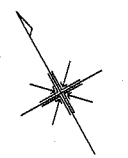


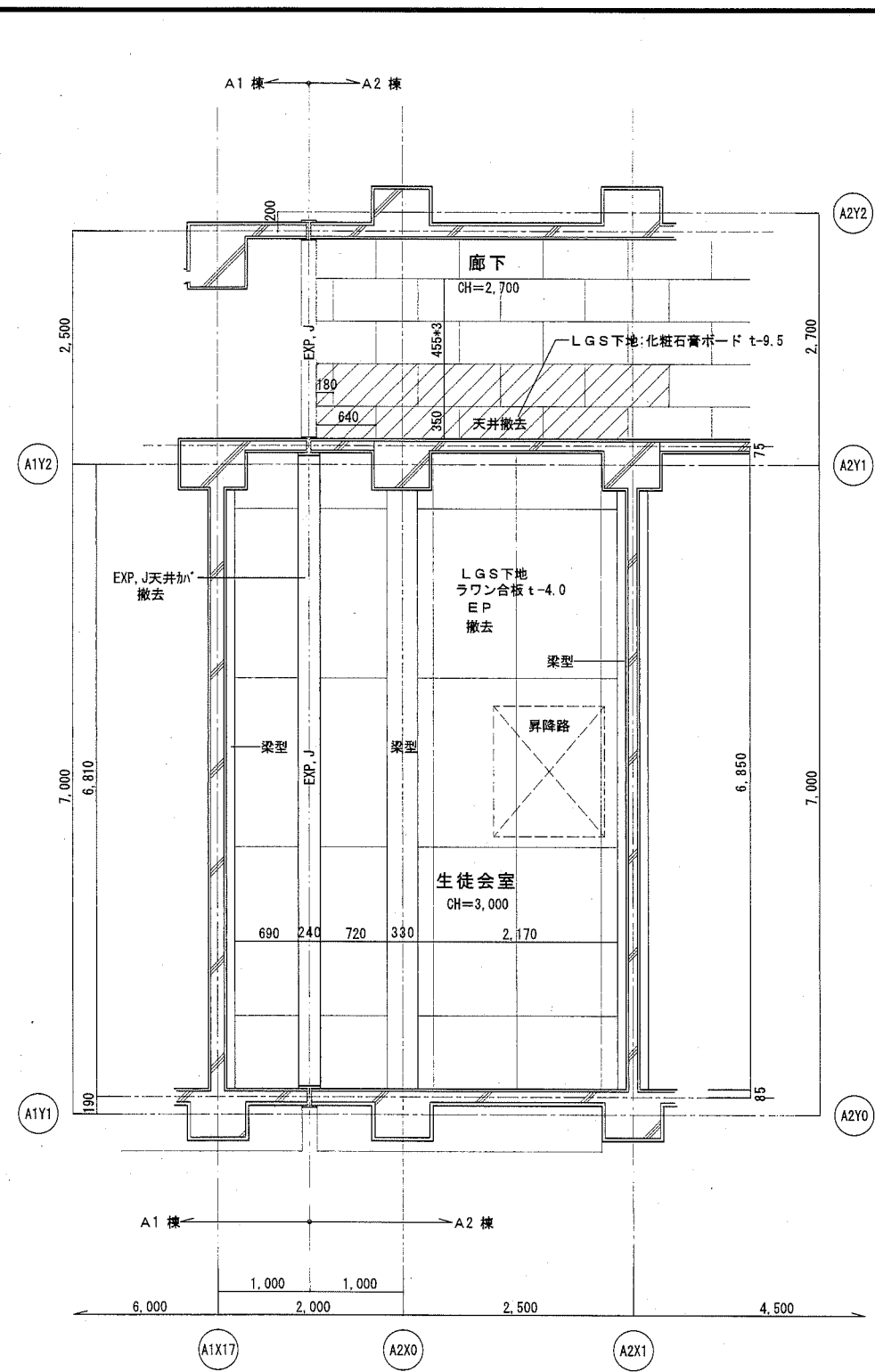
カーテンボックス詳細図 1/30



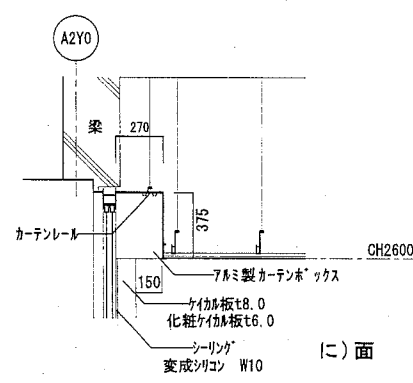
天井点検口450角7mmミ製縦線475ヶ所  
※天井点検口の位置は、監督員と協議による。

2階 配膳室・廊下 改修天井伏図 1/50

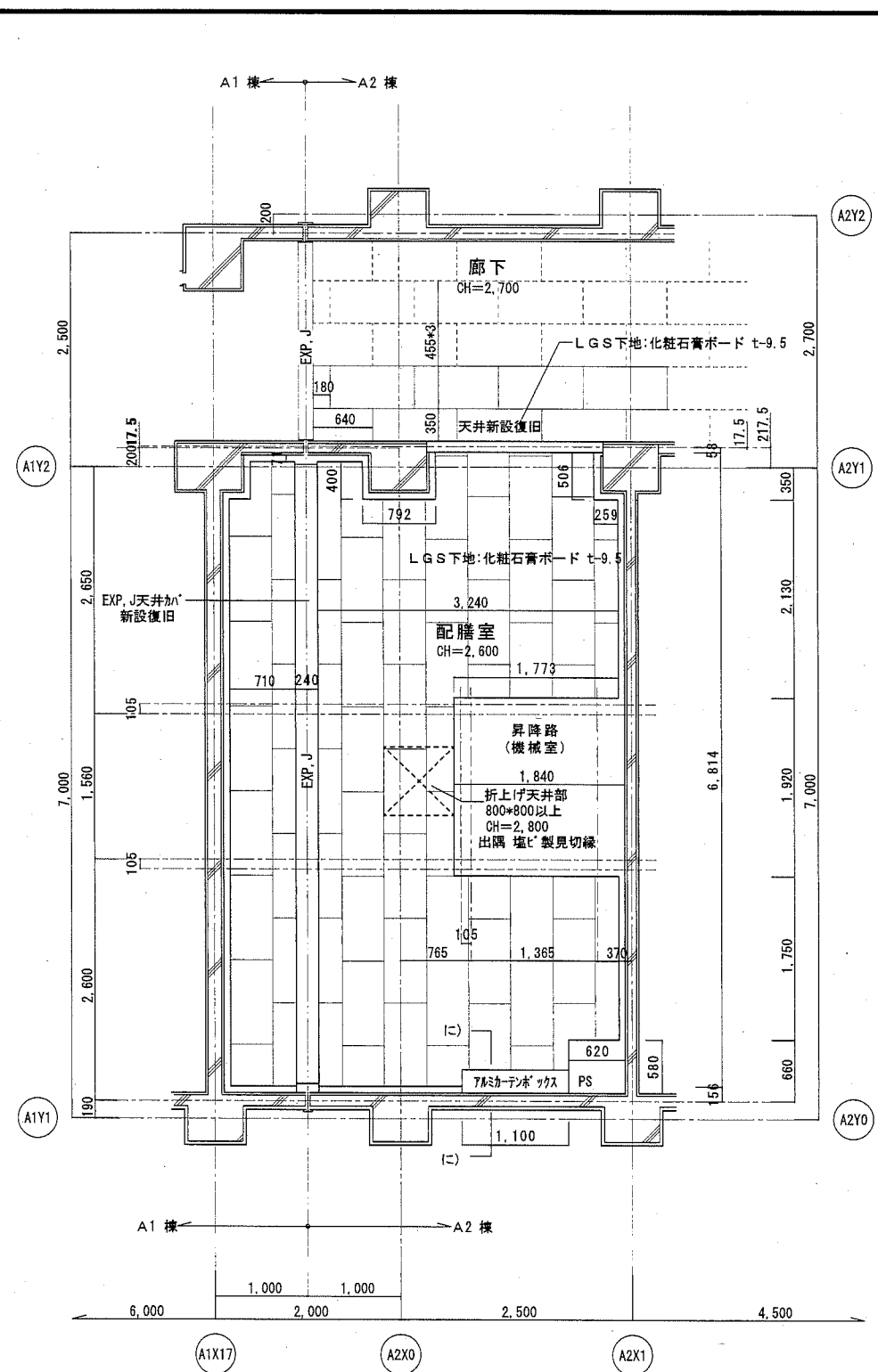
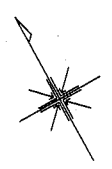




3階 配膳室・廊下 既存天井伏図 1/50



カーテンボックス詳細図 1/30

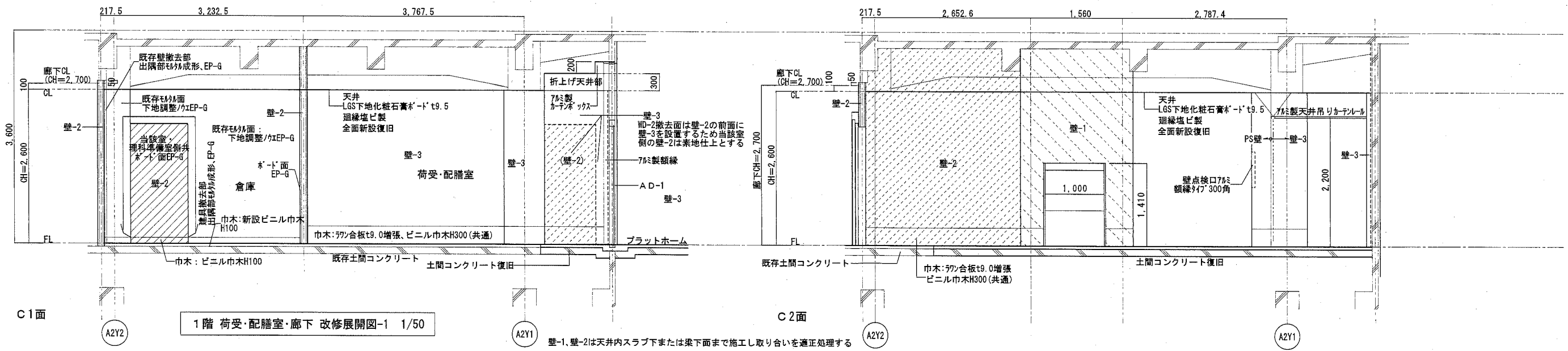
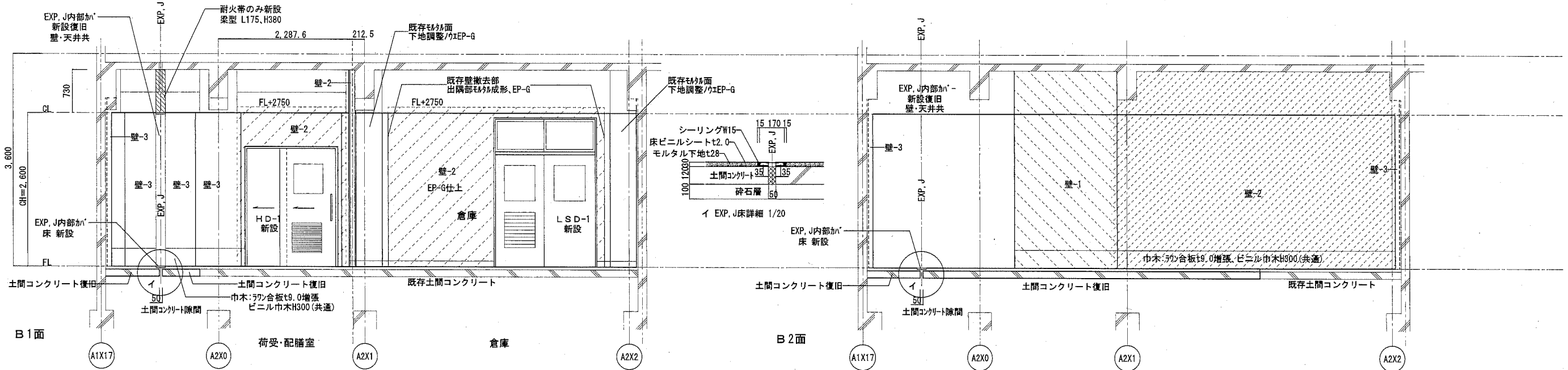
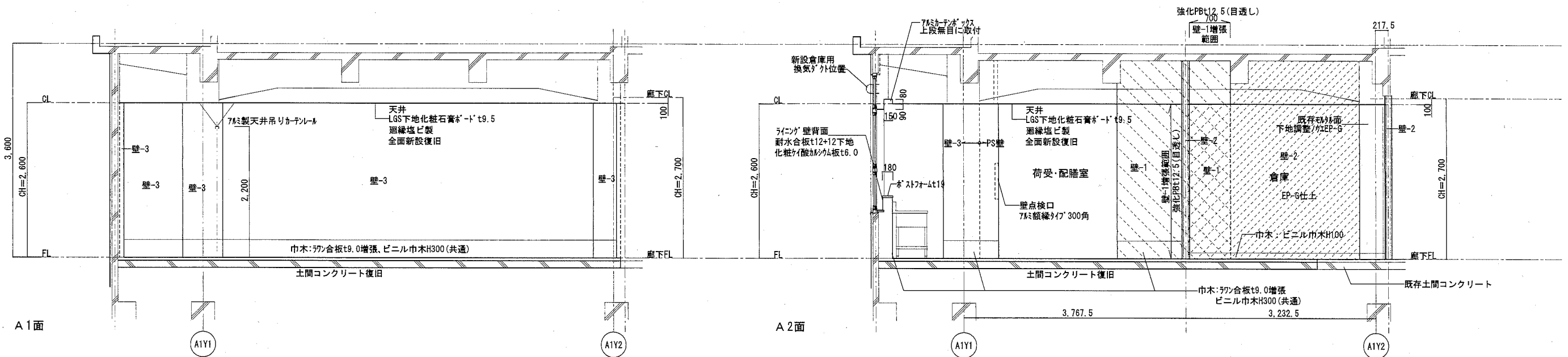


3階 配膳室・廊下 改修天井伏図 1/50

天井点検口450角7Mミ額縁317'2ヶ所  
 ※天井点検口の位置は、監督員と協議による。

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-19
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	A棟 3階配膳室、廊下 天井伏図 (既存・改修)	図示	



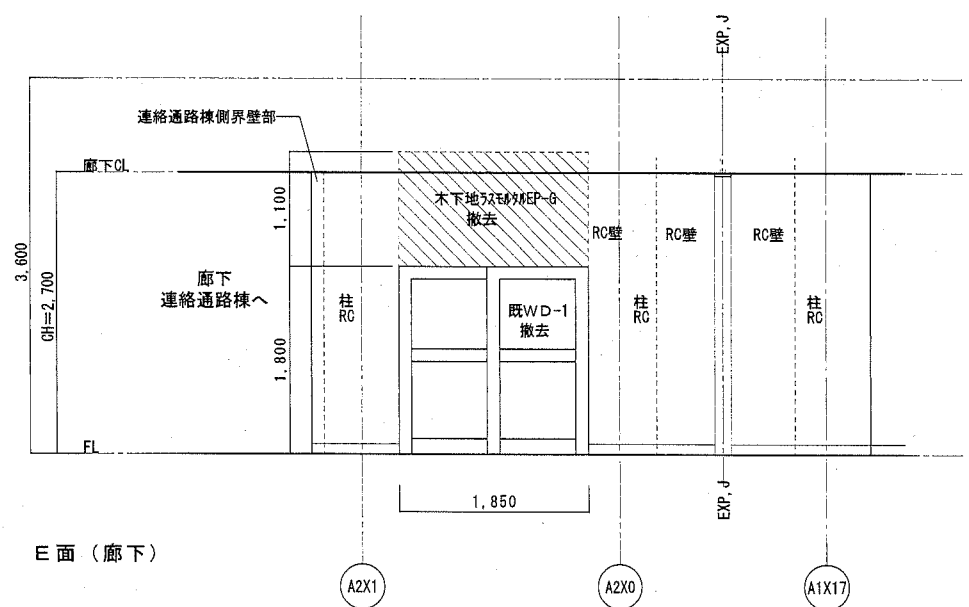
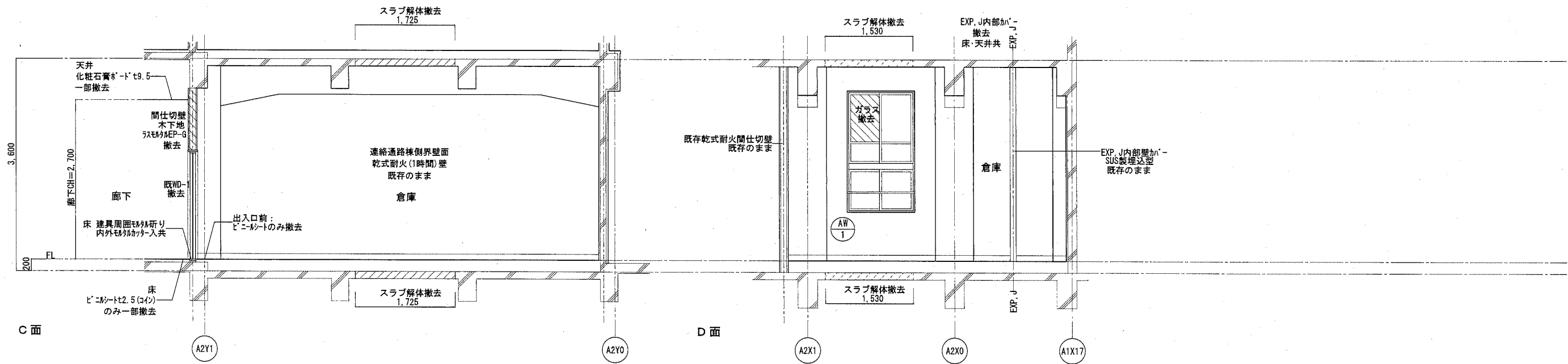
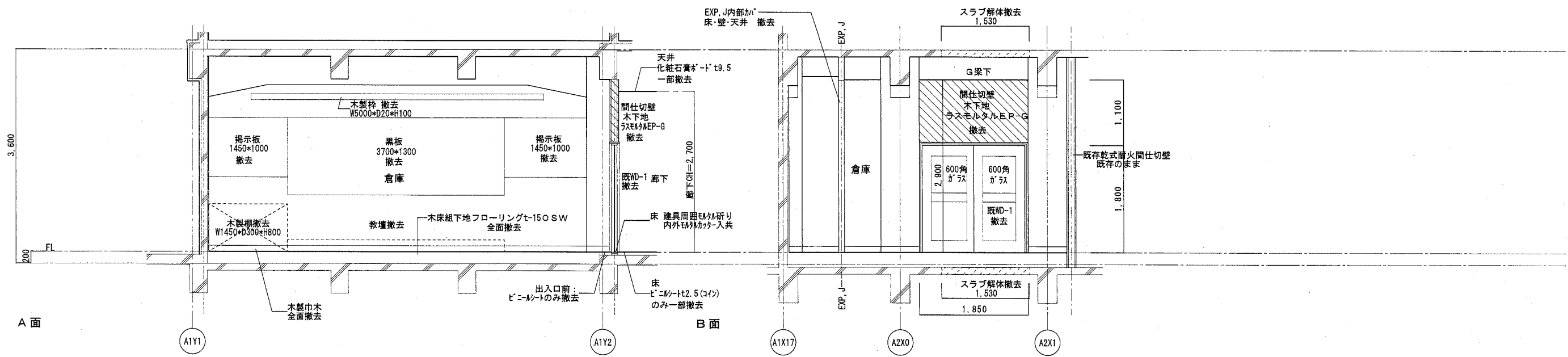


1階 荷受・配膳室・廊下 改修展開図-1 1/50

壁-1、壁-2は天井内スラブ下または梁下面まで施工し取り合いを適正処理する

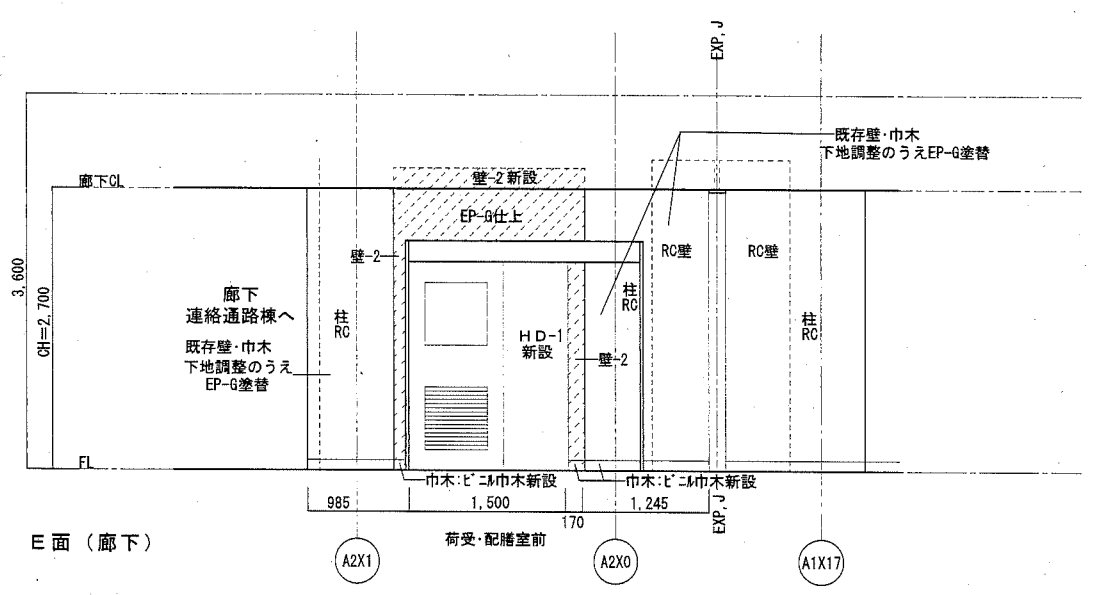
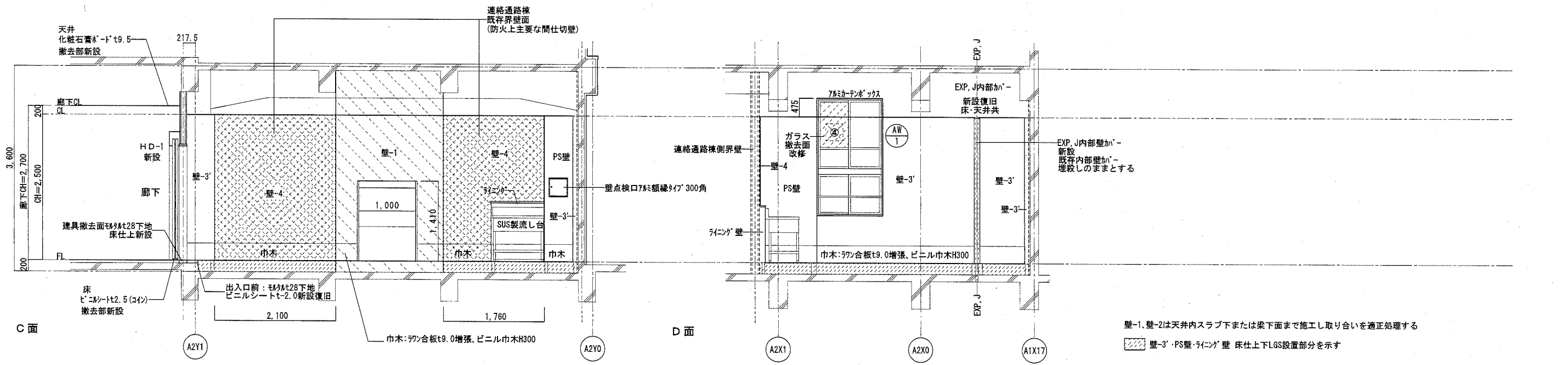
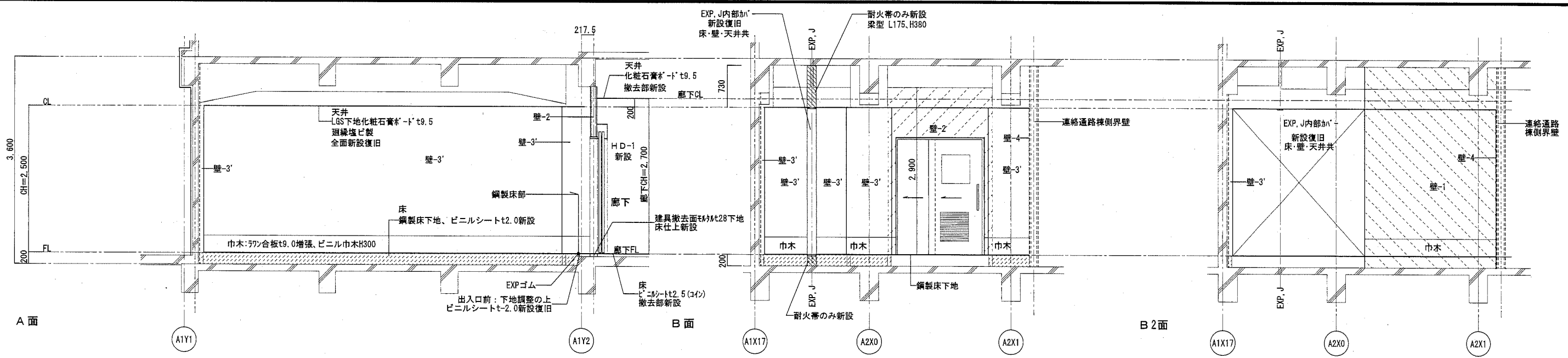
公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50	A-21
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	A棟 1階荷受・配膳室・廊下 展開図-2 (改修-1)			No.





2階 配膳室・廊下 既存展開図 1/50

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-23
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 A棟 2階配膳室・廊下 展開図-1(既存)	1/50	

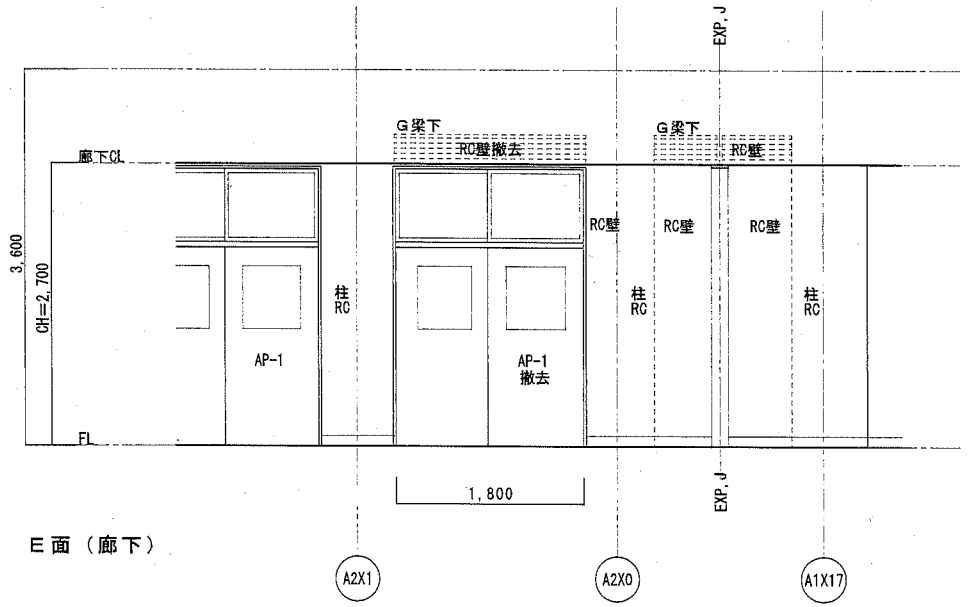
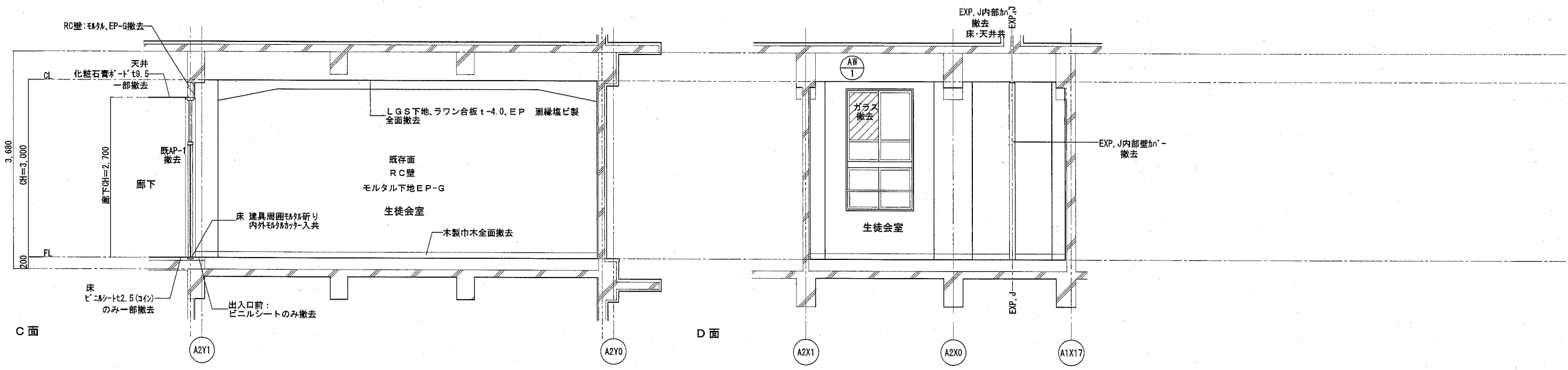
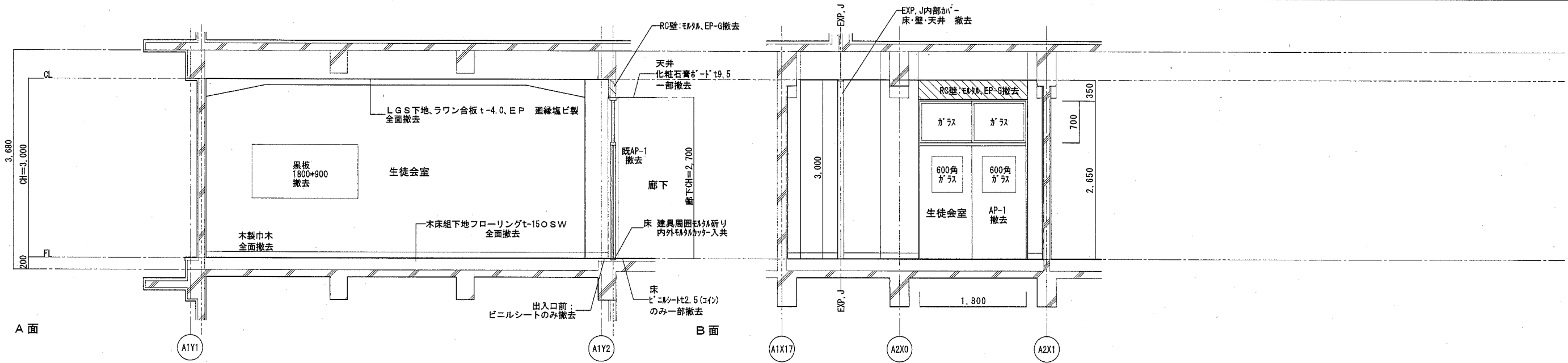


2階 配膳室・廊下 改修展開図 1/50

壁-1、壁-2は天井内スラブまたは梁下面まで施工し取り合いを適正処理する  
 壁-3・PS壁・ライノグ壁 床仕上下LGS設置部分を示す

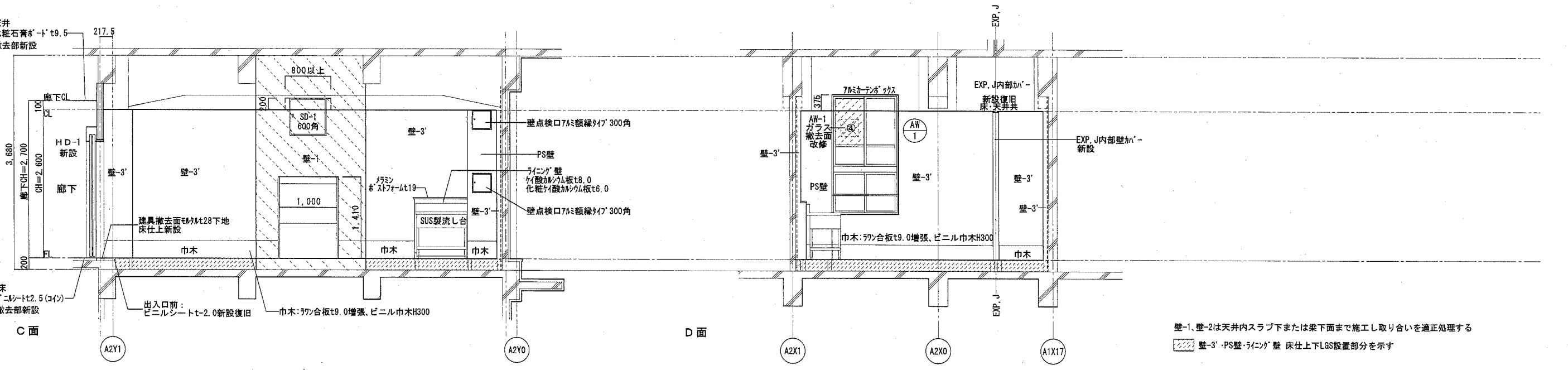
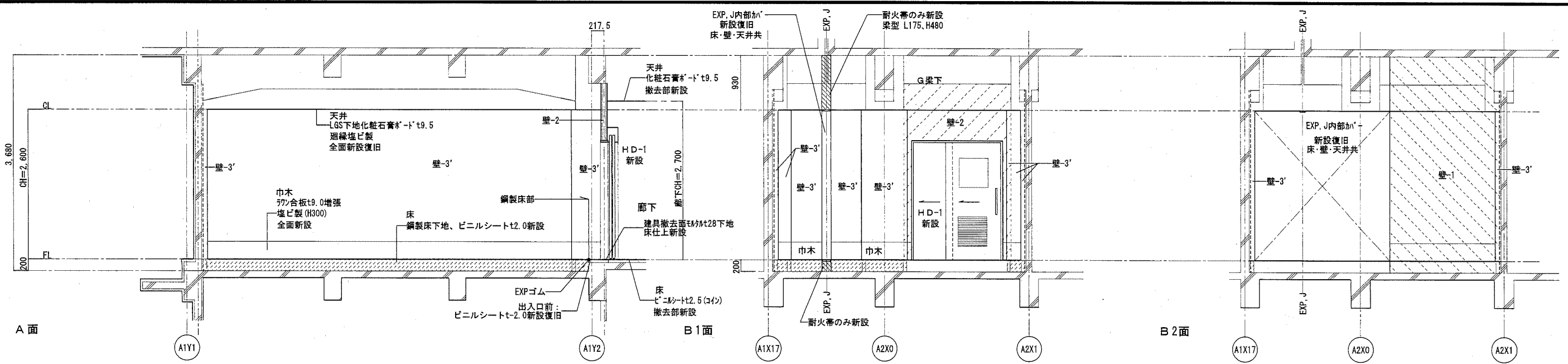
公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50	A-24
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	A棟 2階配膳室・廊下 展開図-2 (改修)			No.



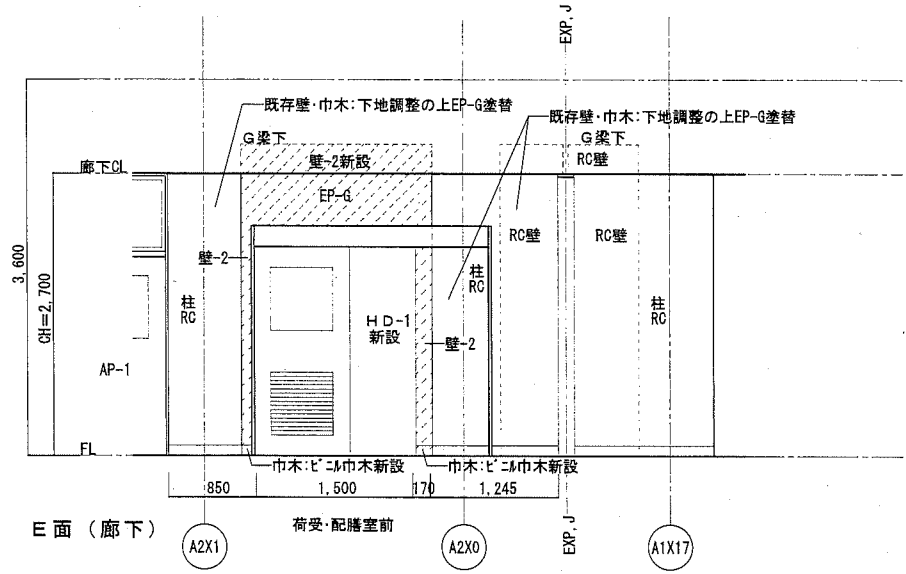


3階 配膳室・廊下 既存展開図 1/50

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-25
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 A棟 3階配膳室・廊下 展開図-1 (既存)	1/50	
						No.

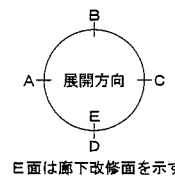


壁-1、壁-2は天井内スラブまたは梁下面まで施工し取り合いを適正処理する  
 壁-3・PS壁・ライニング壁 床仕上下LGS設置部分を示す

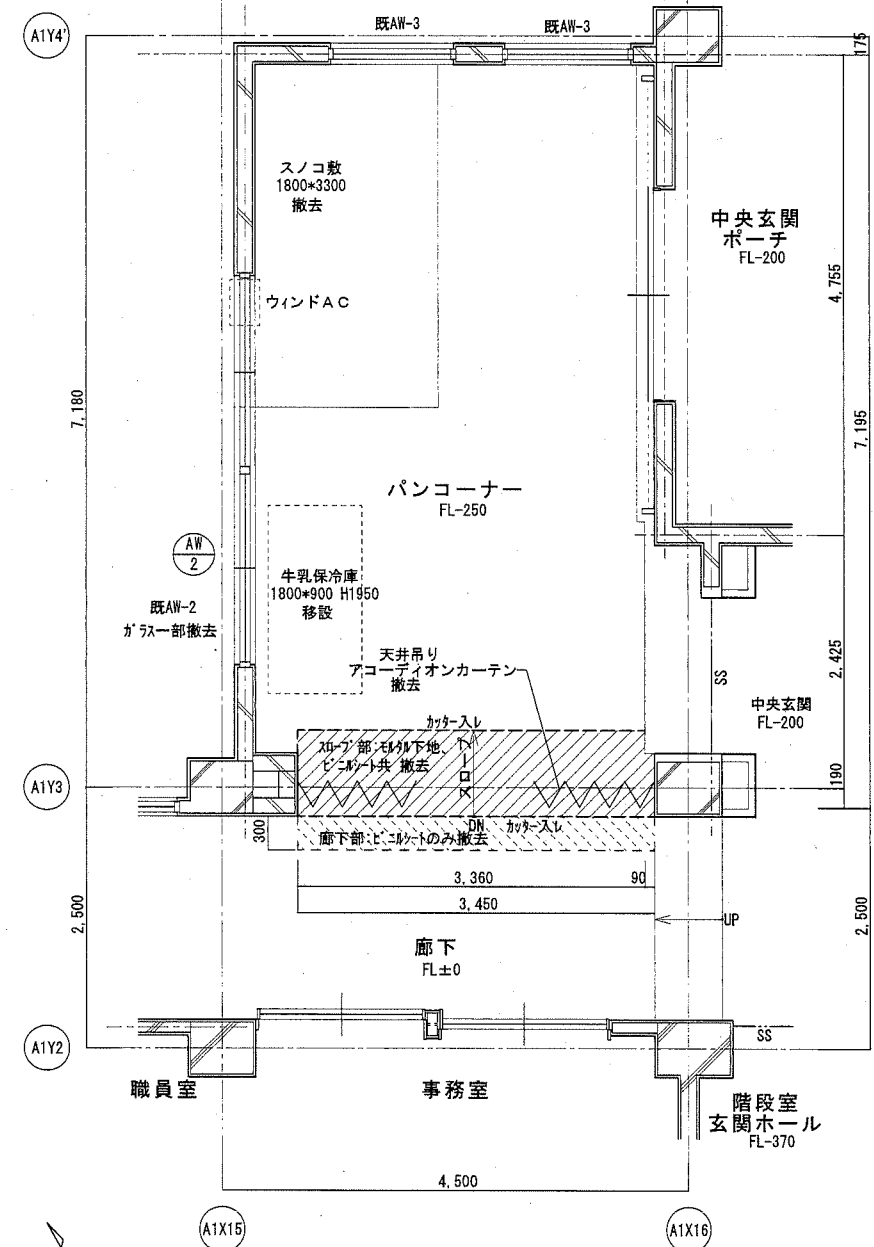


3階 配膳室・廊下 改修展開図 1/50

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50	A-26
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	A棟 3階配膳室・廊下 展開図-2 (改修)			No.



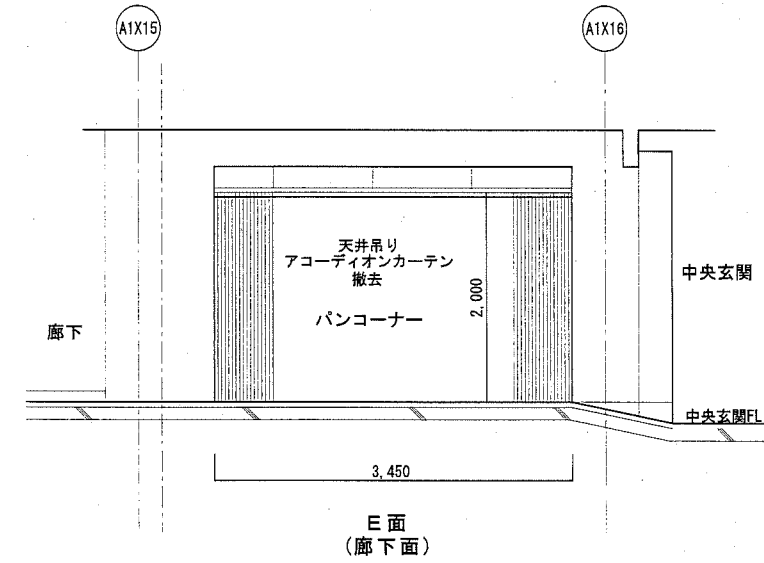
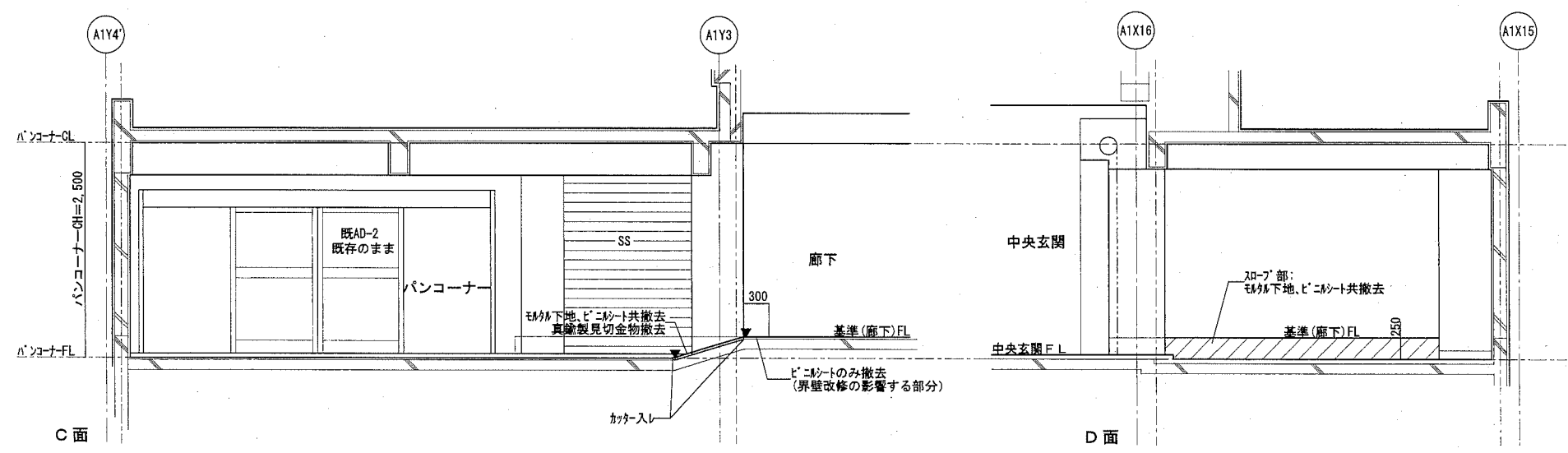
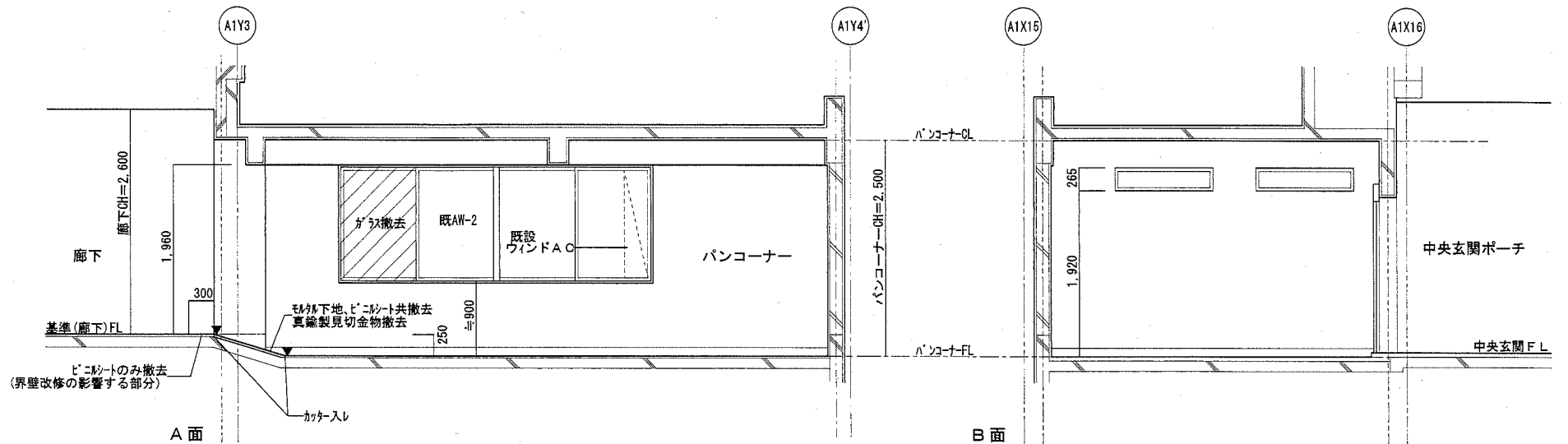
E面は廊下改修面を示す

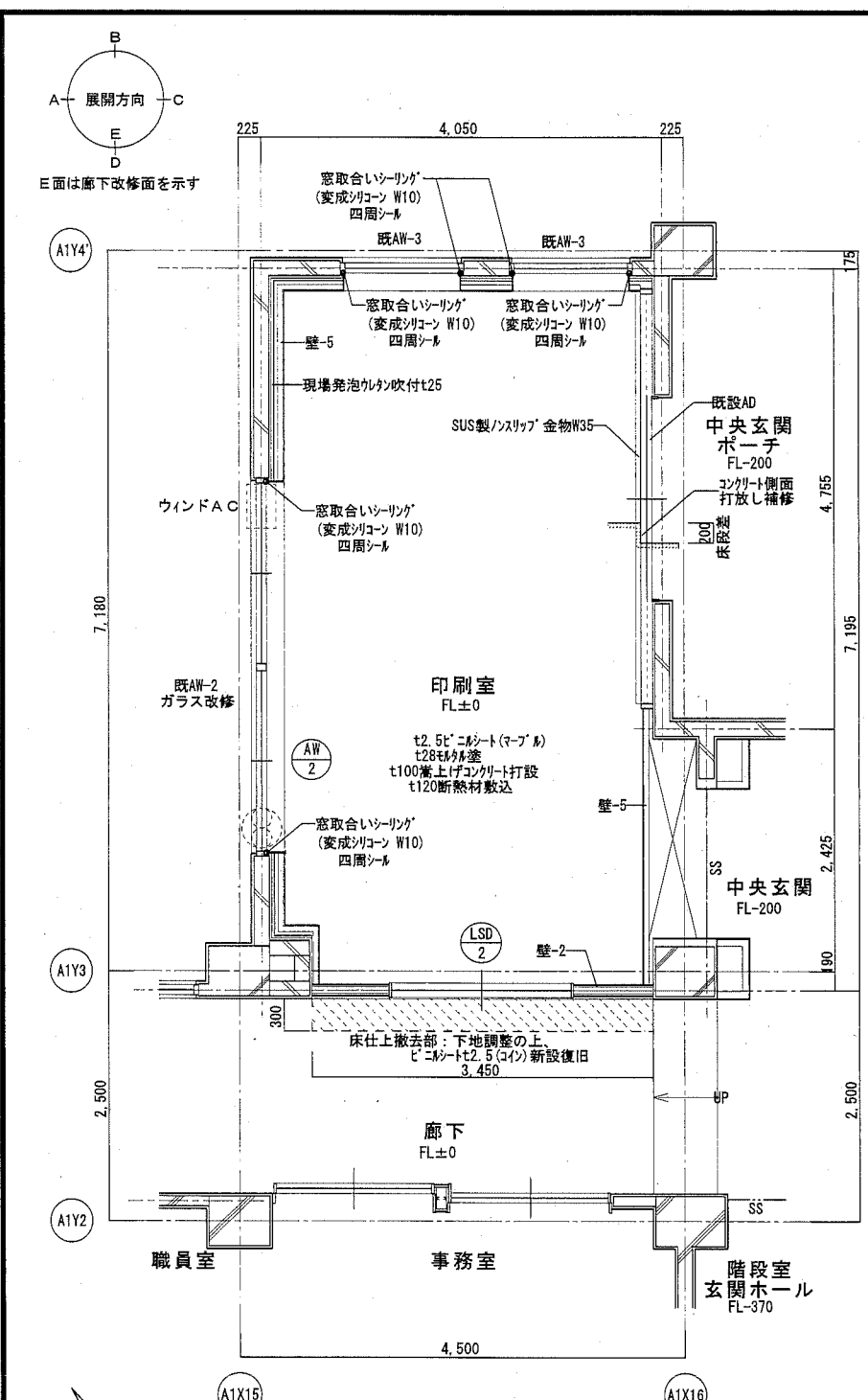


1階 印刷室 既存平面図 1/50

パンコーナー 内部仕上表		
床	スロープ 土間コンクリート、モルタル下地ビニルシートt2.5(コイン) 上記以外 土間コンクリート、モルタル下地塗床仕上	全面撤去 一部撤去 既存のまま
巾木	モルタル下地E-P-G(一部テラゾー塗)	既存のまま
壁	モルタル下地E-P-G	既存のまま
天井	コンクリートスラブ下 モルタル下地E-P(梁型共)	既存のまま
備考	天井吊りアコーディオンカーテン すのこ	全面撤去 撤去

- 撤去内容
- ・スロープ部のモルタル下地、仕上を撤去する。
  - ・印刷室-廊下界壁面の施工のため廊下部床・壁仕上を撤去する  
必要に応じてカッター入れを行う
  - ・天井吊りアコーディオンカーテンを撤去する
  - ・展開図C面においては解体撤去なし

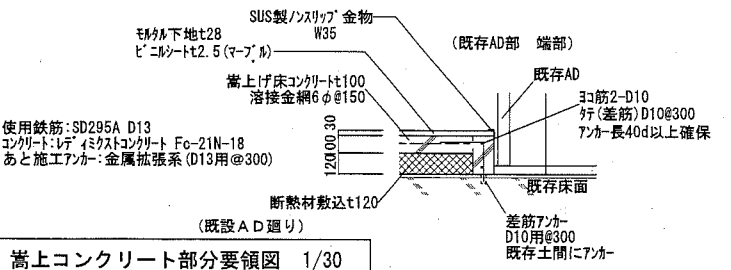
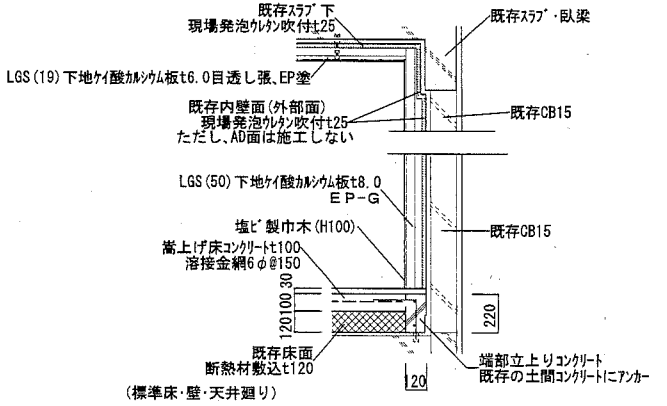
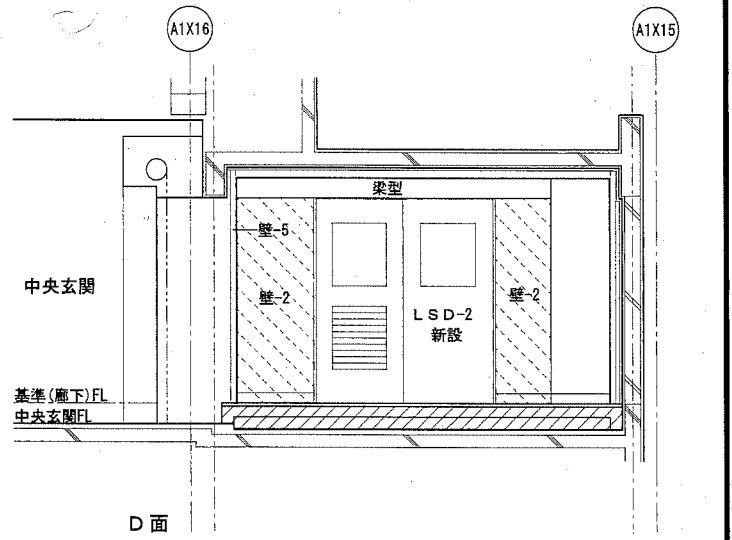
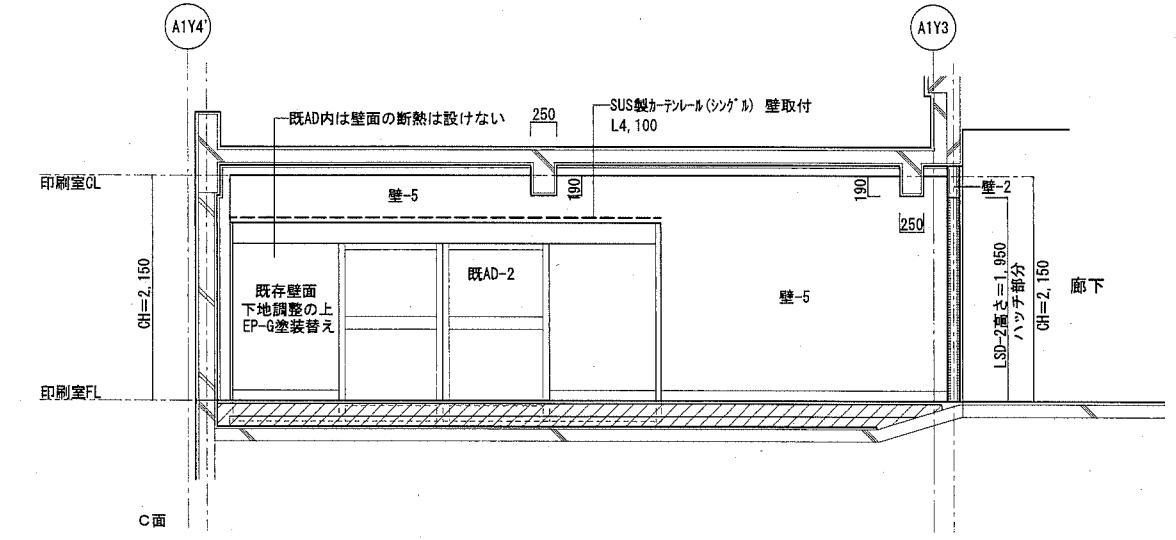
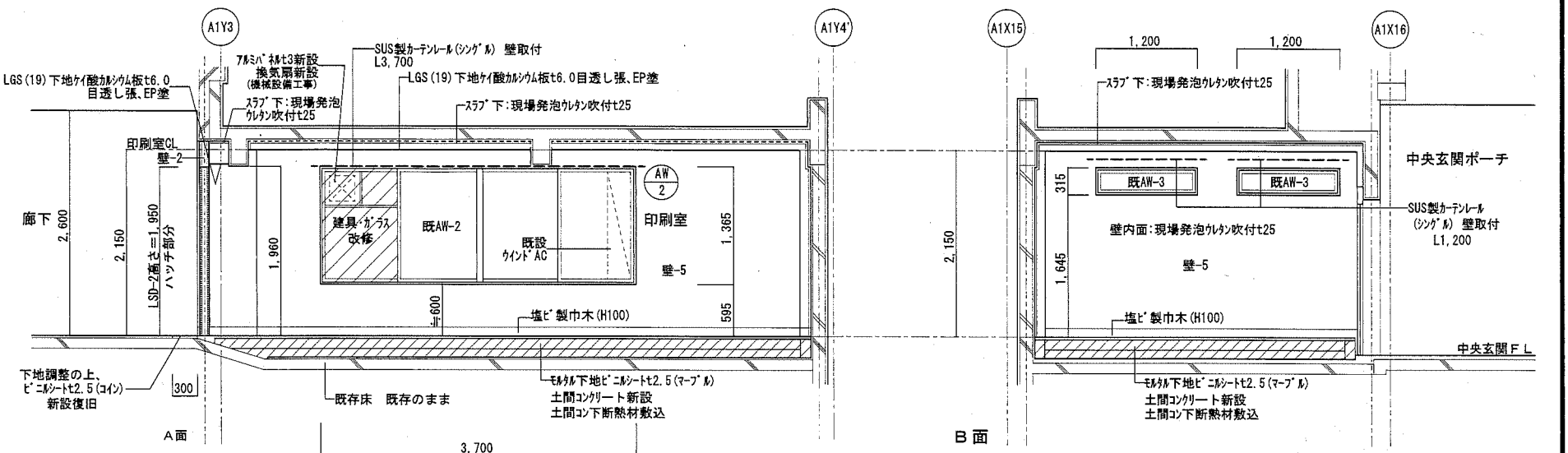




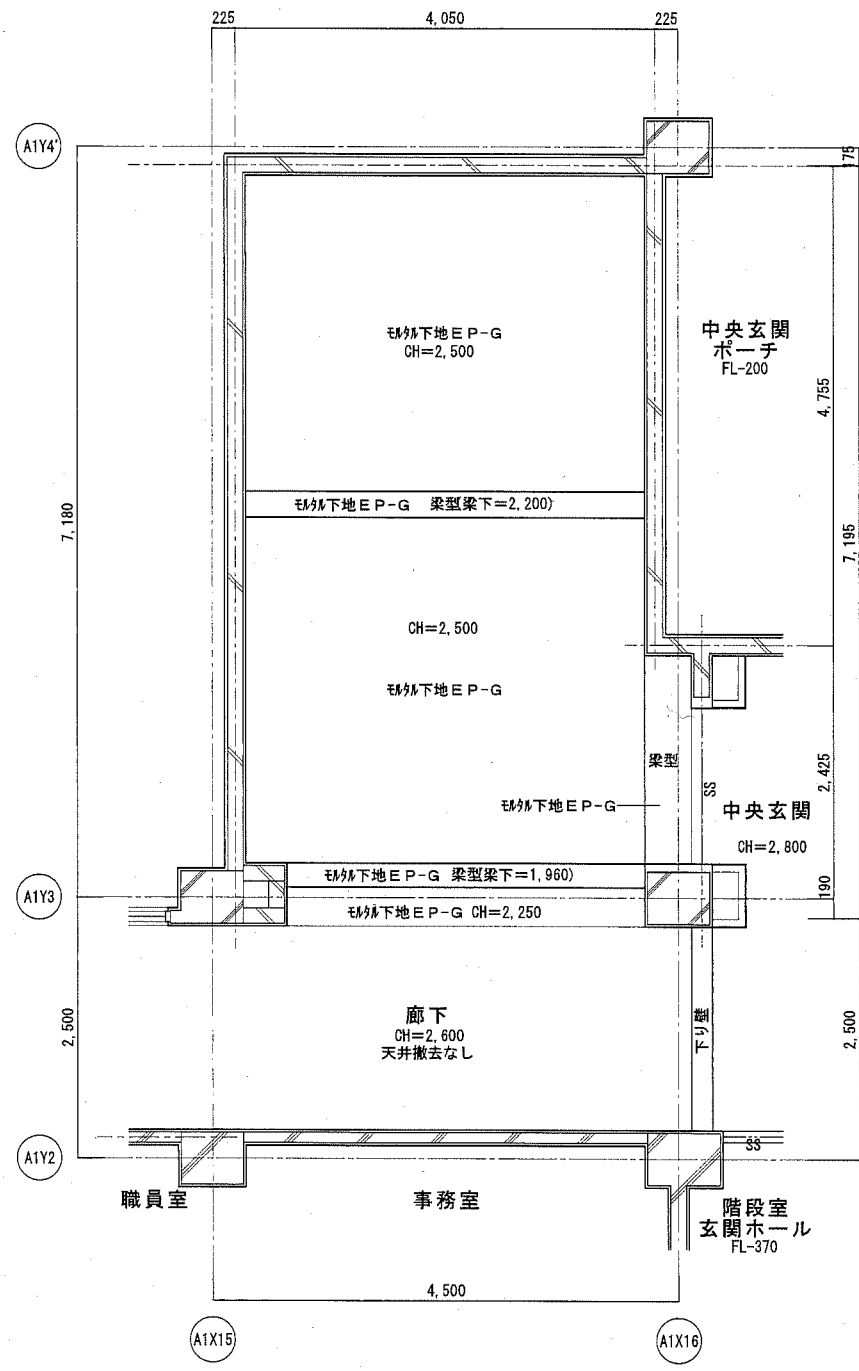
1階 印刷室 改修平面図 1/50

- 改修内容
- 廊下と印刷室を防火上主要な間仕切りで区画する
  - 廊下へ床を上げる
  - 湿気対策として床・壁・天井の断熱改修を行う (換気設備の設置もあわせて行う)
  - 床・壁・天井等によりハツリ撤去した部位はモルタル等により補修復旧する
  - 既存床下補修を復旧する

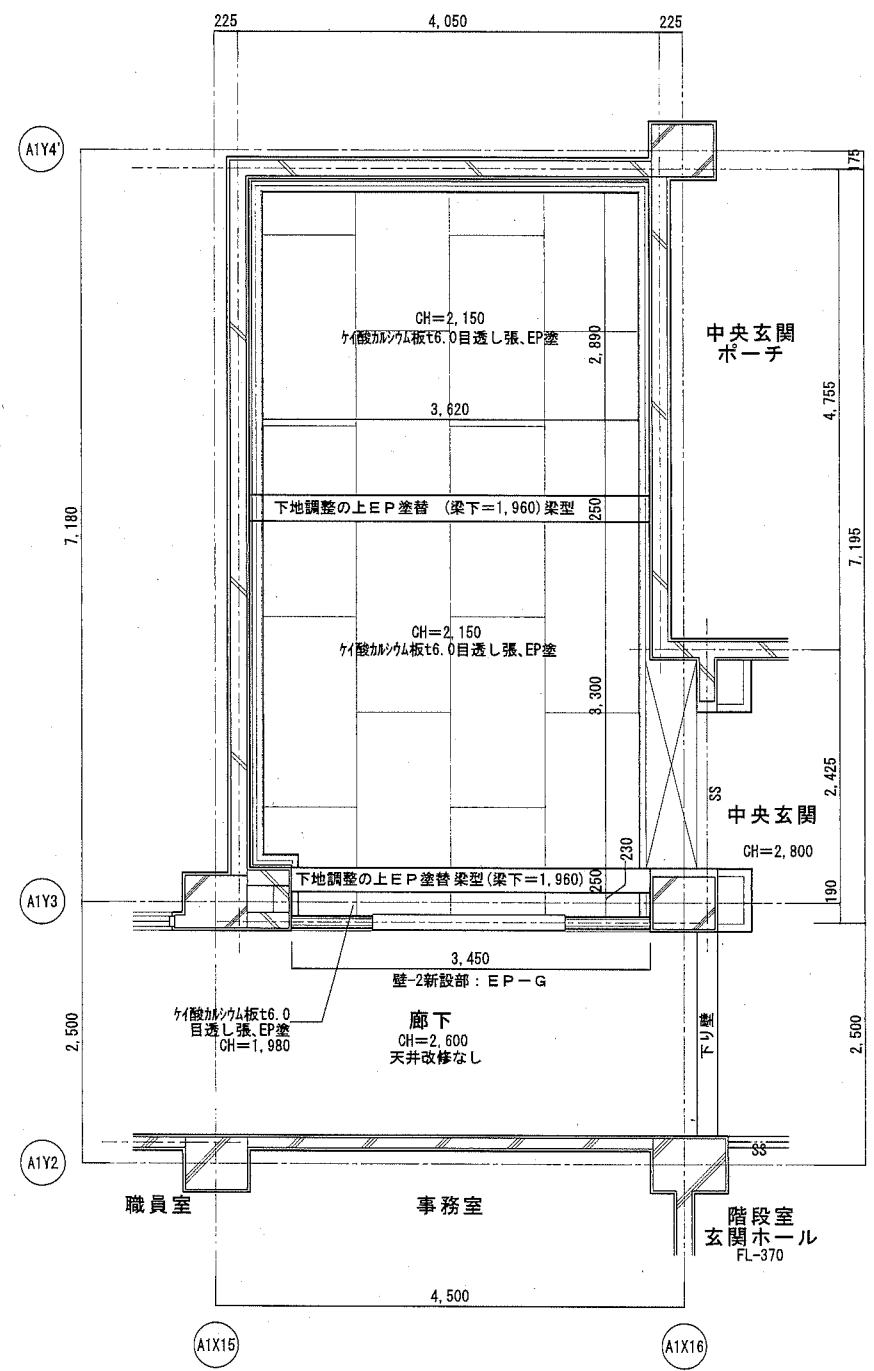
印刷室 内部仕上表	
床	既存床仕上の上に断熱材 (ポリスチレン) t120敷込 嵩上げコンクリートt100 (溶接金網φ@150) 打設 モルタルt28下地、ビニシートt2.5 (マーブル)
巾木	塩ビ製 (H100)
壁	壁-2: LGS (65) 強化石膏ボード t12.5*2 (両面)、ケ酸カルシウム板 t6.0 増張、EP-G塗 壁-5: LGS (50) ケ酸カルシウム板 t8.0 (3' * 8' 使用/片面) EP-G塗 塗装面のボードは突付け目地あらかし、3' * 8' を使用する
天井	LGS (19) 下地ケ酸カルシウム板 t6.0 目透し張、EP塗 廻縁: 塩ビ製
梁型	見掛け部 (既存面) 下地調整の上 EP 塗替
備考	LSD-2 新設 外部に面する内壁面は現場発泡ウレタン吹付 コンクリートスラブ下は現場発泡ウレタン吹付 既存AW-2に補強鉄を設置し換気扇取付用7MMハットガラス改修を行う 既設アルミ製引き分け戸、既設鋼製シャッター 既存のまま



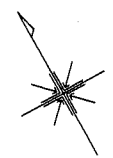
嵩上コンクリート部分要領図 1/30



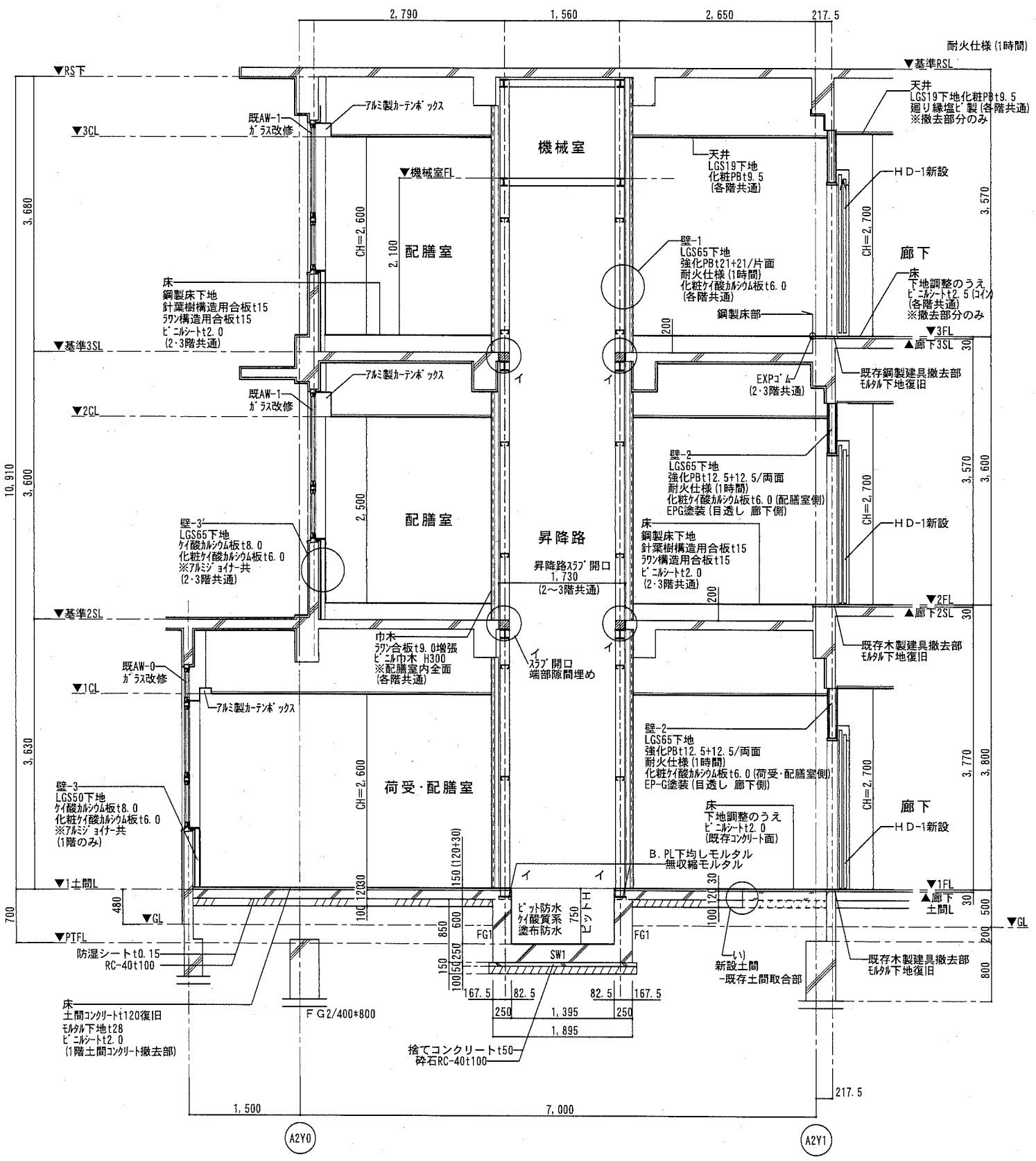
1階 印刷室 既存天井伏図 1/50



1階 印刷室 改修天井伏図 1/50



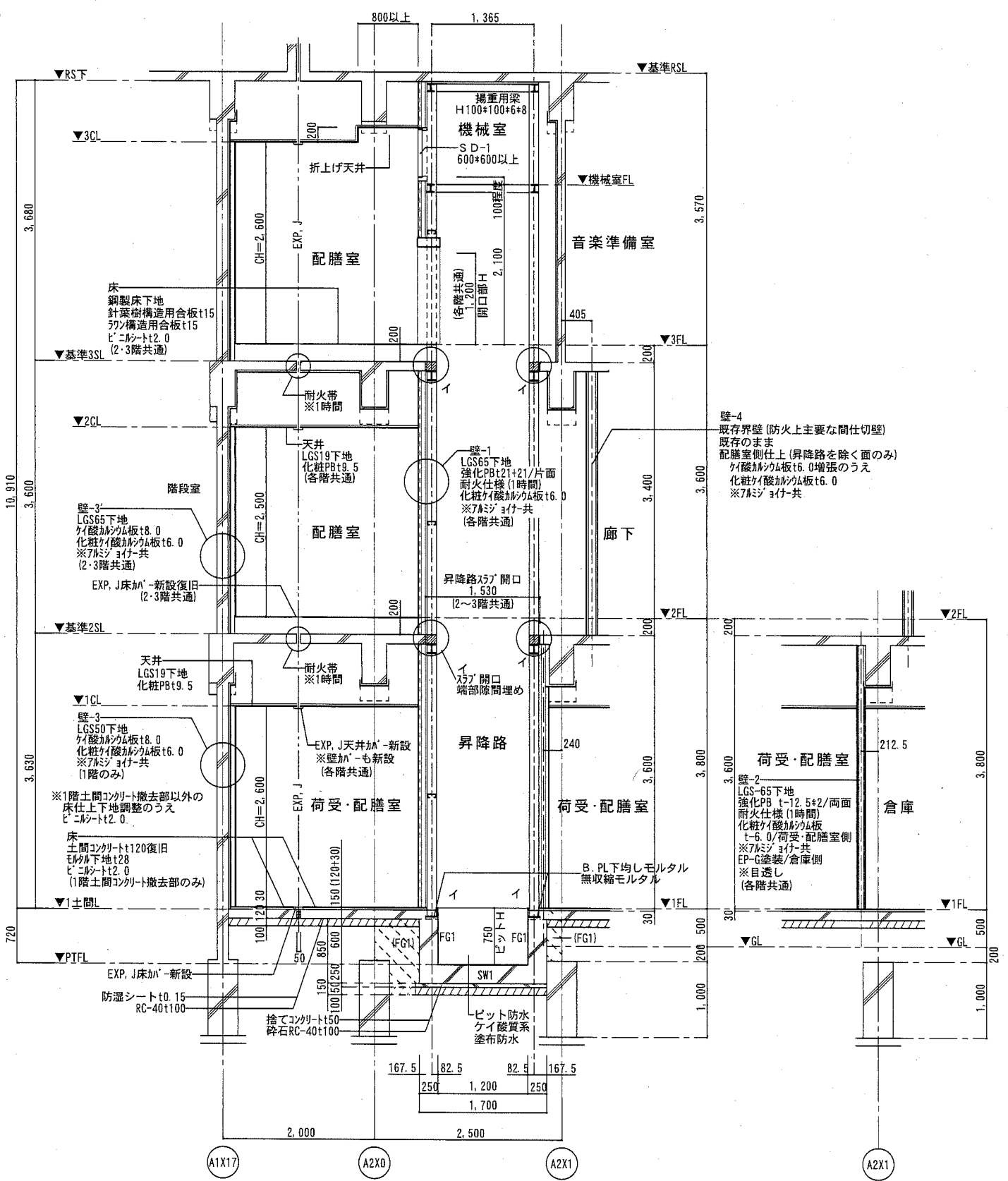
公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-29
			設計年月日 平成 31年 2月			



Y方向 改修矩計図 1/50

特記なきRC壁はW12を示す

い) 解体する既存土間コンクリートの鉄筋は定着長40d以上残しとする  
新設する土間コンクリート配筋はこれに定着させる



改修矩計図 (X方向) 1/50

特記なきRC壁はW12を示す

※ FG1の点線ハッチは既存地中梁に定着範囲を示す

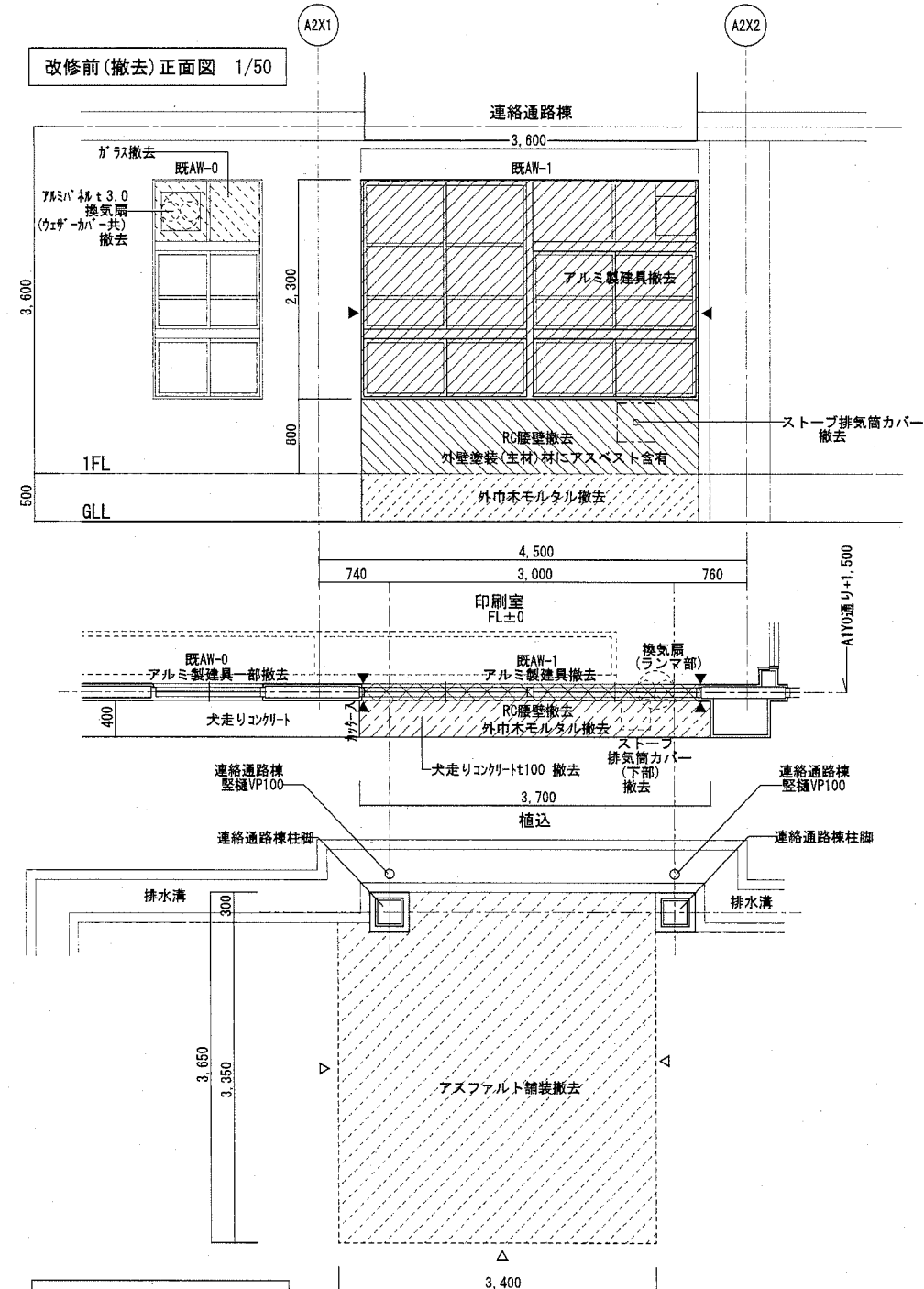
公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課  
設計年月日 平成 31年 2月

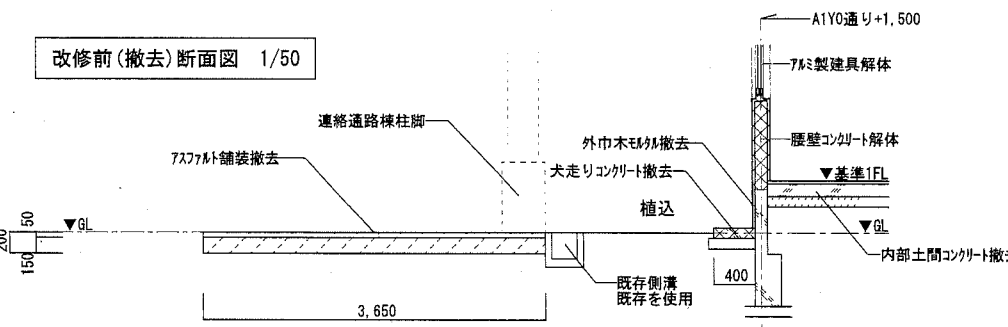
工事名称 市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事  
図面名称 A棟 1階荷受・配膳室、2・3階配膳室 矩計図 (改修)

縮尺	A-30
1/50	No.

改修前(撤去)正面図 1/50



改修前(撤去)平面図 1/50



改修前(撤去)断面図 1/50

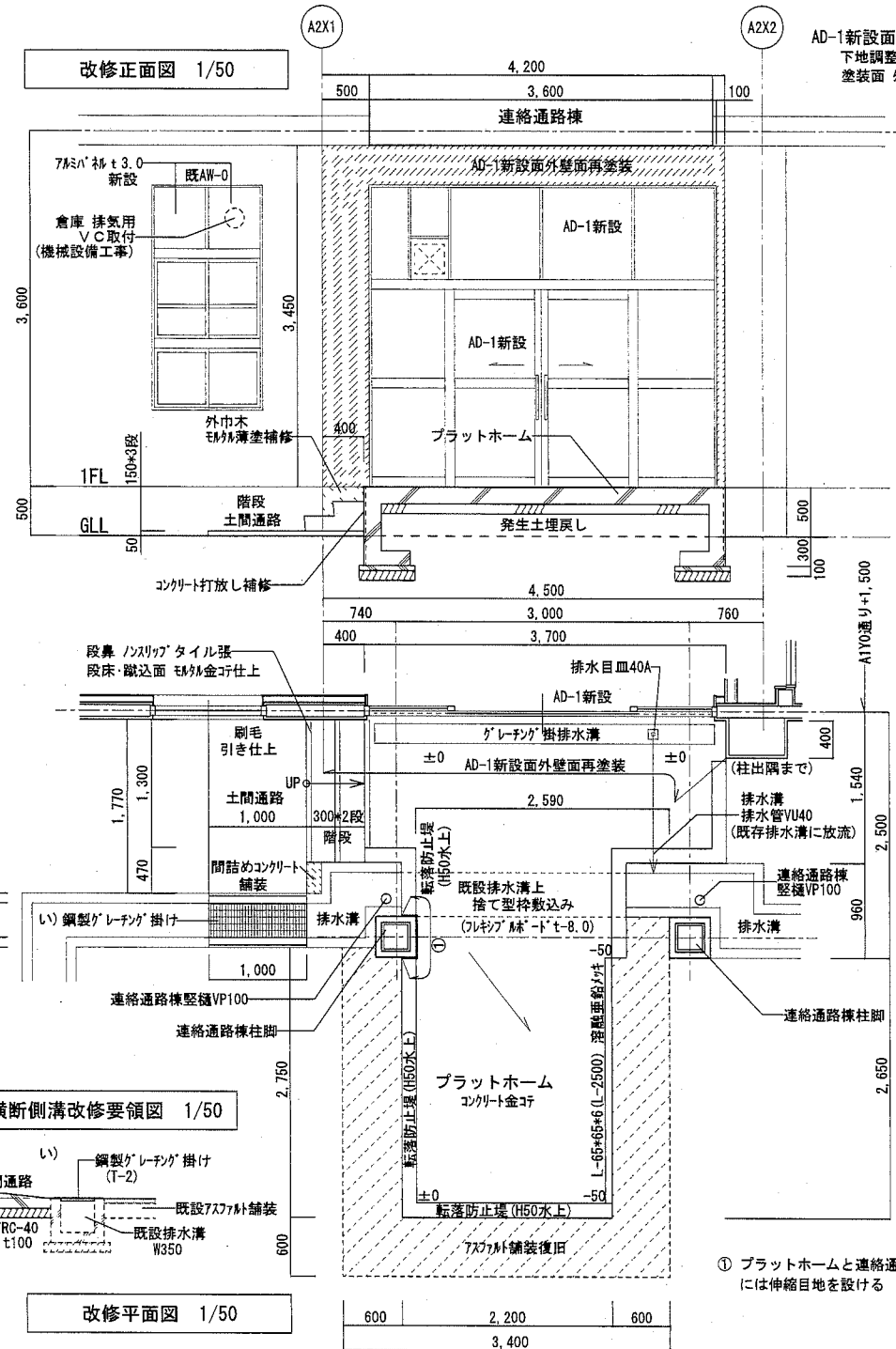


- ・外壁材にアスベストが含まれているため解体は適正に行うこと
- ・外巾モルタル撤去は新設するプラットフォーム躯体に接する範囲とする
- ・壁撤去の際はストープ排気筒防護カバー等不要物も撤去する

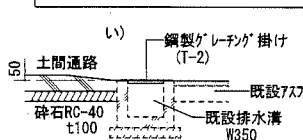
プラットフォーム 改修前(既存)

公共建築課長	主査等	担当者
横須賀市 都市部 公共建築課		
設計年月日 平成 31年 2月		

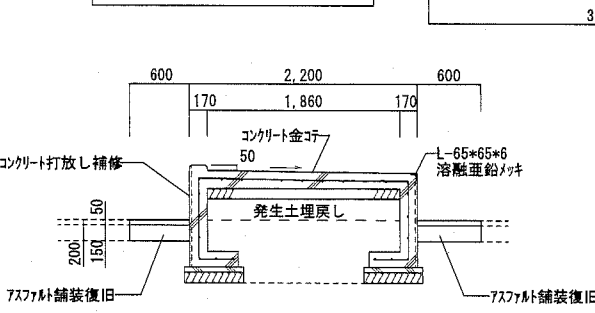
改修正面図 1/50



横断側溝改修要領図 1/50



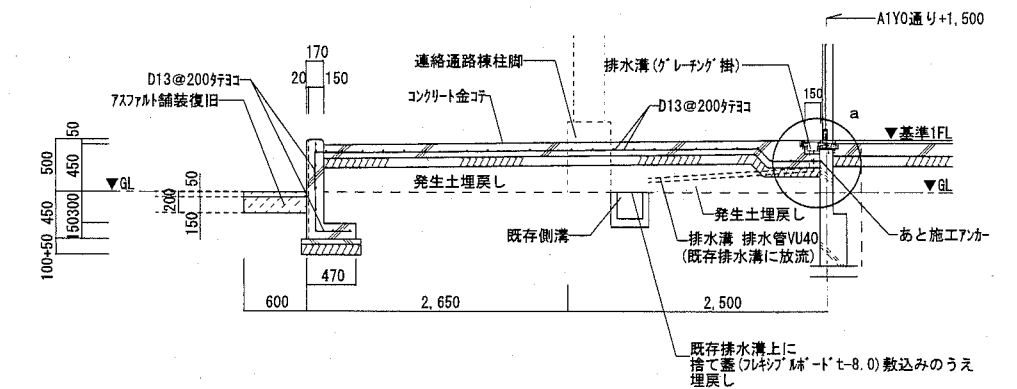
改修平面図 1/50



使用鉄筋:SD295A D13  
コンクリート:レディミクストコンクリート Fc-21N-18  
あと施工アンカー:金属拡張系(D13用φ200)

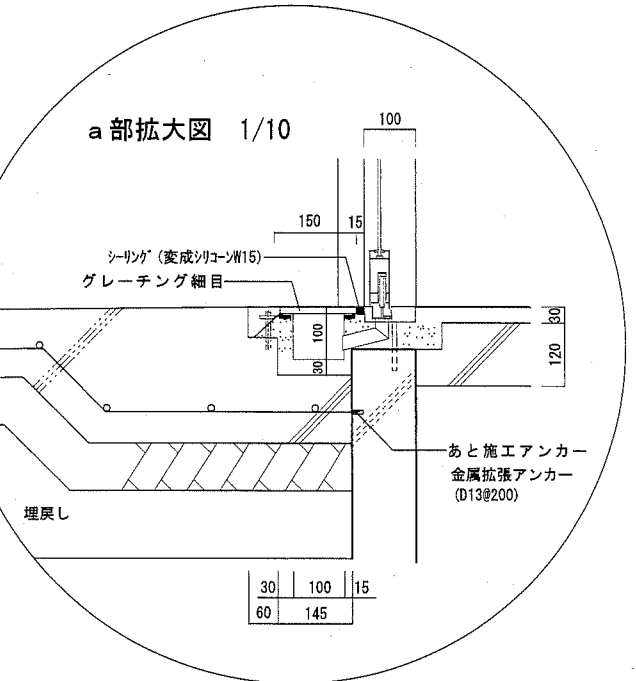
プラットフォーム 改修後

プラットフォーム改修断面図 1/50



① プラットホームと連絡通路棟の既存柱脚設置面には伸縮目地を設ける

階段詳細図 1/30



AD-1新設面外壁面再塗装  
下地調整のうえ建築用塗膜防水材塗り  
塗装面 外部建具廻りモルタルグレーチング

プラットフォーム改修断面図 1/50

工事名称 市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事

図面名称 A棟 1階荷受・配膳室外部 プラットホーム改修図(既存・改修)

縮尺 1/50

A-31

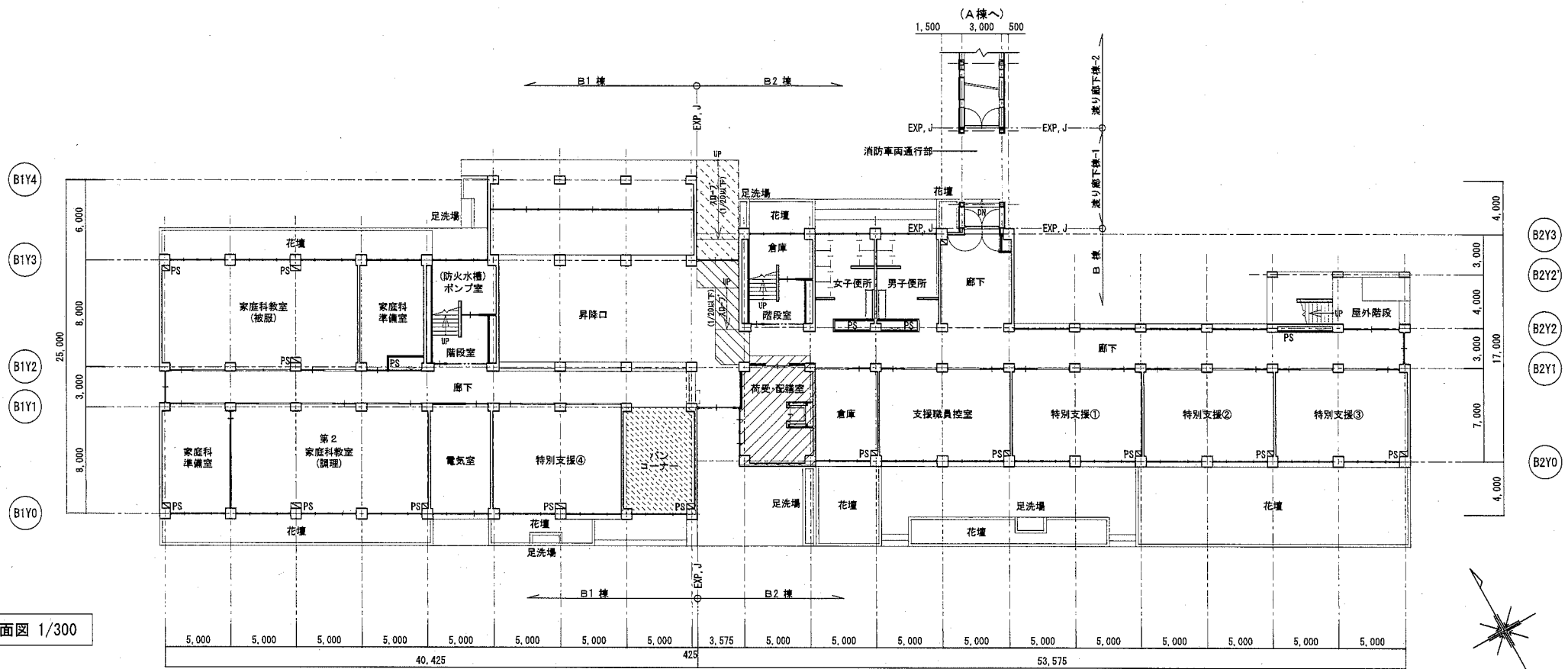
No.

工 事 概 要	B棟 昇降機設置建築工事	
	・1階廊下・ホールを荷受・配膳室に改修する。 1階昇降口外部より当該改修室に至るまでの通路の改修をする。	
	・2～4階ホールの一部を配膳室に改修する。 改修後もホールとして残る部分も部分改修をする。	
	・上記に伴う機械設備工事 ・上記に伴う電気設備工事（別途工事）	

内 部 仕 上 表												
階	既存 改修	室 名	床		巾木		壁	天井	廻縁	天井高	備 考	
			下地・仕上	高さ	下地	高さ						
1 階	既存	廊下・ホール	土間コンクリートt120	100	掲示壁面	100	掲示壁面	LGS	塩ビ製	2,500	鋼製下足欄移設	
			モルタル下地ビニルシートt2.5(コイン)		木製EP-G 全面撤去		木脚縁下地、ラワン合板t5.5、掲示クロス 全面撤去		石膏ボードt9.5(目透し)EP	撤去		
	ホール部分：土間コンクリート(下地仕上共) 全面撤去		その他壁面(塗り巾木)		その他壁面(コンクリート面)		ホール部分：下地仕上 全面撤去					
	廊下部分：下地仕上 一部撤去(荷受・配膳室改修部) 仕上のみ 一部撤去(搬入路改修部)		モルタル金コテEP-G 既存のまま	100	モルタル下地EP-G 既存のまま		廊下部分：下地仕上 一部撤去(荷受・配膳室改修部) 搬入路改修部は 改修なし					
改修	昇降口	昇降口	土間コンクリートt120	100	塗り巾木	100	コンクリート	LGS	塩ビ製	2,650	上り権及び靴拭き部(下地仕上共)撤去 ※靴拭きマットも撤去	
			モルタル下地、タイル200角 改修部 一部撤去		モルタル金コテEP-G 既存のまま		モルタル下地EP-G 既存のまま		石膏ボードt9.5(目透し)EP 改修部 一部撤去			
	荷受・配膳室	荷受・配膳室	ホール部分(一部昇降口靴拭き部)		ラワン合板t9.0増強		LGS ※仕様は詳細図による		LGS(19型)@225	塩ビ製	2,500	5インチ壁、SUS製流し台、天井吊りカテナール
			土間コンクリートt120新設、モルタルt28下地 ビニルシートt2.0(耐動荷重性、抗菌)		ビニル巾木	300	強化石膏ボードの上に化粧珪酸カルシウム板t6.0 ※強化石膏ボード厚さは詳細図による 珪酸カルシウム板t8.0上に化粧珪酸カルシウム板t6.0 ※ジョイント・コーナ部は7インチ製ジョイナーを使用		化粧石膏ボードt9.5 全面新設	復旧		H-D-1新設 アルミ製カーテンボックス 天井点検口7インチ額縁t47°450角：1ヶ所、壁点検口7インチ額縁t47°300角：1ヶ所 室名札
改修	昇降口・廊下 給食用搬入動線 改修部分	昇降口・廊下 給食用搬入動線 改修部分	廊下(スロープ上)	100	搬入路改修面	100	改修面防火上主要な間仕切壁面	LGS@300	既存の	2,500	7インチ製端部押え金物、7インチ製ノック	
			嵩上げコンクリートt150(溶接金網φt150入)		ビニル巾木		LGS ※仕様は詳細図による		石膏ボードt9.5(目透し)EP(B種)	まま	~2,650	鋼製下足欄再設置
			モルタルt27.5下地、ビニルシートt2.5(コイン)				強化石膏ボードの上にEP-G		撤去部分：下地仕上新設復旧			
			スロープ				その他壁面は 改修なし					
2 階 ~ 4 階	既存	ホール (2-4階共通)	コンクリートスラブt120	100	掲示壁面	100	掲示壁面	LGS	塩ビ製	2,650	ビクチャーレール撤去(2階のみ)、委見鏡取外し(2階のみ)	
			モルタルt27.5下地ビニルシートt2.5(コイン)		木製EP-G 全面撤去		木脚縁下地、ラワン合板t5.5、掲示クロス 全面撤去		石膏ボードt9.5(目透し)EP	撤去		掲示壁撤去、EXP、J天井カバー撤去(2~4階)
	改修	配膳室 (2-4階共通)	昇降路設置面：スラブ(下地仕上共) 一部撤去		窓廻り(タイル巾木)	100	その他壁面(コンクリート面)		ホール部分：下地仕上 全面撤去			
			上記以外の改修部：仕上のみ 一部撤去		モルタル下地タイル貼り 既存のまま その他壁面(塗り巾木) モルタル金コテEP-G 既存のまま		モルタル下地EP-G 既存のまま					
改修	ホール (2-4階共通)	ホール (2-4階共通)	昇降設備昇降路スラブ撤去部		ラワン合板t9.0増強		LGS ※仕様は詳細図による		LGS(19型)@225	塩ビ製	2,650	5インチ壁、SUS製流し台、7インチ壁ボックス、室名札
			隙間埋めスラブコンクリートt120		ビニル巾木	300	強化石膏ボードの上に化粧珪酸カルシウム板t6.0 ※強化石膏ボード厚さは詳細図による 珪酸カルシウム板t8.0上に化粧珪酸カルシウム板t6.0 ※ジョイント・コーナ部は7インチ製ジョイナーを使用		化粧石膏ボードt9.5 全面新設	復旧		H-D-2新設(廊下面に設置、フカシ壁(壁-6)設置)、S-D-1新設(3Fのみ) 外部建具改修(換気扇取付用7インチ枠(下地補強共)、鋼板板付 扉面腐食改修) 天井点検口7インチ額縁t47°450角：各階1ヶ所 壁点検口7インチ額縁t47°300角：2~3階各階1ヶ所 壁点検口7インチ額縁t47°300角：4階2ヶ所
改修	ホール (2-4階共通)	ホール (2-4階共通)	仕上撤去部		ビニル巾木	100	LGS ※仕様は詳細図による		LGS(19型)@225	塩ビ製	2,650	掲示壁-1(2~4階)：木脚縁20*40程度@300.57合板t5.5下地、掲示クロス貼 4方枠：t27°t20*20、EP-G(A種)、巾木H100：t27°t24、EP-G(A種) 委見鏡再取付(2階)
			下地調整、ビニルシートt2.5(コイン)新設復旧				強化石膏ボードの上にEP-G ※強化石膏ボード厚さは詳細図による		化粧石膏ボードt9.5 全面新設	復旧		掲示壁-2(2~4階)：壁-2ボード面にラワン合板t5.5増強、掲示クロス貼 3方枠：t27°t20*20、EP-G(A種)、巾木H100 ビクチャーレール新設 EXP、J天井カバー 一新設復旧(2~4階)

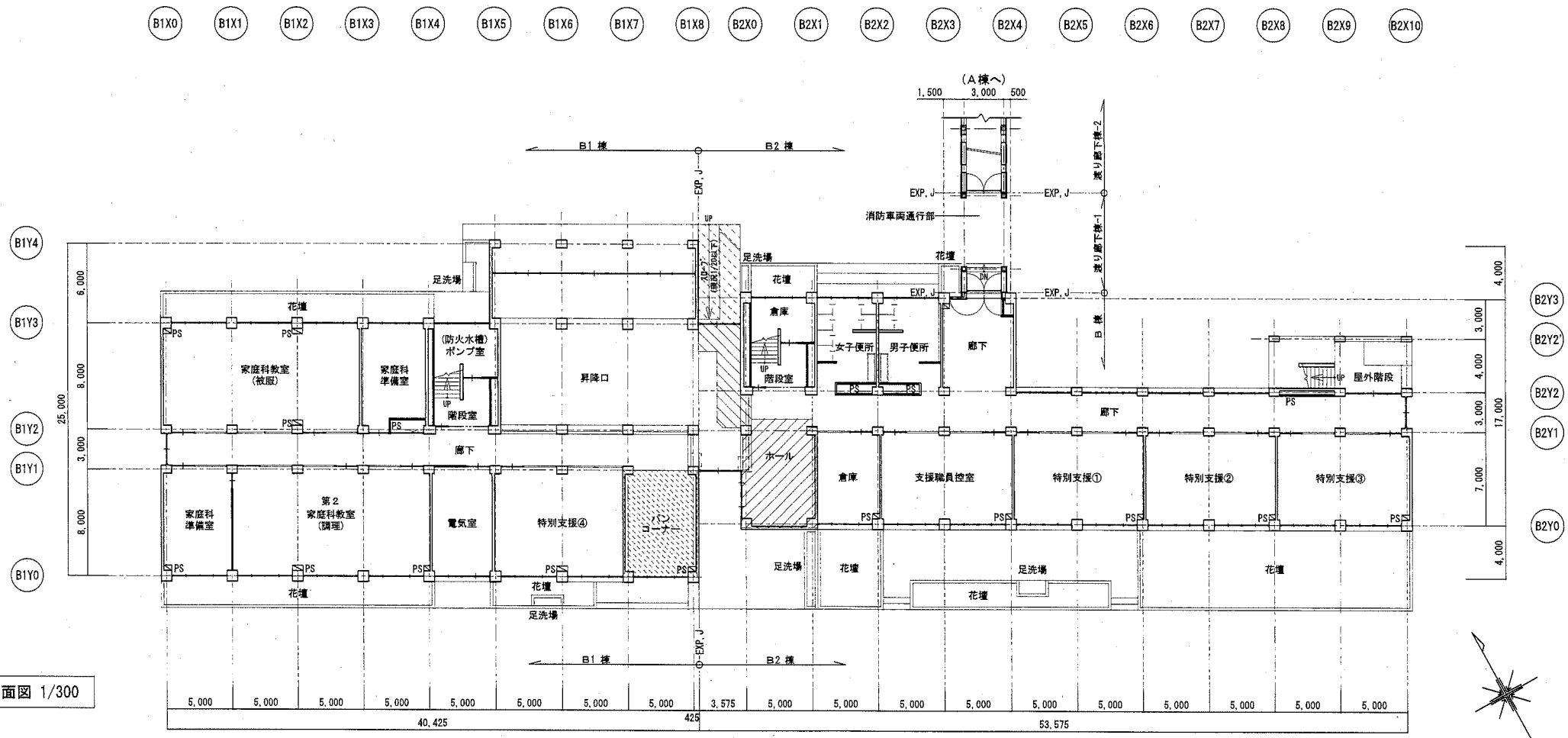
外 部 仕 上 表				
昇降口外部 スロープ	既存	既存土間コンクリート(モルタル下地、タイル舗装共)及び土間スロープ(刷毛引き仕上)撤去	参考資料	
	改修	既存出入口建具の戸当り鉄骨柱は既存残しとする。 全面を土間スロープ(刷毛引き仕上)に改修する。	床下地調整材	ポリマーセメントペースト塗り





B棟 改修1階平面図 1/300

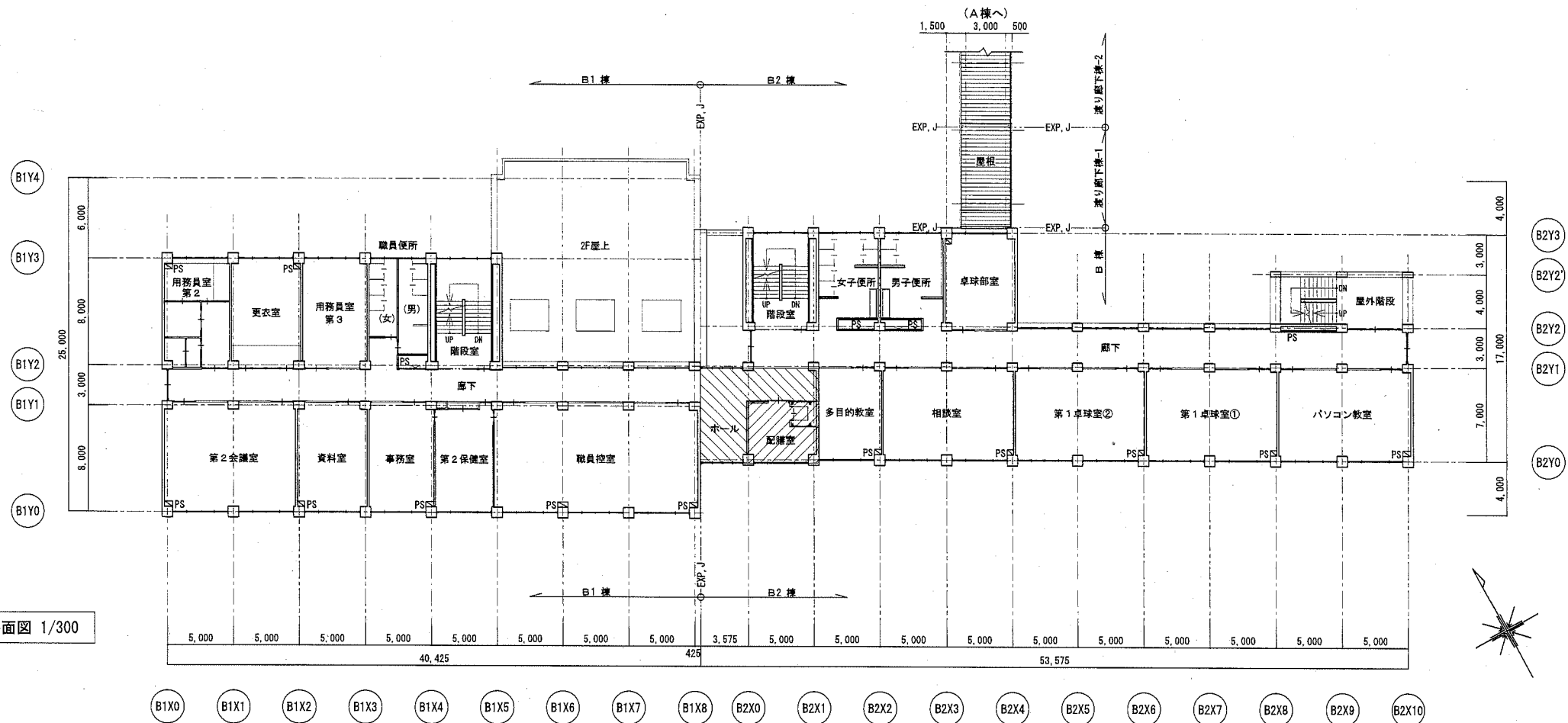
- 配膳室に改修  
※1階のみ 荷受・配膳室
- 配膳室に改修により付帯改修する部分  
※点線は外部(1階のみ)を示す
- 工事期間中の仮設バンコナー  
※1階のみ A・B棟共



B棟 既存1階平面図 1/300

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺
			設計年月日 平成 31年 2月	四面名称 B棟 1階平面図(既存・改修)	1/300
					A-33
					No.

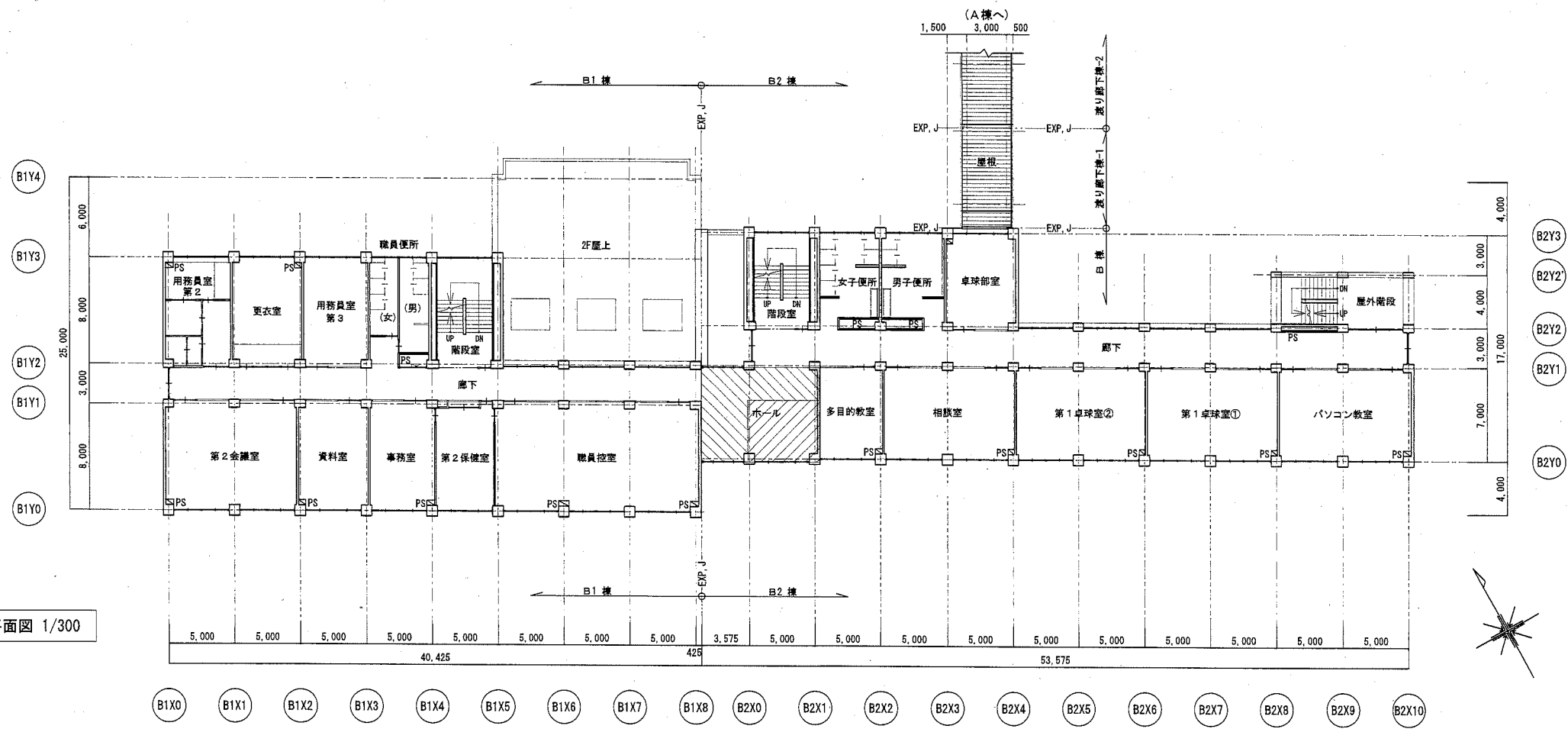
B棟 改修2階平面図 1/300



配膳室に改修  
※1階のみ 荷受・配膳室

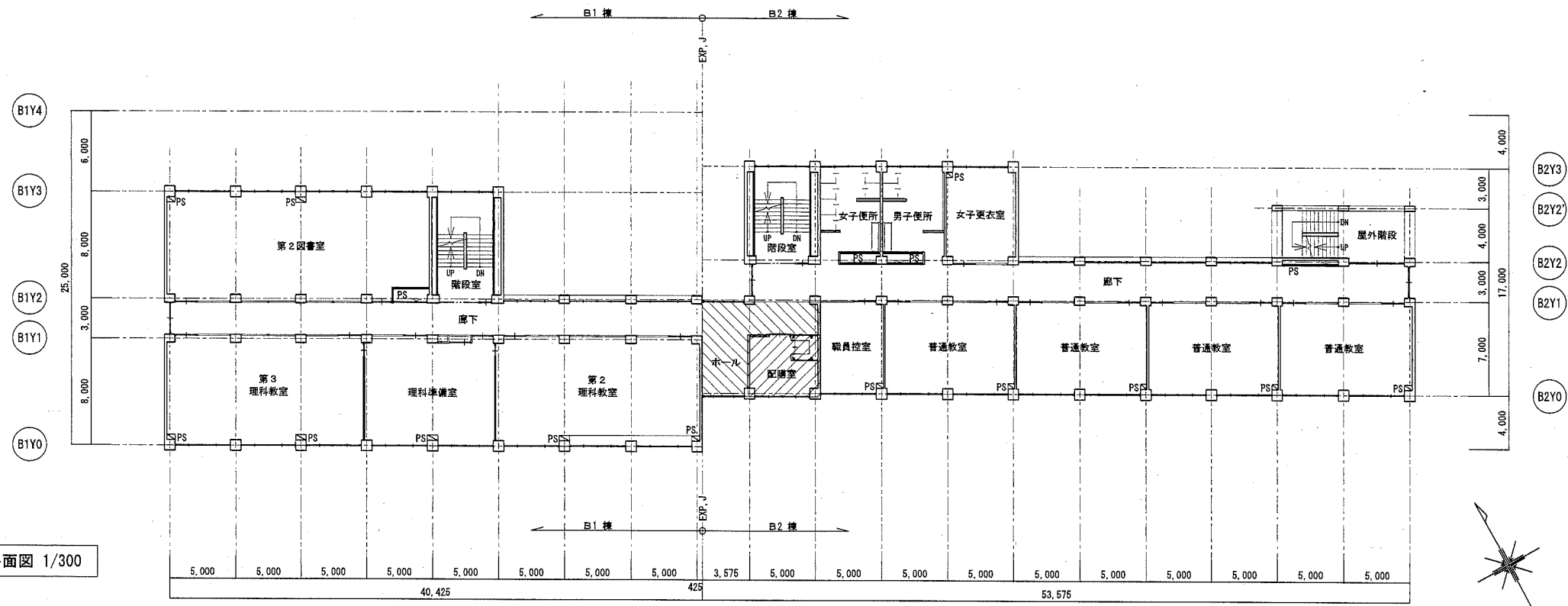
配膳室に改修により付帯改修する部分  
※2~4階は内部のみ



B棟 既存2階平面図 1/300



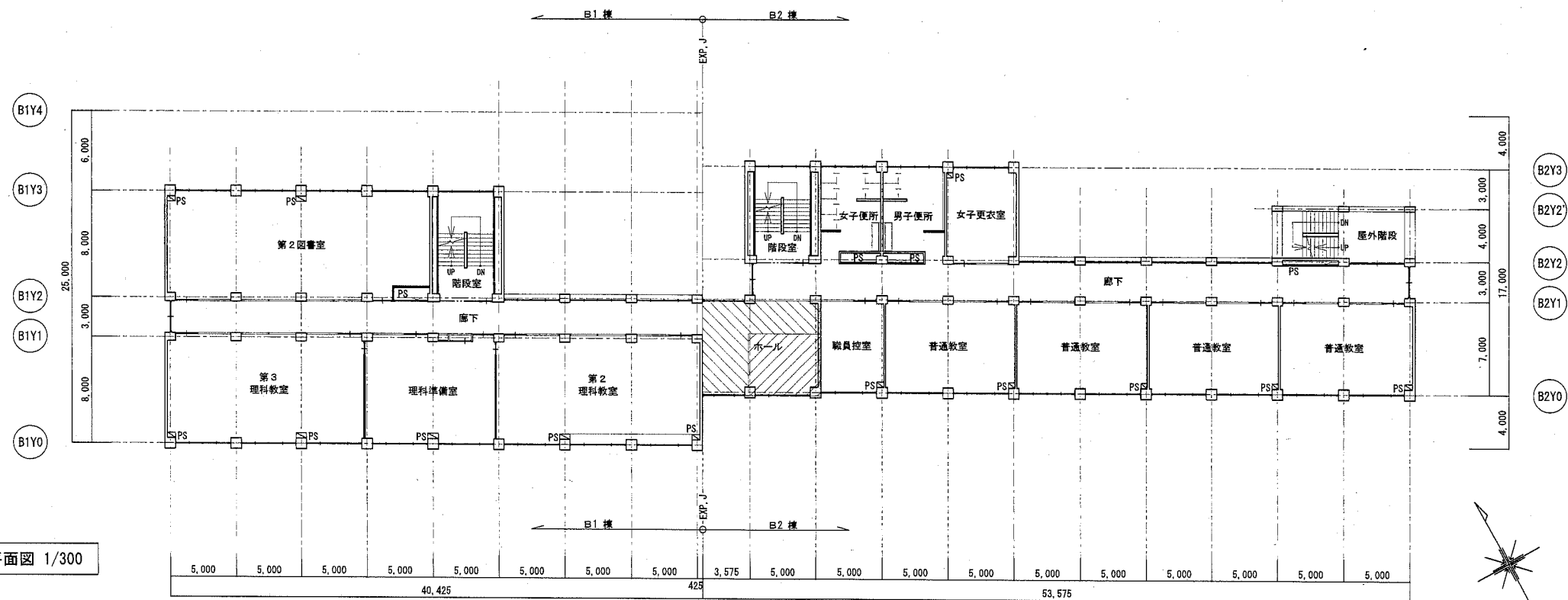
公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-34
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 B棟 2階平面図 (既存・改修)	1/300	No.


Ｂ棟 改修 3階平面図 1/300

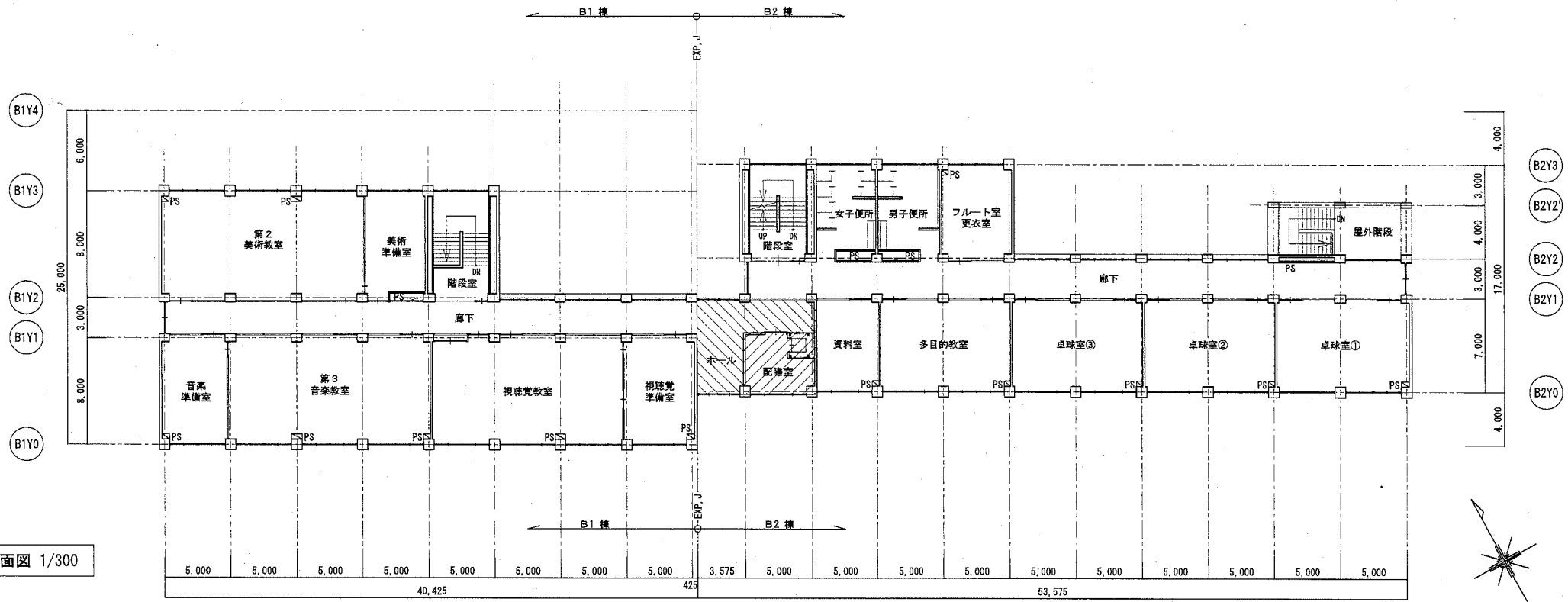


-  配膳室に改修  
※1階のみ 荷受・配膳室
-  配膳室に改修により付帯改修する部分  
※2～4階は内部のみ

Ｂ棟 既存 3階平面図 1/300

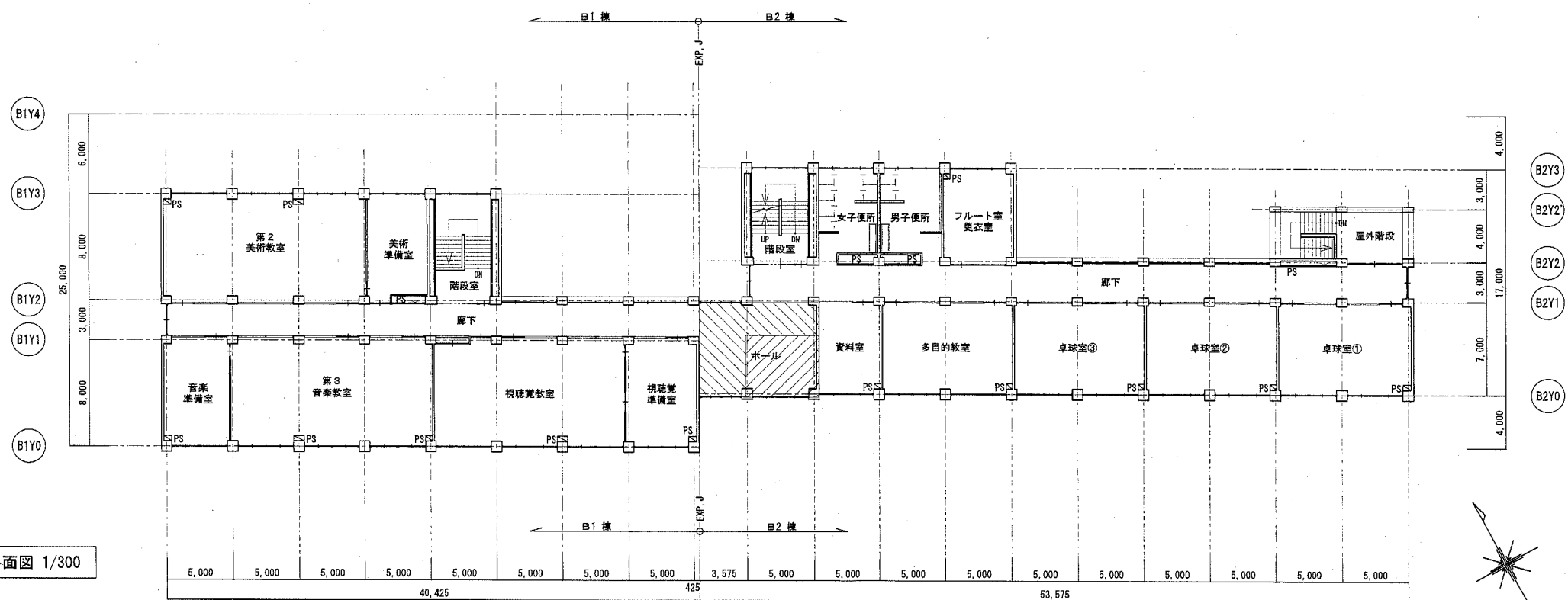


公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-35
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 B棟 3階平面図 (既存・改修)	1/300	No.



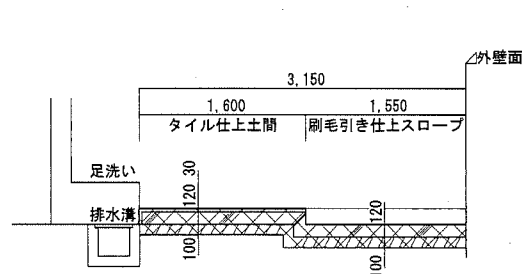
B棟 改修4階平面図 1/300

- 配膳室に改修  
※1階のみ 荷受・配膳室
- 配膳室に改修により付帯改修する部分  
※2~4階は内部のみ

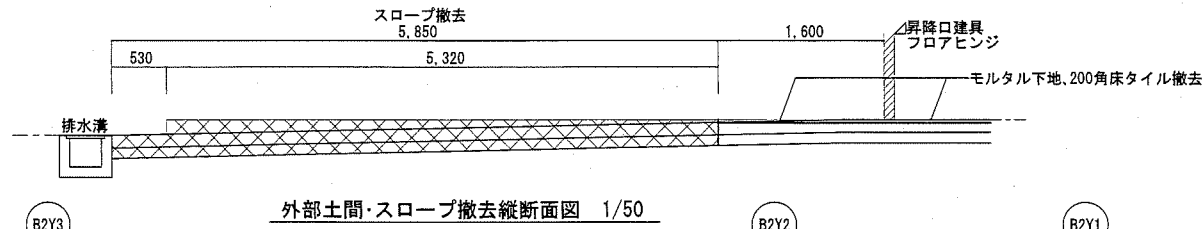


B棟 既存4階平面図 1/300

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-36
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 B棟 4階平面図 (既存・改修)	1/300	No.

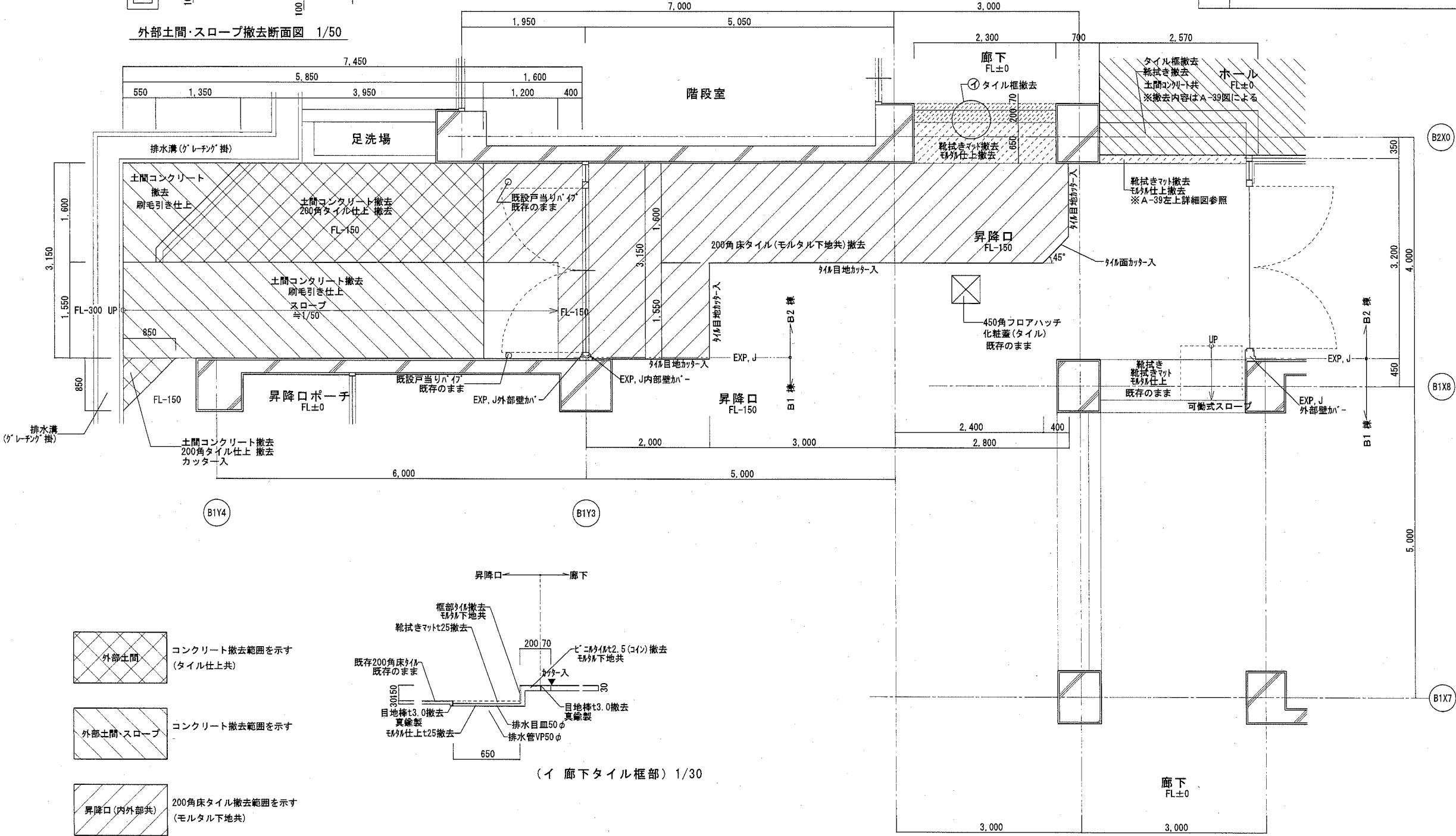
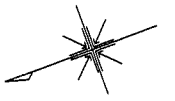


外部土間・スロープ撤去断面図 1/50

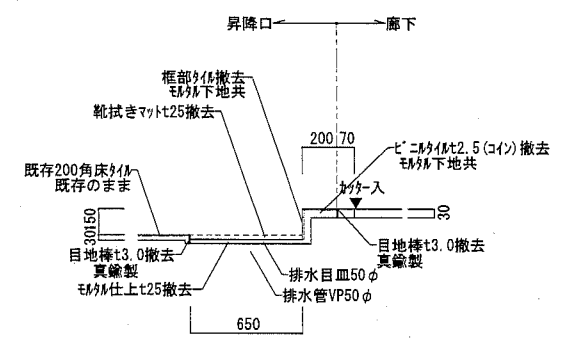


外部土間・スロープ撤去断面図 1/50

昇降口 既存内部仕上表		
床	モルタル下地、タイル200角	部分撤去
巾木	モルタル下地EP-G	既存のまま
壁	モルタル下地EP-G	既存のまま
天井	LGS下地石膏ボードt-9.5EP	
備考	靴拭きマット(枠共)撤去	

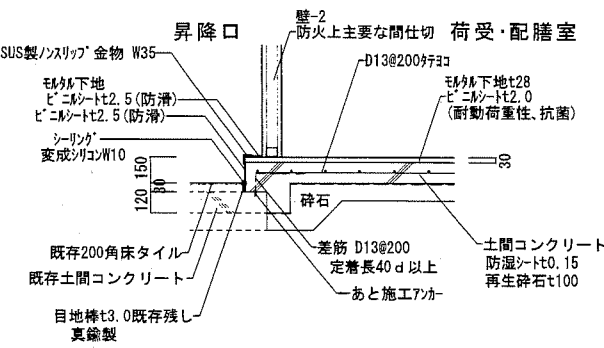
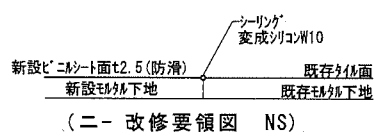
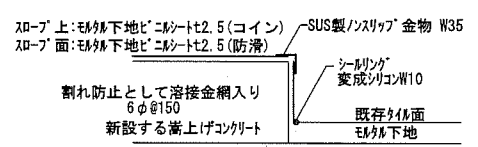
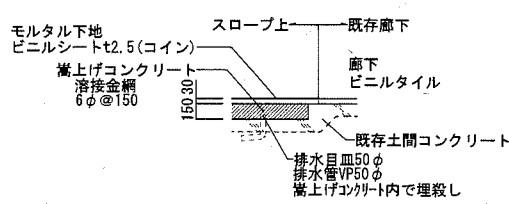
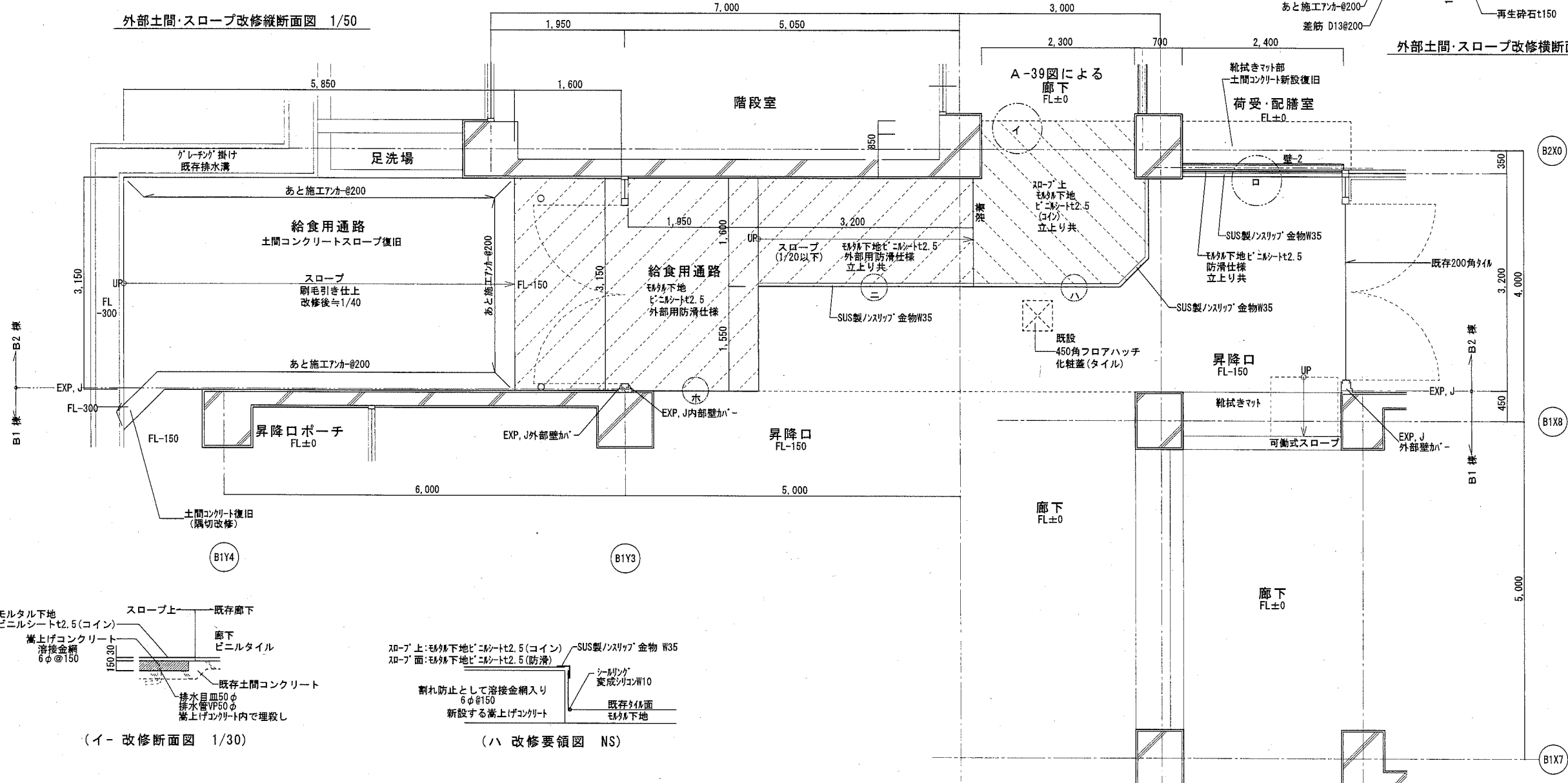
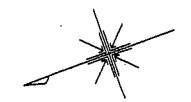
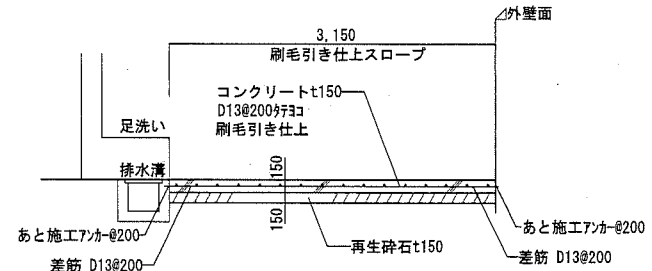
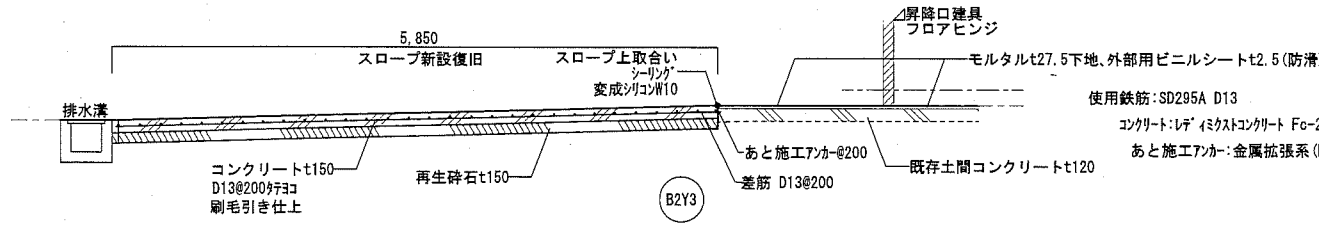


- 外部土間  
コンクリート撤去範囲を示す  
(タイル仕上げ共)
- 外部土間・スロープ  
コンクリート撤去範囲を示す
- 昇降口(内外部共)  
200角床タイル撤去範囲を示す  
(モルタル下地共)

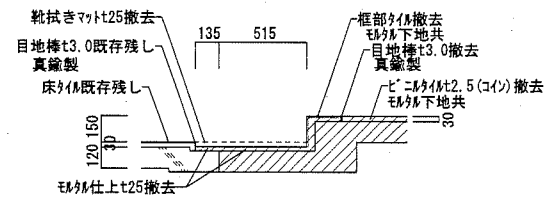


(イ 廊下タイル枠部) 1/30

1階 昇降口・廊下・ホール 既存平面図 1/50



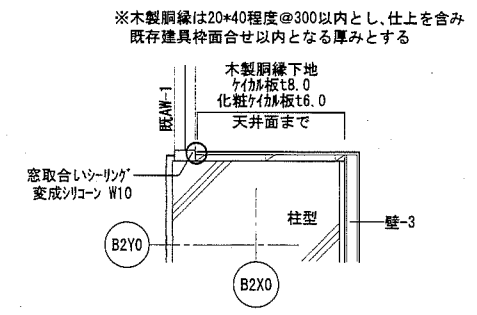
昇降口・給食用搬入通路		
床	スロープ・スロープ上廊下接続部 嵩上げコンクリートt0~150(溶接金網6φ@150入)	新設
	スロープ下・昇降口外部(外部スロープまで) モルタルt27.5下地、ビニルシートt2.5(外部用 防滑)	
	スロープ上廊下接続部 モルタルt27.5下地、ビニルシートt2.5(コイン)	
巾木	既存のまま	
壁	既存のまま	
天井	A-42図による	
備考	SUS製ノスリッパ 金物W35	



昇降口 既存土間コンクリート 土間コンクリート撤去範囲 ホール  
(イ-イ 撤去断面図 1/30)

廊下・ホール 既存内部仕上表		
床	土間コンクリートt120、モルタル下地ピニルシートt2.5コイン	撤去
巾木	掲示壁:木製t24H100EP-G 上記以外:モルタル下地EP-G	撤去 既存のまま
壁	掲示壁:木製下地、珪藻土t5.5、掲示用クロス貼 上記以外:モルタル下地EP-G	撤去 既存のまま
天井	LGS下地石膏ボードt9.5EP	撤去
備考	鋼製下足棚移設 ホールは土間コンクリート(下地仕上共)撤去、廊下は仕上げのみ撤去	

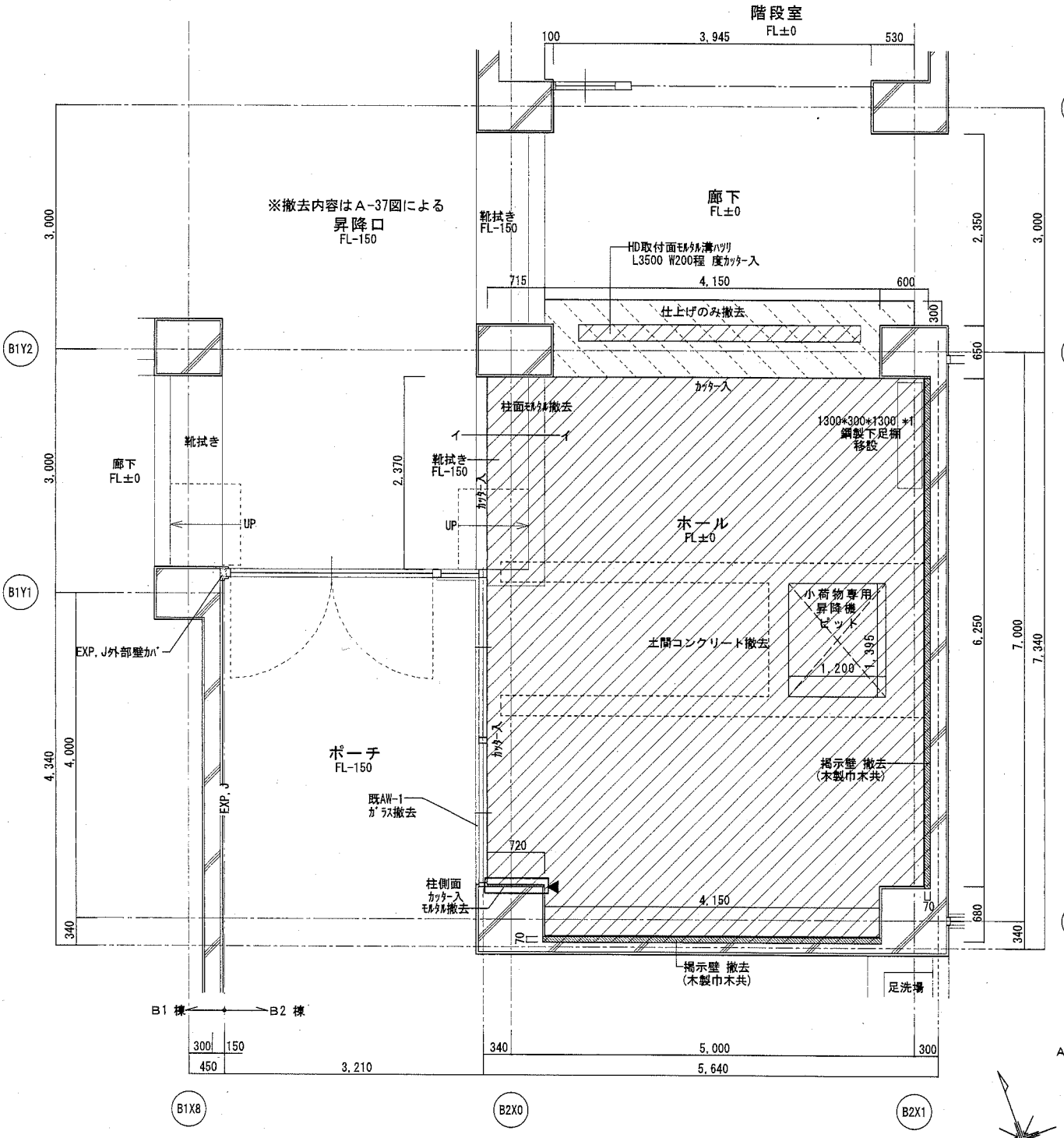
イ部 標準改修図 1/25



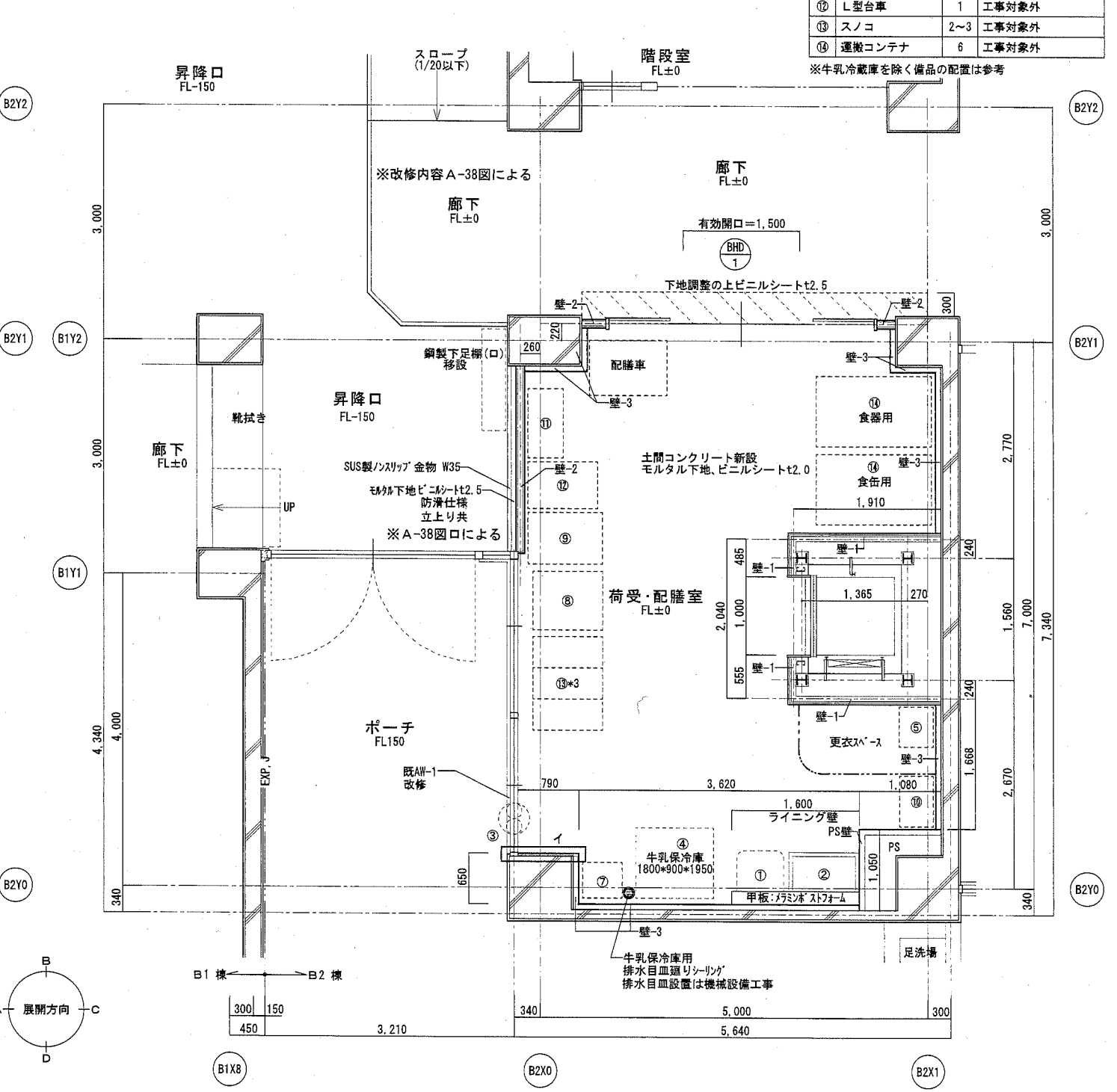
荷受・配膳室 改修内部仕上表	
部位	仕上
床	土間コンクリートt120新設、モルタルt28下地、ピニルシートt2.0(耐動荷重性・抗菌)
巾木	珪藻土t9.0増張ピニル巾木H300
壁	壁-1:LGS(65)下地、強化石膏ボードt21*2/片面、化粧珪藻土t6.0 壁-2:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面、化粧珪藻土t6.0 壁-3:LGS(50)下地、珪藻土t8.0/片面、化粧珪藻土t6.0 PS壁:LGS(65)下地、珪藻土t8.0/片面、化粧珪藻土t6.0
天井	LGS(19)下地、化粧石膏ボードt9.5 廻縁:塩ビ製
備考	ライニング壁、SUS製流し合、天井吊りカテナ、室名札 HD-1新設、アルミカーテンボックス 天井点検口7#鋼線t7 450角:1ヶ所、壁点検口7#鋼線t7 300角:1ヶ所

荷受室 設備・備品			
No	名称	数量	備考
①	手洗い	1	機械設備工事
②	シンク	1	建築工事
③	換気扇	1	機械設備工事
④	牛乳保冷庫	1	工事対象外
⑤	更衣ロッカー	1	工事対象外
⑥	カーテンレール(S)	1	天井取付
⑦	掃除用具ロッカー	1	工事対象外
⑧	移動式作業台	1	工事対象外
⑨	リフト用運搬車	1	工事対象外
⑩	作業机	1	工事対象外
⑪	簡易棚	1	工事対象外
⑫	L型台車	1	工事対象外
⑬	スノコ	2~3	工事対象外
⑭	運搬コンテナ	6	工事対象外

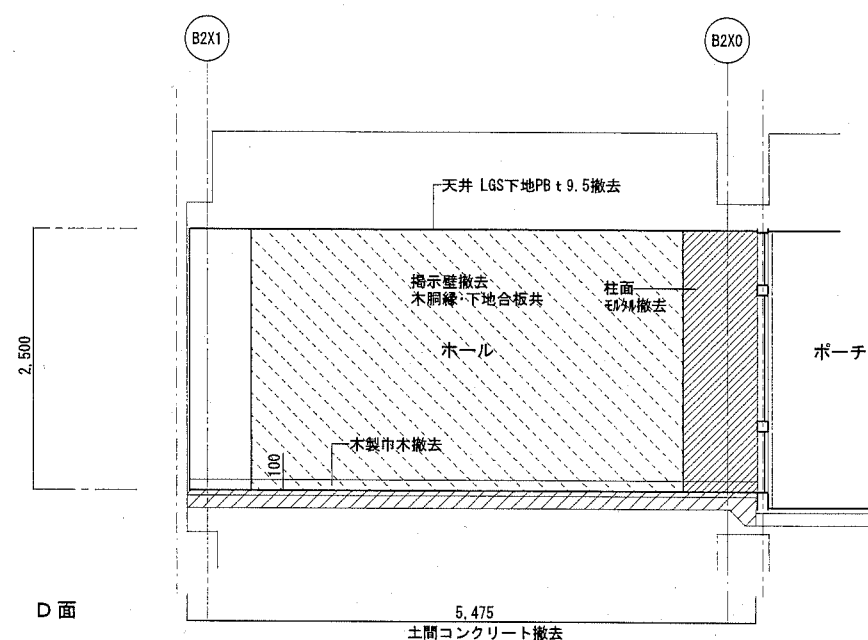
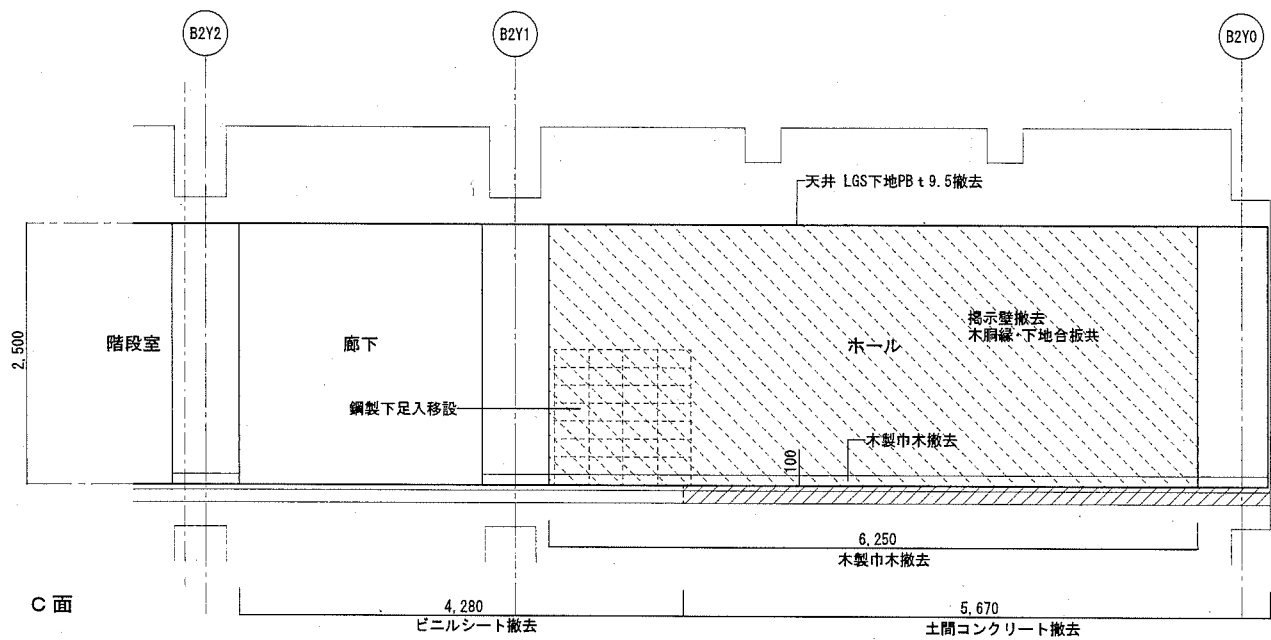
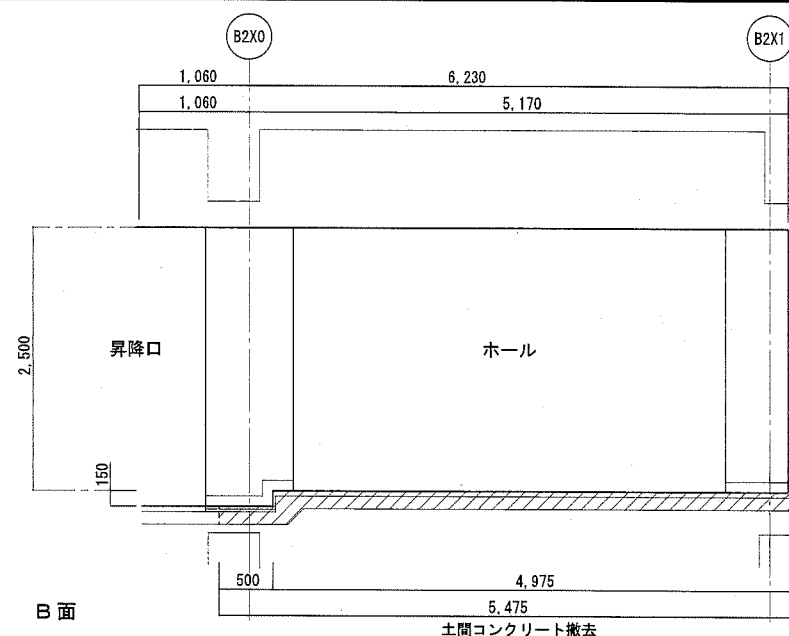
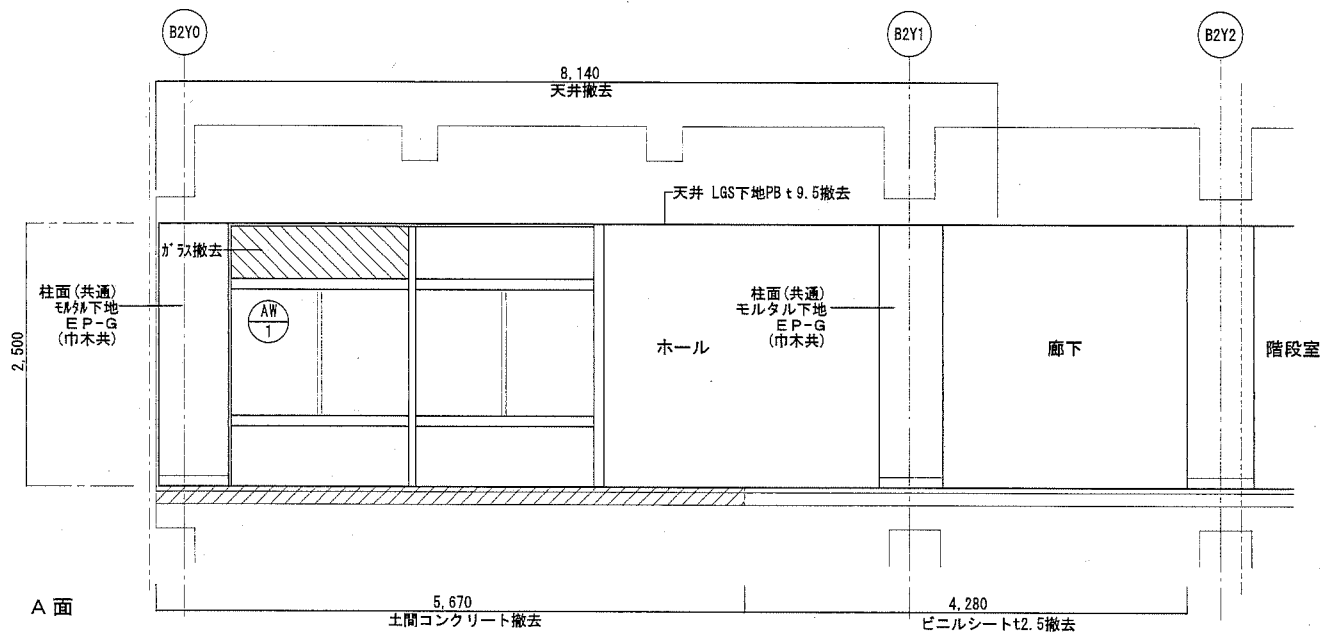
※牛乳冷蔵庫を除く備品の配置は参考



1階 昇降口・廊下・ホール 既存平面図 1/50



1階 荷受・配膳室 改修平面図 1/50

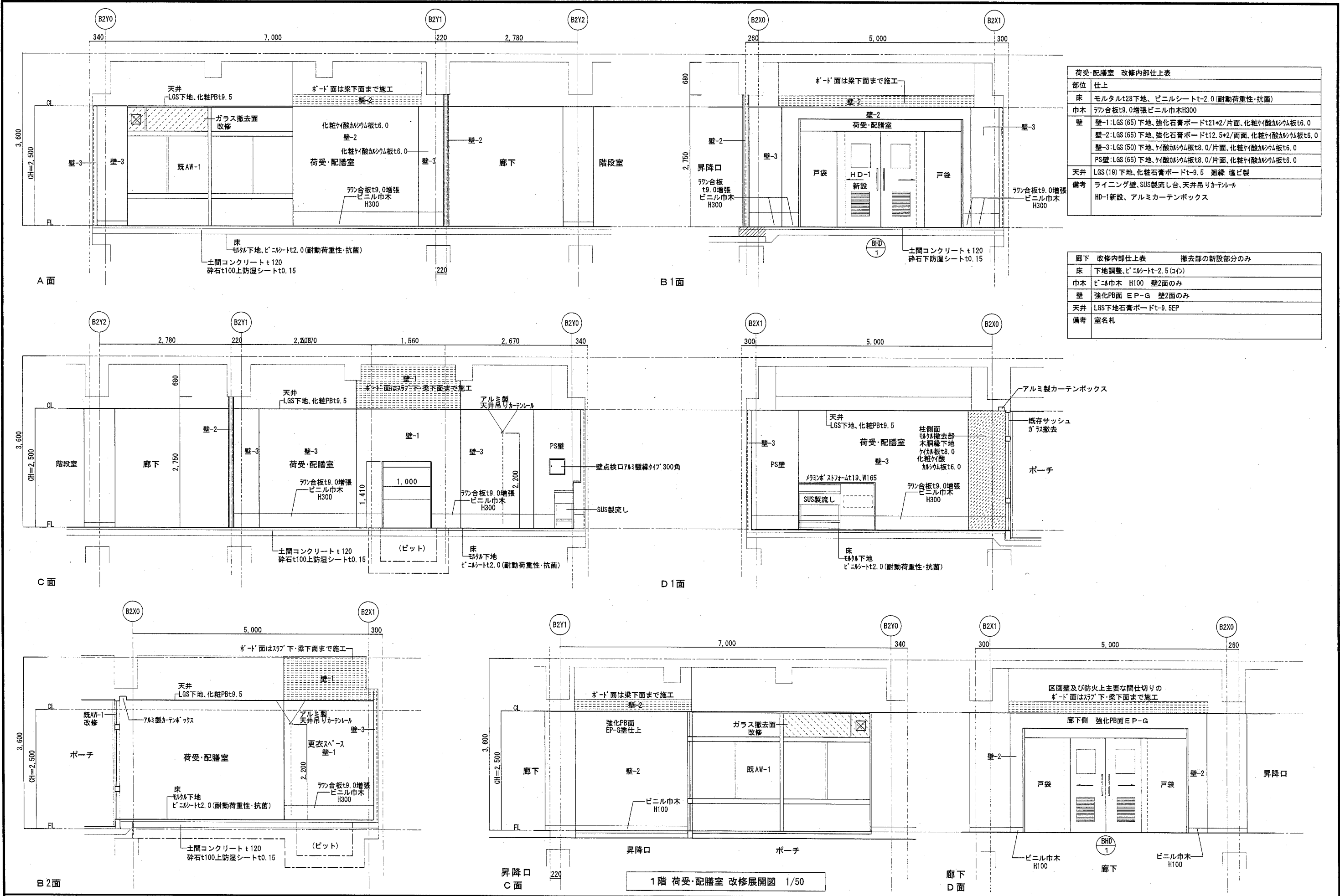


床	モルタル下地ビニルシート-2.5コイン	部分撤去
巾木	掲示壁：木製t24H100EP-G 上記以外：モルタル下地EP-G	撤去 部分撤去
壁	掲示壁：木屑繊維、7mm合板t5.5、掲示用加 上記以外：モルタル下地EP-G	撤去 部分撤去
天井	LGS下地石膏ボードt-9.5EP	部分撤去
備考	土間コンクリート撤去（モルタル下地、ビニルシート共） D面 B2X0、B2Yの柱面の壁・巾木のみモルタル面撤去 鋼製下足棚移設	

床	モルタル下地200角磁器質タイル	部分撤去
巾木	モルタル下地EP-G	既存のまま
壁	モルタル下地EP-G	既存のまま
天井	LGS下地石膏ボードt-9.5EP	部分撤去
備考		

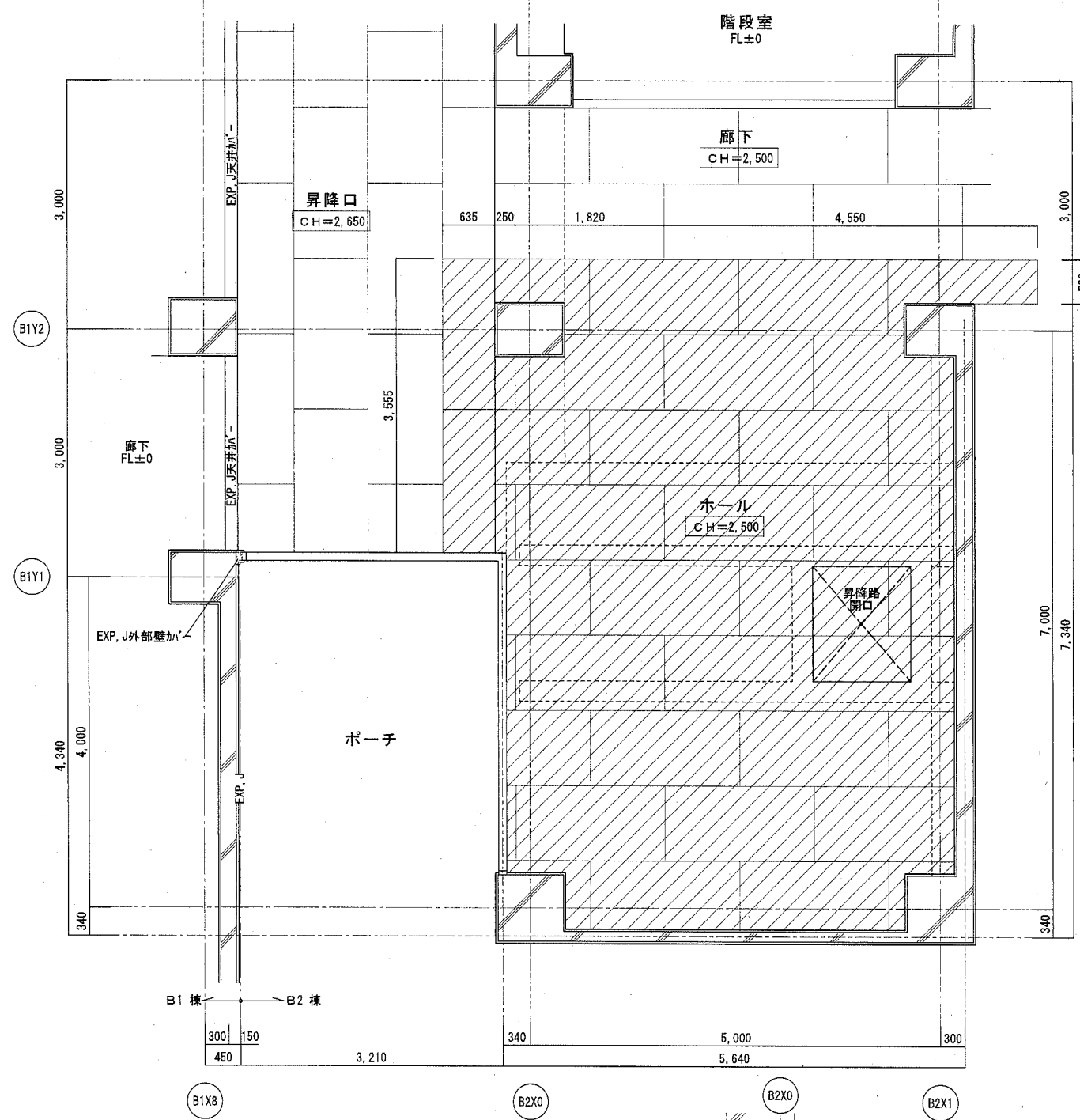
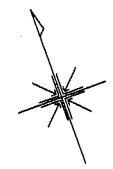
1階 荷受・配膳室 既存展開図 1/50



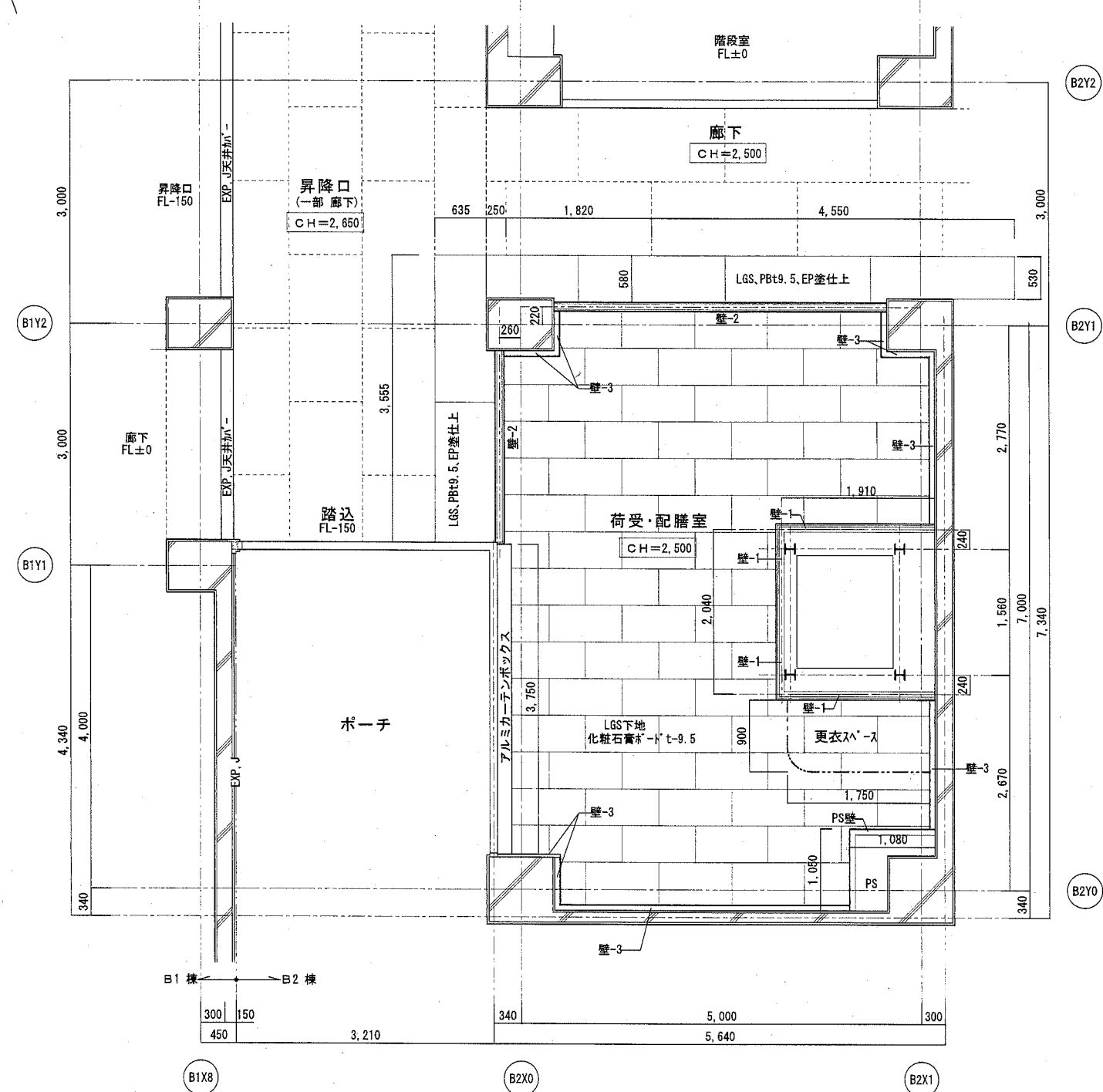


荷受・配膳室 改修内部仕上表	
部位	仕上
床	モルタルt28下地、ビニルシートt2.0(耐動荷重性・抗菌)
巾木	777合板t9.0増強ビニル巾木H300
壁	壁-1:LGS(65)下地、強化石膏ボードt21*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 壁-2:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 壁-3:LGS(50)下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 PS壁:LGS(65)下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0
天井	LGS(19)下地、化粧石膏ボードt9.5 廻縁 塩ビ製
備考	ライニング壁、SUS製流し台、天井吊りカーテンレール HD-1新設、アルミカーテンボックス

廊下 改修内部仕上表		撤去部の新設部分のみ	
床	下地調整、ビニルシートt2.5(コイン)	床	下地調整、ビニルシートt2.5(コイン)
巾木	ビニル巾木 H100 壁2面のみ	巾木	ビニル巾木 H100 壁2面のみ
壁	強化PB面 EP-G 壁2面のみ	壁	強化PB面 EP-G 壁2面のみ
天井	LGS下地石膏ボードt9.5EP	天井	LGS下地石膏ボードt9.5EP
備考	室名札	備考	室名札

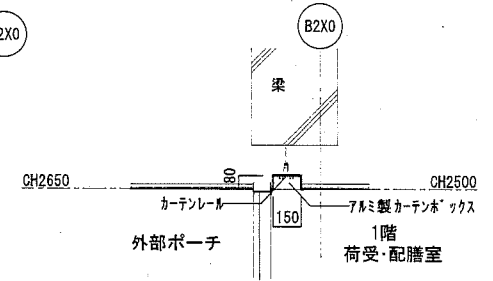


1階 昇降口・廊下・ホール 既存平面図 1/50



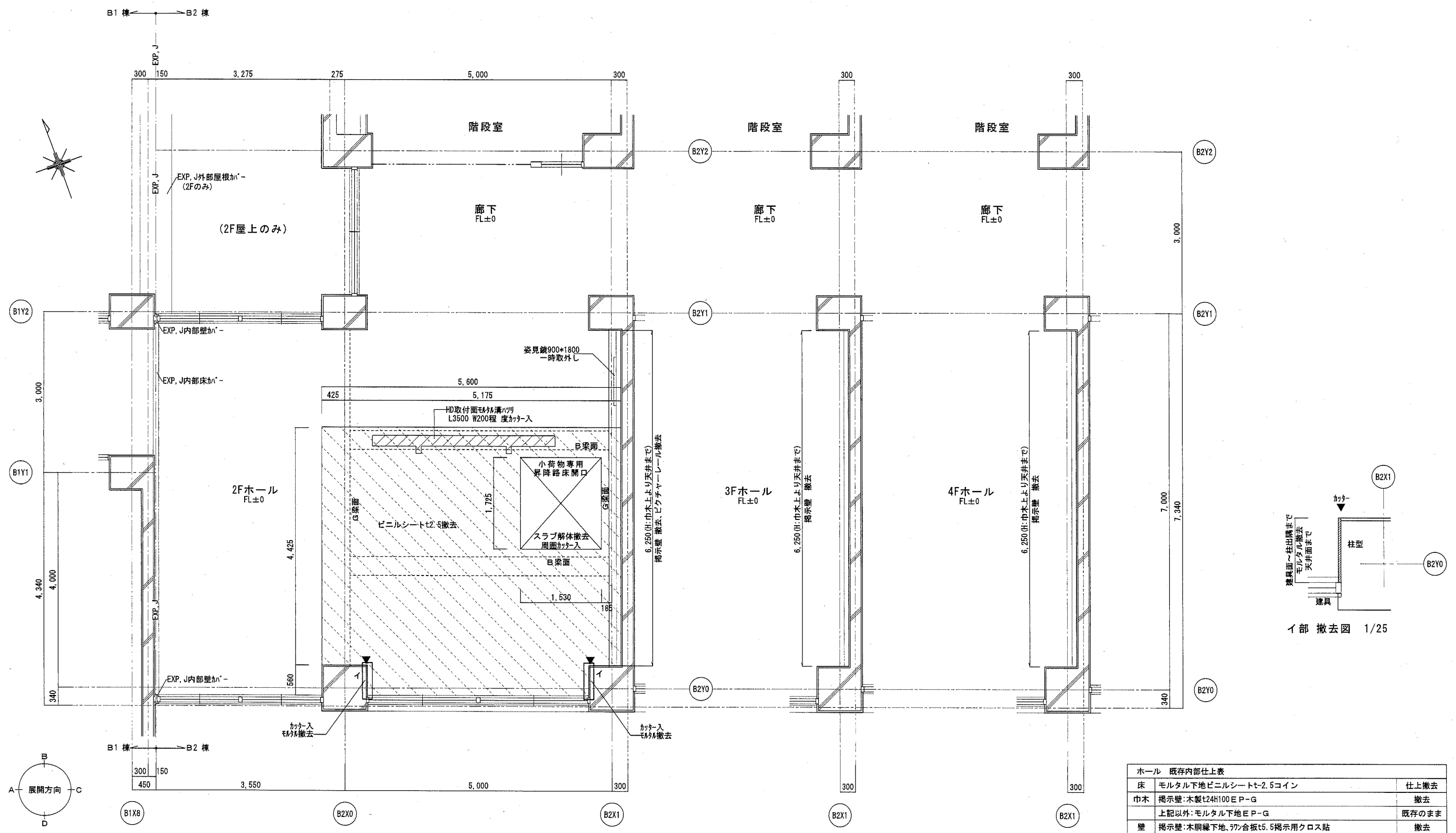
1階 荷受・配膳室 改修平面図 1/50

※配膳室に天井点検口747×450角 1ヶ所新設  
取付位置は、監督員と協議のうえ決定すること。



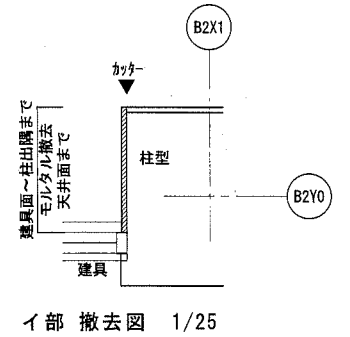
カーテンボックス詳細図 1/30

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50	A-42 No.
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	B棟 1階荷受・配膳室 天井伏図 (既存・改修)			



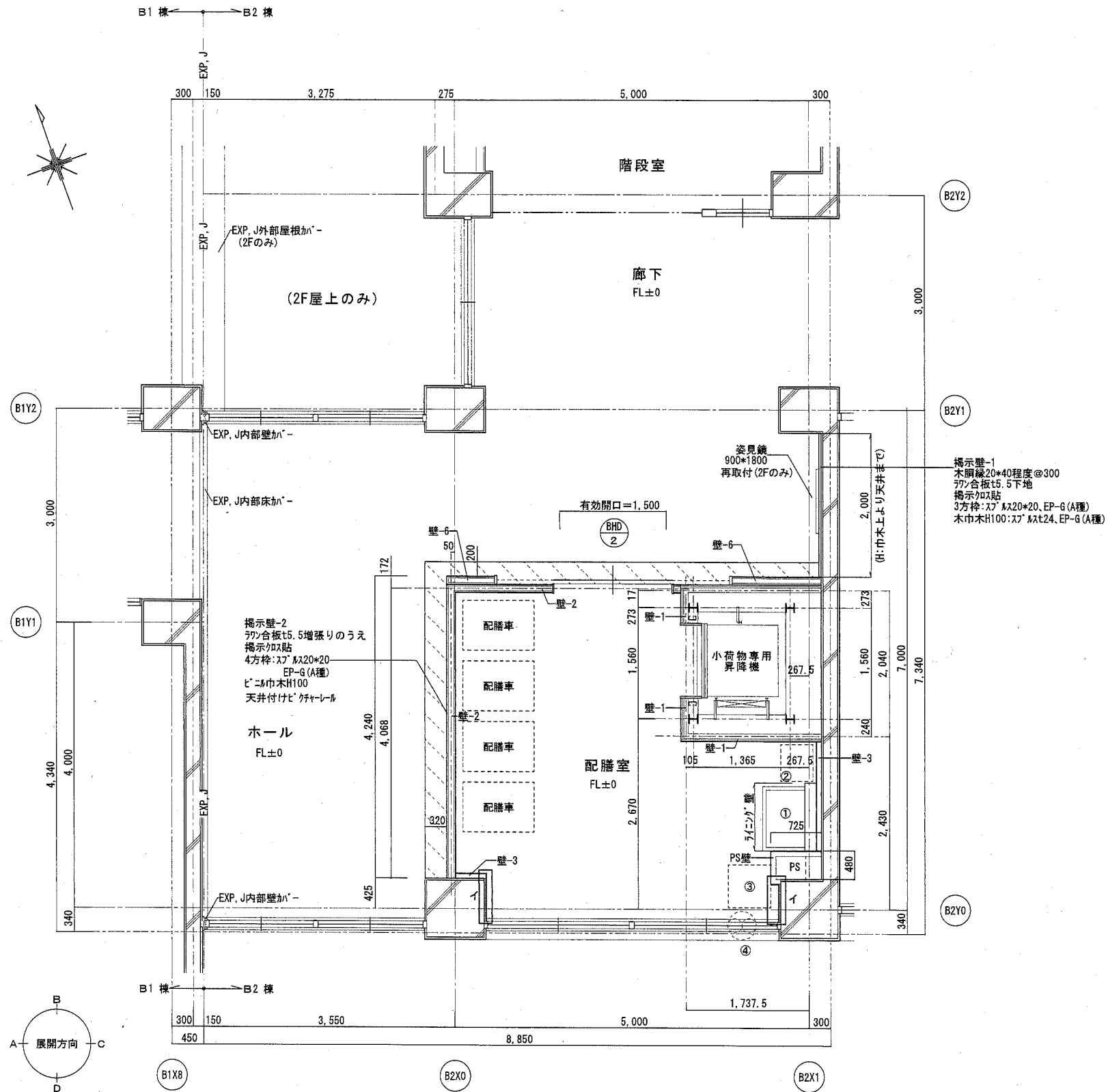
2~4階 配膳室 既存平面図 1/50

床仕上撤去範囲を示す (2~4階共通)  
 スラブ解体撤去 (2~4階共通)



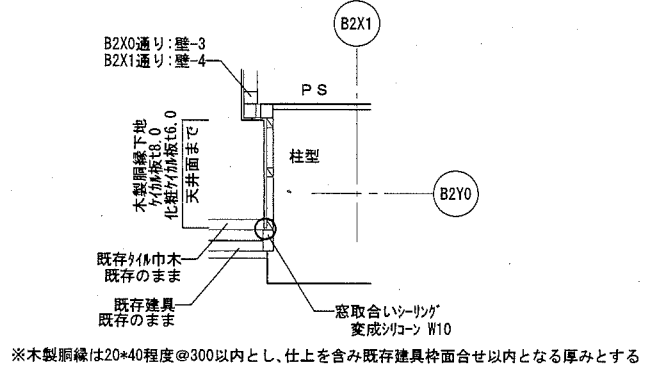
イ部 撤去図 1/25

ホール 既存内部仕上表		
床	モルタル下地ビニルシートt2.5コイン	仕上撤去
巾木	掲示壁:木製t24H100E P-G	撤去
壁	上記以外:モルタル下地E P-G	既存のまま
	掲示壁:木脚縁下地、7mm合板t5.5掲示用クロス貼	撤去
	上記以外:モルタル下地E P-G	既存のまま
天井	LGS下地石膏ボードt9.5EP	撤去
備考	ビクチャーレール撤去(2階のみ)、姿見鏡取外し(2階のみ) EXP、J天井カッター撤去 外部建具上部木製折上げ天井ボックス一部撤去 3階のみ掲示板壁面 木製付長押撤去	



2～4階 配膳室 改修平面図 1/50

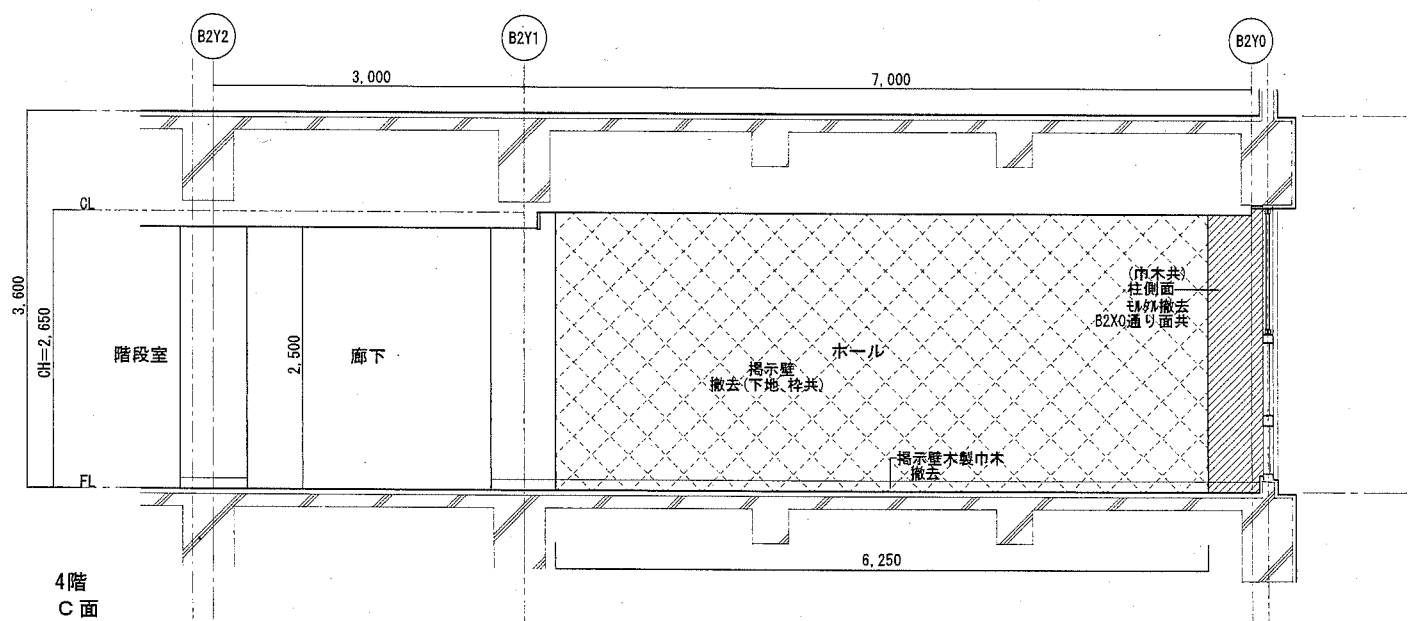
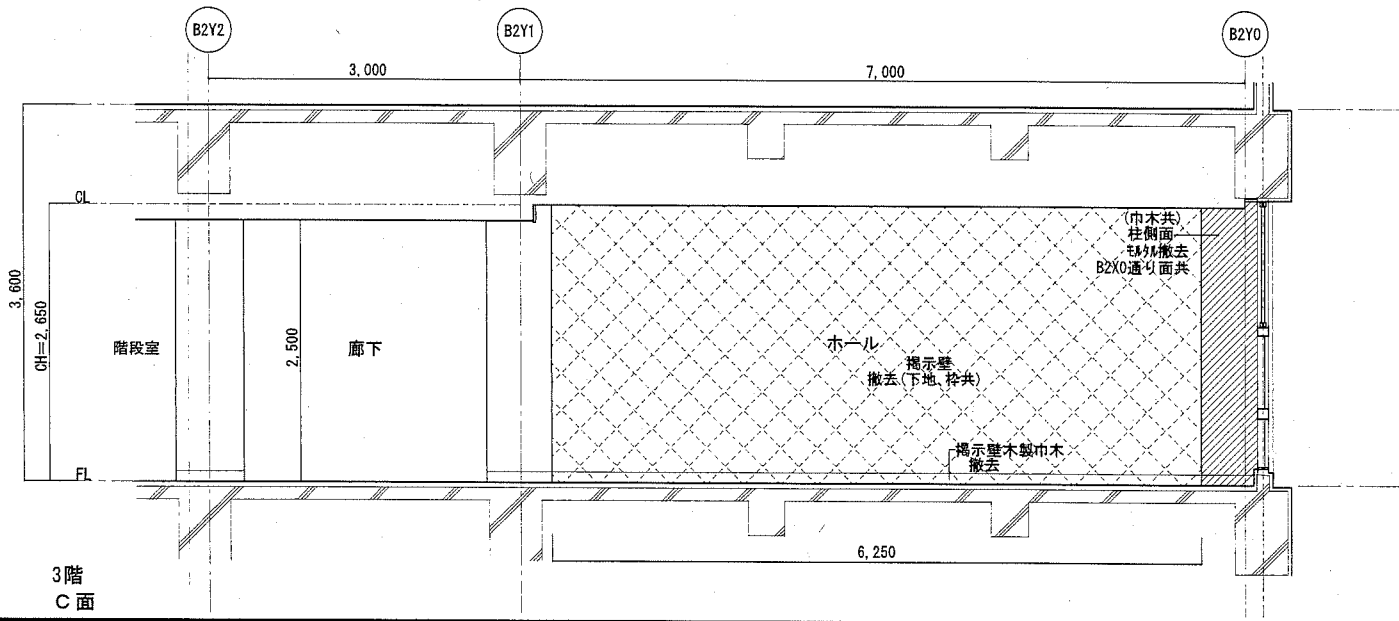
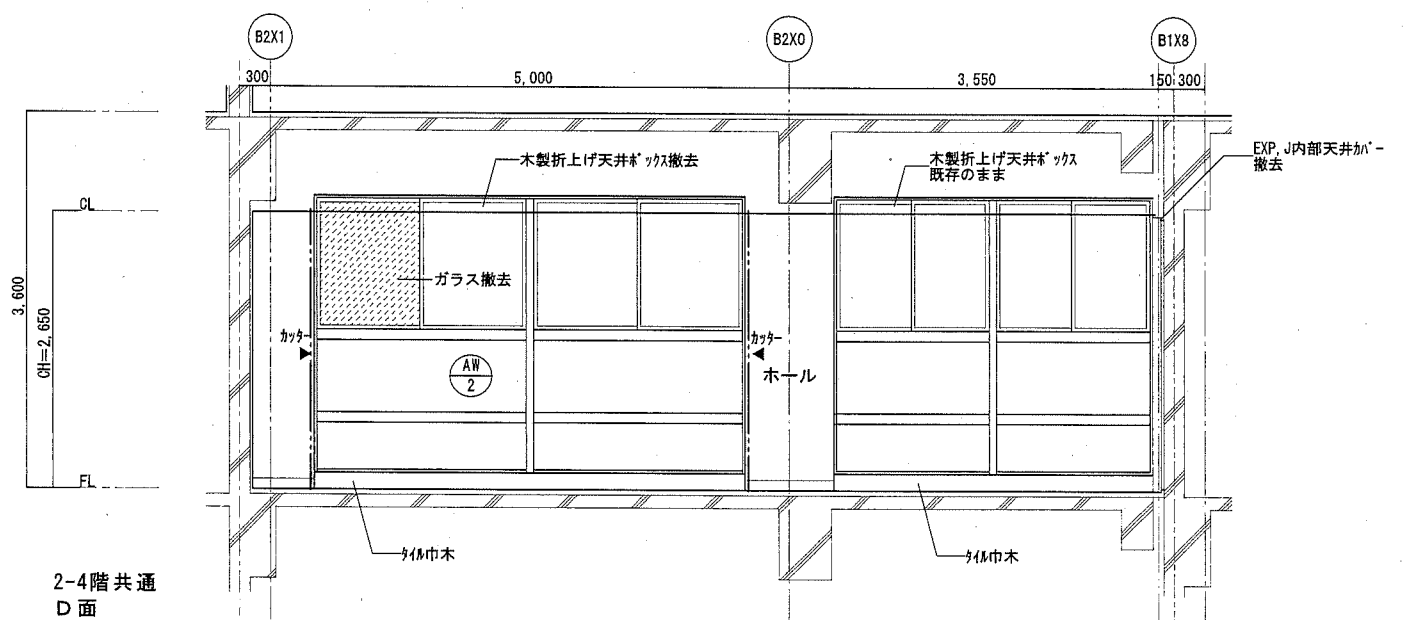
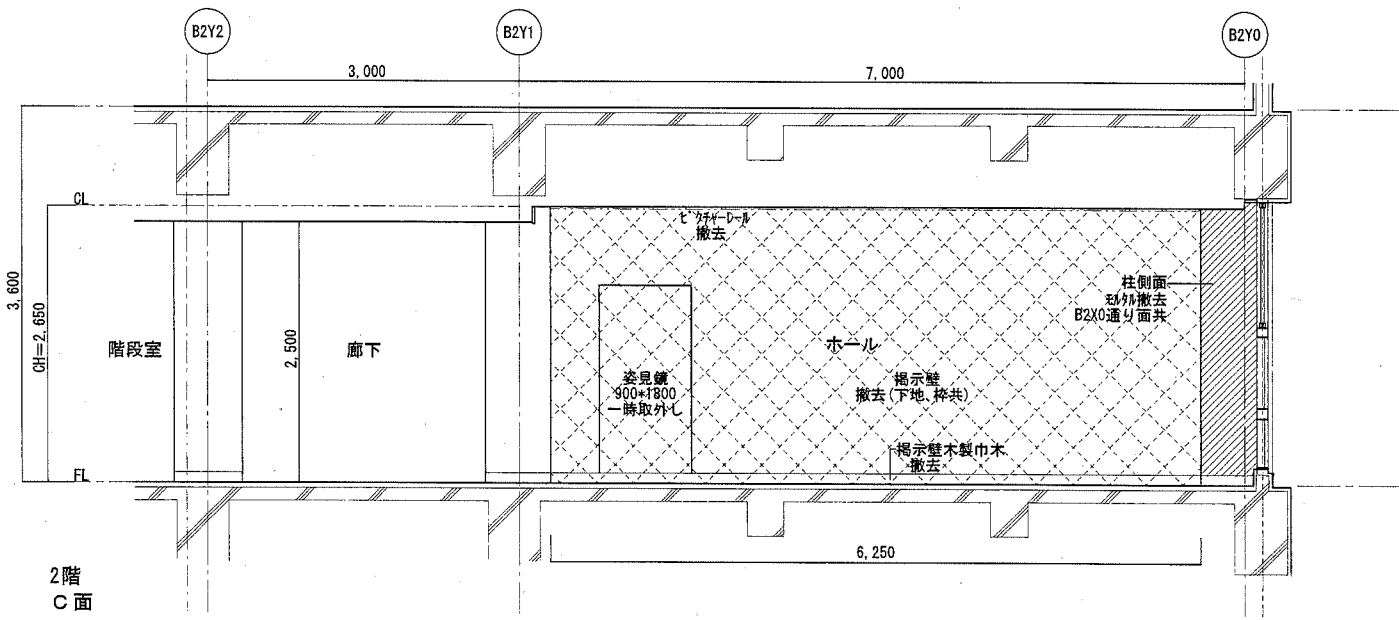
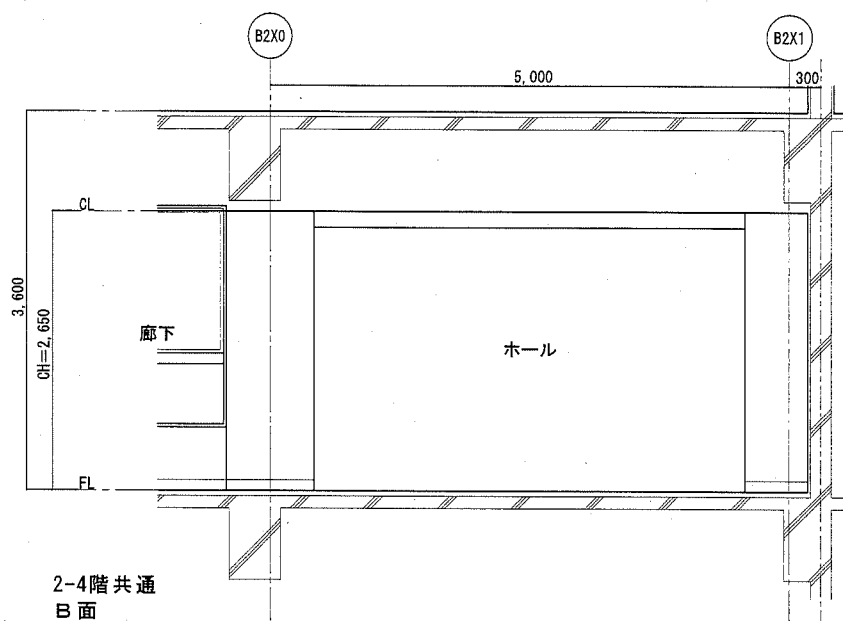
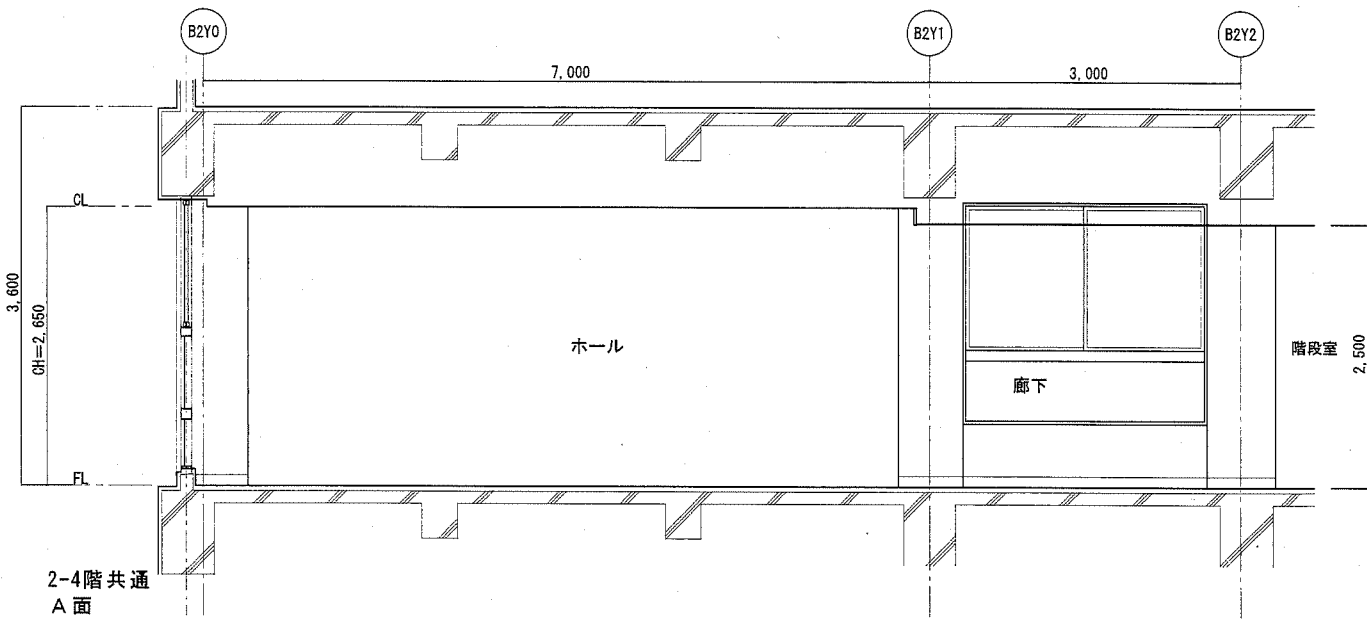
配膳室 設備・備品			
No	名称	数量	備考
①	シンク	1	建築工事
②	掃除用具ロッカー	1	工事対象外
③	SUS製作業台	1	工事対象外
④	換気扇	1	機械設備工事



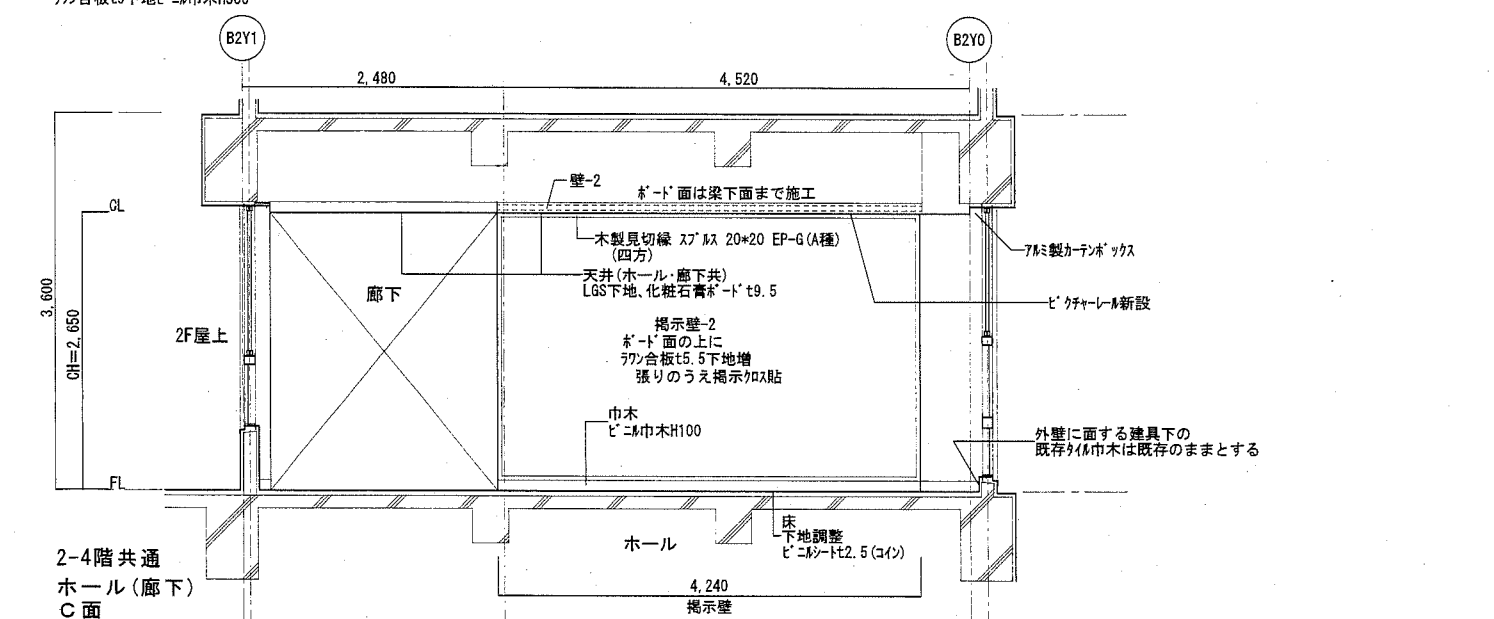
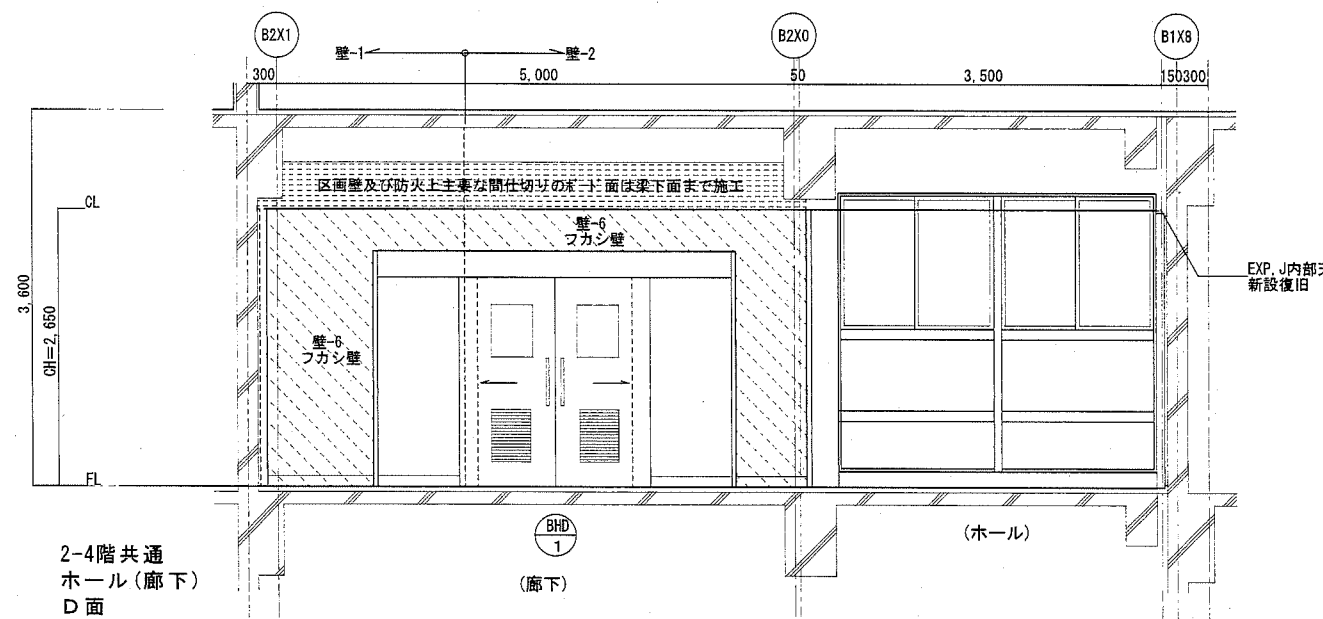
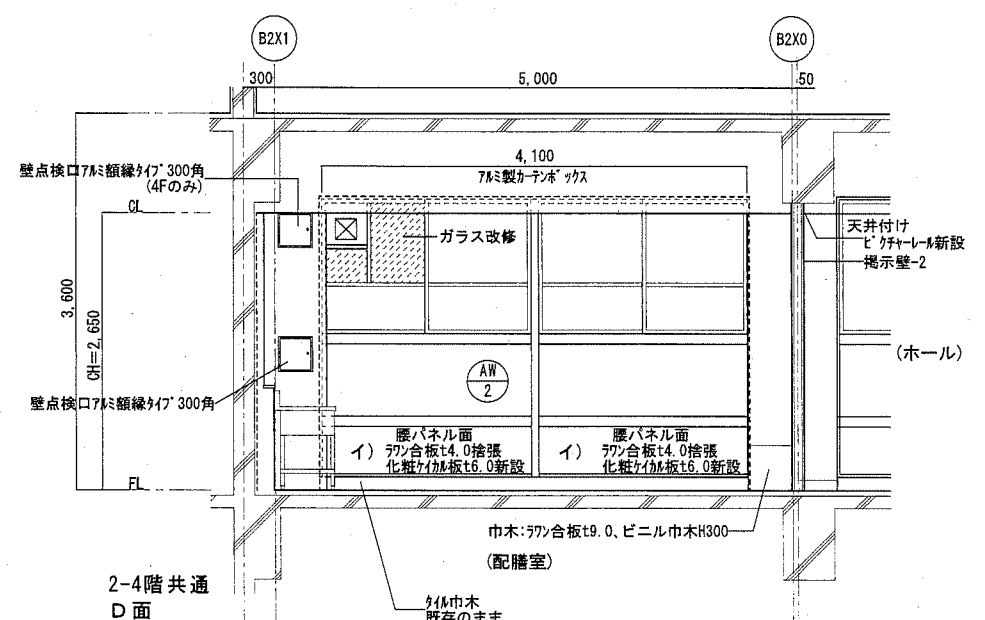
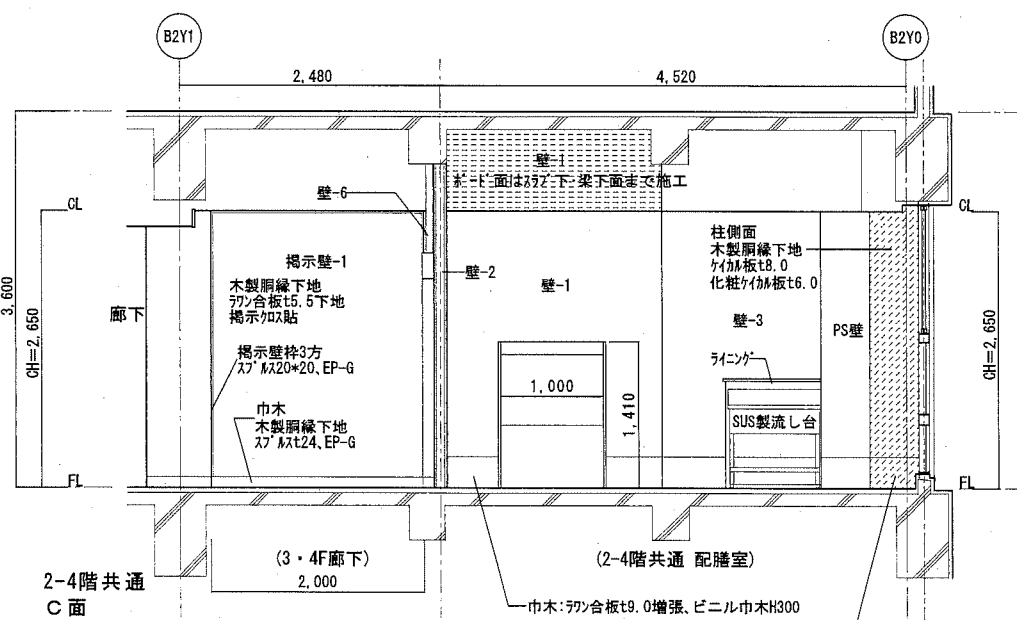
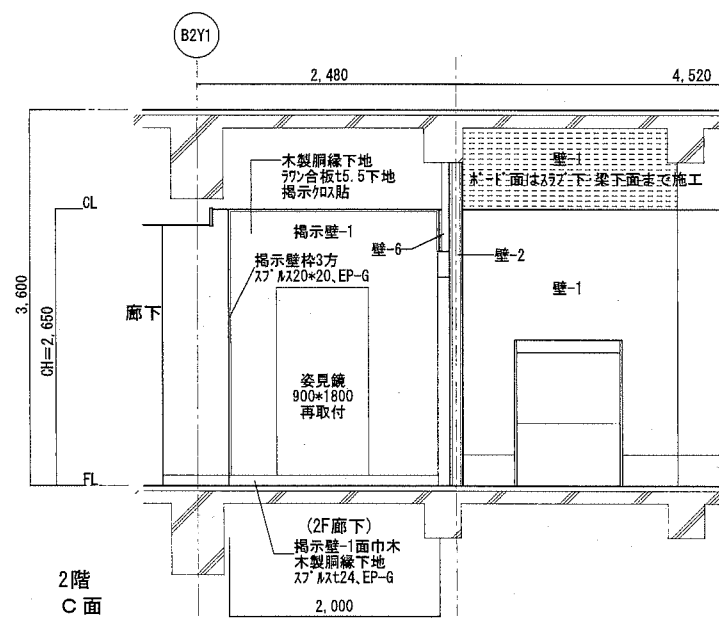
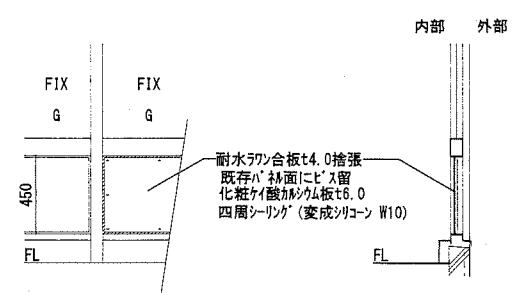
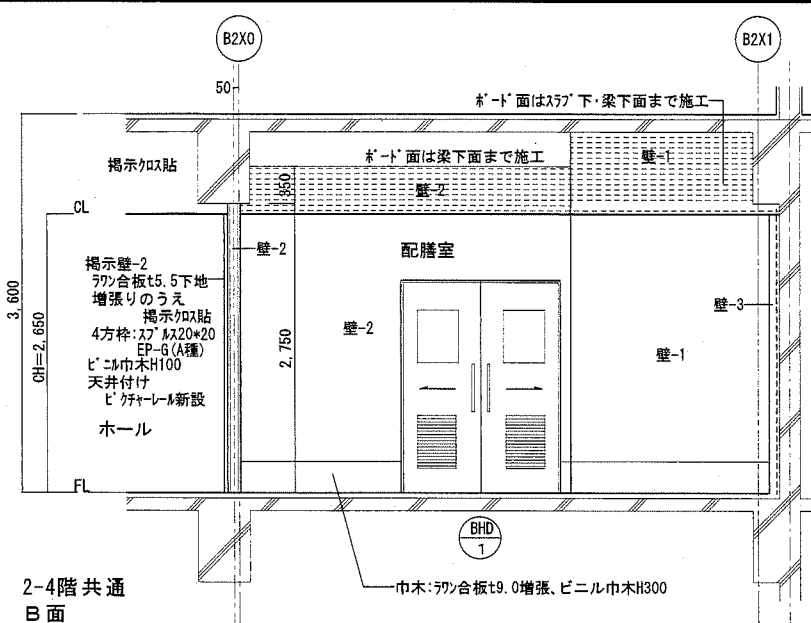
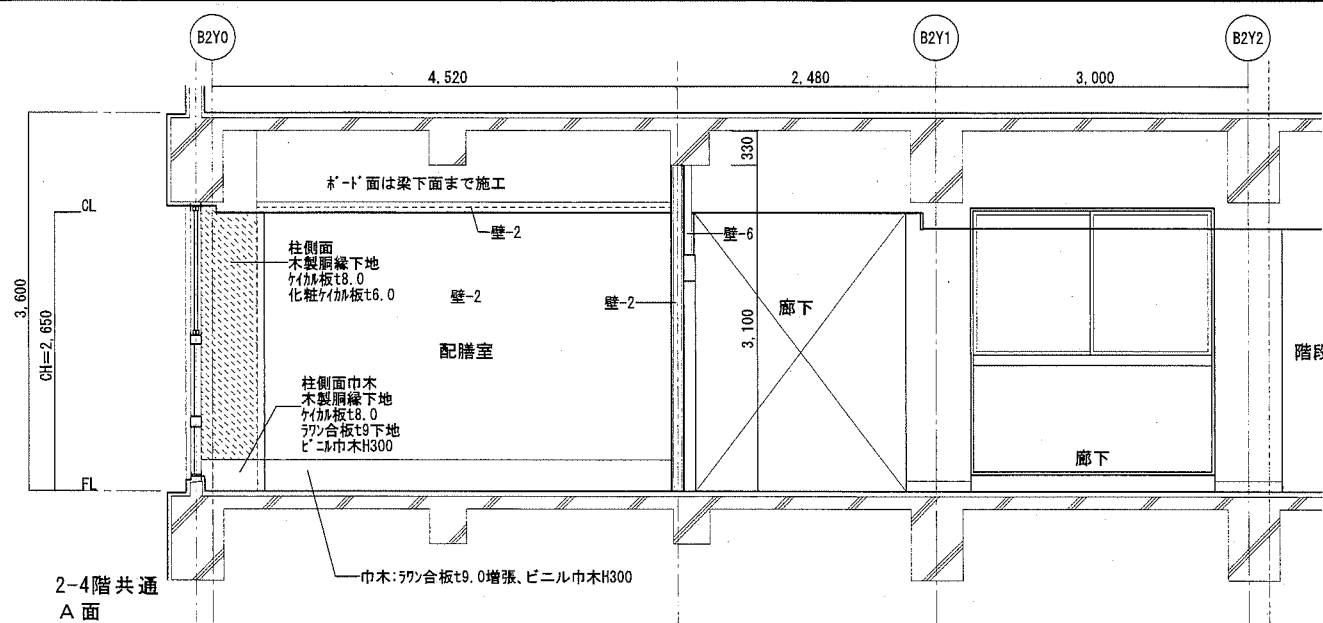
内部標準改修図 1/25

配膳室 改修内部仕上表	
部位	仕上
床	下地調整の上、ビニルシートt2.0(耐動荷重性・抗菌)
巾木	ラワン合板t9.0増張ビニル巾木H300
壁	壁-1:LGS(65)下地、強化石膏ボードt21*2/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 壁-2:LGS(65)下地、強化石膏ボードt12.5*2/両面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 壁-3:LGS(65)下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0 PS壁:LGS(65)下地、珪酸カルシウム板t8.0/片面、化粧珪酸カルシウム板t6.0
天井	LGS(19)下地、化粧石膏ボードt9.5 廻縁:塩ビ製
備考	ライニング壁、SUS製流し台、HD-2新設、アルミカーテンボックス 外部建具面換気扇取付用75mm枠(下地補強共)、外部建具面の巾木は既存のまま 天井点検口75mm額縁タイプ450角:各階1ヶ所 壁点検口75mm額縁タイプ300角:2~3階各階1ヶ所、壁点検口75mm額縁タイプ300角:4階2ヶ所 室名札

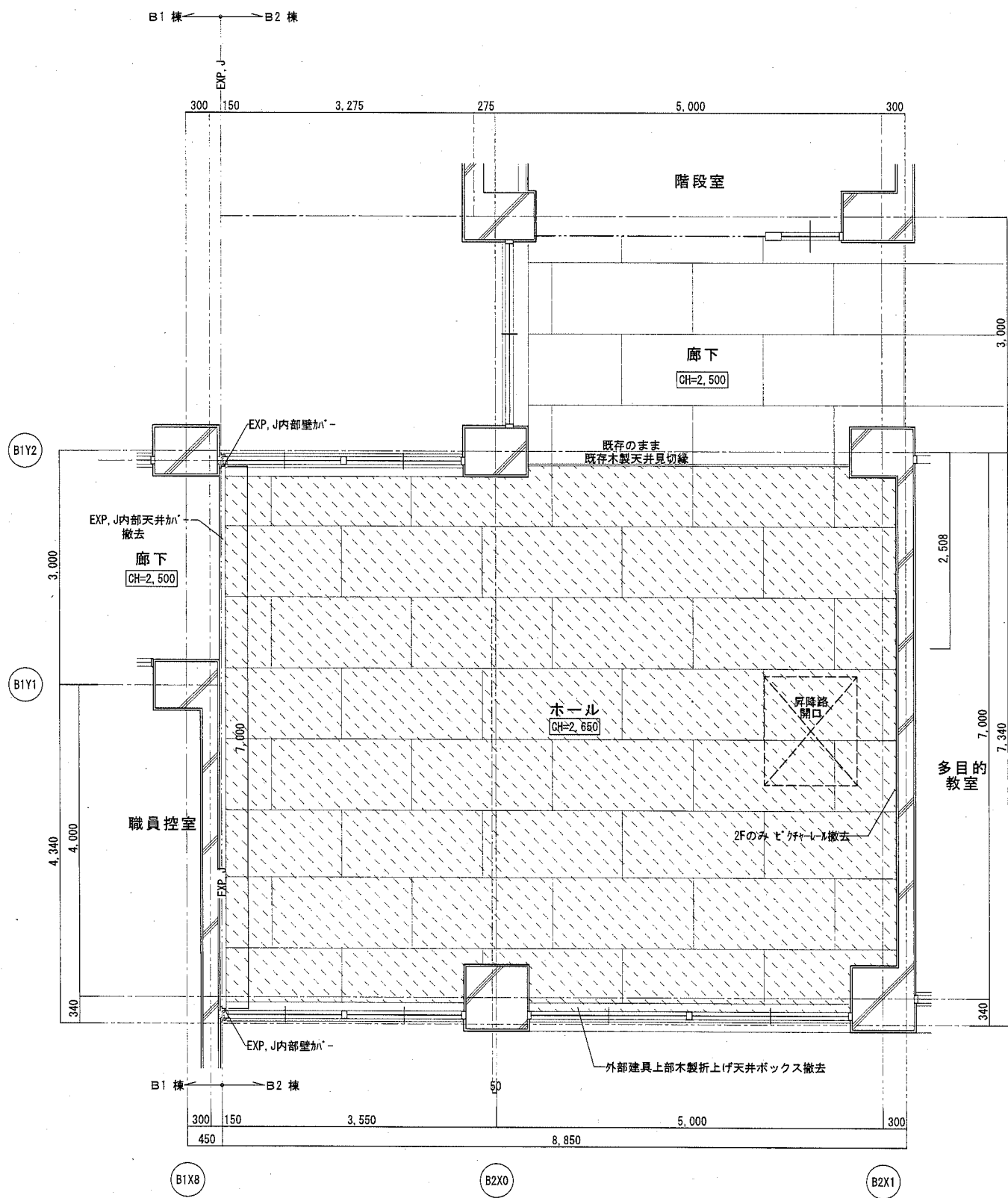
ホール 改修内部仕上表	
部位	仕上
床	ビニルシート t-2.5(ライ)
巾木	ビニル巾木H=100
壁	壁-2:LGS(65)下地、強化石膏ボードt-12.5*2/両面、EP-G 壁-6:LGS(65)下地、石膏ボードt-12.5*2/片面 EP-G 掲示壁-1・2は備考による
天井	LGS(19)下地、化粧石膏ボードt-9.5 廻縁:塩ビ製
備考	掲示壁-1:木胴縁20*40程度@300、ラワン合板t5.5下地、掲示珪酸カルシウム板 枠:3方 スパ Hx20*20、EP-G(A種)、木巾木H100:スパ Hx24、EP-G(A種) 姿見鏡再取付(2Fのみ) 掲示壁-2:壁-2の面に、ラワン合板t5.5下地、掲示珪酸カルシウム板 枠:4方 スパ Hx20*20、EP-G(A種)、ビニル巾木H100 天井付ビクチャーレール新設、 EXP、J天井加一新設復旧



公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	A-45
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 B棟 2~4階配膳室 展開図-1 (既存)	1/50	

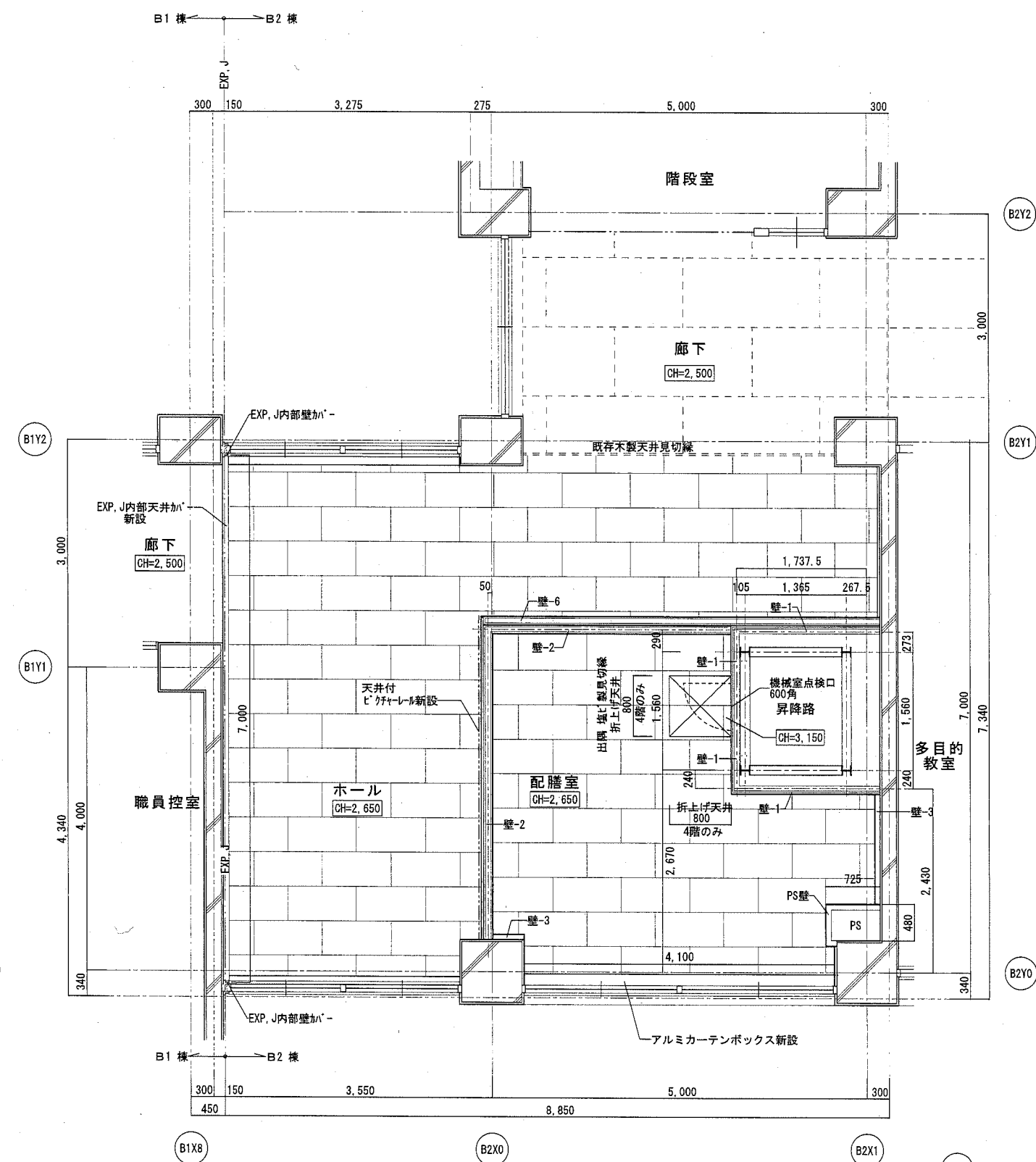


公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50	A-46
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	B棟 2~4階配膳室 展開図-2 (改修)			No.



2~4階 ホール 既存平面図 1/50

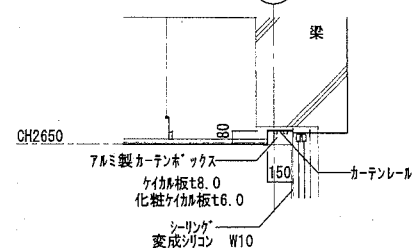
ホール	既設天井仕上	
天井	LGS下地 石膏ボードt-9.5EP	ハッチ部撤去
備考	外部建具上部木製折上げ天井ボックス一部撤去 EXP, J天井加'撤去 2Fのみビクチャール撤去	



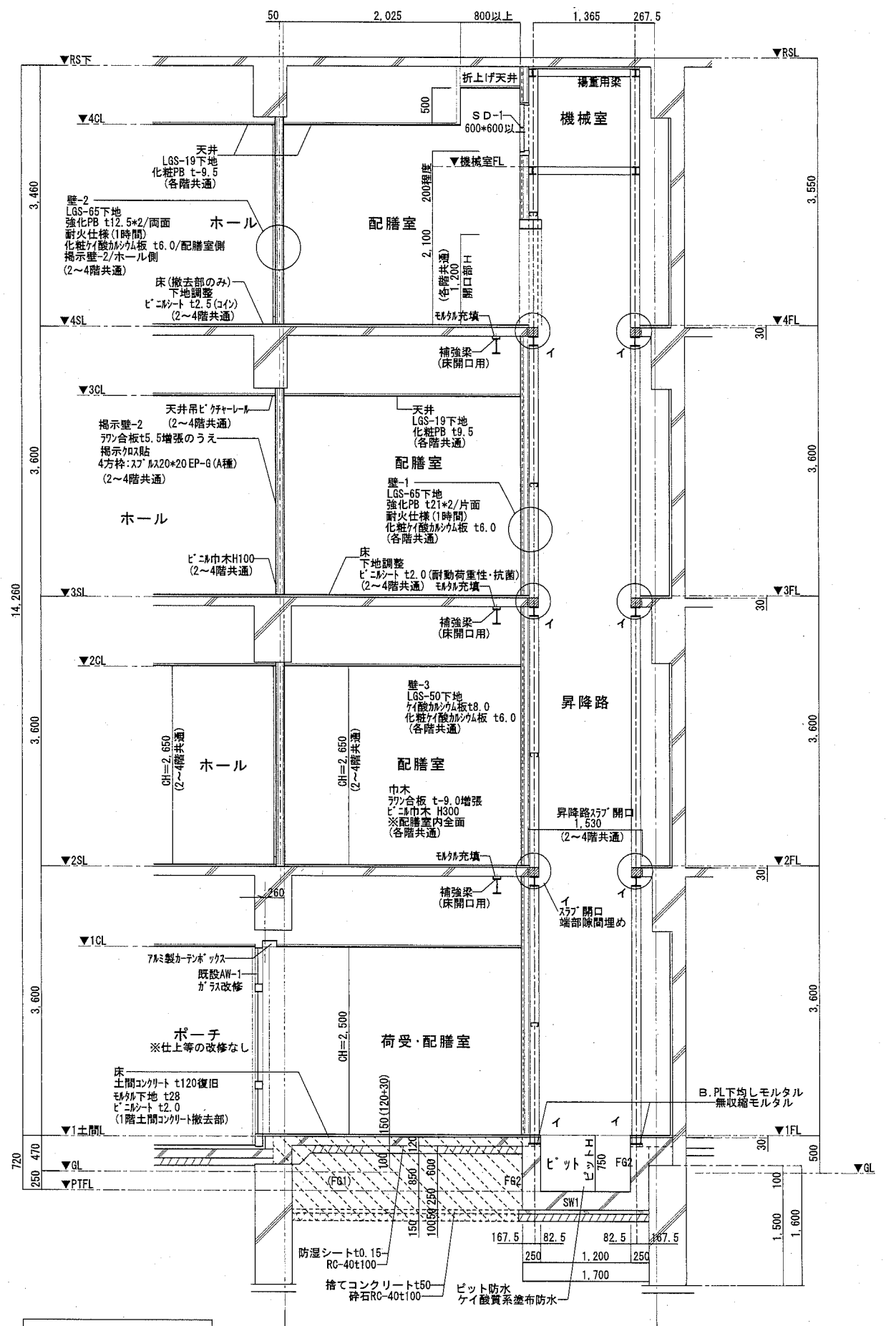
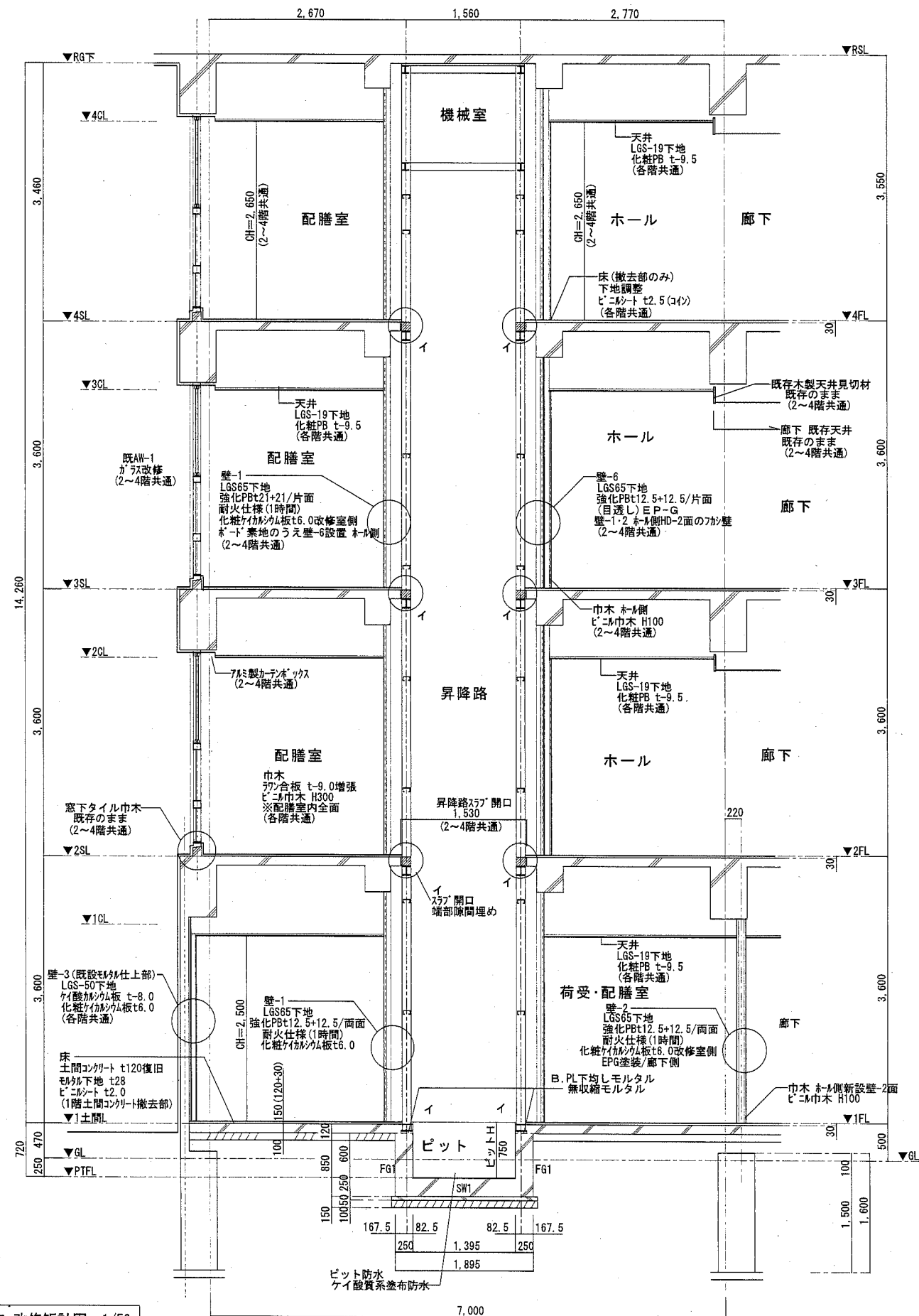
2~4階 配膳室 改修平面図 1/50

※配膳室に天井点検口7Mミ額縁サイズ450角  
2・3階1ヶ所新設 4階2ヶ所新設  
取付位置は監督員と協議のうえ決定すること。

配膳室	改修天井仕上	
天井	LGS下地:化粧石膏ボードt-9.5	全面新設
備考	アルミカーテンボックス新設	
廊下・ホール	改修天井仕上	
天井	LGS下地化粧石膏ボードt-9.5	撤去部復旧
備考	点線は既存のまま、EXP, J内部天井加'新設復旧 ビクチャール新設	



カーテンボックス詳細図 1/30



※ F61の点線ハッチは既存地中梁に定着範囲を示す

公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課  
設計年月日 平成 31年 2月

工事名称 市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事  
図面名称 日棟 1階荷受・配膳室、2～4階配膳室 矩計図 (改修)

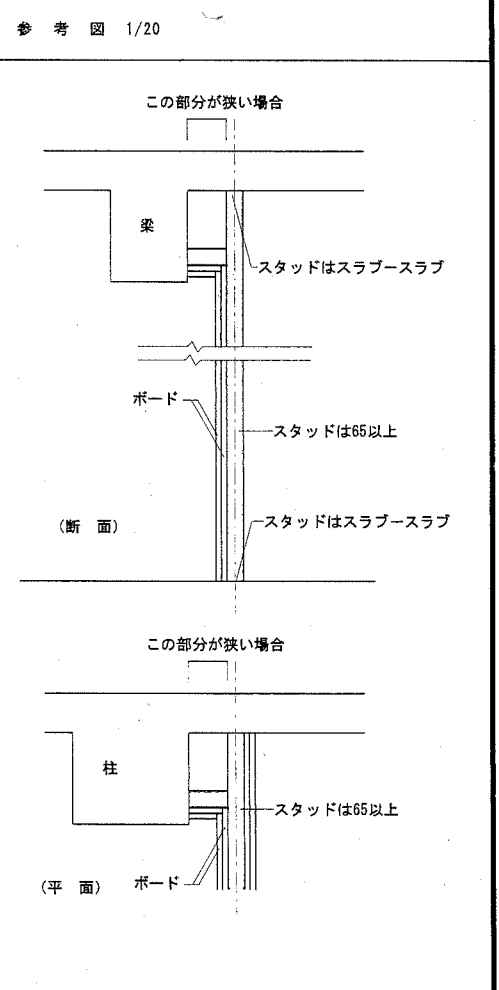
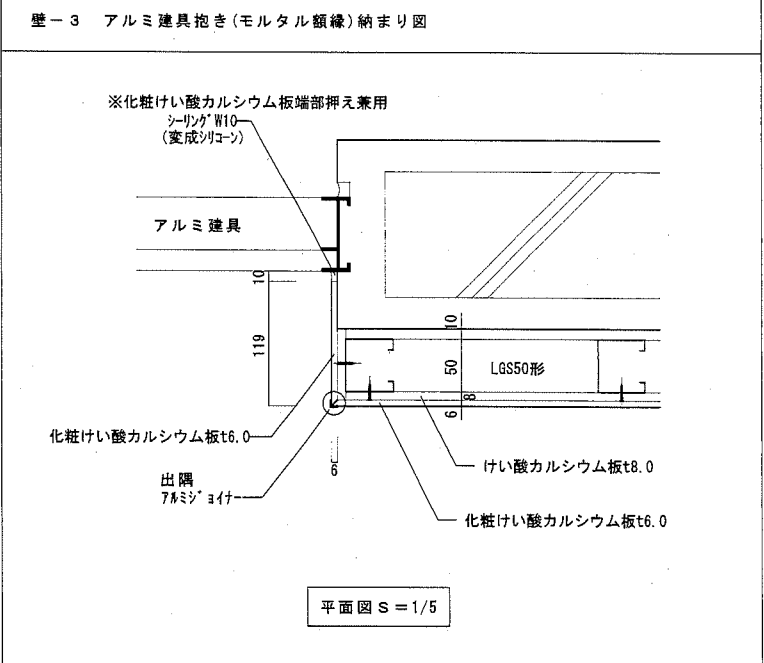
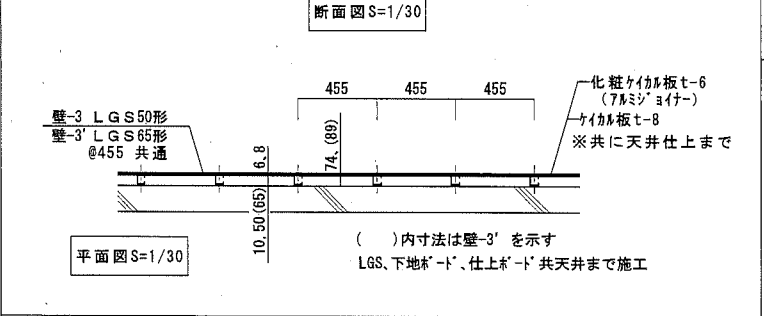
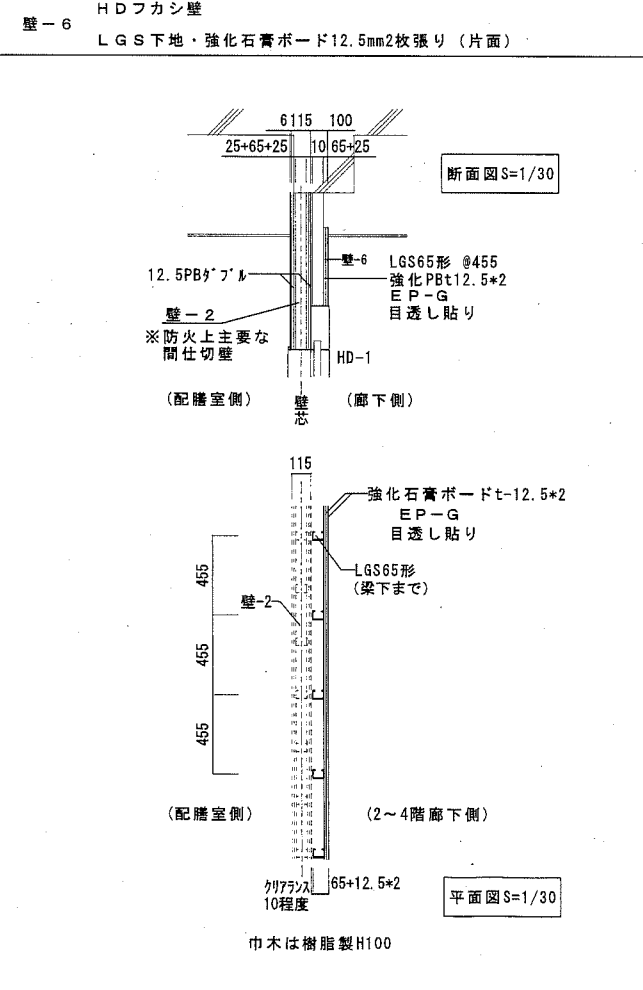
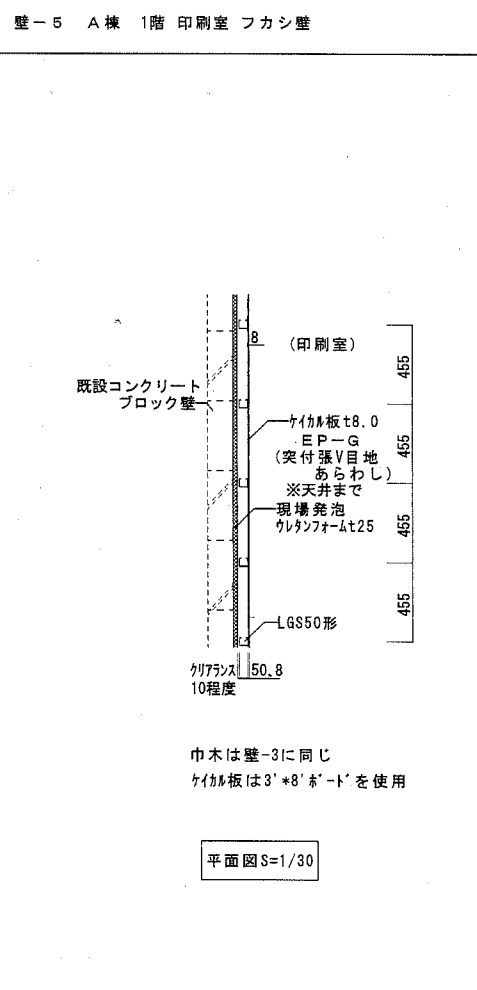
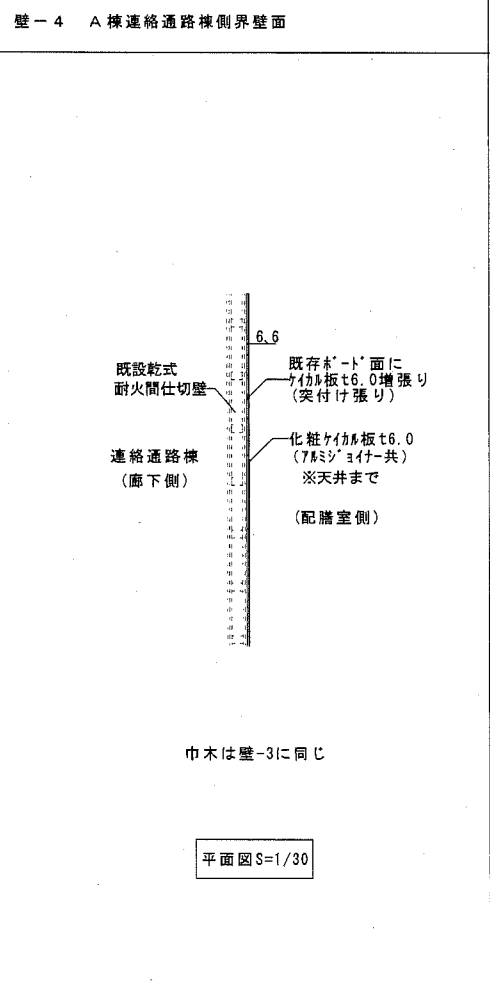
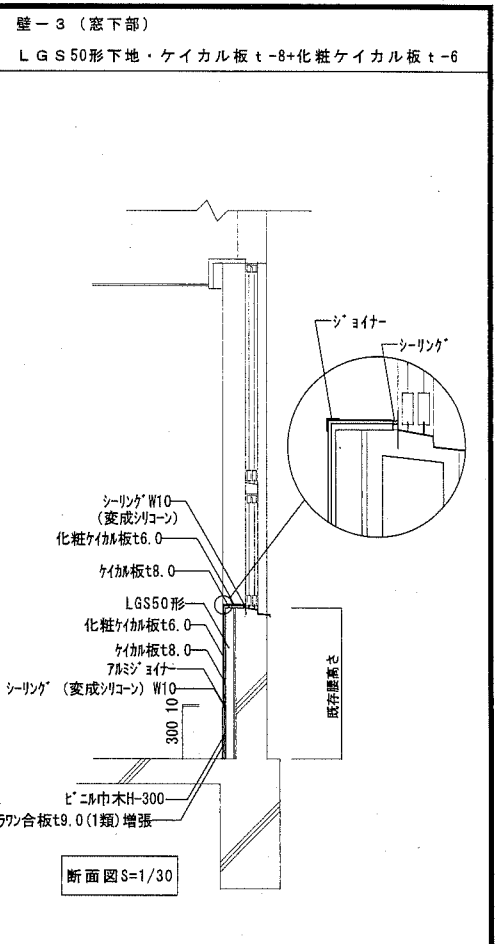
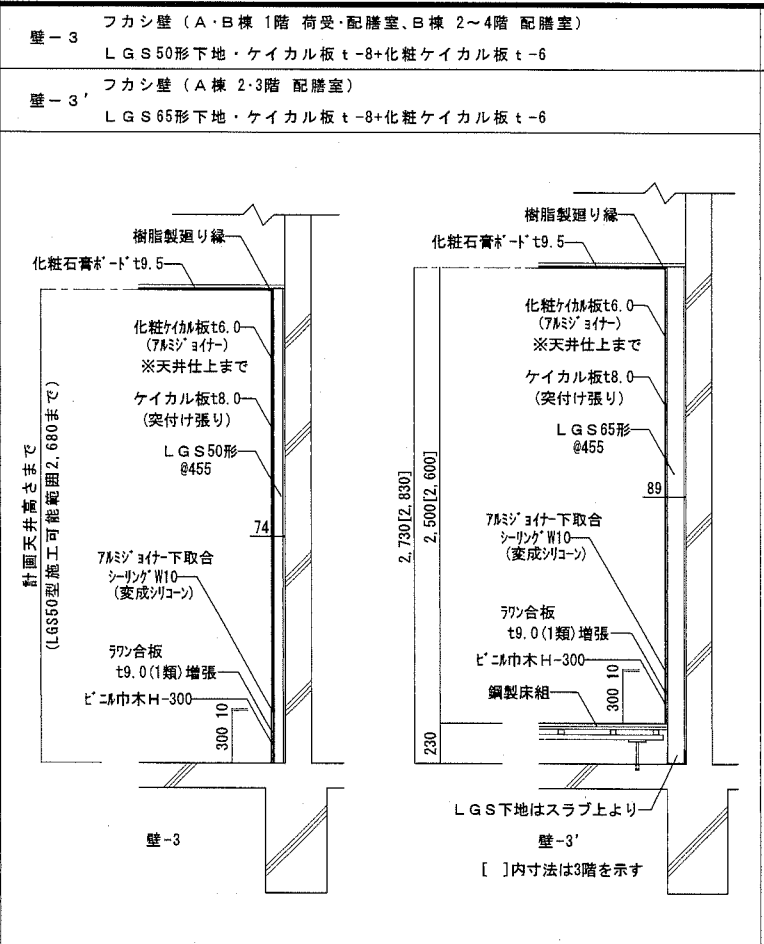
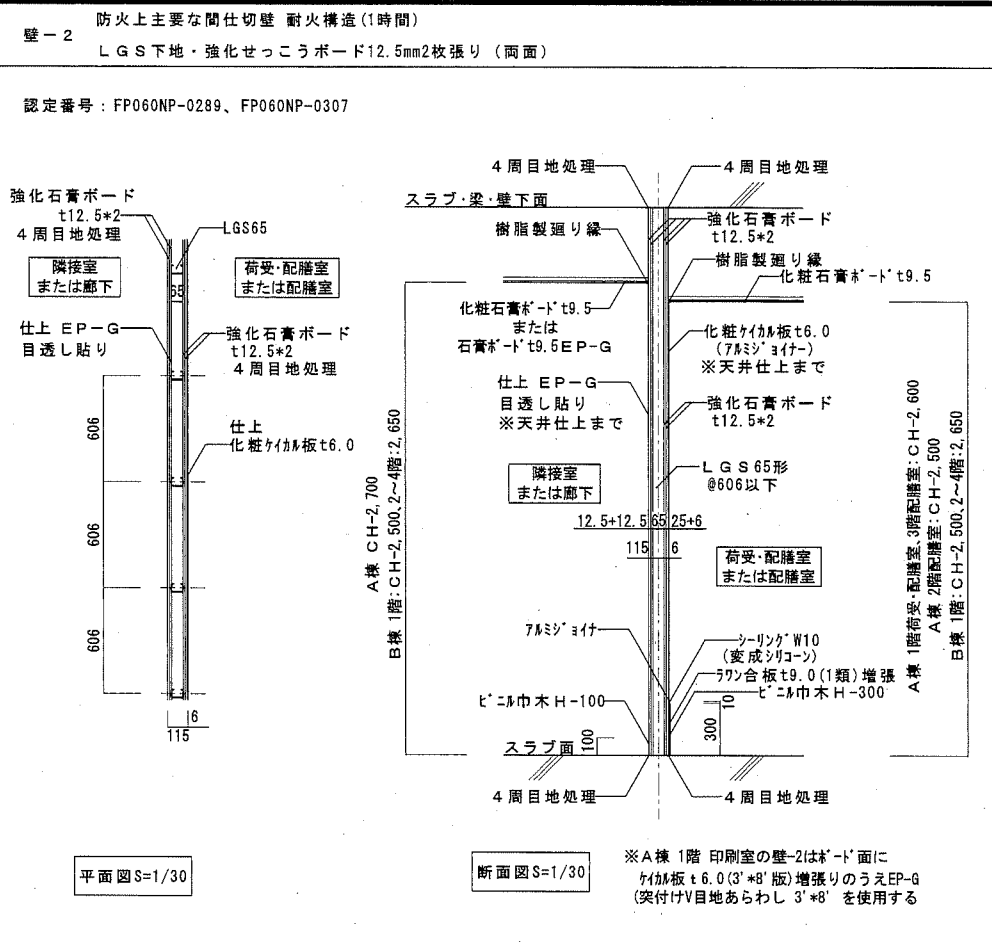
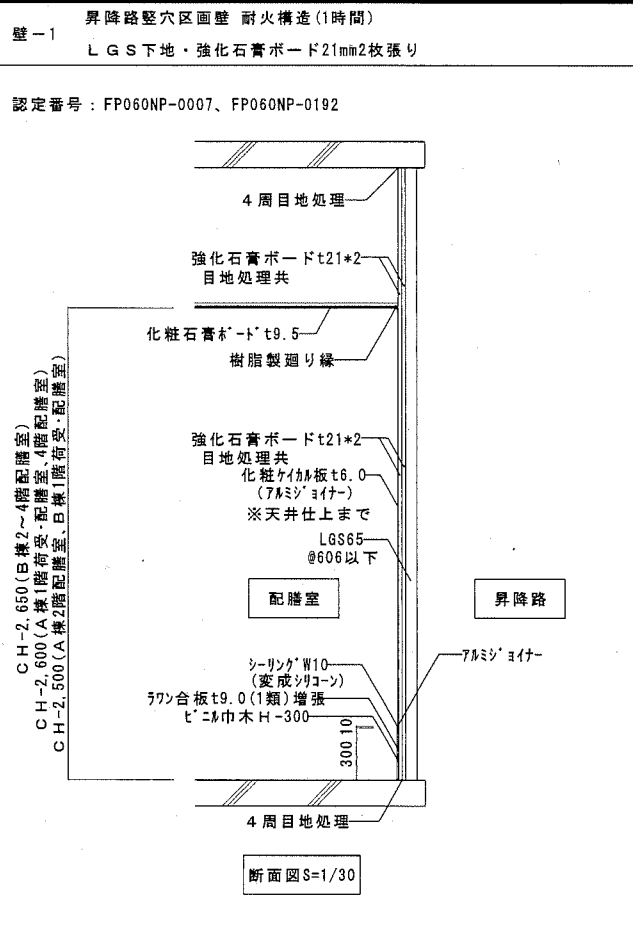
縮尺	A-48
1/50	No.



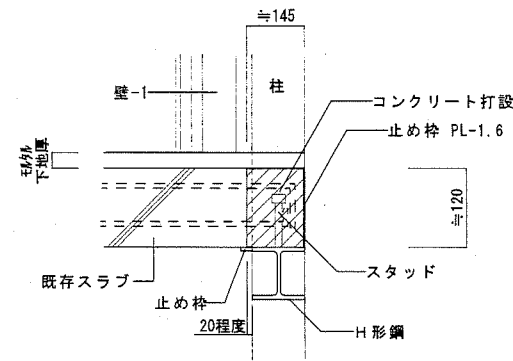
棟・記号・数	A-AD-1 A棟 1ヶ所	A-HD-1 A棟 3ヶ所	A-LSD-1 A棟 1ヶ所	A-LSD-2 A棟 1ヶ所	A-AW-0 (既存改修) A棟 1ヶ所
図法子					
取付場所	1階 荷受・配膳室	A棟 1階 荷受・配膳室、2・3階 配膳室	1階 倉庫 (旧印刷室)	1階 印刷室 (旧バンコナー)	1階 荷受・配膳室 (旧印刷室)
種別方法	FIX付両引き分け戸	外付け2枚片引きハンガー戸	引手引き違い窓付引き違い戸	引き違い戸	倉庫用排気口取付 (既存換気扇撤去)
材質・仕上	アルミ シルバー	軽量スチール 焼付塗装	スチール製焼付塗装仕上	スチール製焼付塗装仕上	アルミ シルバー
取付金物	両引戸錠、押し棒、アルミ額縁L=80	引戸錠、押し棒	引手、引違戸錠、戸車、付属金物一式 (両面三方額縁共)	引手、引違戸錠、戸車、付属金物一式 (両面三方額縁共)	アルミ シルバー
備考	額縁 アルミ製 (W≒180/三方)、ステンレス水抜きパイプ3箇所設置	額入り窓、ガラリ、室内側三方枠 (枠見込 図示) SUS製防虫網 (24メッシュ) はガラリ廊下側に取付	額入り窓、ガラリ	額入り窓、ガラリ	上段無目上を天井内とし排気ダクトを納めるため 既存換気扇撤去部もアルミパネルt3.0とする アルミパネルt3.0のVC取付用切欠き

棟・記号・数	A-AW-1 (既存改修) A棟 2ヶ所	A-AW-2 (既存改修) A棟 1ヶ所	B-HD-1 B棟 1ヶ所	B-HD-2 B棟 3ヶ所	B-AW-1 (既存改修) B棟 1ヶ所
図法子					
取付場所	2階:配膳室 (旧倉庫)、3階:配膳室 (旧生徒会室)	1階 印刷室 (旧バンコナー)	B棟 1階 荷受・配膳室	B棟 2・3・4階 配膳室	1階 配膳室 (旧ホール)
種別方法	換気扇取付	換気扇取付	片面戸袋付両引分けハンガー戸	外付け両引分けハンガー戸	換気扇取付
材質・仕上	アルミ シルバー	アルミ シルバー	軽量スチール 焼付塗装	軽量スチール 焼付塗装	アルミ シルバー
取付金物	アルミパネルt3.0の換気扇取付用切欠き	アルミパネルt3.0の換気扇取付用切欠き	両引分戸錠、押し棒、 額入り窓、ガラリ 1階 荷受・配膳室側 SUS製防虫網 (24メッシュ) はガラリ室内側に取付	両引分戸錠、押し棒、 額入り窓、ガラリ、室内側三方枠 (枠見込 135) 2~4階 廊下側 SUS製防虫網 (24メッシュ) はガラリ廊下側に取付	アルミパネルt3.0の換気扇取付用切欠き 新設するガラス・アルミパネル面は補強枠を設ける
備考		新設するガラス・アルミパネル面は補強枠を設ける			

棟・記号・数	B-AW-2 (既存改修) B棟 3ヶ所	共-SD-1 計 2ヶ所 A棟 1ヶ所 B棟 1ヶ所	共-壁点検口 A棟 4ヶ所 B棟 5ヶ所	HD 防埃対策 参考図 1/20
図法子				
取付場所	2~4階 配膳室 (旧ホール)	A棟:3階配膳室、B棟:4階配膳室	A棟:1階荷受・配膳室、2・3階配膳室 B棟:1階荷受・配膳室、2~4階配膳室	
種別方法	換気扇取付	特定防火設備扉	PS 壁点検口	
材質・仕上	アルミ シルバー	鉄製t=1.6自閉式焼付塗装	7メッシュ額縁タイプ付	
取付金物	アルミパネルt3.0の換気扇取付用切欠き 新設するガラス・アルミパネル面は補強枠を設ける 鋼板H面に化粧ケガキ板を増張	昇降路最頂部機械室点検用	仕上げは壁と同じにする 各棟最上階は2ヶ所設置する	
備考				ガラス等凡例 ① 透明ガラス t=3.0 +透明フィルム t=30mil+透明ガラス t=3.0 ② アルミパネル t=5.0 ③ アルミパネル t=3.0 ④ 網入り透明ガラス t=6.8 ⑤ 網入り型板ガラス t=6.8 ⑥ 透明ガラス t=3.0+飛散防止フィルム (内) ※ 既存ガラス (透明ガラス t=3.0)



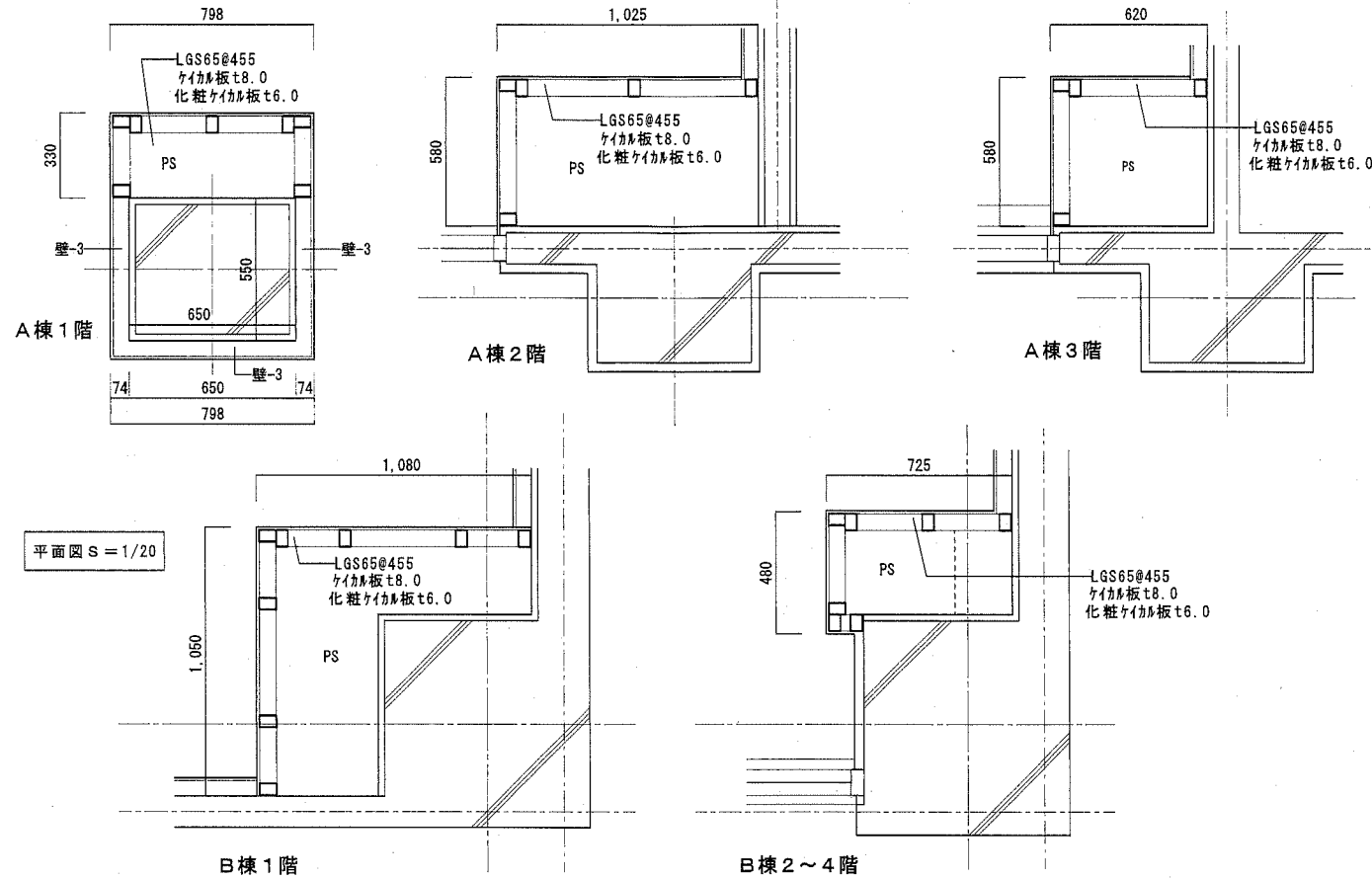
各階 スラブ接続部詳細 (小荷物昇降路)



既存スラブの鉄筋は定着分(40d)を残しておくこと  
使用コンクリート Fo-21-18

断面図 S=1/10

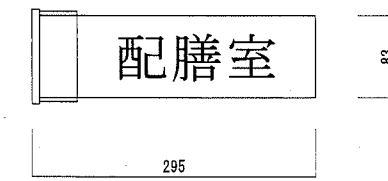
PS壁詳細図



平面図 S=1/20

断面図 S=1/10

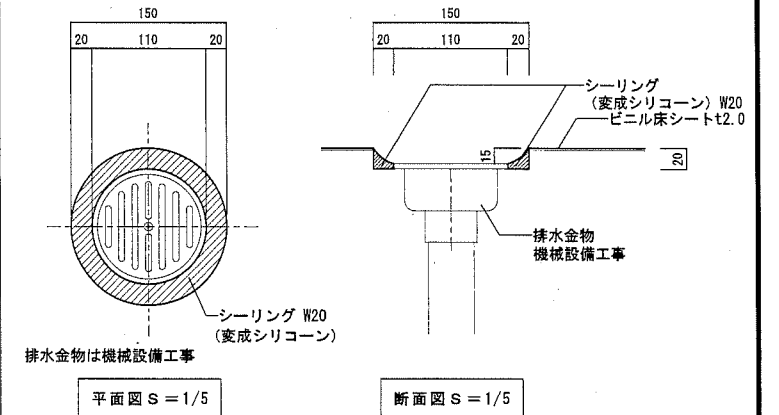
室名札 詳細図



サイン式 室名札 アクリル製  
両面表示 印刷 共

A棟対象室  
1~4階: 配膳室 4ヶ所  
1階: 倉庫 1ヶ所  
1階: 印刷室 1ヶ所  
B棟対象室  
1~4階: 配膳室 4ヶ所

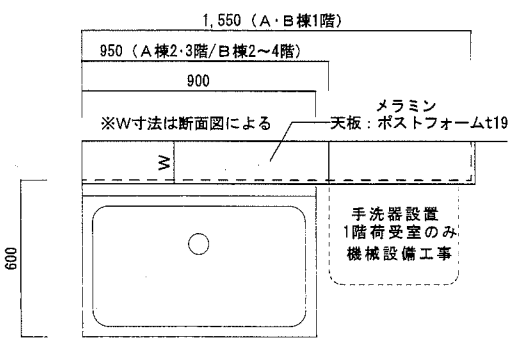
牛乳冷庫排水目皿詳細図



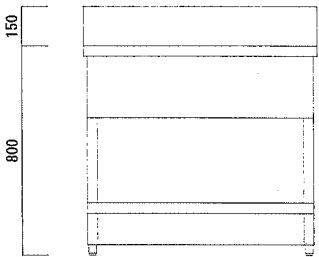
平面図 S=1/5

断面図 S=1/5

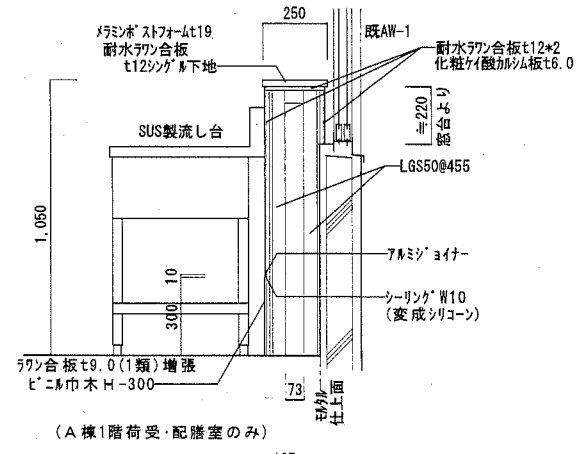
ステンレス流し及びライニング



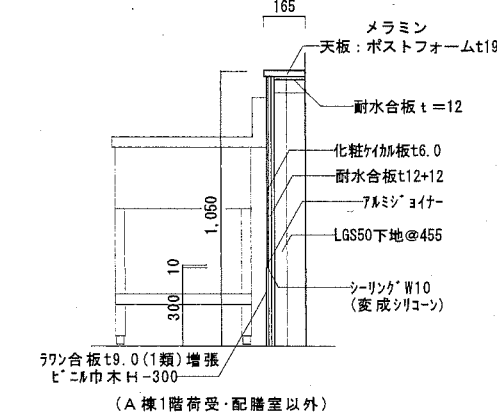
平面図 S=1/20



断面図 S=1/20



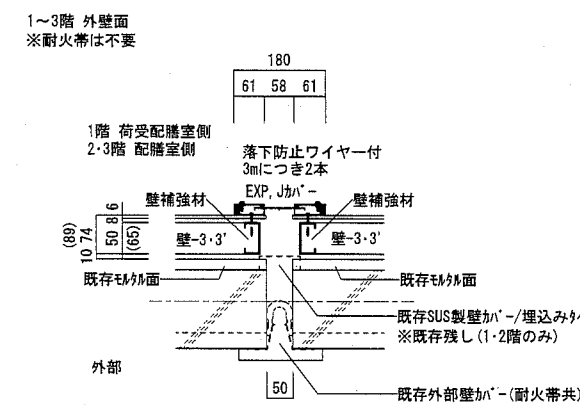
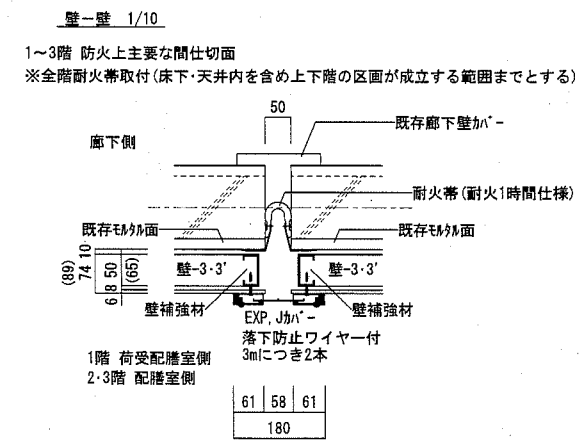
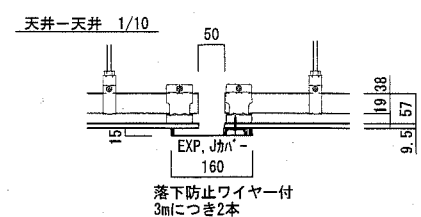
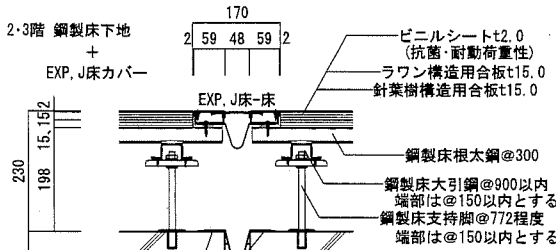
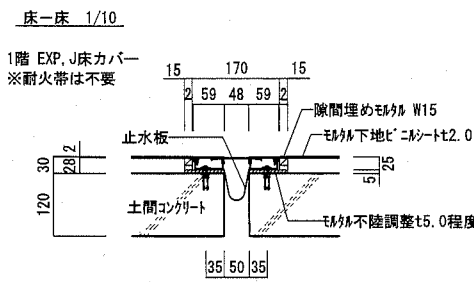
(A棟1階荷受・配膳室のみ)



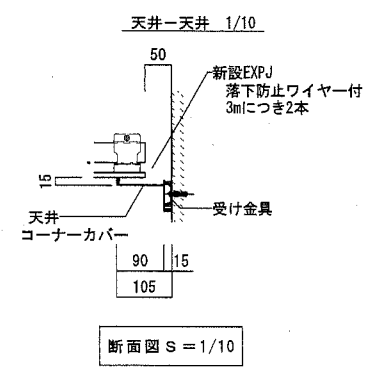
(A棟1階荷受・配膳室以外)

断面図 S=1/20

A棟 EXP, Jカバー (床、壁、天井)

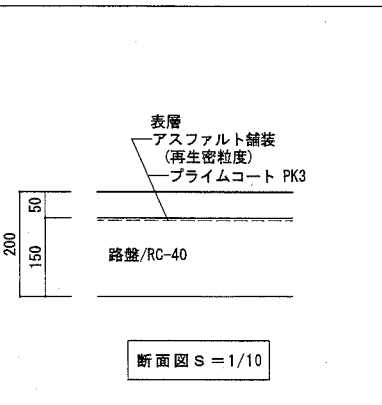


B棟 EXP, Jカバー (2~4階ホール天井)



断面図 S=1/10

A棟 アスファルト舗装

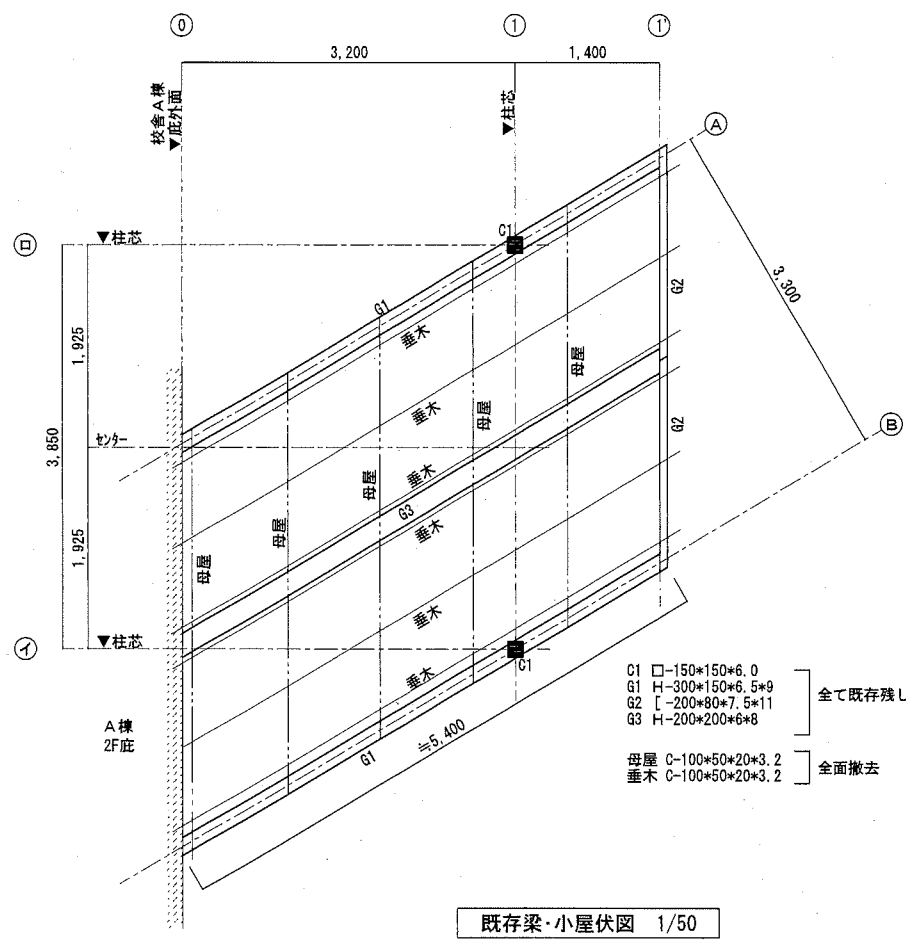


公共建築課長	主査等	担当者

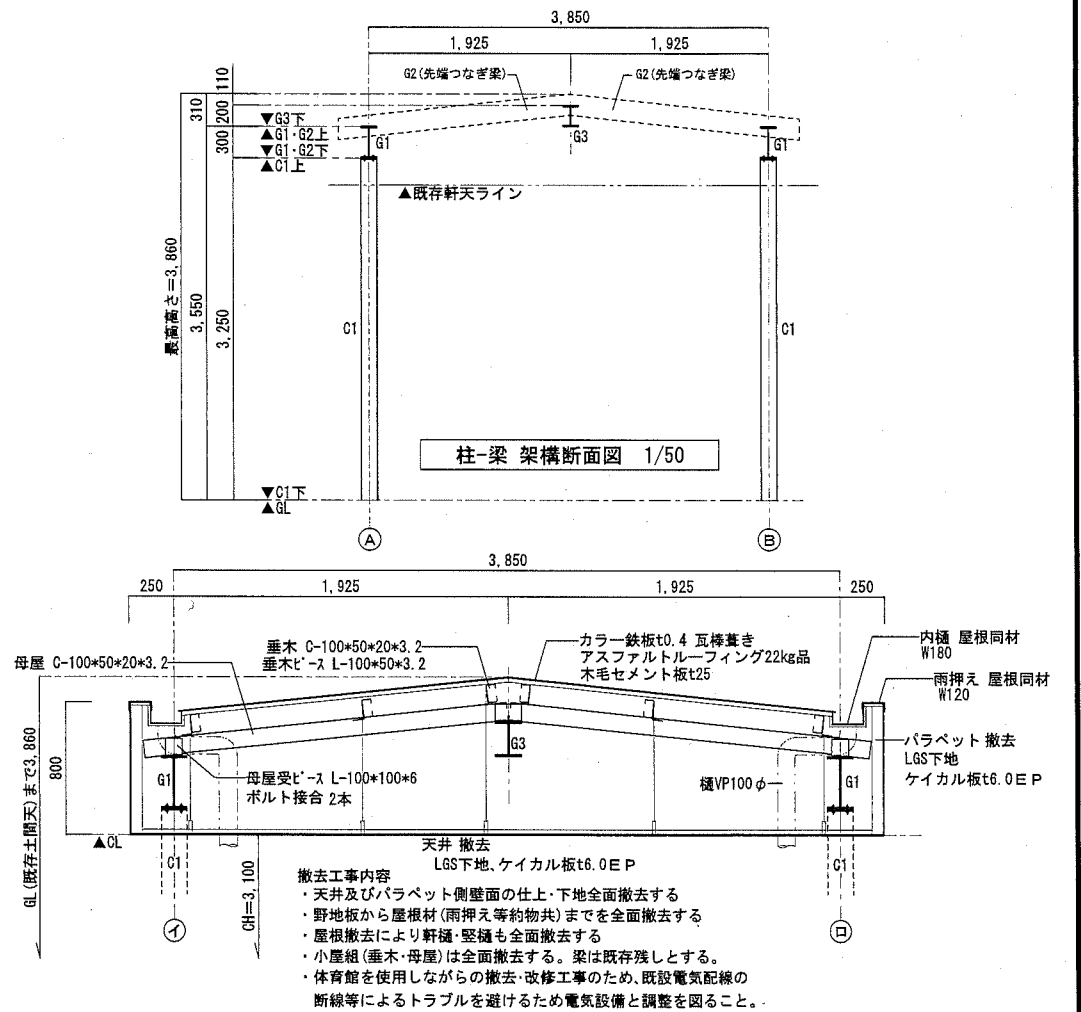
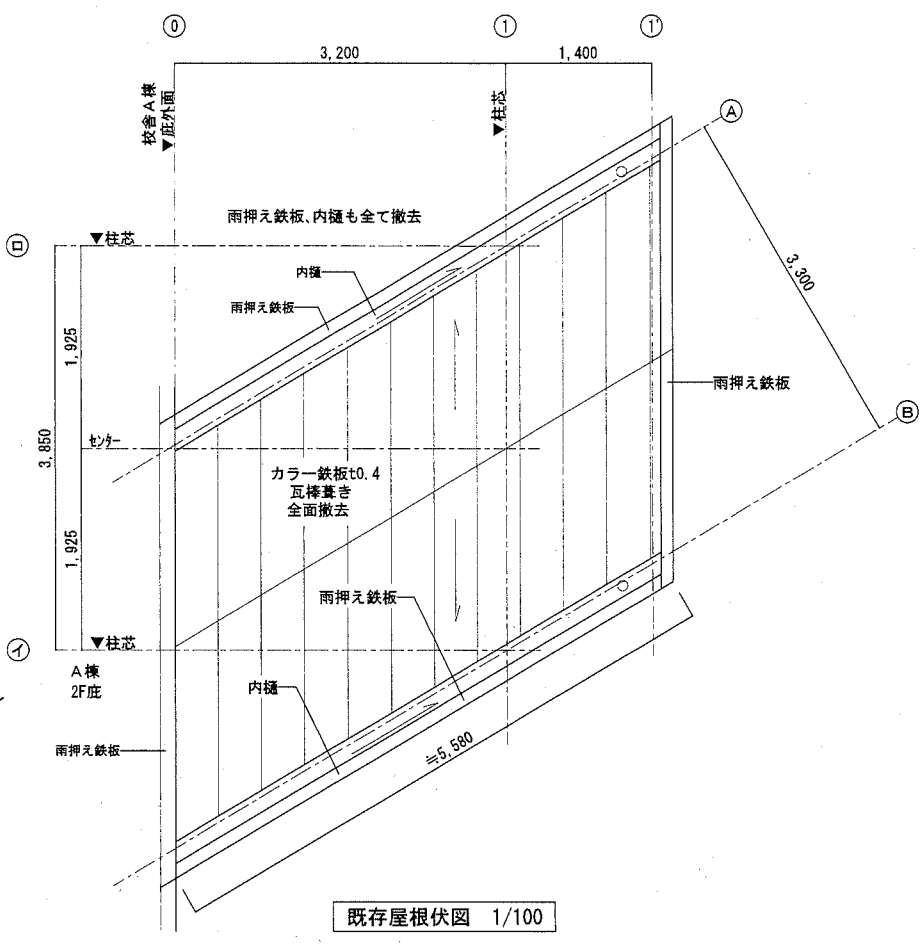
横須賀市 都市部 公共建築課  
設計年月日 平成 31年 2月

工事名称 市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事  
図面名称 雑詳細図-2

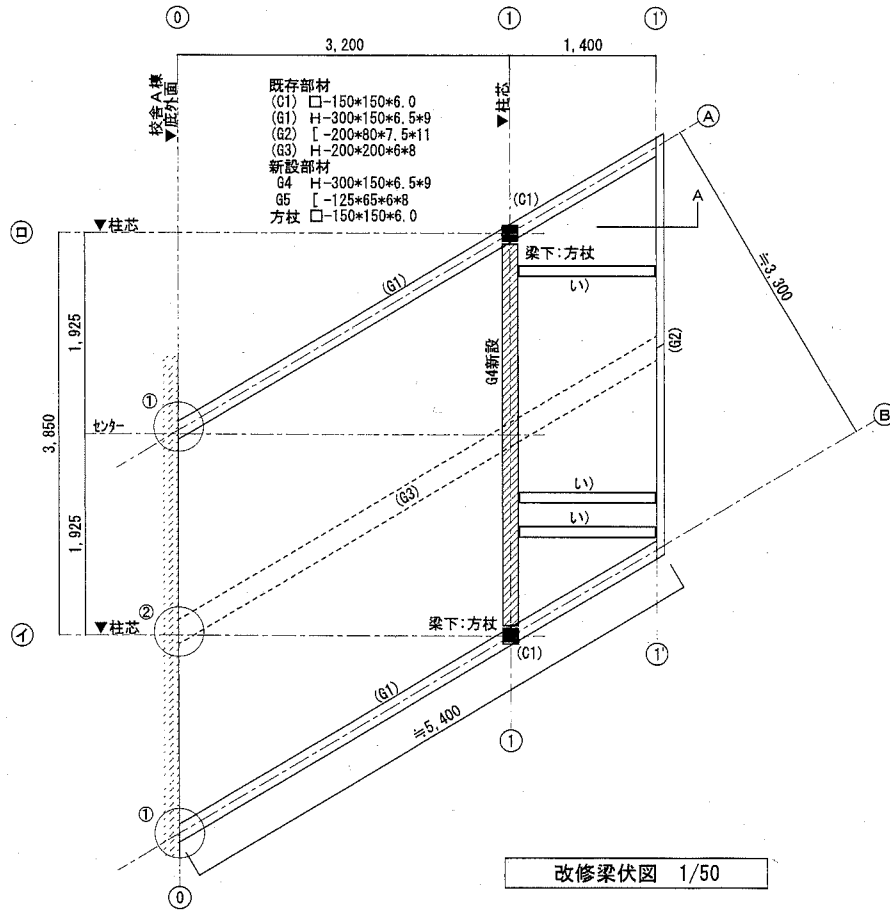
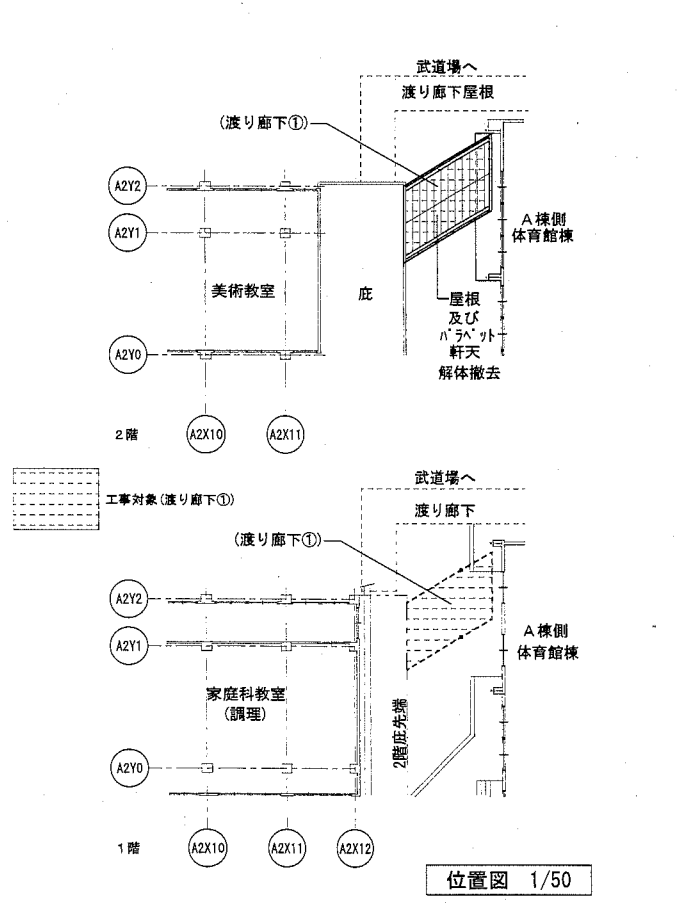
縮尺	
図示	A-51
No.	



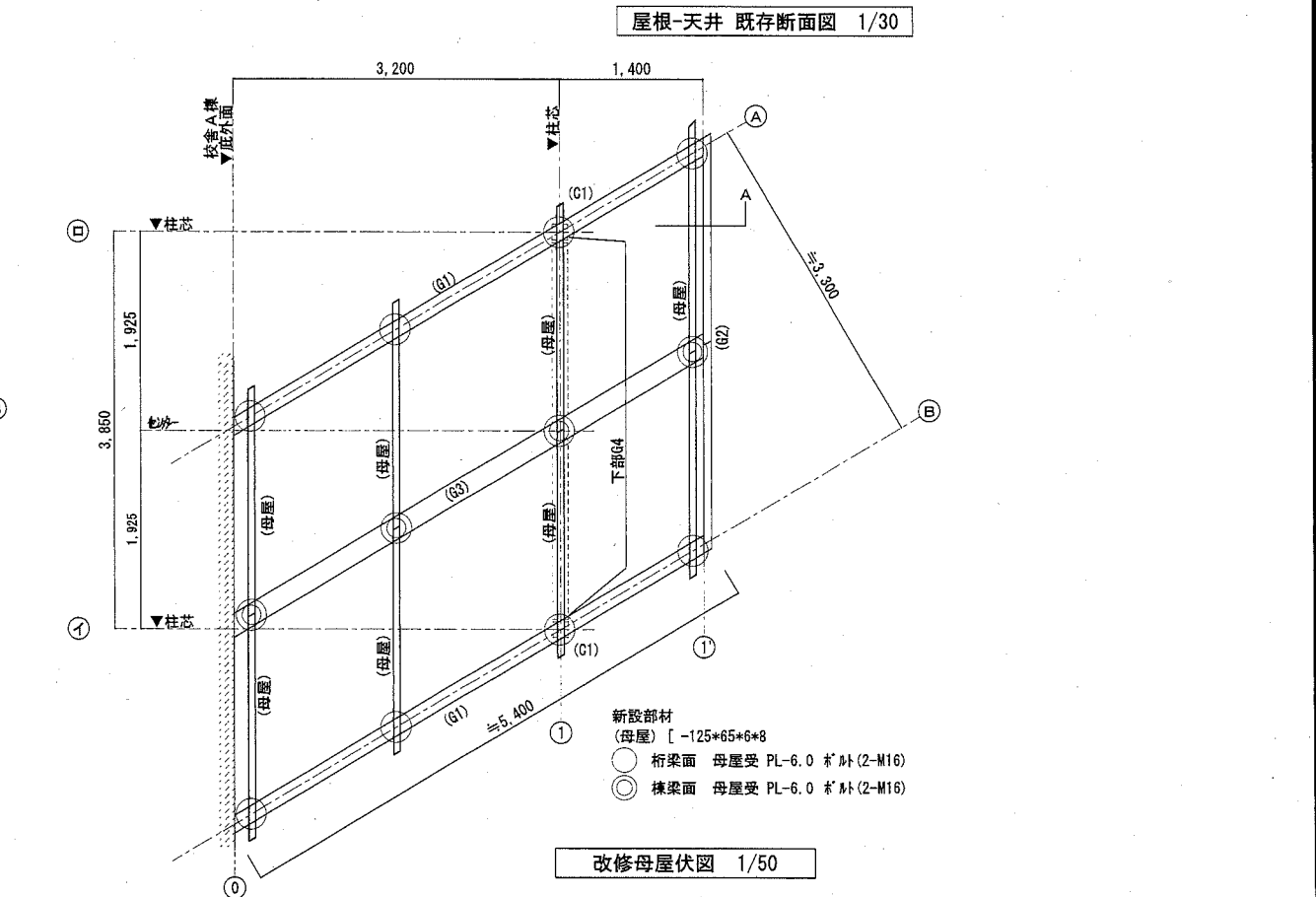
- C1 □-150\*150\*6.0
  - G1 H-300\*150\*6.5\*9
  - G2 [-200\*80\*7.5\*11
  - G3 H-200\*200\*6\*8
- 全て既存残し
- 母屋 C-100\*50\*20\*3.2
  - 垂木 C-100\*50\*20\*3.2
- 全面撤去



- 撤去工事内容
- ・天井及びパラペット側壁面の仕下地全面撤去する
  - ・野地板から屋根材(雨押え等約物共)までを全面撤去する
  - ・屋根撤去により軒樋・堅樋も全面撤去する
  - ・小屋組(垂木・母屋)は全面撤去する。梁は既存残しとする。
  - ・体育館を使用しながらの撤去・改修工事のため、既設電気配線の断線等によるトラブルを避けるため電気設備と調整を図ること。

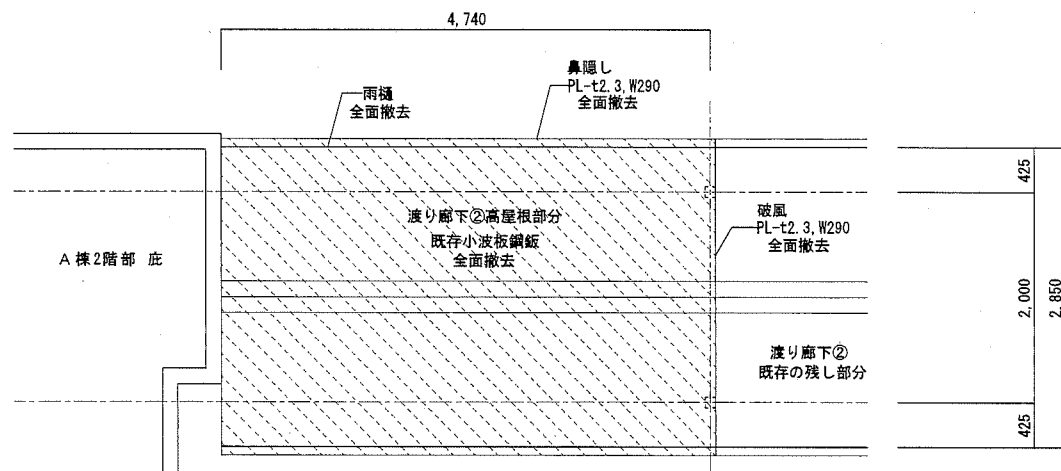


- 既存部材
- (C1) □-150\*150\*6.0
  - (G1) H-300\*150\*6.5\*9
  - (G2) [-200\*80\*7.5\*11
  - (G3) H-200\*200\*6\*8
- 新設部材
- G4 H-300\*150\*6.5\*9
  - G5 [-125\*65\*6\*8
  - 方杖 □-150\*150\*6.0

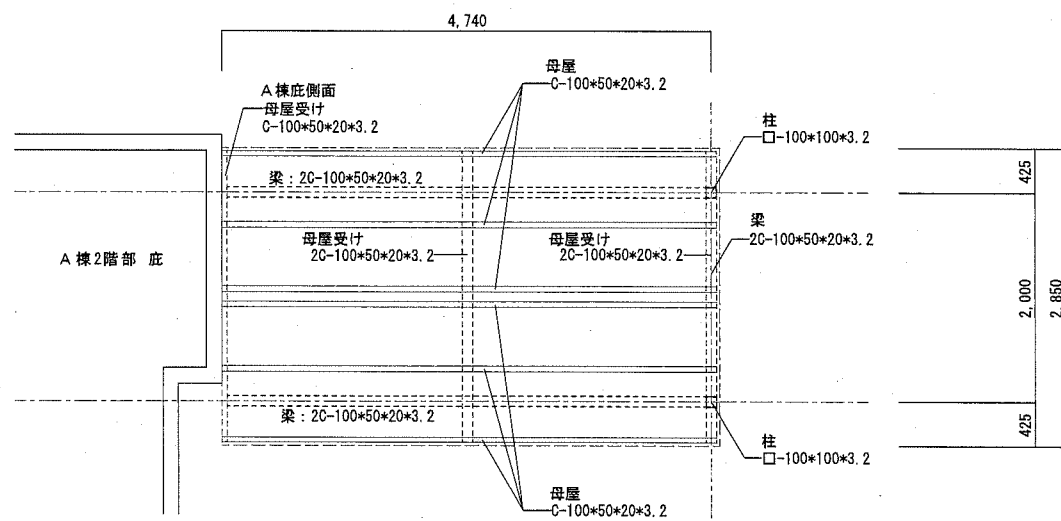


- 新設部材
- (母屋) [-125\*65\*6\*8
  - 桁梁面 母屋受 PL-6.0 材(2-M16)
  - 棟梁面 母屋受 PL-6.0 材(2-M16)

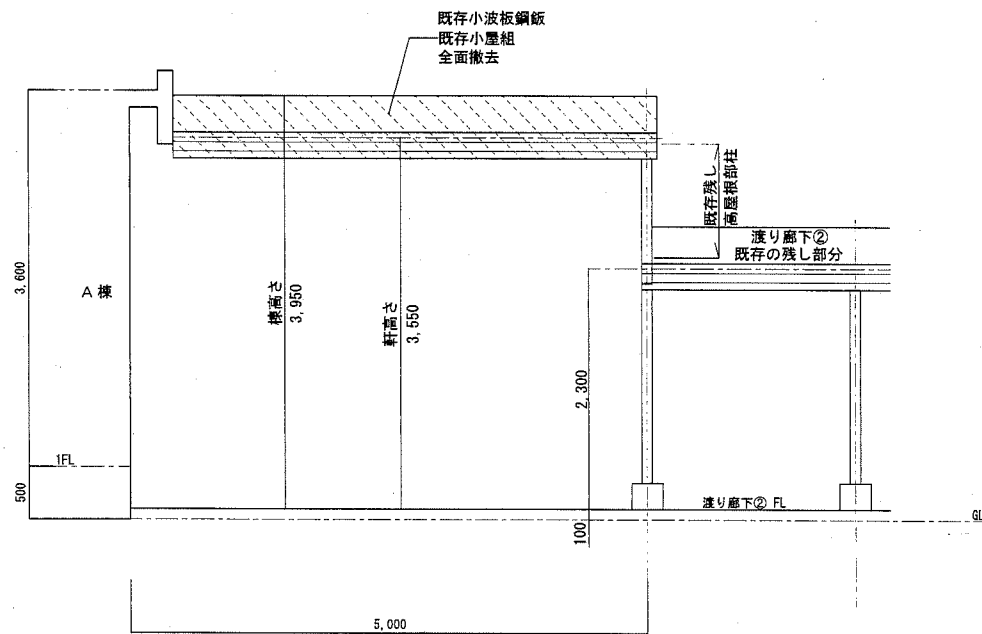




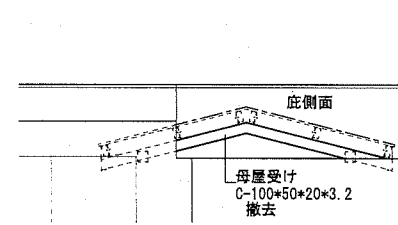
既存渡り屋根② 屋根伏図 (撤去図)



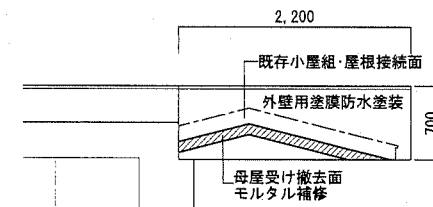
既存渡り屋根② 小屋組図 (撤去図)



既存渡り屋根② 断面図 (撤去図)

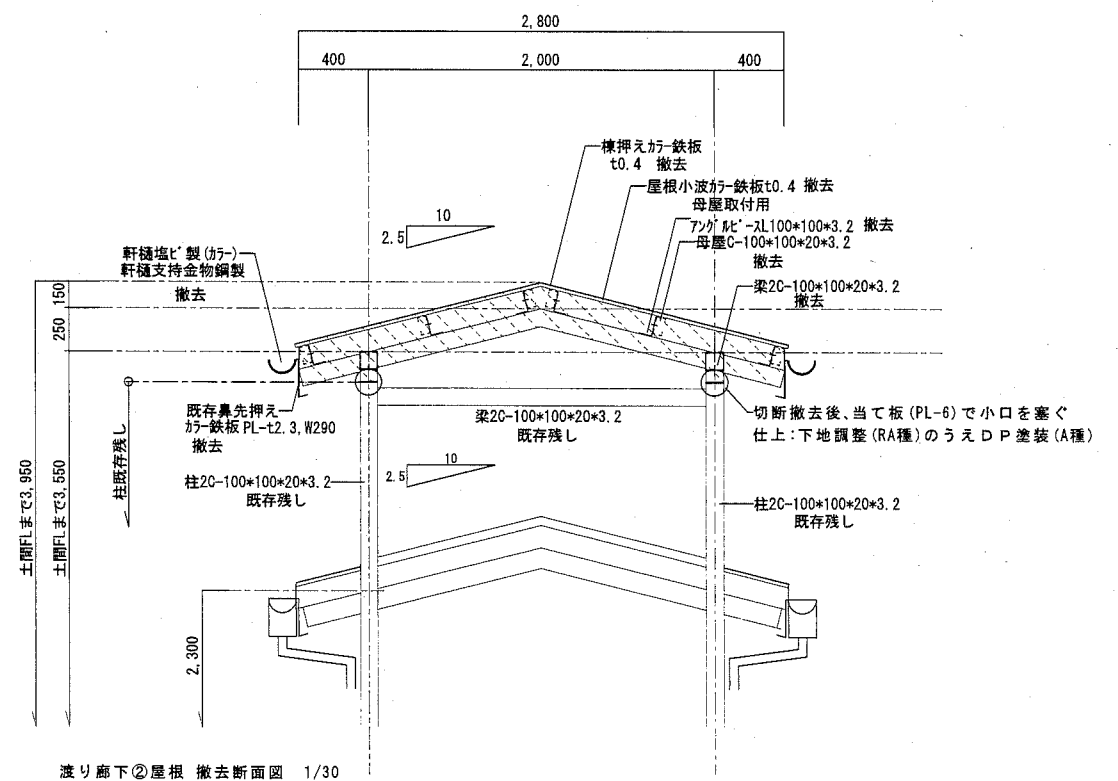


A棟 2階庇側面 撤去正面図 1/50



A棟 2階庇側面 改修正面図 1/50

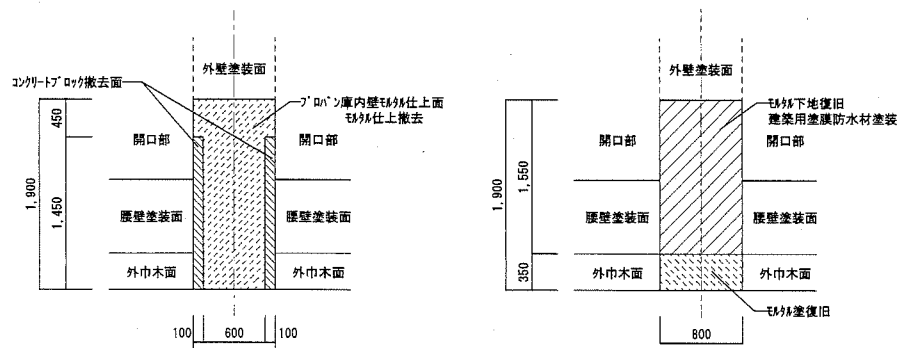
・母屋受け撤去し、渡り廊下が接続していた庇側面をモルタル塗(補修)をする。  
 ・補修後、下地調整(C-1)の外壁用塗膜防水母屋受け撤去面をモルタル補修し当該面全面を外壁用塗膜防水材で再塗装する。



渡り廊下②屋根 撤去断面図 1/30

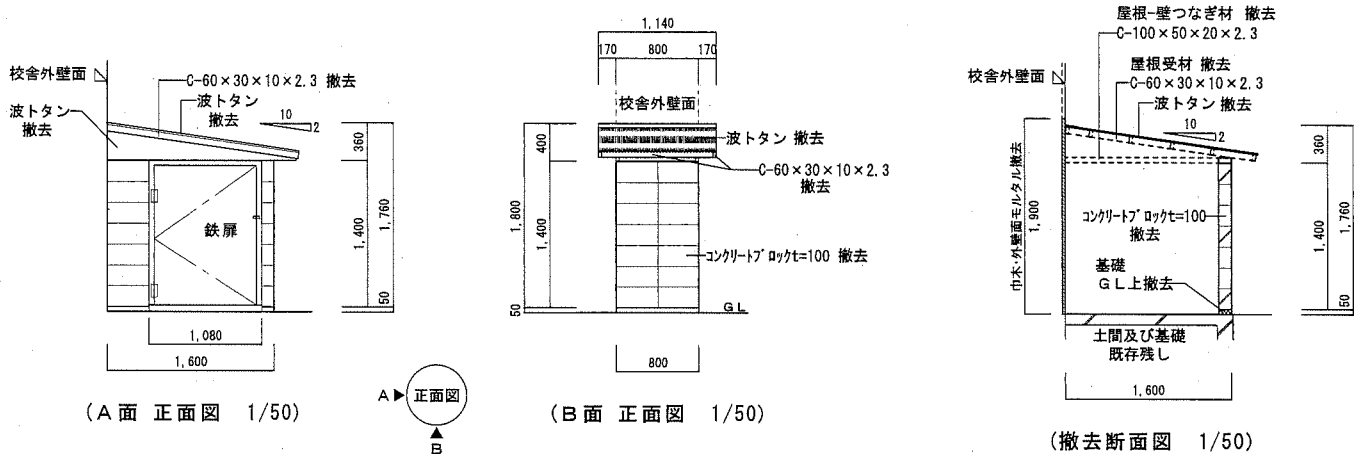
A棟 渡り廊下②屋根 撤去工事概要

- ・A棟2階庇に接続している、渡り廊下②の高屋根(ハッチ部分)を全面撤去する。
- ・技術科棟側の柱は高屋根が直下で切断撤去し一部を既存残しとする。柱の切断面は当て板で小口を塞ぐ。
- ・A棟の庇の屋根及び小屋組撤去面はモルタル塗(補修)し外壁の塗装改修を行う。



(外壁面 撤去正面図 1/50)

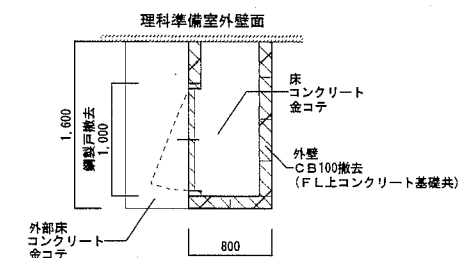
(外壁面 改修正面図 1/50)



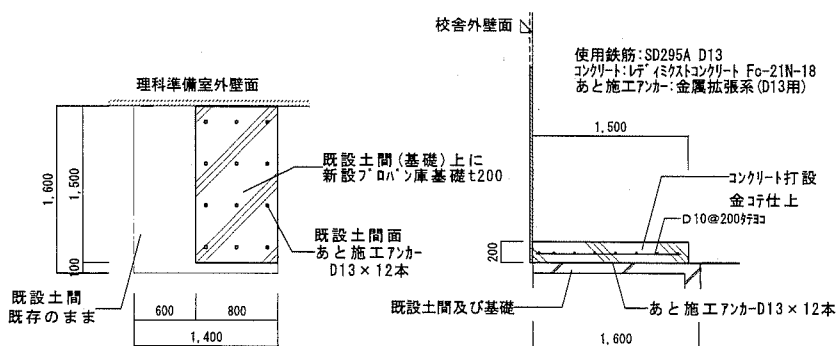
(A面 正面図 1/50)

(B面 正面図 1/50)

(撤去断面図 1/50)



(撤去平面図 1/50)



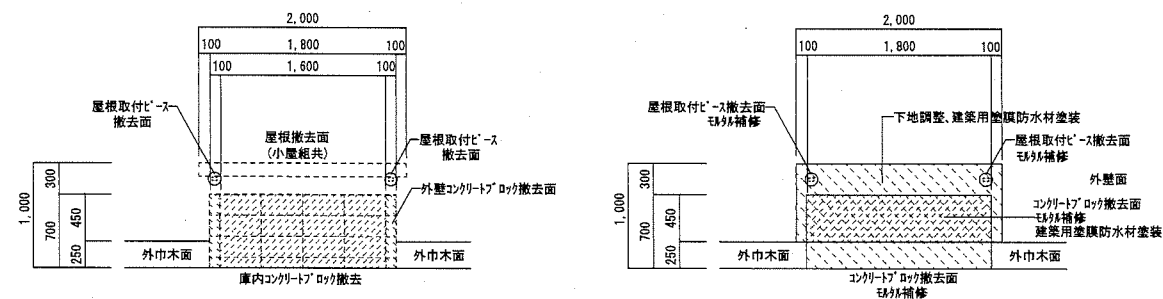
(改修平面図 1/50)

(改修断面図 1/50)

理科準備室前 プロパン庫① 改修図

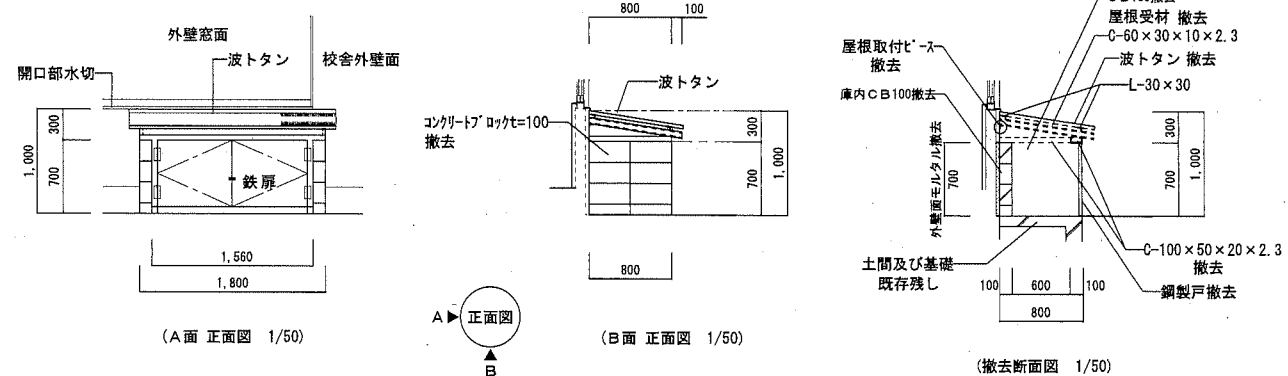
改修内容

- 理科準備室の外壁に隣接する既存プロパン庫①の土間上部分を解体撤去する
- 解体後は外壁面(中木及び外壁)の仕上を新設復旧し、ユニット型のプロパン庫用の基礎を新設する
- その他の事項
- プロパン庫①の外壁塗装(主材)にはアスベスト含有していることが確認されたため、解体は養生も含め適正に解体すること
- ユニット型のプロパン庫(基礎を除く)の復旧は機械設備工事とする



(外壁面 撤去正面図 1/50)

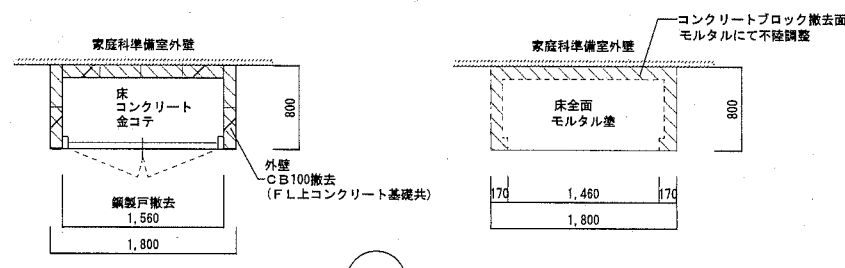
(外壁面 改修正面図 1/50)



(A面 正面図 1/50)

(B面 正面図 1/50)

(撤去断面図 1/50)



(撤去平面図)

(改修平面図)

家庭科準備室前 プロパン庫② 改修図

改修内容

- 家庭科準備室の外壁に隣接する既存プロパン庫②の土間上部分を解体撤去する
- 解体後は外壁面(中木及び外壁)の仕上を新設復旧する
- その他の事項
- プロパン庫②の外壁塗装(主材)にはアスベスト含有していることが確認されたため、解体は養生も含め適正に解体すること
- ユニット型のプロパン庫は設置しない

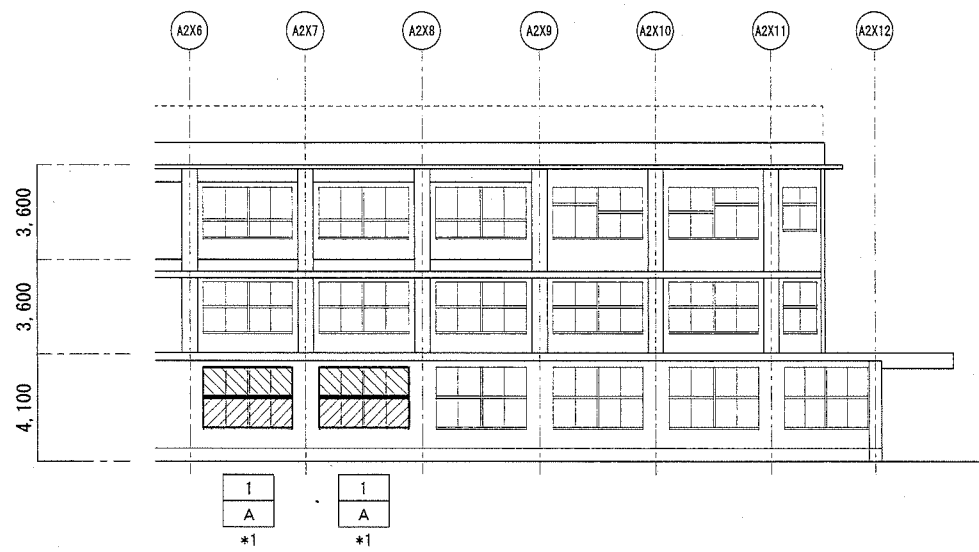
公共建築課長	主査等	担当者

横須賀市 都市部 公共建築課  
設計年月日 平成 31年 2月

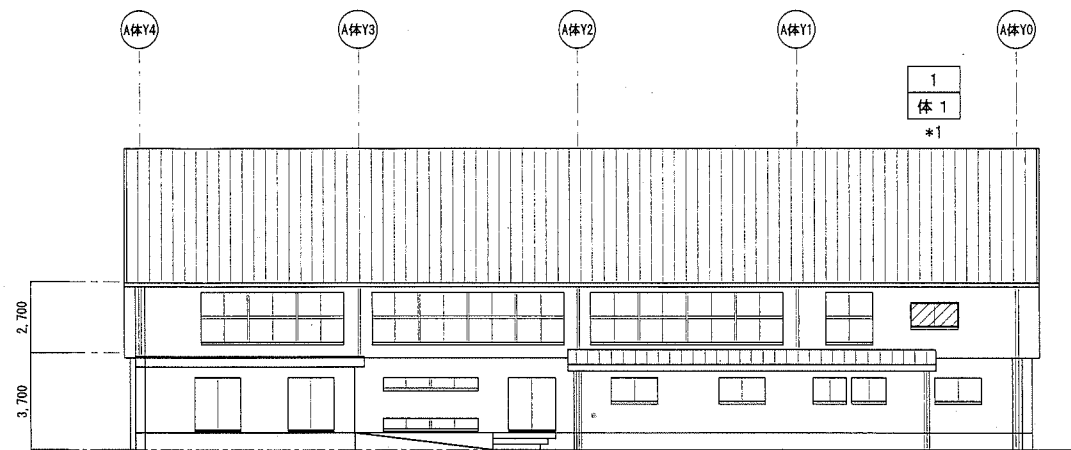
工事名称 市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事  
図面名称 その他工事 A棟 プロパン庫①・② 撤去図

縮尺  
1/50

A-55  
No.



A棟 南面 ガラス改修立面図 1/200

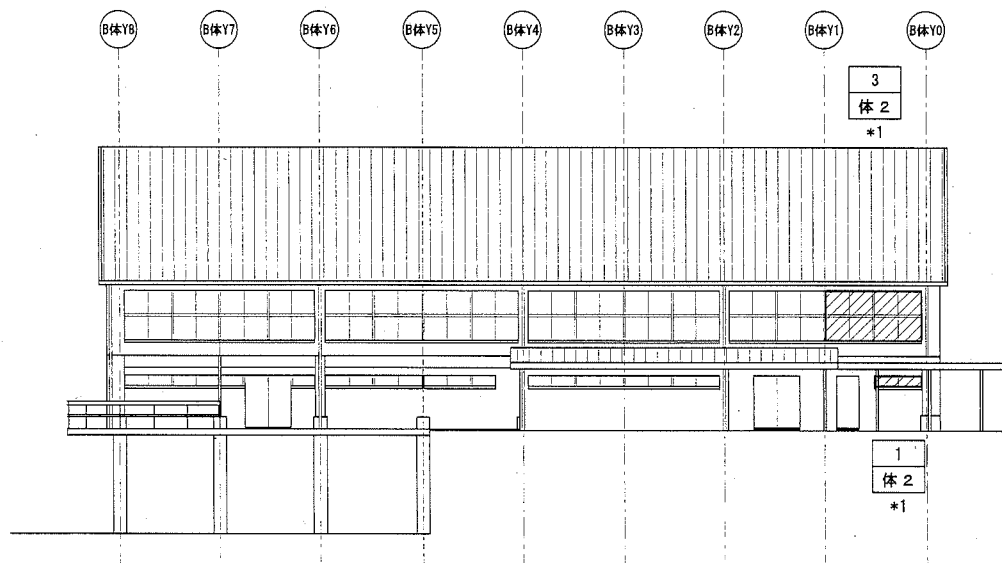


体育館1棟(A棟側) 東面 ガラス改修立面図 1/200

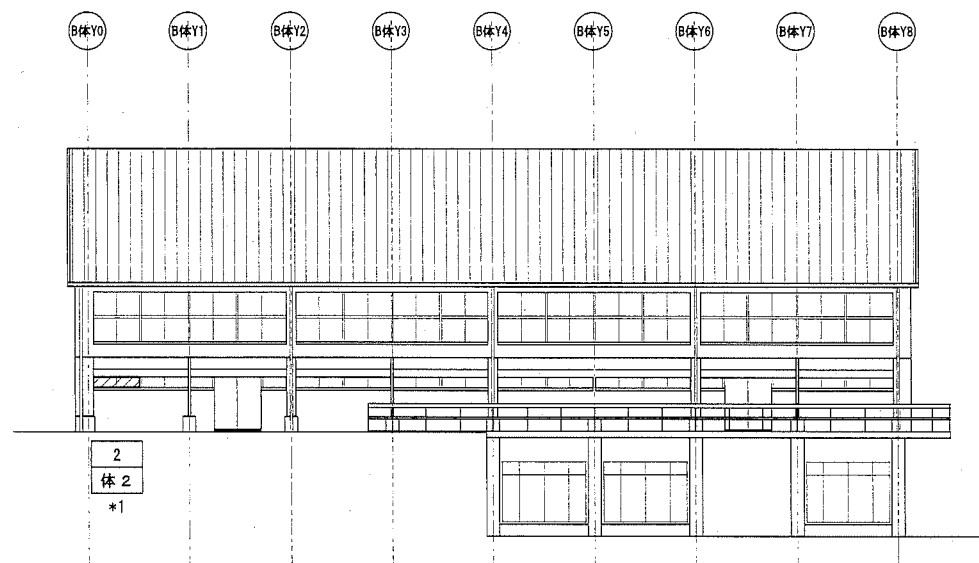
1 A		透明 t 3.0→網入り透明 t 6.8 スリ t 3.0→網入り型板 t 6.8
2		1.10×1.70×2 3.740 3.740×2 網入り透明t6.8 7.480 3.740×2 網入り型板t6.8 7.480
1 体1		透明 t 3.0→網入り透明 t 6.8
1		0.90×1.80×1 1.620 1.620×1 1.620
1 体2		透明 t 3.0→網入り透明 t 6.8
1		0.35×1.70×1 0.595 0.595×1 0.595
2 体2		透明 t 3.0→網入り透明 t 6.8
1		0.35×1.70×1 0.595 0.595×1 0.595
3 体2		透明 t 3.0→網入り透明 t 6.8
1		(0.85+0.85)×1.75×2 5.950 5.950×1 5.950

既存透明ガラスt=3.0mmを撤去し、網入り透明ガラスt=6.8mm新設  
(防火設備用シーリング共)

既存摺りガラスt=3.0mmを撤去し、網入り型板ガラスt=6.8mm新設  
(防火設備用シーリング共)













体育館2棟(B棟側) 西面 ガラス改修立面図 1/200



体育館2棟(B棟側) 東面 ガラス改修立面図 1/200

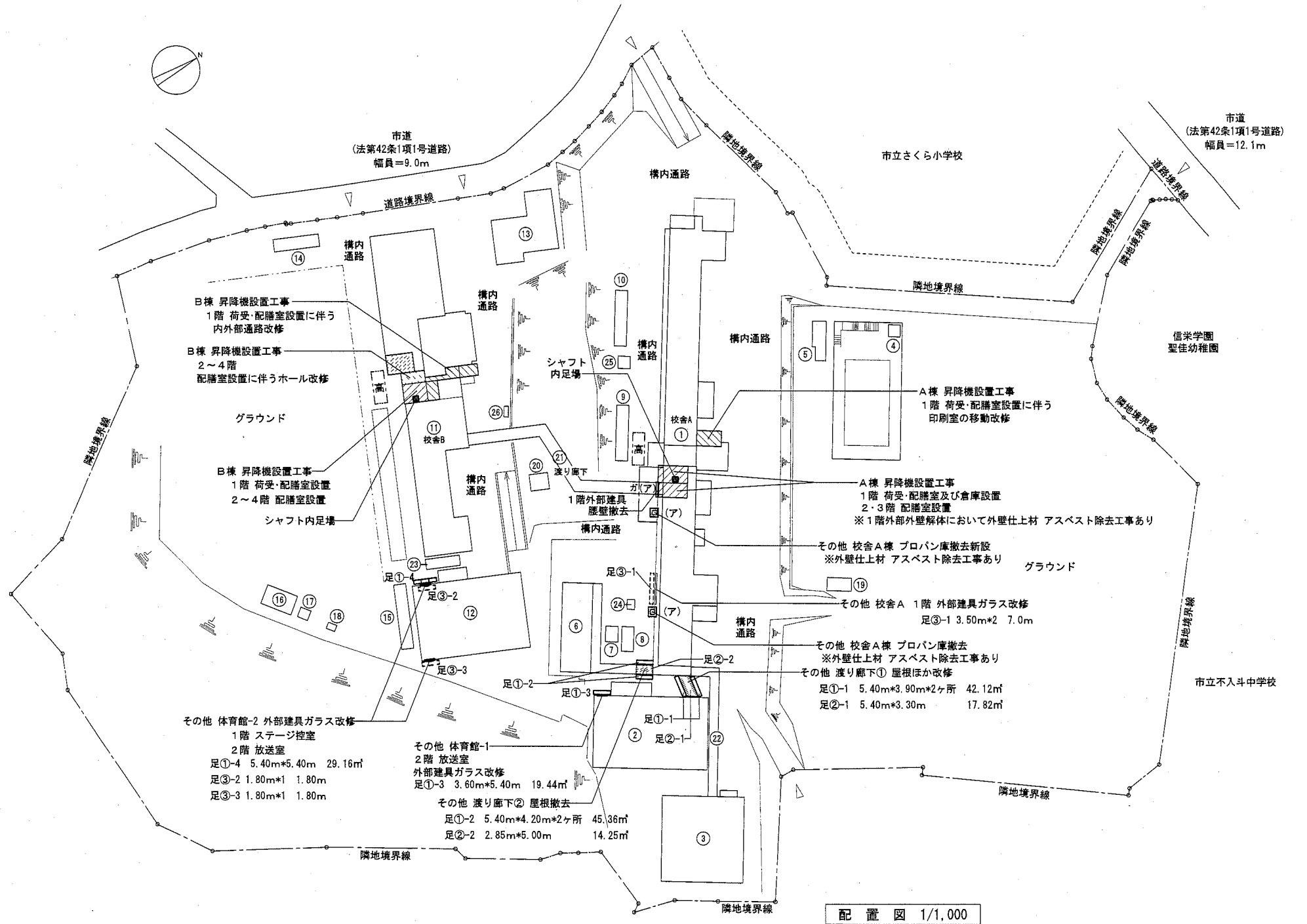


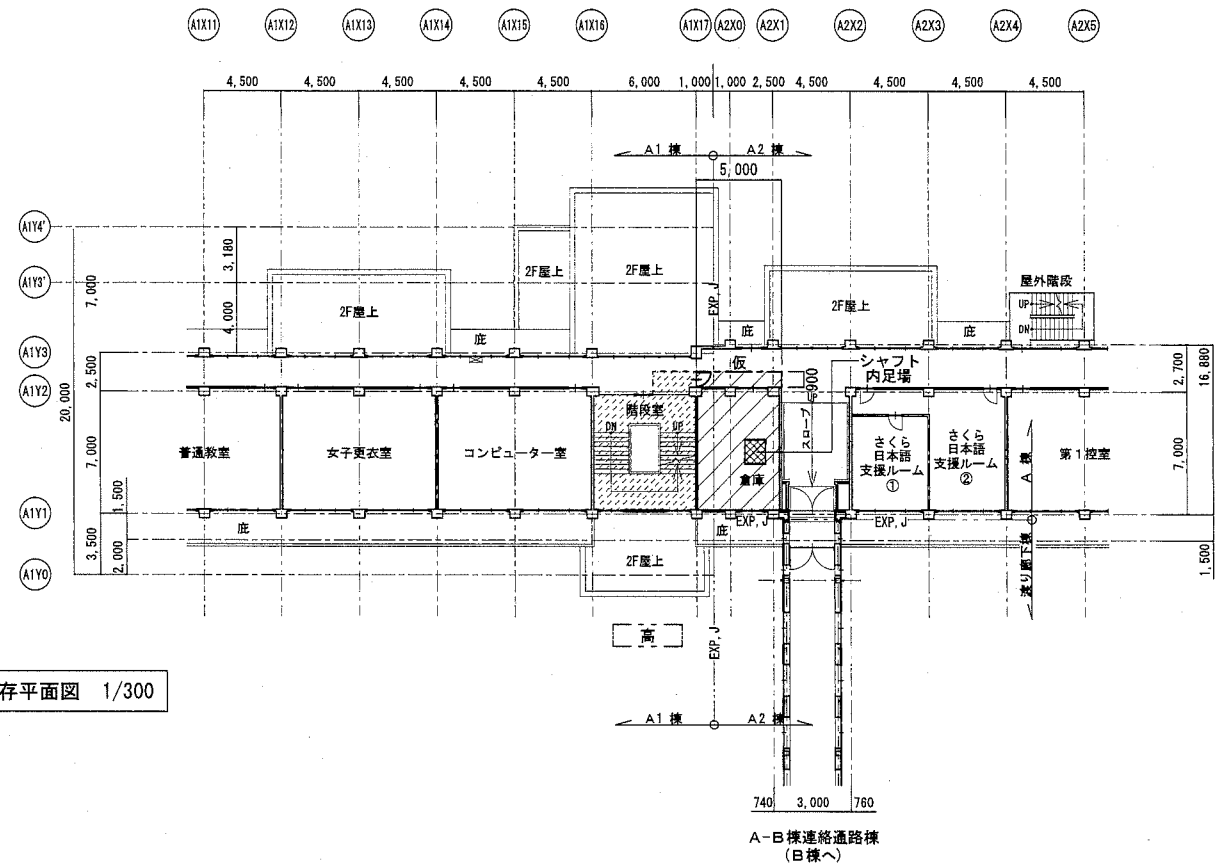
-  A棟 1～3階昇降機設置工事エリア  
B棟 1～4階 昇降機設置工事エリア
-  A・B棟 同上工事による附帯改修工事を行うエリア  
A棟 1階 バンコナー(印刷室)に改修  
B棟 1階 昇降口・昇降口外部(荷受・配膳室までの搬入動線の整備改修)
-  B棟 同上工事による附帯改修工事を行うエリア  
2～4階 ホール(配膳室整備による部分改修)
-  改修工事期間中の仮設バンコナーエリア  
A棟・B棟共当該部分を工事期間中の  
仮設バンコナーとして使用する

- 仮設計画凡例
-  改修室 シャフト内足場 (1,700\*1,500 A棟 H11.63M B棟 H14.95M)
  -  ガ 外部 ガードフェンス H1800
  -  改修室外部作業用 高所作業車位置
  -  足① 枠組足場(900枠 手摺り先行)
  -  足② 軒下部分 脚立足場
  -  足③ 脚立足場

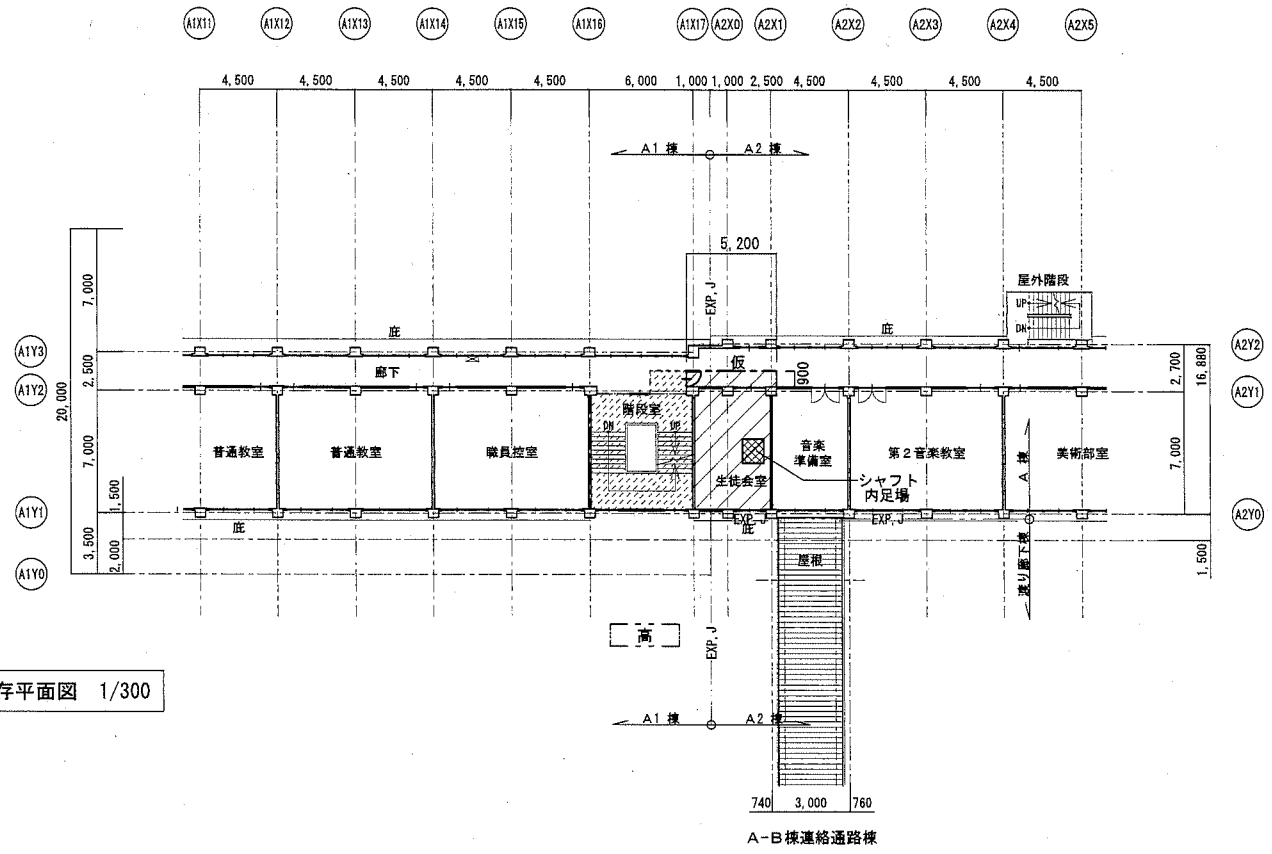
- その他事項
- ・工事期間中は▼の出入口として使用する
  - ・仮設間仕切りの出入口は継付とする
  - ・アスベスト除去に関する仮設の詳細は現場説明書による
  - ・工事期間中の仮設バンコナーはB棟の休止中のバンコナーをこれにあてる

番号	建物名称
① ⑪ ⑫	校舎A・B 渡り廊下 (昇降機設置A・B棟)
②	体育館-1
③	武道場
④	プール機械室
⑤	プール専用室
⑥	技術科室-1
⑦	倉庫-1
⑧	更衣室
⑨	部室-1
⑩	部室-2
⑬	技術科室-2
⑭	部室-3
⑮	部室-4
⑯	体育倉庫-1
⑰	焼窯庫
⑱	倉庫-2
⑲	体育倉庫-2
⑳	園芸倉庫
㉒	渡り廊下-1
㉓	渡り廊下-2
㉔	石油庫
㉕	倉庫-3
㉖	アバン庫

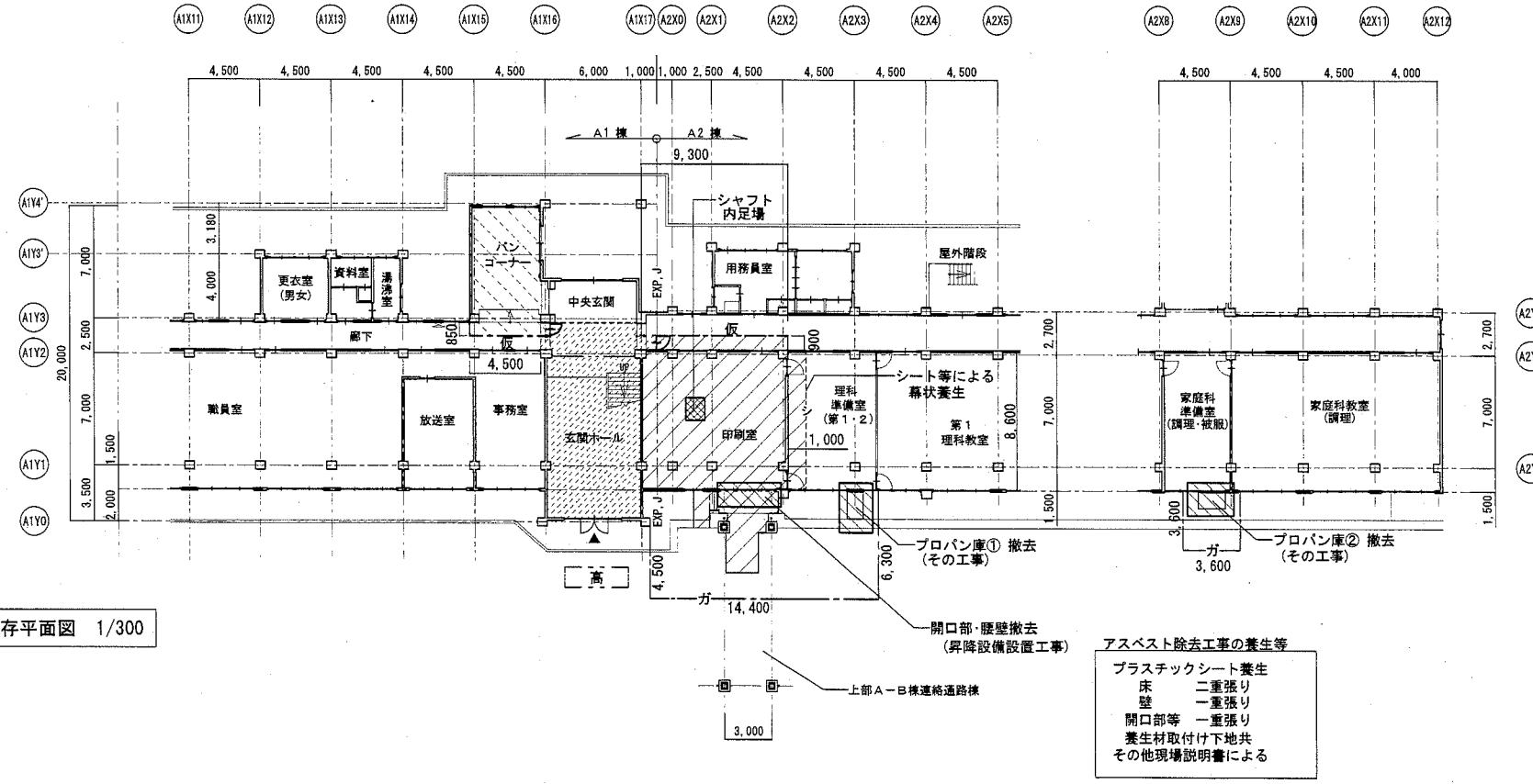




A棟 2階既存平面図 1/300



A棟 3階既存平面図 1/300



A棟 1階既存平面図 1/300

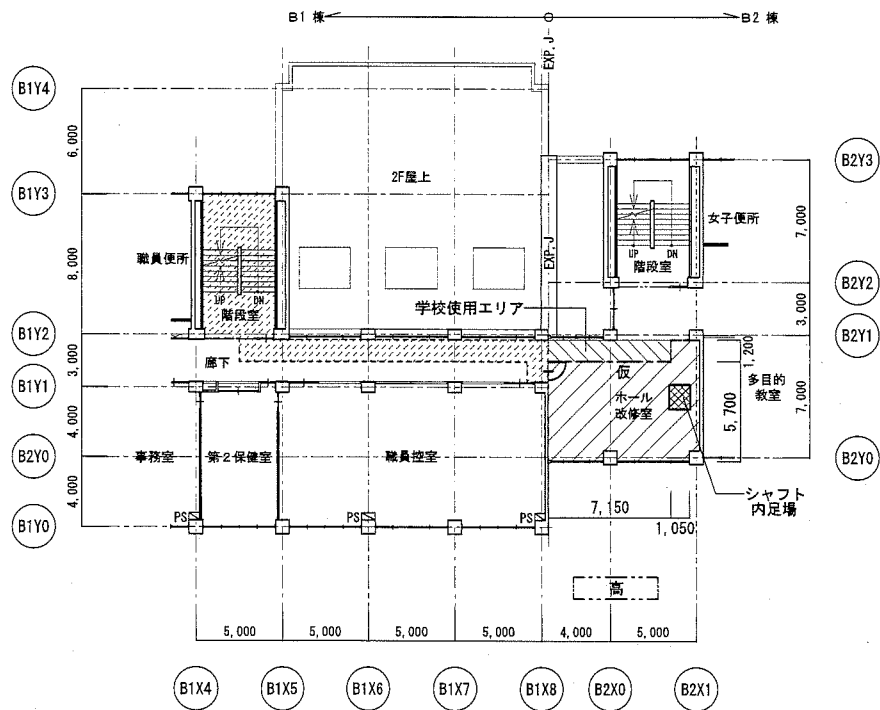
- 1階 荷受・配膳室 改修工事エリア
  - 2・3階 配膳室 改修工事エリア
  - 養生共
  - 印刷室 改修工事エリア
  - 養生共
  - 外壁仕上アスベスト除去工事のエリアを示す
  - 1階 荷受・配膳室 壁撤去面
  - 1階 プロパン庫撤去(1階 理科準備室前、家庭科準備室前)
- 仮設計画凡例
- 工事関係者専用の出入口位置を示す
  - 仮設間仕切(B種) H=2,700
  - 床養生(通路)
  - シート等による幕状養生(理科準備室)
  - 改修室外部作業用 高所作業車位置 H=10.70M 作業1日
  - 改修室 シャフト内足場 (1,700\*1,500 H11.63M)
  - 外部 ガードフェンス H1800

アスベスト除去工事の養生等

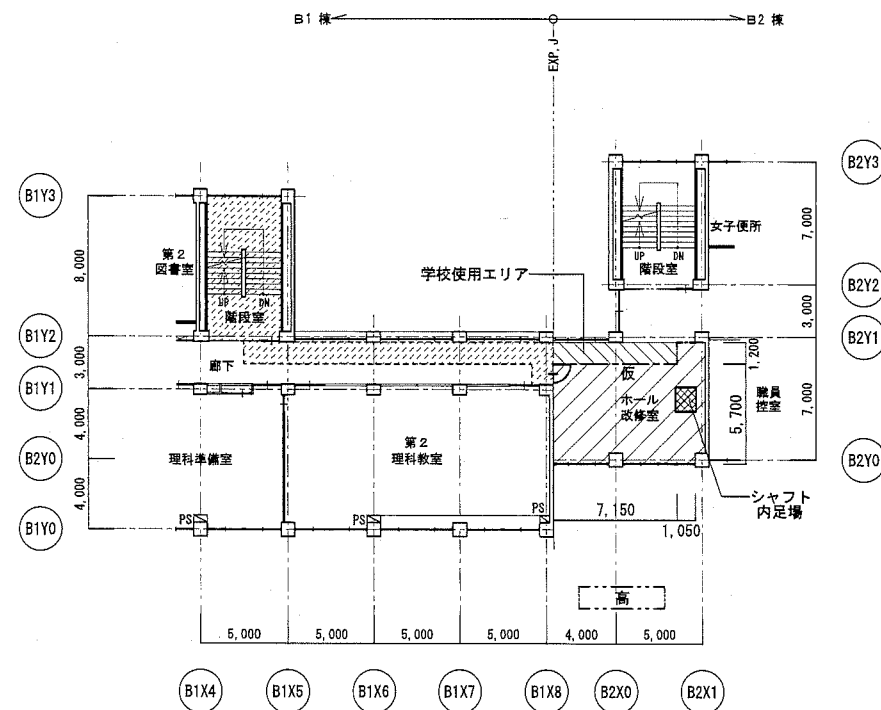
プラスチックシート養生  
 床 二重張り  
 壁 一重張り  
 開口部等 一重張り  
 養生材取付け下地共  
 その他現場説明書による

その他事項

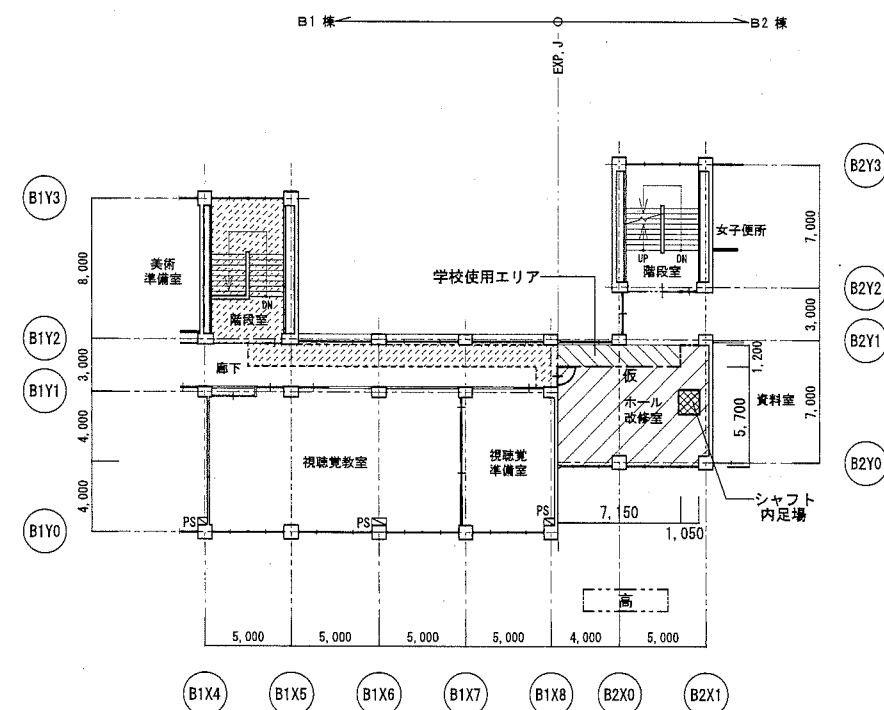
- ・工事期間中は▼の出入口として使用する
- ・仮設間仕切りの出入口は鍵付とする
- ・アスベスト除去に関する仮設の詳細は現場説明書による
- ・工事期間中の仮設バンコナーはB棟の休止中のバンコナーをこれにあてる



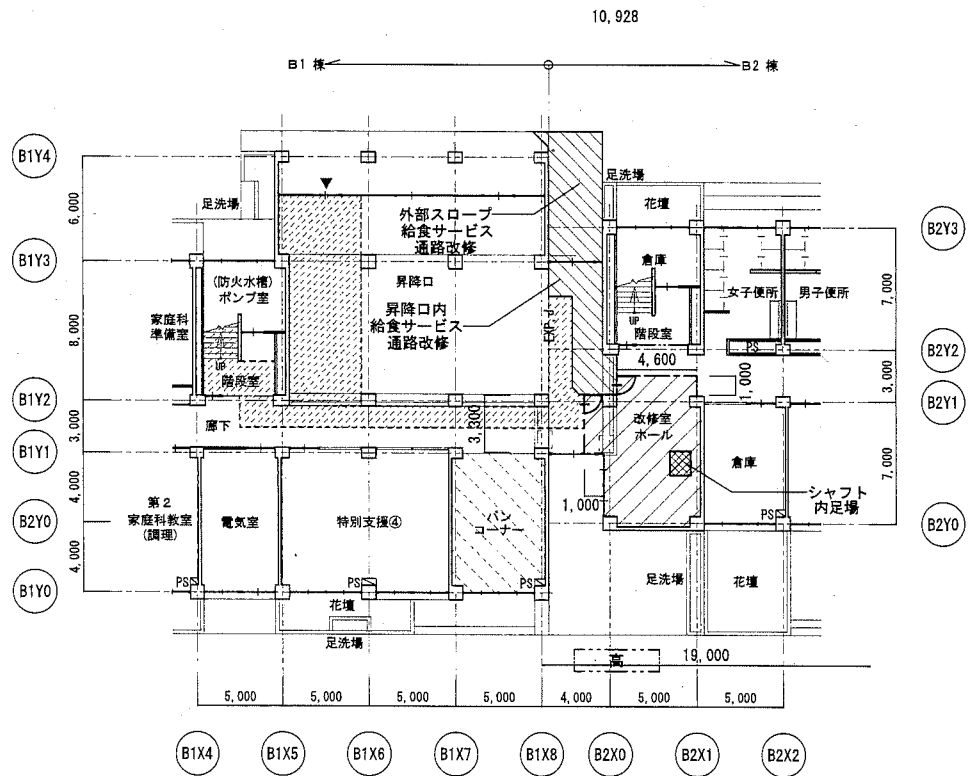
B棟 2階平面図 1/300



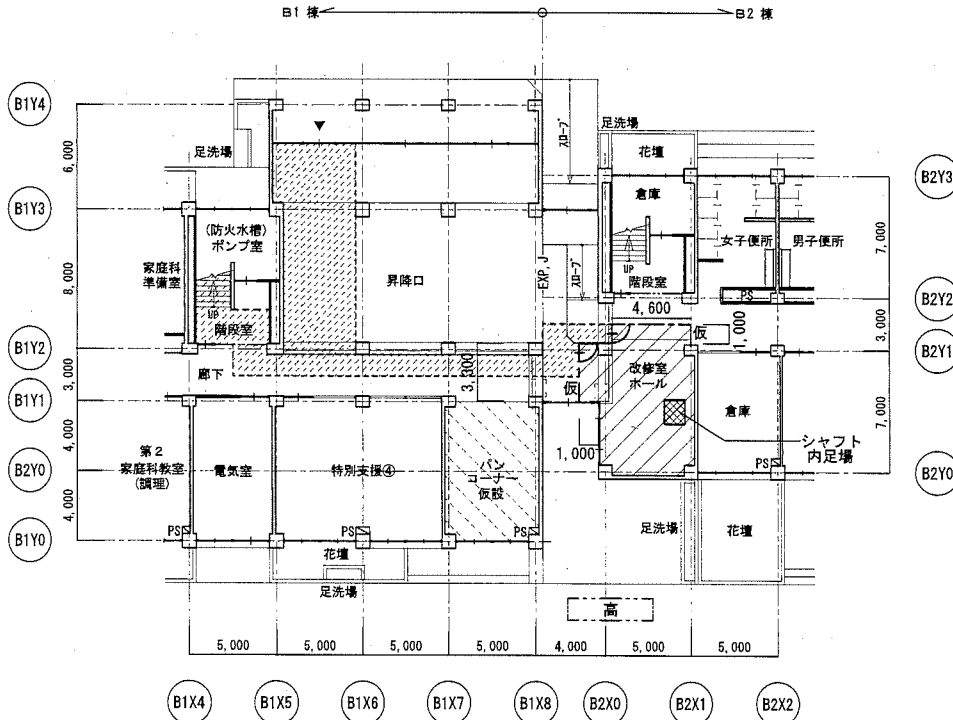
B棟 3階平面図 1/300



B棟 4階平面図 1/300



B棟 1階平面図 1/300



B棟 1階平面図 1/300

夏休み以後の改修工事エリア

- 1階 荷受・配膳室 改修工事エリア
  - 2・3階 配膳室 改修工事エリア
  - 養生共
  - 夏休み期間中に改修工事を完了するエリア
  - 1階昇降口及び外部スロープ 通路改修
  - 2～4階ホール 廊下接続部の天井改修
  - 養生共
  - 改修工事期間中のパンコーナーエリア
  - A棟・B棟共当該部分を工事期間中の仮設パンコーナーとして使用する
- 仮設計画凡例
- 工事関係者専用の出入口位置を示す
  - 仮設間仕切り (B種) 1階廊下 H=2,500, 左記以外 H=2,650
  - 床養生 (通路)
  - 改修室外部作業用 高所作業車位置 H=13.50M 作業2日
  - 改修室 シャフト内足場 (1,700\*1,500 14.95M)
  - 外部 ガードフェンス H1800

その他事項

- ・工事期間中は▼の出入口として使用する
- ・仮設間仕切りの出入口は鍵付とする
- ・工事期間中の仮設パンコーナーはB棟の休止中のパンコーナーをこれにあてる
- ・1階 外部スロープと昇降口通路改修工事は夏休み期間中とし仮設間仕切りは設けない
- ・工事期間中の生徒の安全管理に充分な配慮をすること
- ・2～4階 ホールは一部を工事期間中も学校が廊下として使用するため、当該部の天井改修は夏休み期間中に先行して工事を完了させる



# 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

## 1. 一般事項

- 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- 記号
  - d...異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D...部材の成 R...直径
  - ◎...間隔 r...半径 Q...中心線 l...部材の内寸法距離 h...部材間の内法高さ
  - ST...あばら筋 HOOP...帯筋 S、HOOP...補強帯筋 φ...直径又は丸鋼

## 2. 鉄筋加工、かぶり ※JASS5(2003)による。

### (1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の寸法	4d以上	6d以上 (※4d以上)	8d以上 (※4d以上)
折曲げ内寸法Rは、SR235は3d以上、SD295A、SD295B、SD345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上			

### (2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の用途 所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げの内寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235, SR295 SD295A, SD295B SD345	16φ以下 19φ以上 D19	3d以上 4d以上
	断面記以外の鉄筋	SD295A, SD295B SD345 SD390	D16以下 D19-D25 D29-D41	6d以上 8d以上

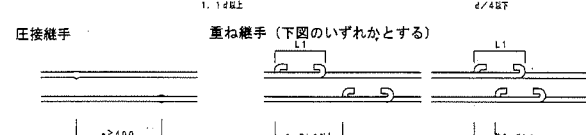
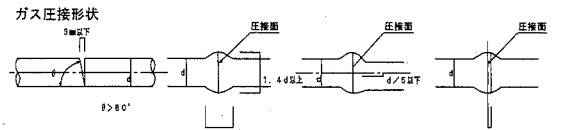
### (3) 鉄筋の定着及び重ね継手長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基礎強度の範囲 (N/mm <sup>2</sup> )	定着の長さ		特別の定着及び重ね継手の長さ (L1)
		一般 (L2)	下ば筋 (L3)	
SR235	21, 24	3.5dフック付き	2.5dフック付き	3.5dフック付き
		1.8d以下	4.5dフック付き	4.5dフック付き
SD295A	27, 36	3.0dまたは3.5dフック付き	2.5dまたは3.0dフック付き	3.5dまたは4.0dフック付き
		1.8d以下	4.0dまたは4.5dフック付き	4.0dまたは4.5dフック付き
SD295B	21, 24	3.5dまたは4.0dフック付き	2.5dまたは3.0dフック付き	4.0dまたは4.5dフック付き
		1.8d以下	4.0dまたは4.5dフック付き	4.0dまたは4.5dフック付き
SD345	27, 36	3.5dまたは4.0dフック付き	2.5dまたは3.0dフック付き	4.0dまたは4.5dフック付き
		1.8d以下	4.0dまたは4.5dフック付き	4.0dまたは4.5dフック付き
SD390	21, 24	4.0dまたは4.5dフック付き	3.0dまたは3.5dフック付き	4.5dまたは5.0dフック付き
		1.8d以下	4.5dまたは5.0dフック付き	4.5dまたは5.0dフック付き

(注) 許容応力度計算、許容応力度等価計算、(ルート1)、その他種別計算を要さない小規模建築物の場合は、表5筋の柱への定着は4.0dとする。

### 継手

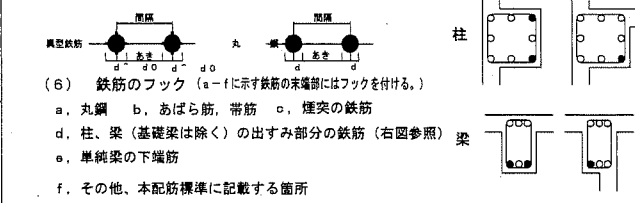
- 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
- 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
- D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
- 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない



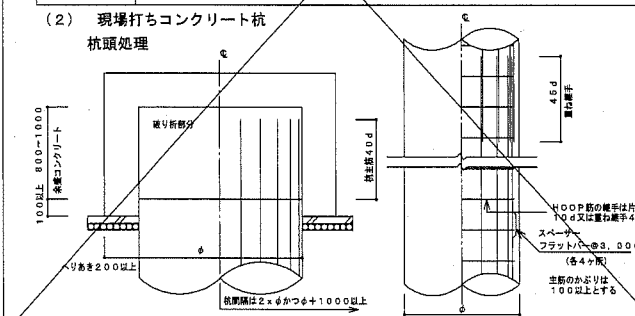
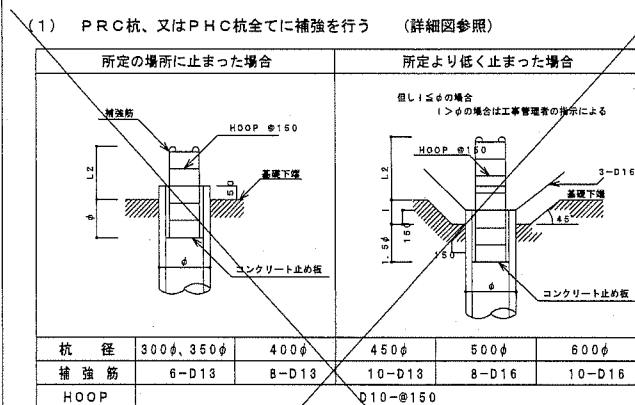
(4) かぶり厚さ (単位: mm)

部 位	設計かぶり厚さ(最小かぶり厚さ)
土に埋め込まない部分	30
土に埋め込まれる部分	40
土に埋め込まれる部分	50
土に埋め込まれる部分	70

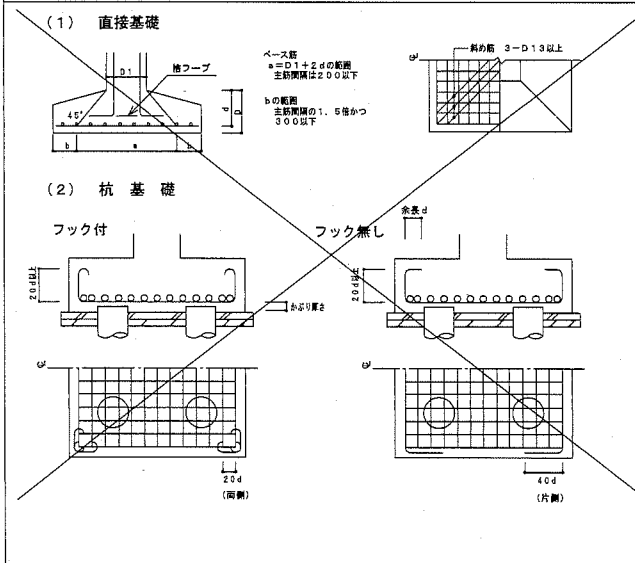
(5) 鉄筋のあき 丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上



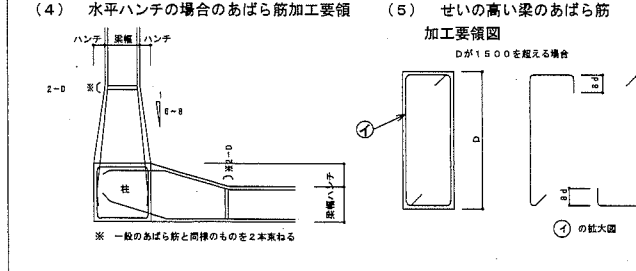
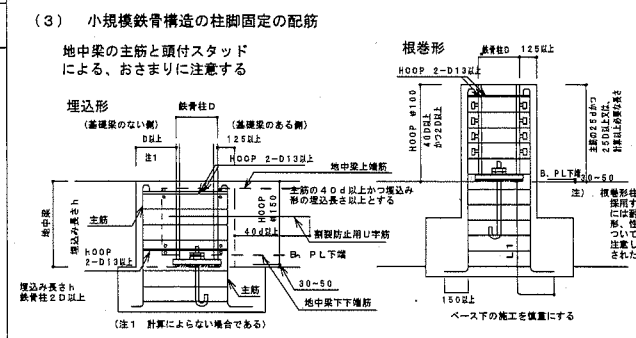
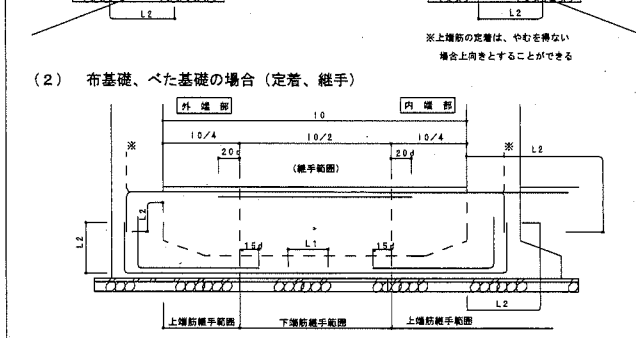
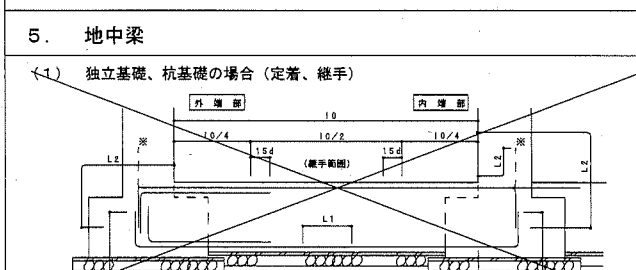
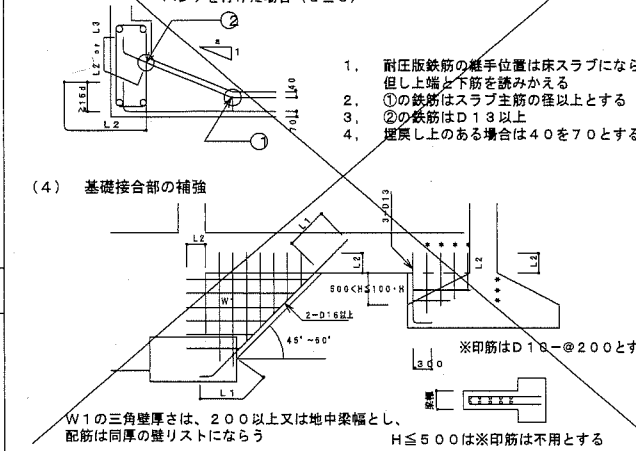
## 3. 杭 (地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)



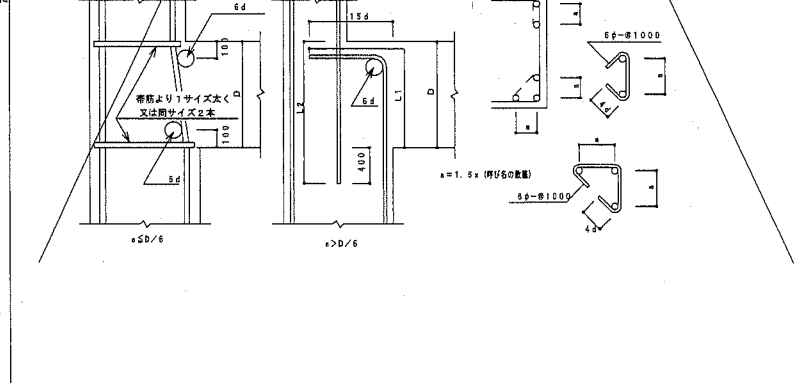
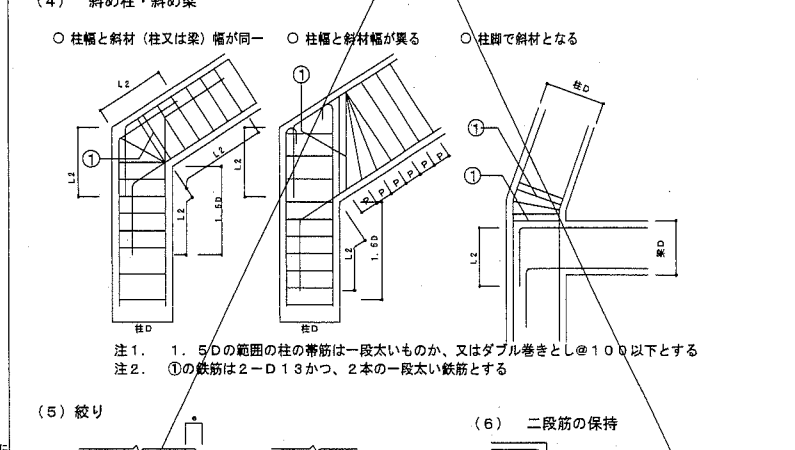
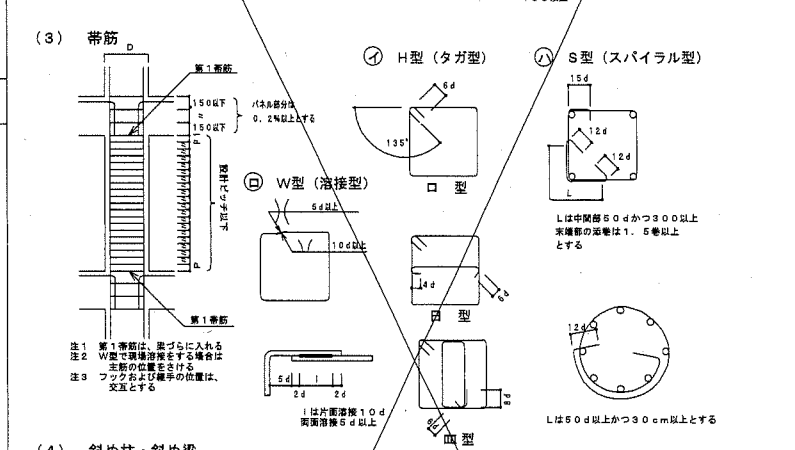
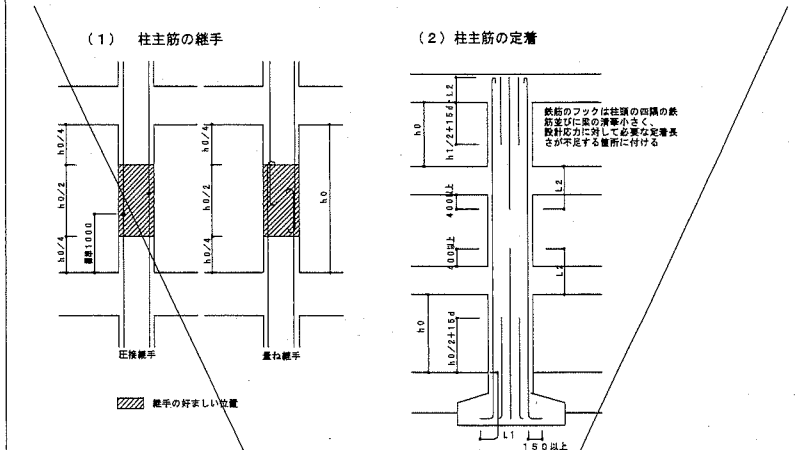
## 4. 基礎



## 5. 地中梁



## 6. 柱



# 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

## 7. 大梁、小梁、片持梁

(1) 定着

① 大梁

② 小梁の定着

③ 片持梁の定着

(2) 大梁主筋の継手

(3) あばら筋、腹筋、幅止めの配置

(4) あばら筋の型 (注、床板がない場合は135°以上のフックとする)

(5) 幅止め筋の本数、加工

種筋	D<800 不要
	600≦D<900 2-D10(9φ) 1段
	900≦D<1200 4-D10(9φ) 2段
	1200≦D D10(9φ) ③300以内
幅止め筋	D10(9φ) ①1000位で割り付ける

(6) 土間コンクリート

① 軽作業の土間

② 仕間切壁との交差部

(7) 釜場

(8) 打継ぎ補強 (ダメ穴打継ぎ面について)

- 設計配筋間隔の1/2ピッチ 長さ2L1以上
- 無筋部分D10-②200 長さ800以上

## 8. 床板

(1) 定着および継手

① 片持ち床スラブ

② 一般床スラブ

(2) 屋根スラブの補強

(3) 片持ち床スラブ出隅部補強

(4) 床板開口部の補強 (開口の径500程度の場合)

床板厚さD	周囲	斜め
D≦150	各2-D13	各1-D13
150<D≦200	各2-D13	各2-D13
200<D≦300	各2-D19	各2-D16

(5) 床板段差

(6) 土間コンクリート

(7) 釜場

(8) 打継ぎ補強 (ダメ穴打継ぎ面について)

- 設計配筋間隔の1/2ピッチ 長さ2L1以上
- 無筋部分D10-②200 長さ800以上

## 9. 壁

(1) 定着

① 梁に

② 柱に (平面図)

(2) 床に (床耐力壁とスラブが取り合う場合)

① スラブに上階筋がある場合

② スラブに上階筋がない場合

(3) 壁と壁 (平面図)

① シングル配筋

② タプル配筋

(4) スリット部 (設計図に記入のあるとき)

完全スリット

部分スリット

(5) 手摺、パラベットの補強

手摺

パラベット

(6) コンクリートブロック積壁

一般の場合

下部防水立上りのある場合

注) h0≦25tかつ3500以下とする。但し直交方向25t以内に壁、又は柱がある場合は除く

注) hはコンクリートブロック段数調節寸法とする。但し、200≦h≦400

注) 継手部は必ずモルタルをてん充すること

## 10. 柱、梁増打コンクリート補強

(増打するときは事前に設計者、及び工事監理者と打ち合わせのこと)

ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

●印は補強筋

※柱も同様、間ピッチとする。

(2) 梁

- 補強筋は、強生筋の1段階以上(D16以上)とする。
- あばら補強筋は、梁と同位、間ピッチとする。
- 腹筋D10ピッチは、梁の腹筋と合わせる。
- D≦400の場合は補強筋を3本とする。
- aは100-200程度。
- 梁下階打コンクリートの場合は上階増打コンクリート補強と同様とする。
- ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

## 11. 梁貫通孔補強

(1) 設置可能範囲

梁端部 (スパン/10以内かつ2D以内) はさける

(2) 鉄筋標準配筋 但し、φ≦D/3とする

80≦φ≦100	100≦φ≦150	150≦φ≦250
折筋 2-D13 (上下共)	折筋 2-D13 (上下共)	折筋 2-D13 (上下共)
	横筋 ST: 3×D-13-100φ	横筋 ST: 3×D-13-100φ
	横筋 2-D13 (上下共)	横筋 2-D13 (上下共)
	上下筋 ST: ①-D13	上下筋 ST: ①-D13

φ>250

孔補強の有効範囲と定まる長さのとり方

※ 部分については計算で確認された場合は右記の位置、寸法によらずに良い。

(3) 既製品 (使用するとき、設計者又は工事管理者と打ち合わせのこと)

- 既製品を使用し、認定既製品を使用し個別検討を行う
- リング型 □ パイプ型 □ 金網型 □ プレート型

## 12. 増築予定 (将来増築予定のコンクリート間仕切り部分、増築時の鉄筋継手工事を考慮して配置する)

(1) 柱、梁 (2) 地中梁 (3) 床板、壁

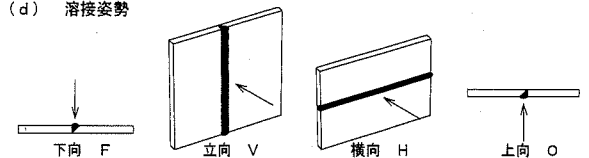
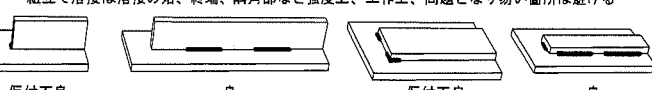
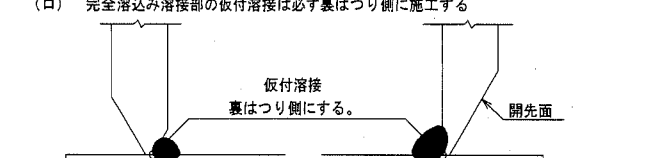
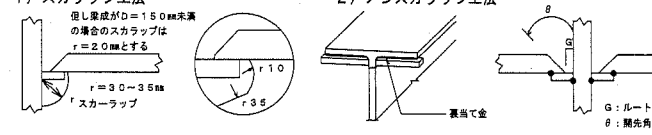
ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

●印は補強筋

※柱も同様、間ピッチとする。

# 鉄骨構造標準図 (1)

## 1. 一般事項

- (1) 材料及び検査  
 (a) 構造設計仕様による  
 (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが4.0mm以下のものとする  
 (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する
- (2) 工作一般  
 (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る  
 (b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による  
 (c) 高強度鋼のひずみきょう正は、冷間きょう正とする
- (3) 高力ボルト接合  
 (a) 本編めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない
- (4) 溶接接合  
 (a) 溶接技能者  
 溶接技能者は施工する溶接に適合する JIS Z 3801 (手溶接) 又は JIS Z 3841 (半自動溶接) の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
- (b) 溶接機器  
 (イ) 交流アーク溶接機 300A~500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機  
 (ロ) アークエアガウジング機 (直流) (ホ) 溶接電流を測定する電流計  
 (ハ) サブマージアーク溶接機1式 (ヘ) 溶接棒乾燥器
- (c) 溶接方法  
 アーク手溶接 (MC) ガスシールドアーク半自動溶接 (GC)  
 セルフ (ノンガス) シールドアーク半自動溶接 (NGC) アークエアガウジング (AAG)
- (d) 溶接姿勢  

- (e) 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う  
 (イ) 仮付位置  
 組立て溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける  

- (ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する  

- (f) 溶接施工  
 (イ) エンドタブ  
 I) 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚と同開先形状のエンドタブを取り付ける  
 II) エンドタブの材質は、母材と同質とする  
 III) エンドタブの長さは、MC: 35mm以上  
 NGC、GC: 40mm以上と特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする  
 IV) プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る
- (ロ) 裏あて金  
 材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする
- (ハ) スカラップ 半径は30~35mmと、10mmのダブルアールとする
- 1) スカラップ工法  
 2) ノンスカラップ工法  

- (ニ) 裏はつり  
 標準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の承認を履行し、部材に確認マークを付ける
- (ホ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行う
- (5) 塗装  
 コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

## 2. 溶接標準図

(注) f: 余盛 G: ルート開隔 R: フェース S: 脚長 (単位 mm)

(1) スミ肉溶接

t ≤ 10mm	
1	7以下
2	8~10
3	11~13
4	14~16
5	6
6	7
7	10
8	12

(2) 部分溶込み溶接 (使用箇所注意)

t	t > 15mm
1	F, V

(3) 完全溶込み溶接 (平継手、T形継手)

t	6 < t ≤ 19mm
1	F, V

(4) 溶接標準図 (詳細)

f = t/4	
の寸法 mm	脚長の長さ mm
1 ≤ 4	1
4 < 1 ≤ 12	2
12 < 1 ≤ 19	3
1 > 19	4

(5) フレーア溶接

守接 (mm)	
6	7
9	4
13	4.5
16	5
19	6
22	7
25	8

● B×O型 (通しダイヤフラムの場合)

① ※ t > 16mmの場合の溶接は、③~⑤とする。

② ※ t > 16mmの場合の溶接は、③~⑤とする。

③ ※ t > 16mmの場合の溶接は、③~⑤とする。

④ ※ t > 16mmの場合の溶接は、③~⑤とする。

⑤ ※ t > 16mmの場合の溶接は、③~⑤とする。

⑥ ※ t > 16mmの場合の溶接は、③~⑤とする。

⑦ ※ カバープレート付きの梁フランジは、通しダイヤフラムの厚み (t) の内部で溶接すること。

※ はりフランジは、通しダイヤフラムの厚み (t) の内部で溶接すること。

内ダイヤフラム

ガス抜き φ=20

スカラップ部分は直し溶接する

2.5以上かつエンドタブが互にあたらぬこと

2.5以上

2.5以上

平面詳細

A-A 断面図

内ダイヤフラム

柱が途中で折れる場合  
及梁成が異なる場合

鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	パス温度差 (°C)
400N級鋼	JISZ 3211, 3212, 3214	40以下	350以下
	YGW-11, 15		
	YGA-50W, 50P		
490N級鋼	JISZ 3212, 3214	40以下	350以下
	YGW-11, 15		
	YGA-50W, 50P		

大梁が斜めの場合  
は溶接と添板の内側面に注意のこと

フランジが柱のRに接しないこと

t > 柱フランジのプレート厚  
θ = 75° ~ 105°

● カバープレート部

① ※ t > 16mmの場合の溶接は、③~⑤とする。

② ※ t > 16mmの場合の溶接は、③~⑤とする。

③ ※ t > 16mmの場合の溶接は、③~⑤とする。

④ ※ t > 16mmの場合の溶接は、③~⑤とする。

⑤ ※ t > 16mmの場合の溶接は、③~⑤とする。

⑥ ※ t > 16mmの場合の溶接は、③~⑤とする。

⑦ ※ カバープレート付きの梁フランジは、通しダイヤフラムの厚み (t) の内部で溶接すること。

※ カバープレート付き大梁の現場溶接についての注意事項

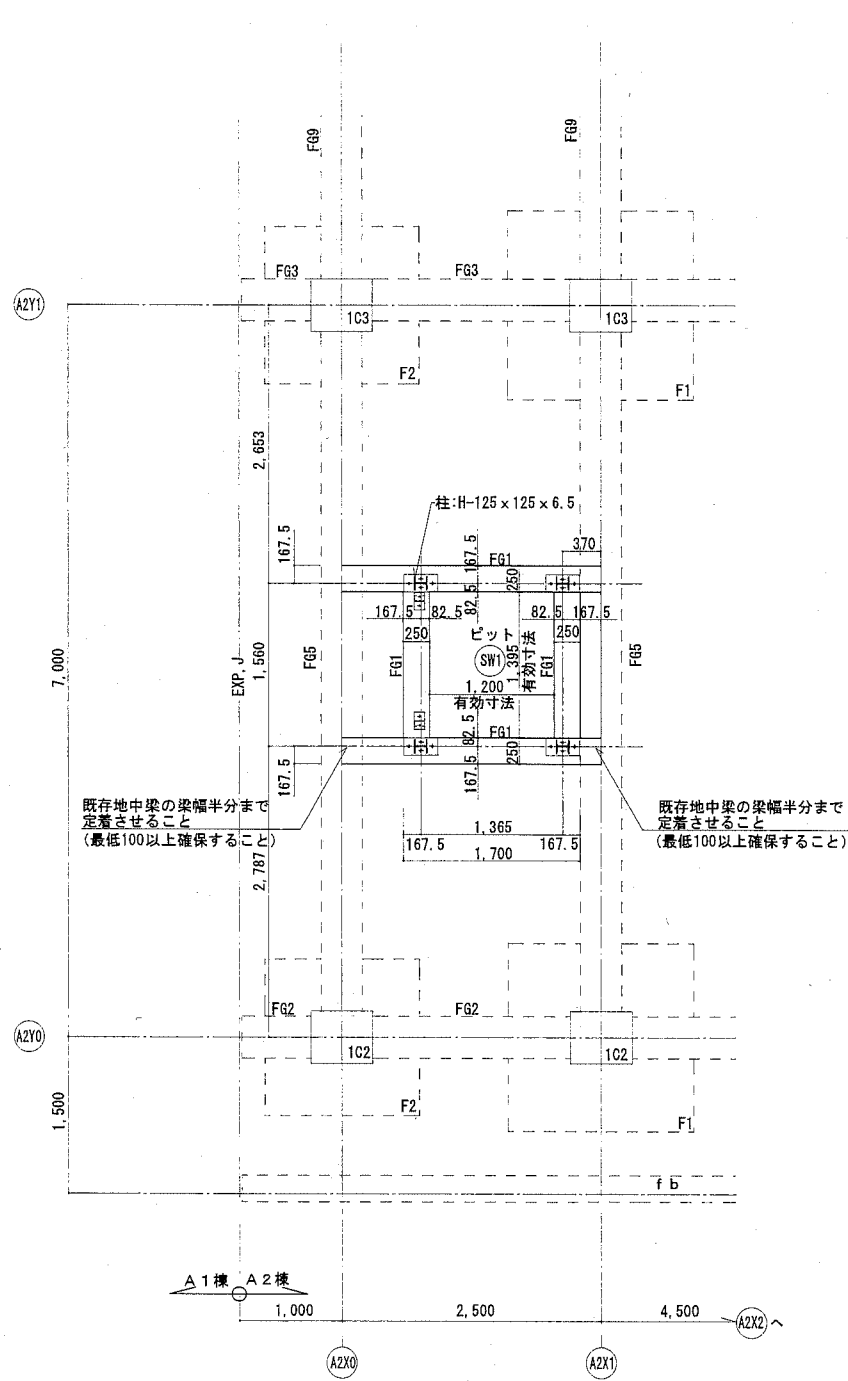
カバープレート付き大梁の現場溶接について従来のカバープレートを取り付けた状態で行うと鋼板の重ね合わせ目が欠陥の発生に影響している場合が多いため下記の手順で溶接及び検査を行うこと。

本溶接 → [検査] (欠陥なし) → カバープレート取り付け → カバープレート部溶接 → [検査] (欠陥なし) → 終了

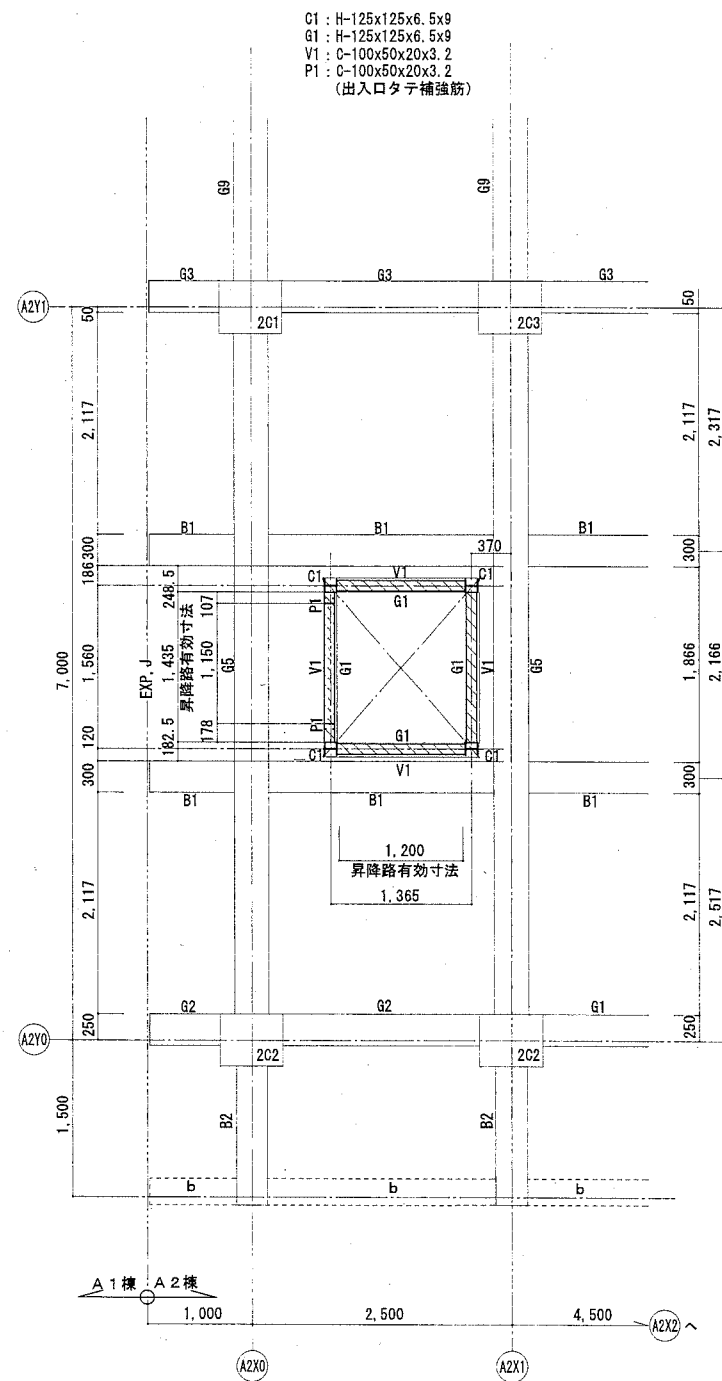
「突合せ継ぎ手の食い違い・仕口のずれの検査・補強マニュアル」等の参考文献を参照して施工すること。



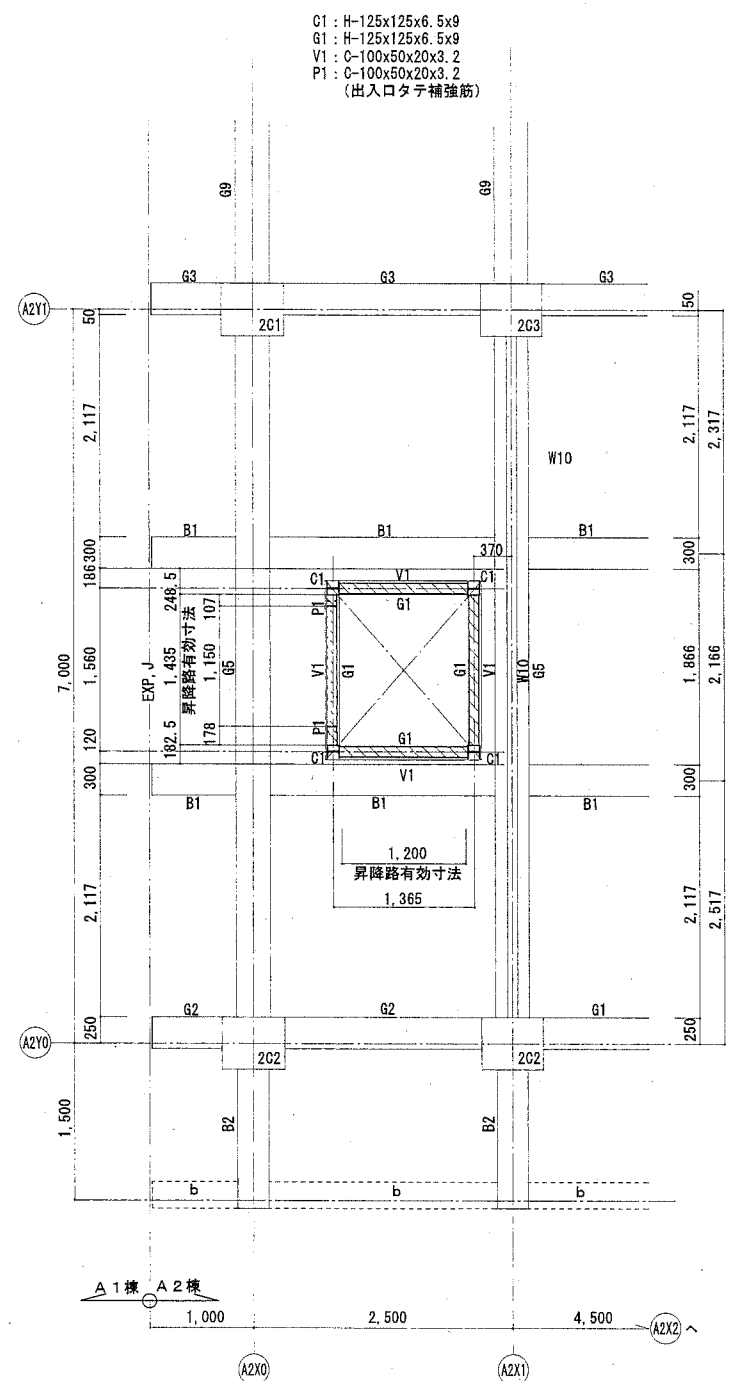




基礎・1階床伏図 1/50



2階床伏図 1/50



3階床伏図 1/50

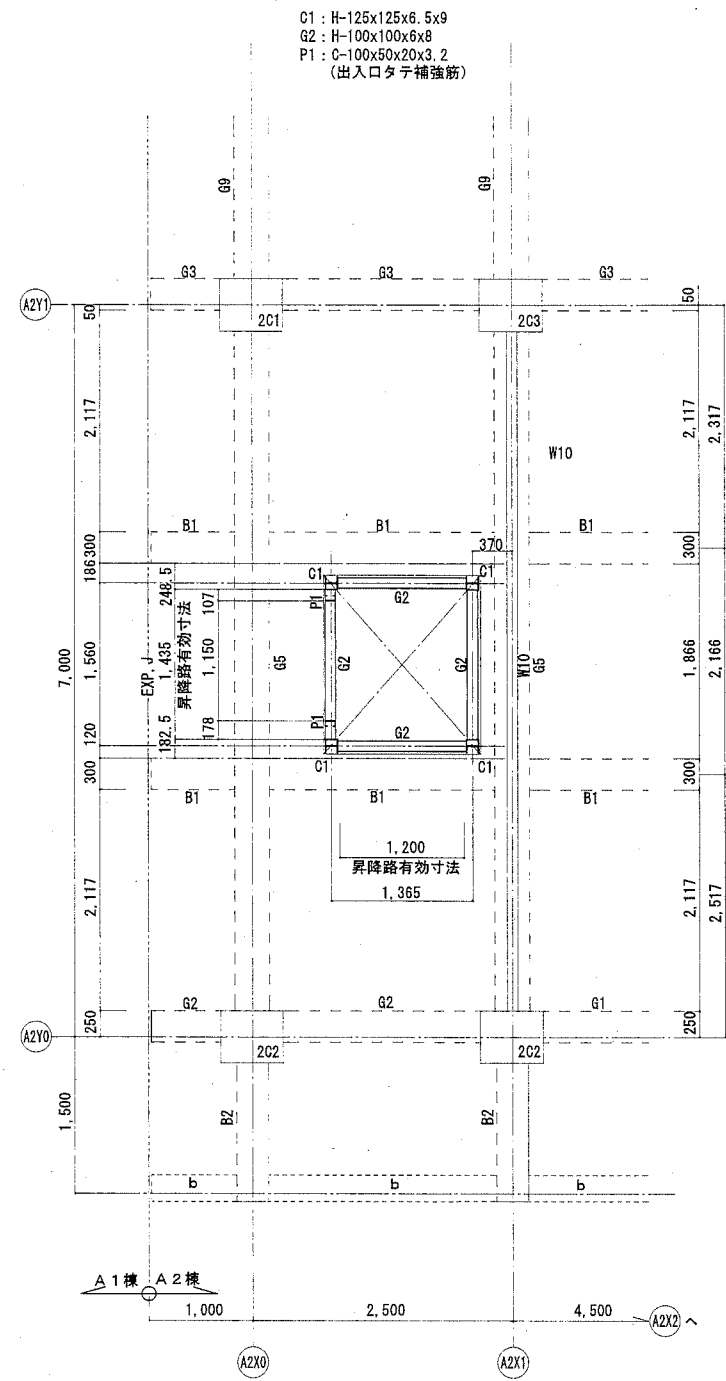
C1 : H-125x125x6.5x9  
 G1 : H-125x125x6.5x9  
 V1 : C-100x50x20x3.2  
 P1 : C-100x50x20x3.2  
 (出入口タテ補強筋)

C1 : H-125x125x6.5x9  
 G1 : H-125x125x6.5x9  
 V1 : C-100x50x20x3.2  
 P1 : C-100x50x20x3.2  
 (出入口タテ補強筋)

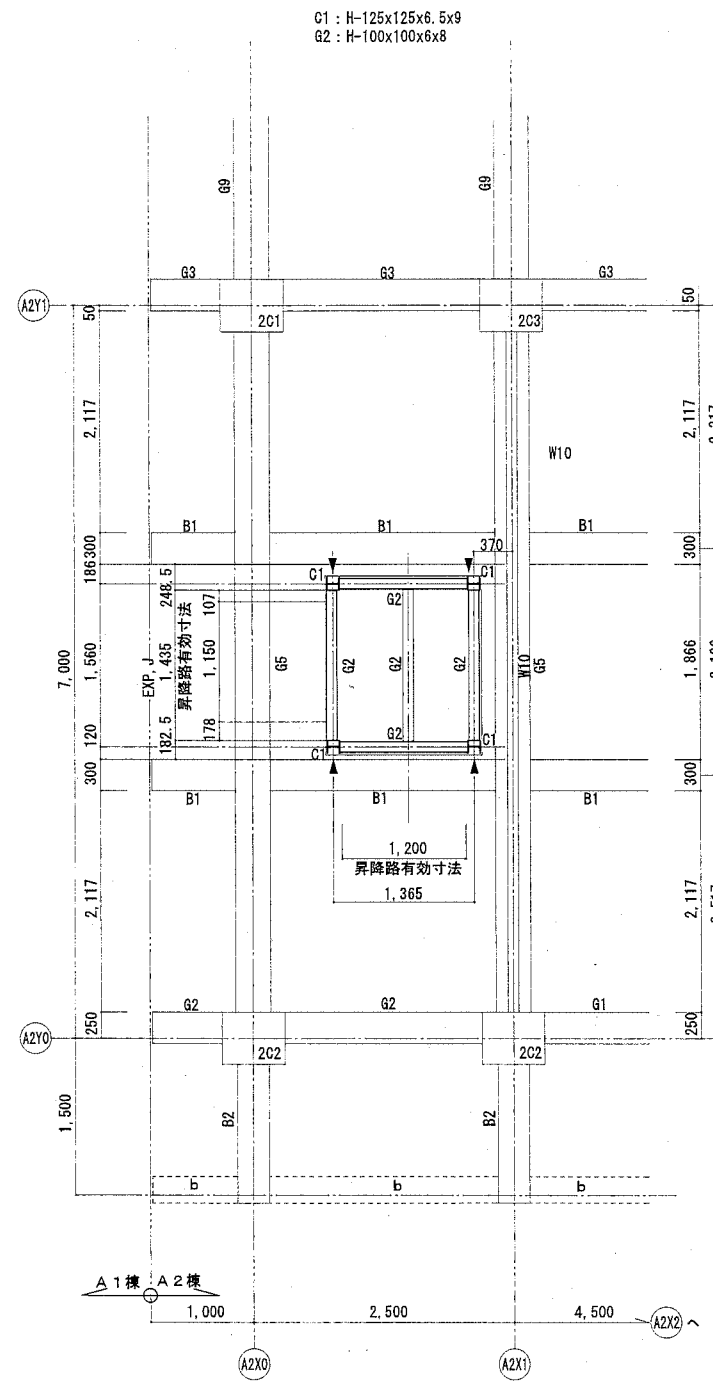
/// : スラブ開口端部隙間埋め  
 (コンクリート打設)

/// : スラブ開口端部隙間埋め  
 (コンクリート打設)

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	No. S-06
設計年月日 平成 31年 2月			工事名称 市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺 1/50
			図面名称 A棟 基礎、1階床、2階床、3階床伏図	



巻上機設置部伏図 1/50

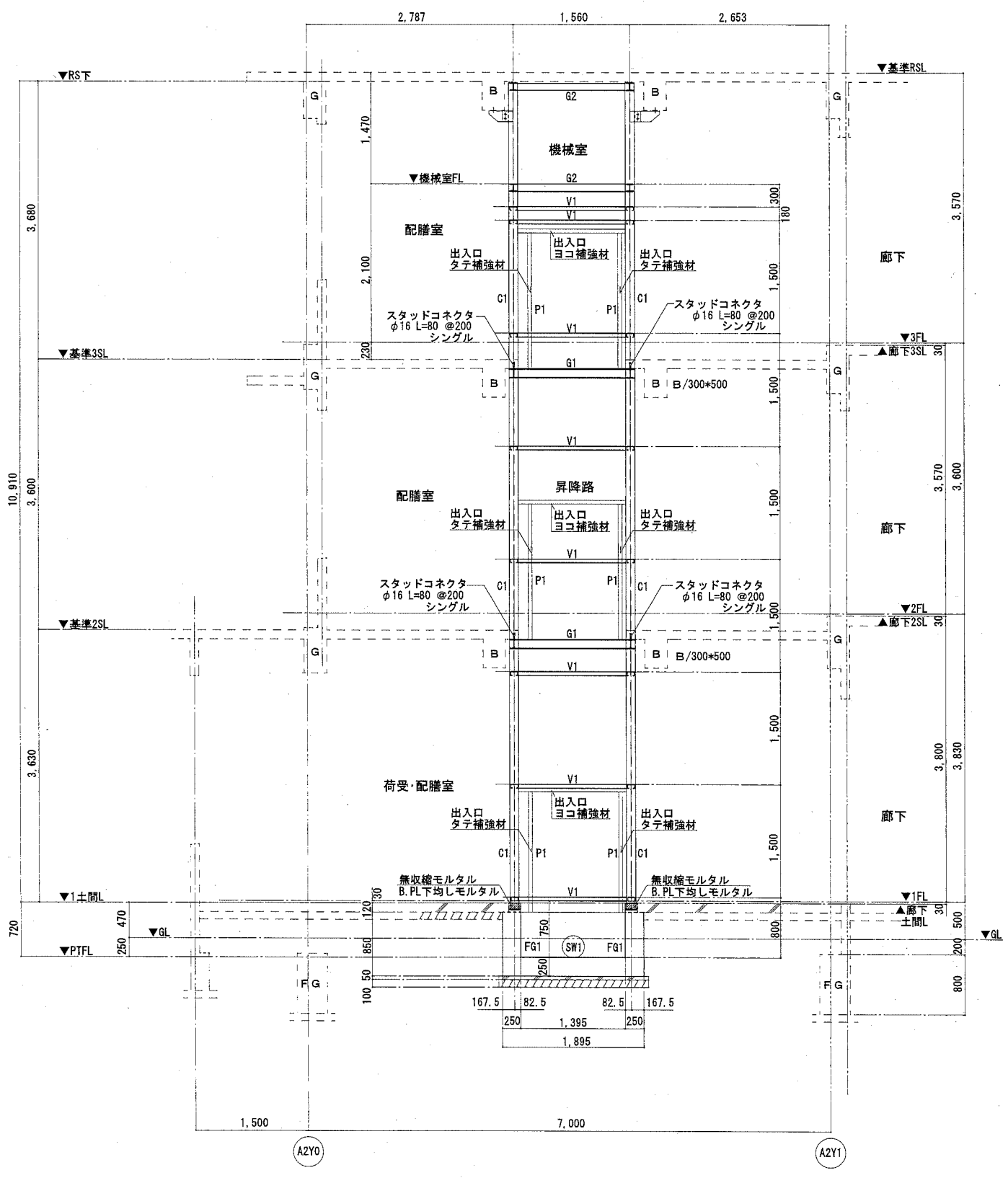


R階床伏図 1/50

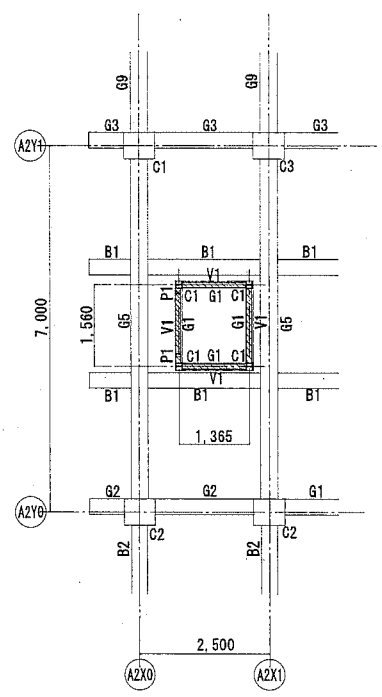
▲ : 柱頭部と既存梁接続位置

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称 A棟 巻上機設置部、R階床伏図	1/50
				No. S-07	

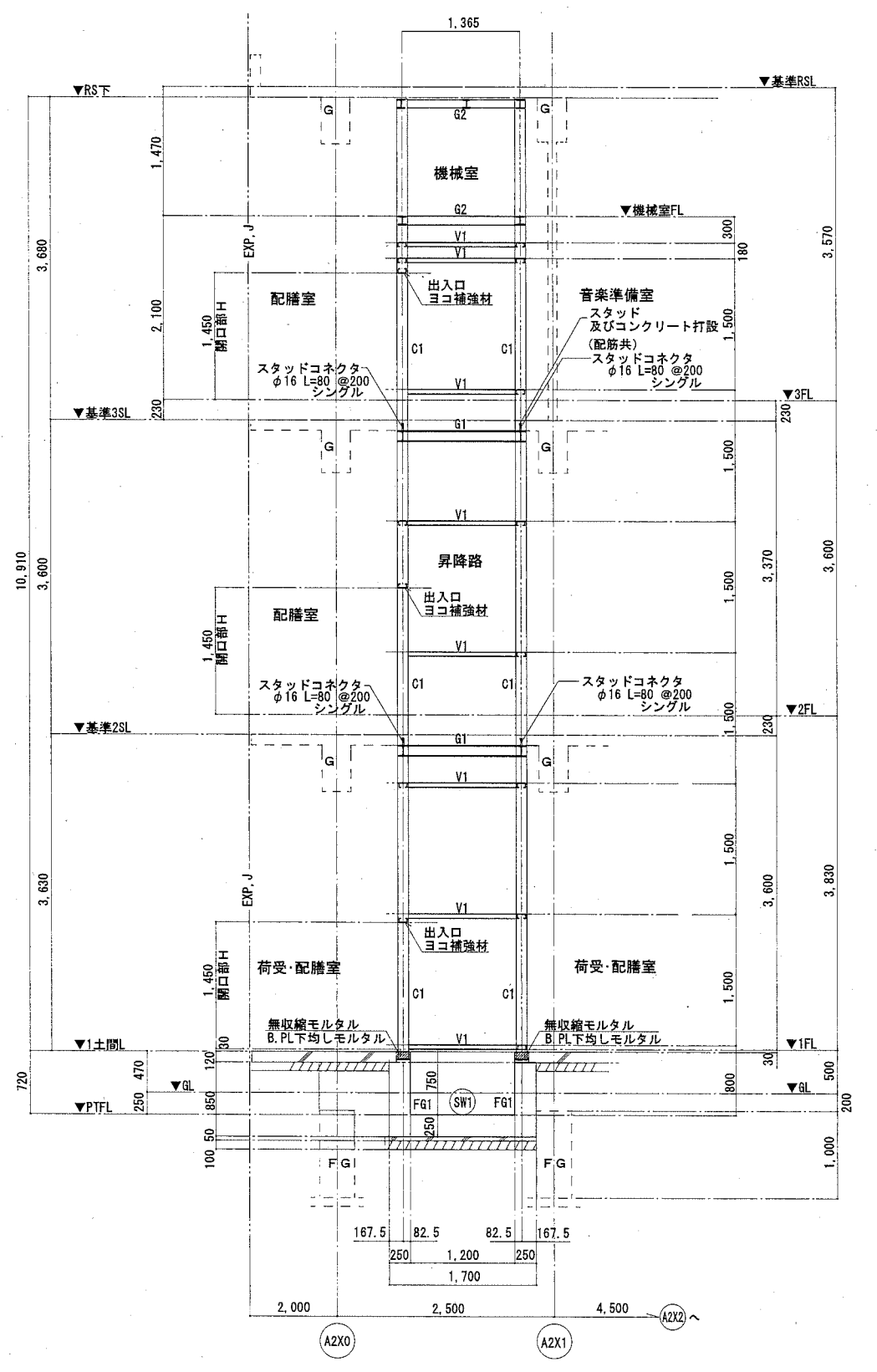
C1 : H-125x125x6.5x9  
 G1 : H-125x125x6.5x9  
 V1 : C-100x50x20x3.2  
 P1 : C-100x50x20x3.2 (出入口タテ補強筋)



Y方向 断面図 1/50  
 特記なきRC壁はW12を示す



部材キープラン  
 // : スラブ開口部端部疎間埋め (コンクリート打設)

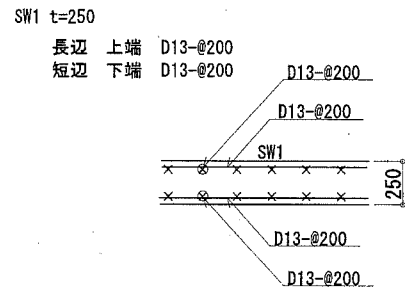


X方向 断面図 1/50  
 特記なきRC壁はW12を示す

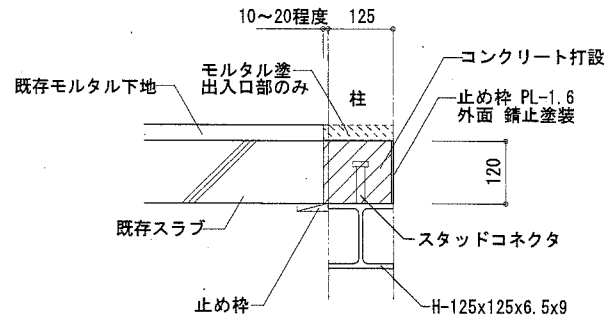
公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	A棟 断面図		S-08

構造詳細図 大梁リスト 縮尺 1/30 \*特記なき限り、巾止め筋はD10-#1000とする

符号	FG1
位置	全断面
断面	
断面寸法	250 x 850
上端筋	2-D16
下端筋	2-D16
あばら筋	□-D10-@200
腹筋	4-D13



構造詳細図 SW1 1/30



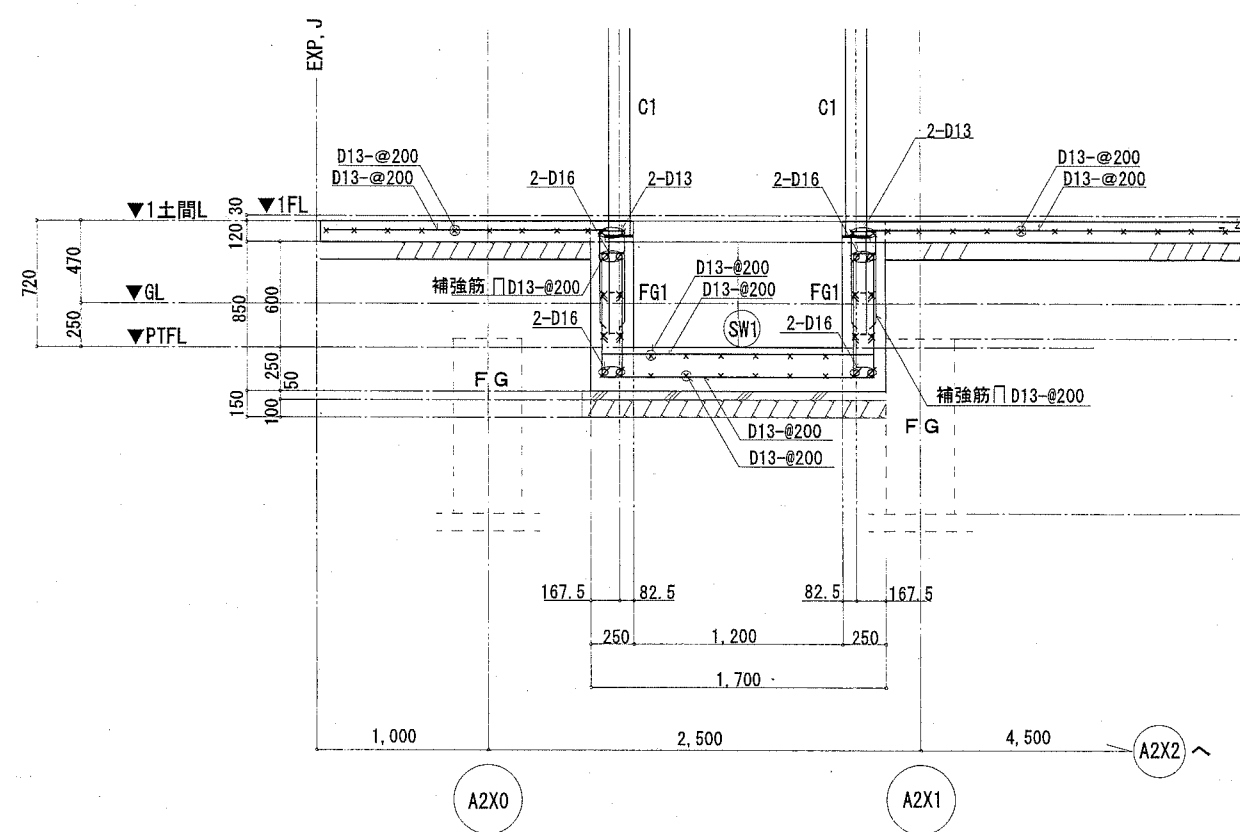
スラブ開口端部隙間埋め詳細図 1/10

構造詳細図 鉄骨リスト \*特記なき限り 材質 SS400 使用ボルト HTBF10T

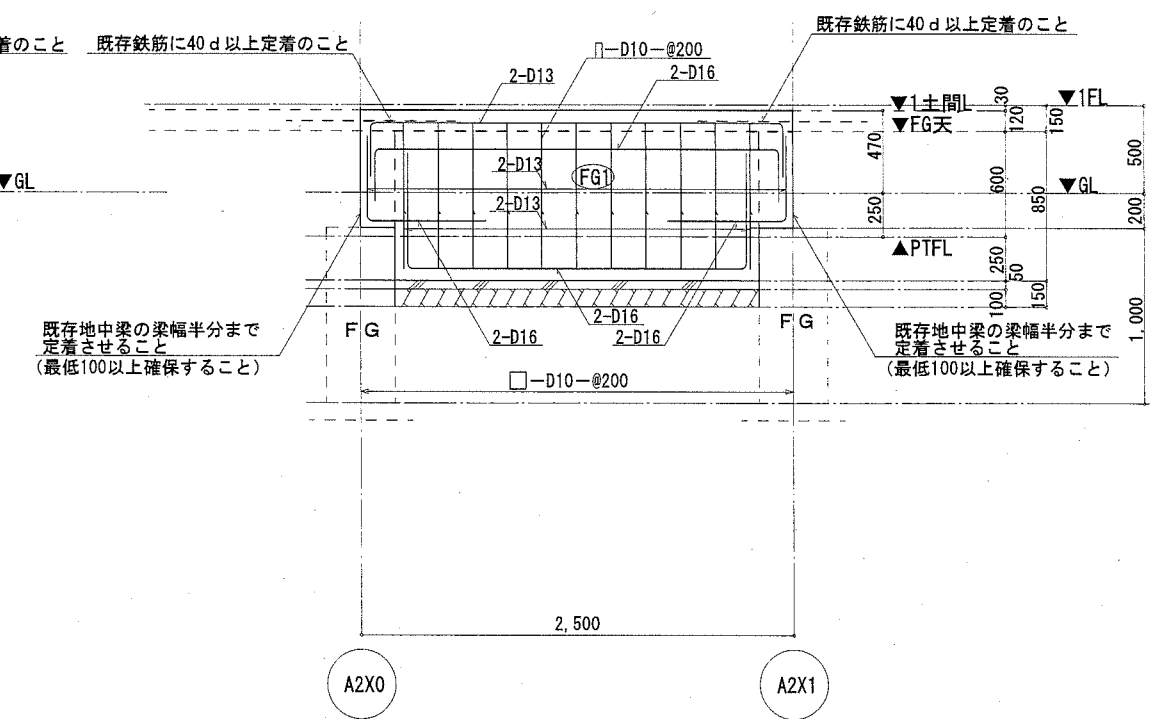
符号	C1	
位置	全断面	
全階断面		
断面寸法	H-125 x 125 x 6.5 x 9	
備考	<p>柱脚部 柱頭部 柱接合部</p>	
符号	G1	G2
位置	全断面	
全階断面		
断面寸法	H-125 x 125 x 6.5 x 9	H-100 x 100 x 6 x 8
備考	<p>スタッドコネクタ: φ16 L=80 @200 シングル</p>	

構造詳細図 小梁リスト 縮尺 1/30 \*特記なき限り 材質 SS400 使用ボルト HTBF10T

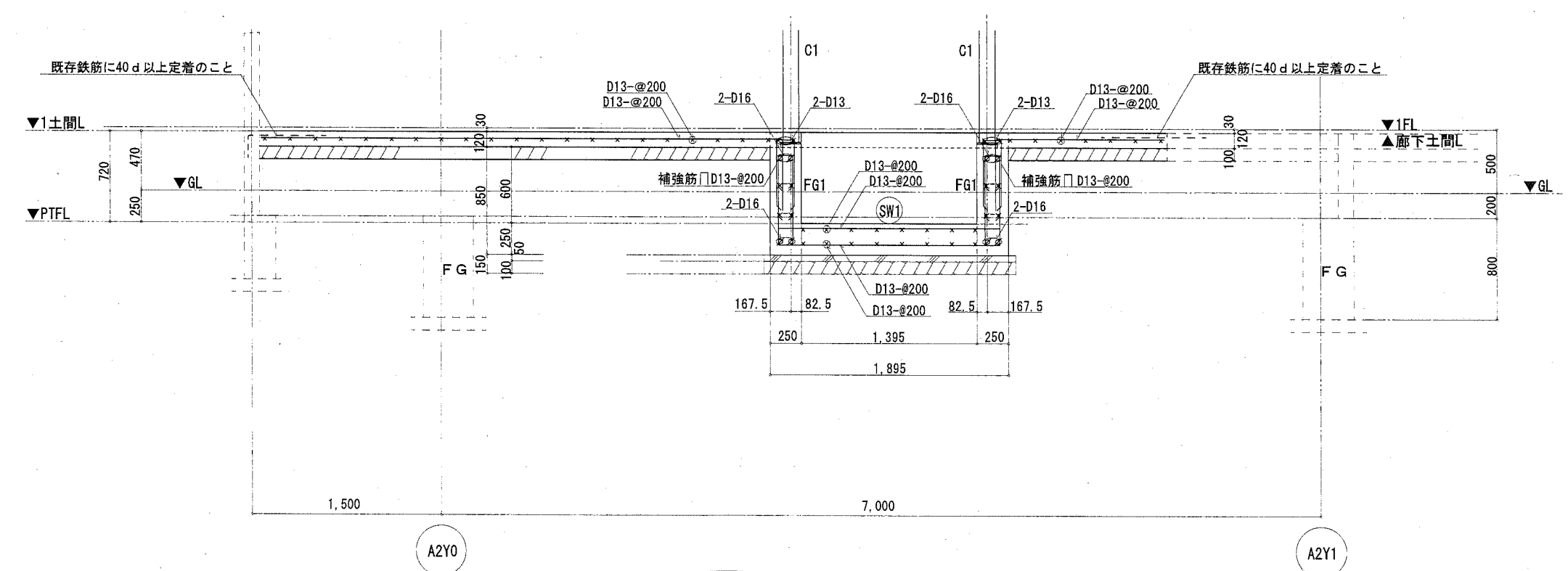
記号	V1	P1
位置	全断面	
形状寸法		
鉄骨	C-100 x 50 x 20 x 3.2	C-100 x 50 x 20 x 3.2
備考	<p>PL-9</p>	<p>C-100x50x20x3.2</p> <p>1階出入口タテ補強材の固定はあと施工アンカー(金属拡張系)中間階は鉄骨梁にGPLを溶接</p>
あと施工アンカー仕様		
	<p>1) 既存躯体への有効埋込み長さ<math>l_e</math>は、アンカー軸部の直径<math>d_a</math>に応じて<math>8d_a</math>以上(mm) (接着系アンカー)とする。</p> <p>M16 (外径15mm) 埋込み長さ<math>l_e</math> (15x8) =120mm以上 M20 (外径19mm) 埋込み長さ<math>l_e</math> (19x8) =152mm以上</p> <p>2) あと施工アンカー (接着系アンカー) ピッチ及び配置方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>アンカー軸部の直径<math>d_a</math>: 13mm以上、22mm以下</li> <li>ピッチ<math>p_a</math>: 7.5<math>d_a</math>以上、かつ300mm以下</li> <li>ゲージ<math>g_a</math>: ダブル配置5.5<math>d_a</math>以上</li> <li>ヘリあき<math>c_1</math>: 2.5<math>d_a</math>以上</li> <li>はしあき<math>c_2</math>: 5<math>d_a</math>以上</li> </ol>	



ピット部 補強梁 配筋図 (Y通り) S=1/30

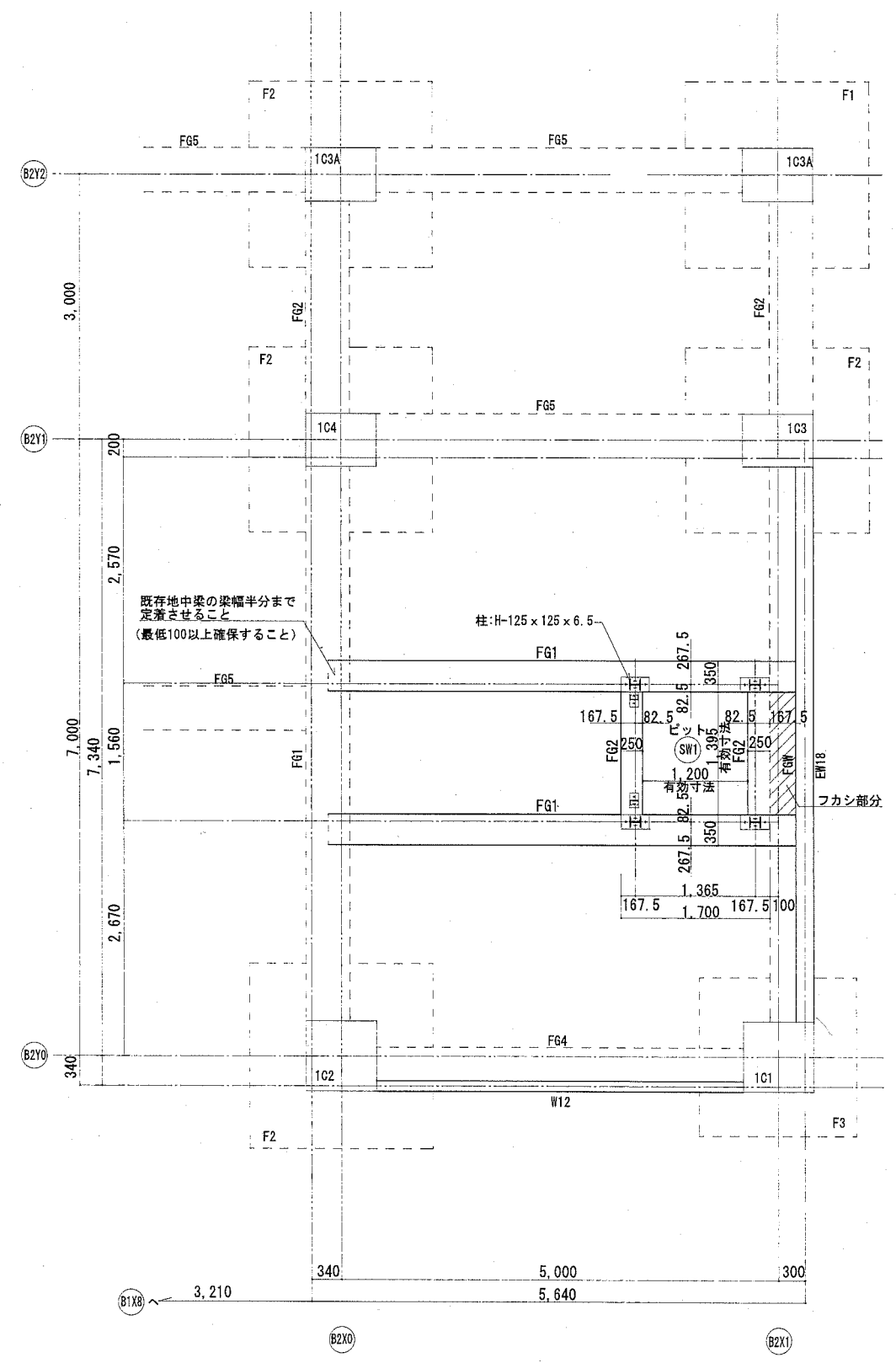


ピット部 補強梁 (FG1) 配筋図 S=1/30

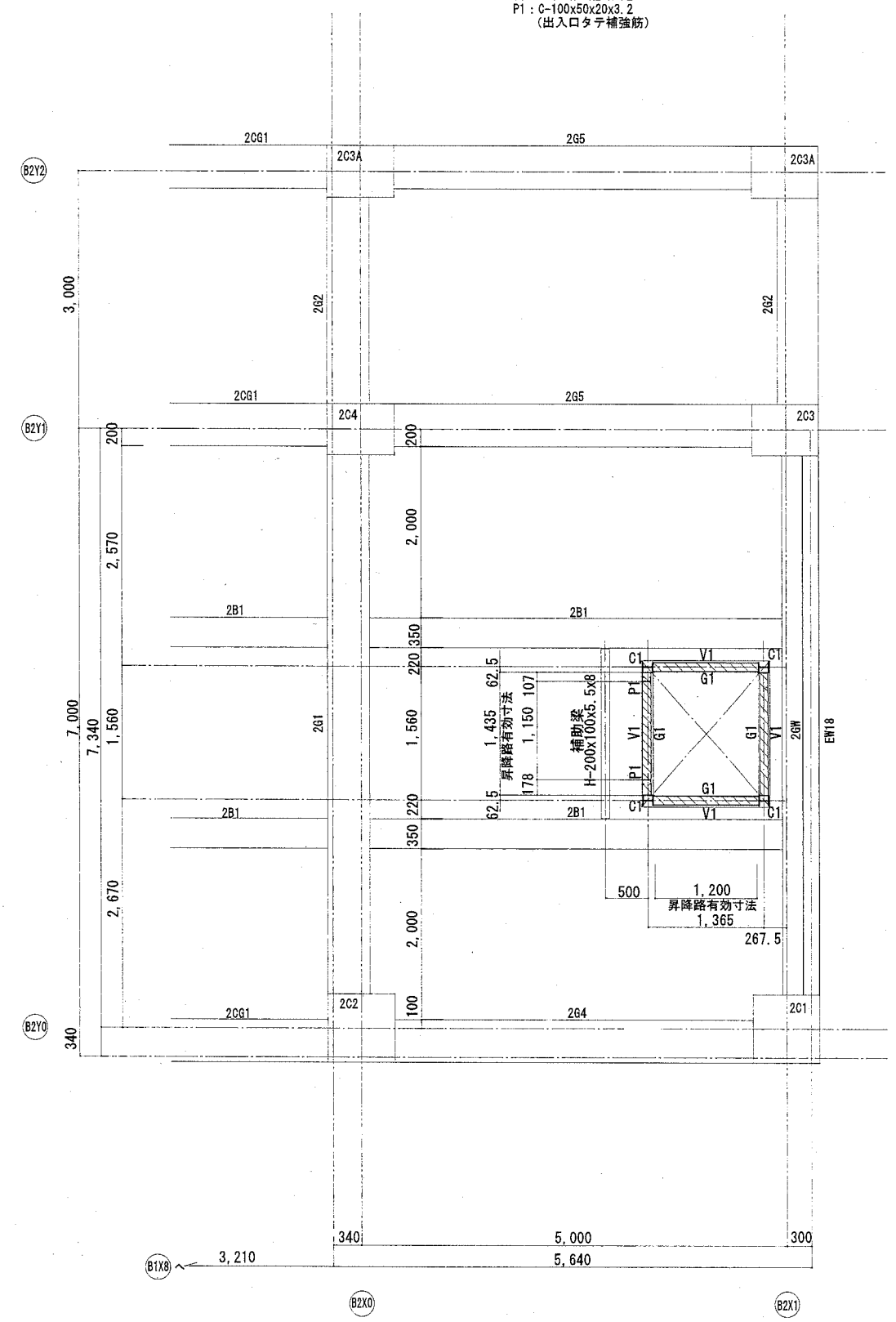


ピット部 補強梁 配筋図 (X通り) S=1/30

C1 : H-125x125x6.5x9  
 G1 : H-125x125x6.5x9  
 V1 : C-100x50x20x3.2  
 P1 : C-100x50x20x3.2  
 (出入口タテ補強筋)



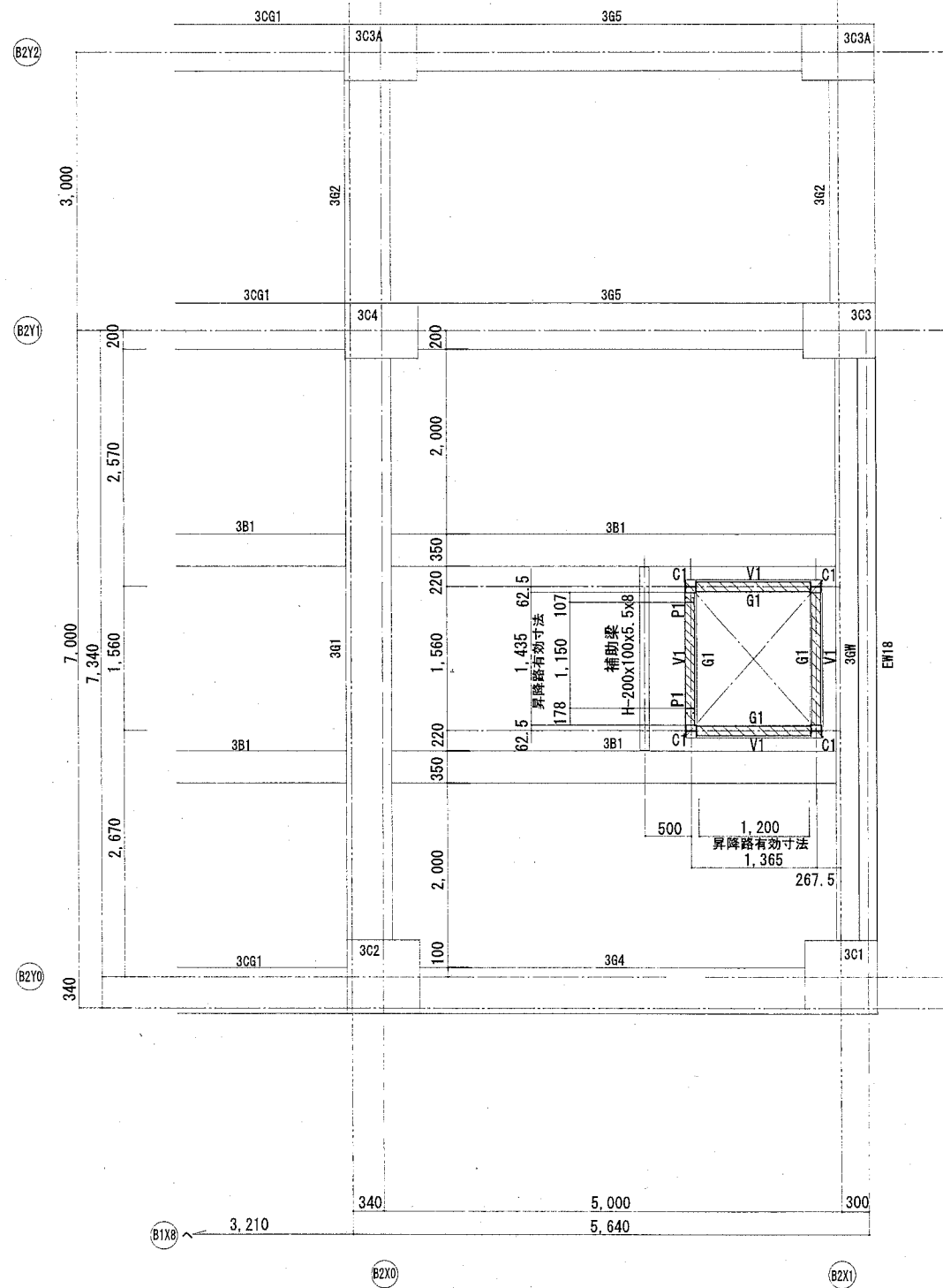
基礎・1階床伏図 1/50



2階床伏図 1/50

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺 1/50	No. S-11

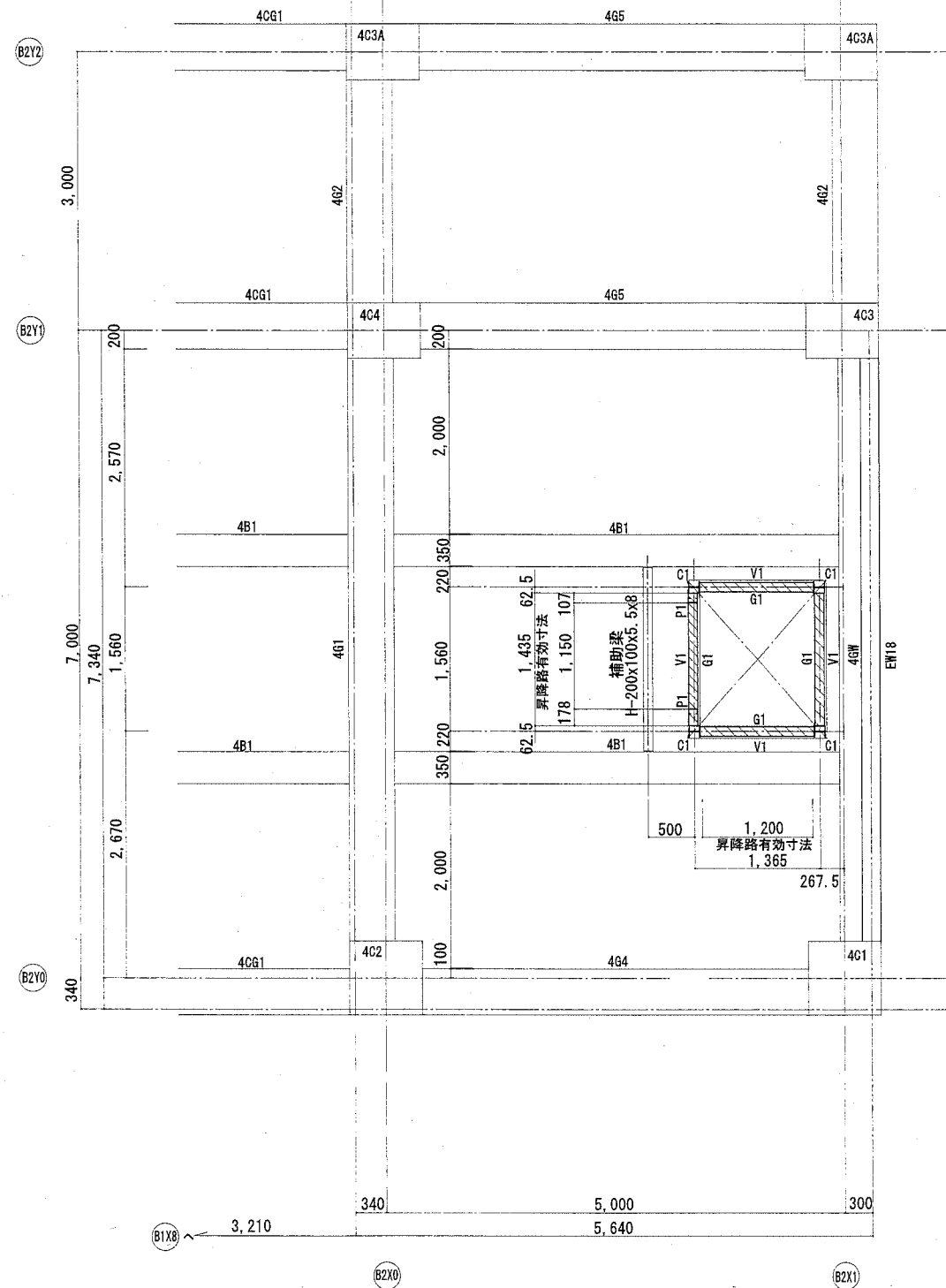
C1 : H-125x125x6.5x9  
 G1 : H-125x125x6.5x9  
 V1 : C-100x50x20x3.2  
 P1 : C-100x50x20x3.2  
 (出入口タテ補強筋)



3階床伏図 1/50

スラブ開口端部隙間埋め  
 (コンクリート打設)

C1 : H-125x125x6.5x9  
 G1 : H-125x125x6.5x9  
 V1 : C-100x50x20x3.2  
 P1 : C-100x50x20x3.2  
 (出入口タテ補強筋)



4階床伏図 1/50

スラブ開口端部隙間埋め  
 (コンクリート打設)

公共建築課長 主査等 担当者

横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 平成 31年 2月

工事名称 市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事

図面名称 B棟 3階床、4階床伏図

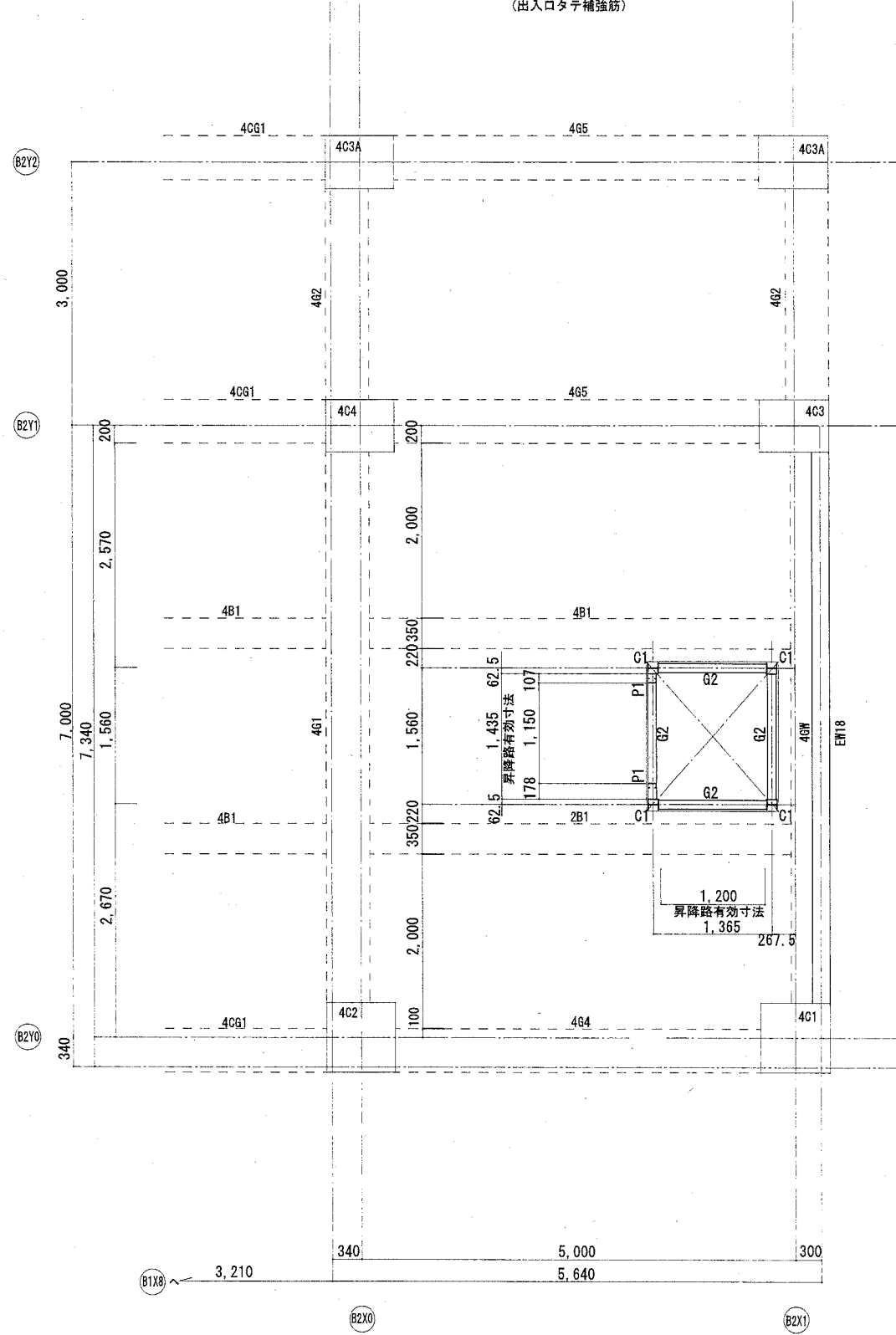
縮尺

1/50

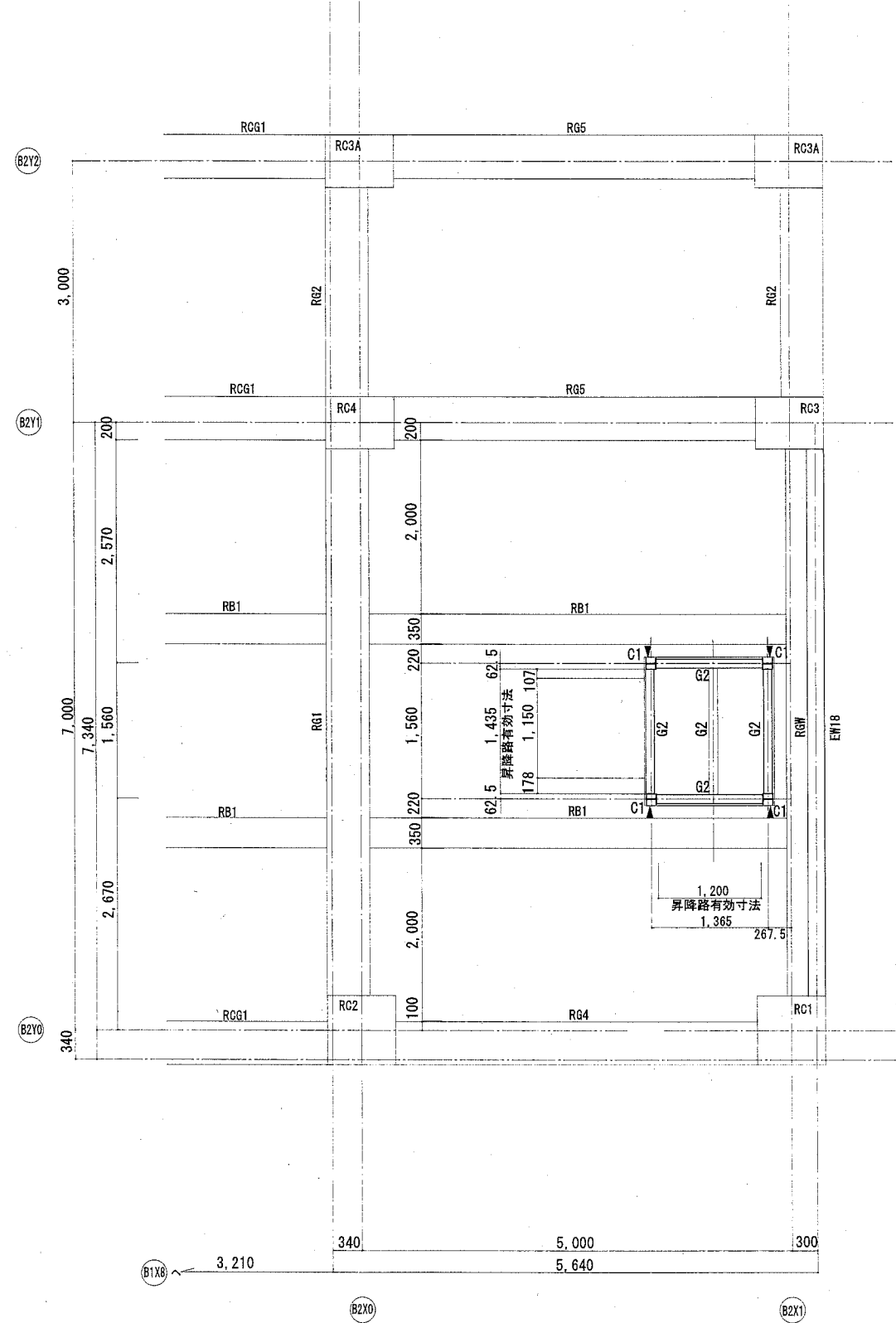
S-12

C1 : H-125x125x6.5x9  
 G2 : H-100x100x6x8  
 P1 : C-100x50x20x3.2  
 (出入口タテ補強筋)

C1 : H-125x125x6.5x9  
 G2 : H-100x100x6x8



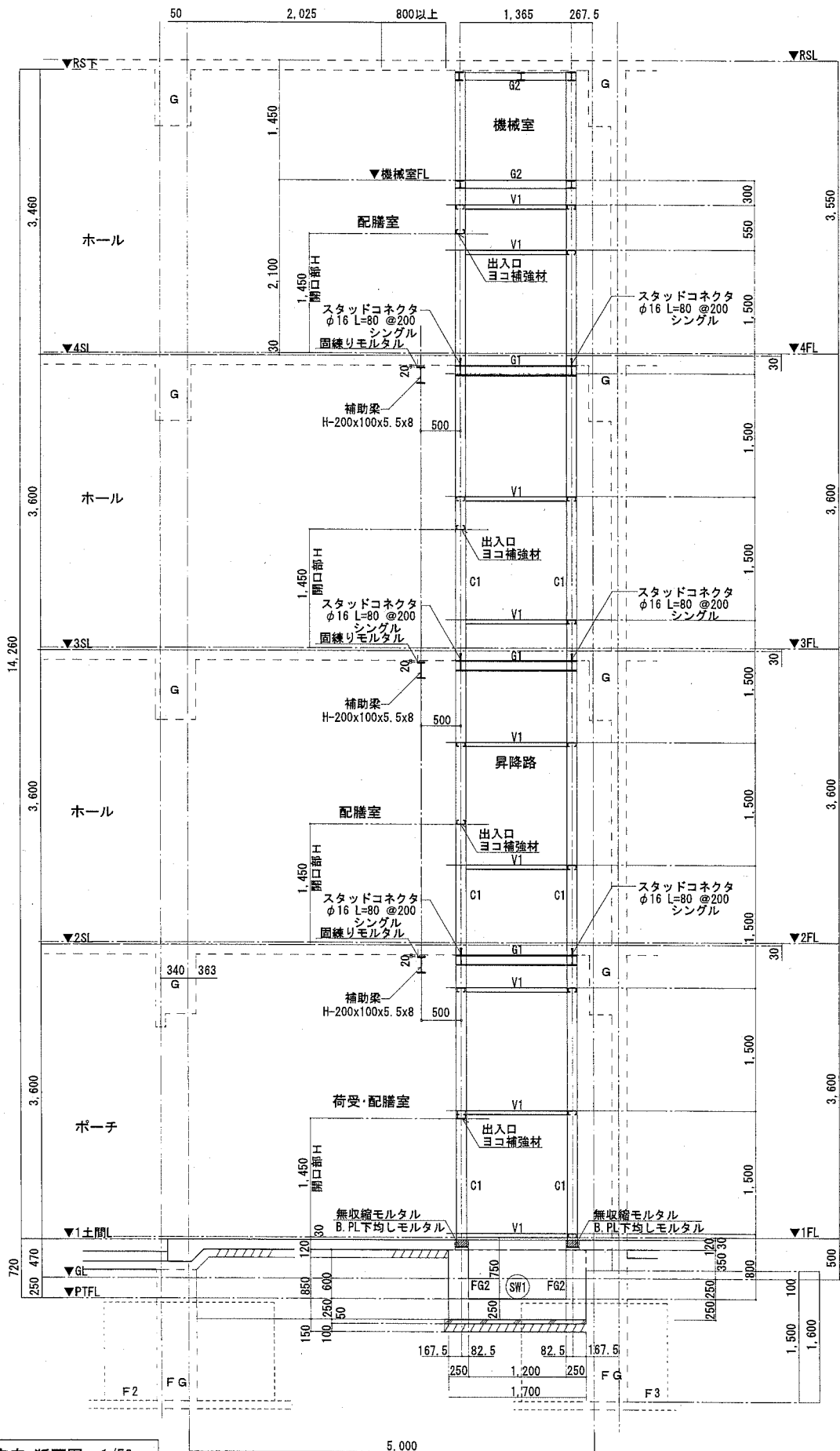
巻上機設置部伏図 1/50



R階床伏図 1/50

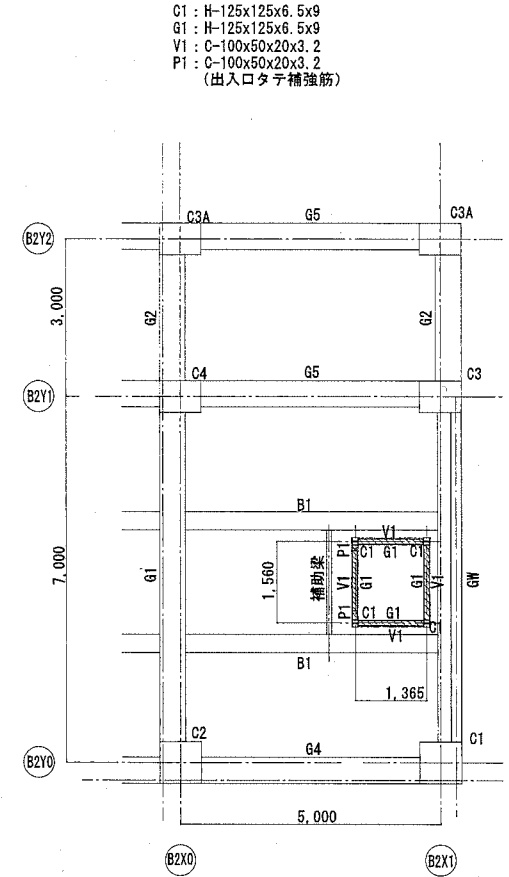
▲ : 柱頭部と既存梁接続位置





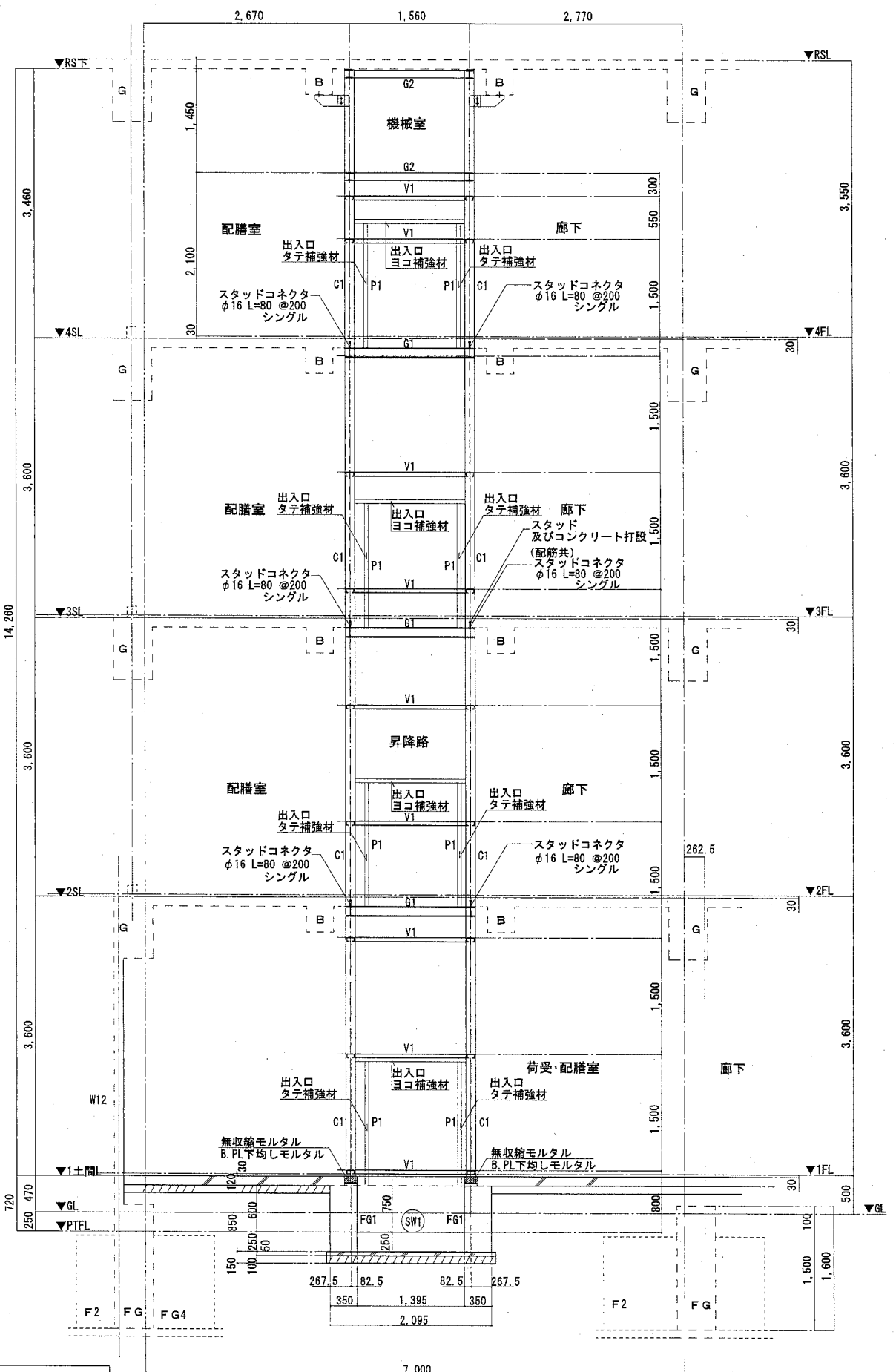
Y方向 断面図 1/50

特記なきRC壁はW12を示す



部材キープラン

//// : スラブ開口端部除間埋め (コンクリート打設)



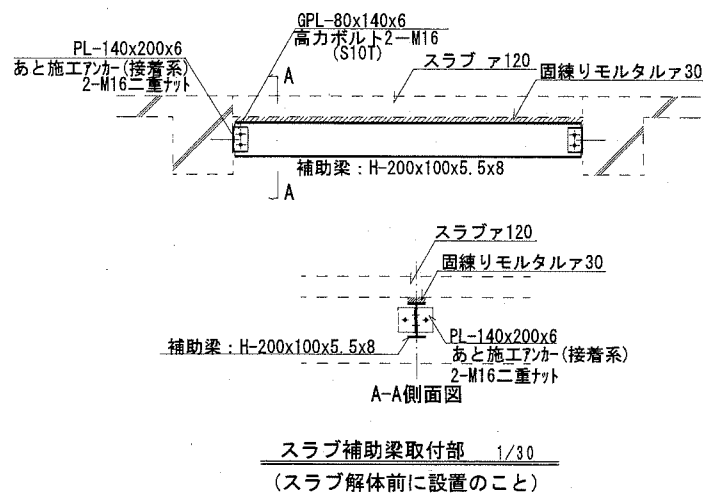
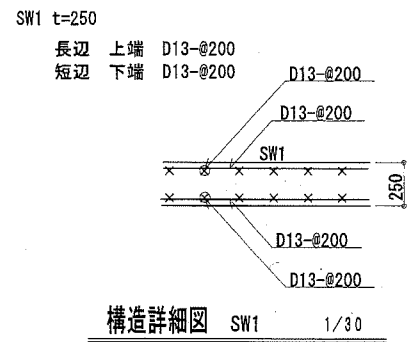
X方向 断面図 1/50

特記なきRC壁はW12を示す

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称	市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	1/50
			設計年月日 平成 31年 2月	図面名称	B棟 断面図		S-14

構造詳細図 大梁リスト 縮尺 1/30 \*特記なき限り、巾止メ筋はD10-@100とする

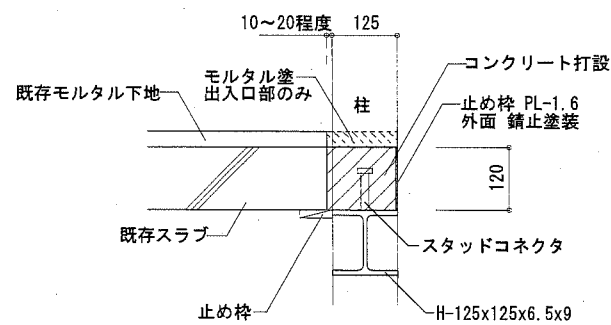
符号	FG1	FG2
位置	全断面	全断面
断面		
断面寸法	350 x 850	250 x 850
上端筋	3-D19	2-D16
下端筋	3-D19	2-D16
あばら筋	□-D13-@200	□-D10-@200
腹筋	4-D13	4-D13



構造詳細図 鉄骨リスト

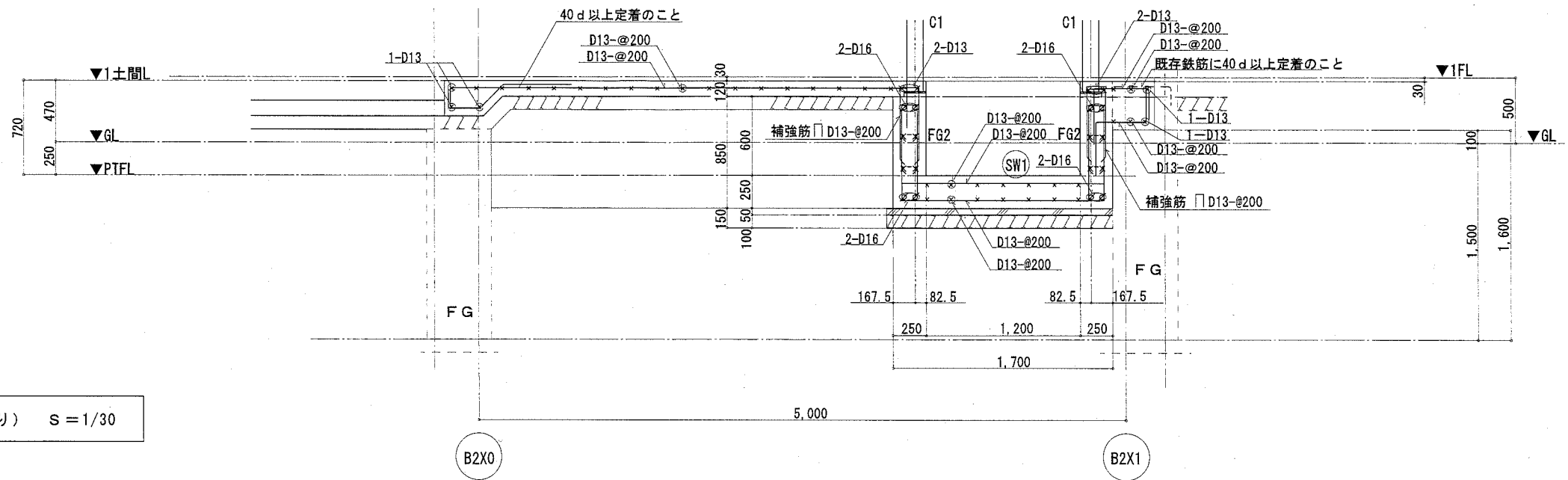
\*特記なき限り  
材質 SS400 使用ボルト HTBF10T

符号	C1	
位置	全断面	
全断面		
断面寸法	H-125 x 125 x 6.5 x 9	
備考	<p>柱材質 SS400</p> <p>柱頭部 柱接合部</p>	
符号	G1	G2
位置	全断面	
全断面		
断面寸法	H-125 x 125 x 6.5 x 9	H-100 x 100 x 6 x 8
備考	<p>スタッドコネクタ: φ16 L=80 @200 シングル</p>	

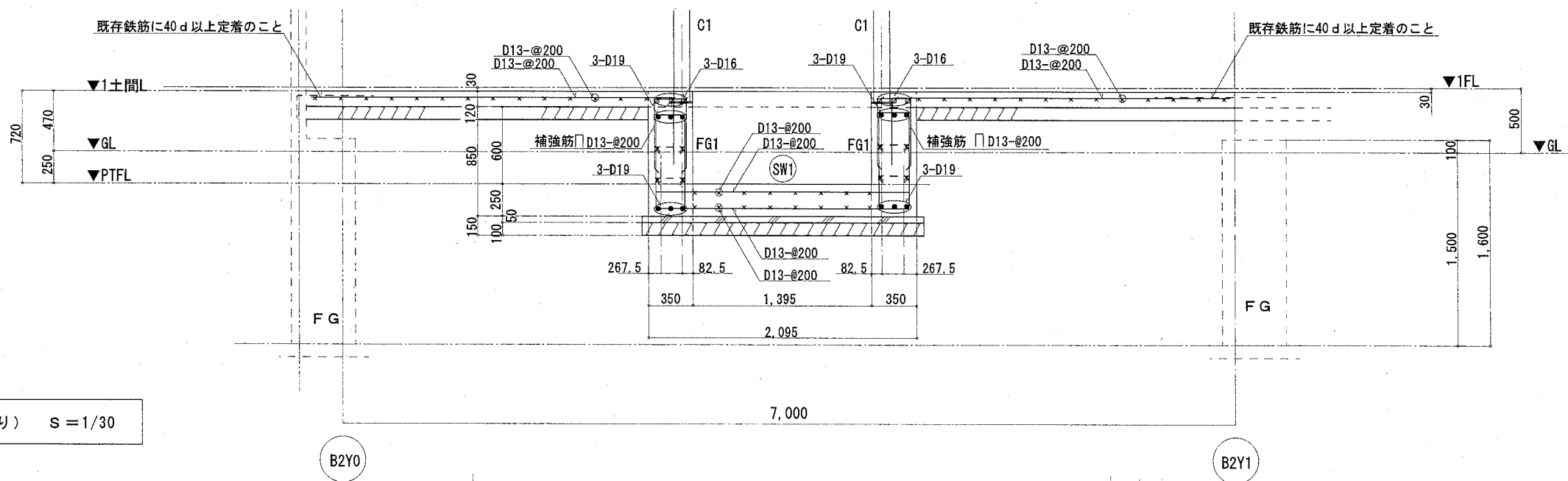


構造詳細図 小梁リスト 縮尺 1/30 \*特記なき限り  
材質 SS400 使用ボルト HTBF10T

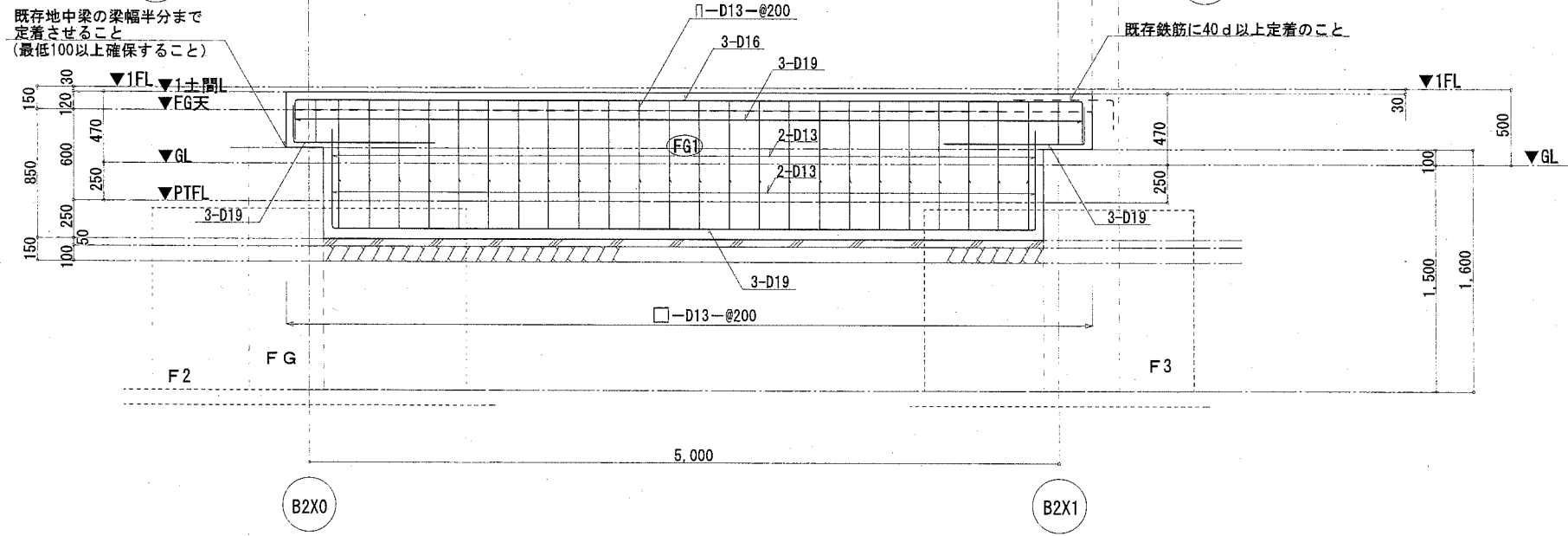
記号	V1	P1
位置	全断面	全断面
形状寸法		
鉄骨	C-100 x 50 x 20 x 3.2	C-100 x 50 x 20 x 3.2
備考	<p>PL-9</p> <p>1階出入口タテ補強材の固定はあと施工アンカー(金属拡張系)中間階は鉄骨梁にGPLを溶接</p>	
あと施工アンカー仕様	<p>1) 既存躯体への有効埋込み長さ <math>l_e</math> は、アンカー軸部の直径 <math>d_a</math> に応じて <math>8d_a</math> 以上 (mm) (接着系アンカー) とする。 M16 (外径15mm) 埋込み長さ <math>l_e</math> (15x8) =120mm以上 M20 (外径19mm) 埋込み長さ <math>l_e</math> (19x8) =152mm以上</p> <p>2) あと施工アンカー (接着系アンカー) ピッチ及び配置方法 1. アンカー軸部の直径 <math>d_a</math>: 13mm以上、22mm以下 2. ピッチ <math>p_a</math>: 7.5 <math>d_a</math> 以上、かつ300mm以下 3. ゲージ <math>g_a</math>: ダブル配置 5.5 <math>d_a</math> 以上 4. ヘリあき <math>c_1</math>: 2.5 <math>d_a</math> 以上 5. はしあき <math>c_2</math>: 5 <math>d_a</math> 以上</p>	



ピット部 補強梁 配筋図 (Y通り) S=1/30



ピット部 補強梁 配筋図 (Y通り) S=1/30



ピット部 補強梁 (FG1) 配筋図 S=1/30

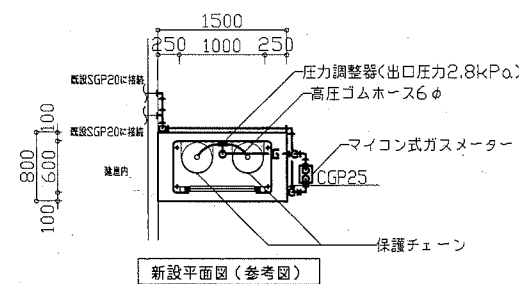
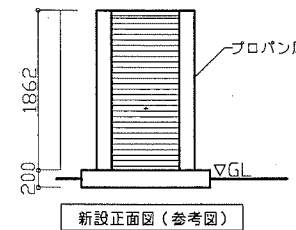
衛生器具表

名称	仕様・付属品	形番 (A社)	形番 (B社)	国土交通省 記号	A種			B種				合計	
					1	2	3	1	2	3	4		
洗面器	自動水栓、Pトラップ、壁給水	L210C	L-176UEC		1			1					2
自動水栓 (SUS製掃除用)	F10A 泡沫 スパウトL=170	T131SUN13C	LF-16F-13		1	1	1	1	1	1	1		7
床排水トラップ	ホース目皿ロック式				1			1					2

凡例

記号	名称	材質・仕様	規格・備考	保温防食塗装仕様等
---	給水管(屋内隠蔽)	一般配管用ステンレス鋼管	JIS G 3448 (SUS304)	GW+ALGC (c2・(口)・Ⅷ)
---	給水管(埋設)	耐衝撃硬質塩化ビニル管	JIS K 6742 (H1VP)	管径φ100mm山砂
---	排水管(屋内隠蔽)	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741 (VP)	GW+ALGC (c2・(口)・Ⅷ)
---	排水管(土間(第1層まで))	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741 (VP)	管上100mm山砂、管底突固め
---	排水管(屋外埋設(第1層以降))	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741 (VU)	
---	通気管(屋内隠蔽)	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741 (VP)	
—G—	ガス管	カラー鋼管	JIS G 3452 (CGP)	

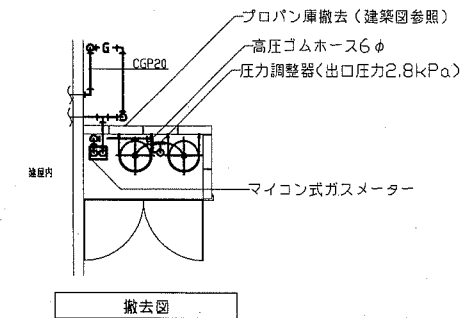
給水管の異種管接続には電熱防止継手を用いる



※基礎仕様は建築図参照  
※寸法は参考とする  
※ガス警報配線切廻しを含む

プロパン庫仕様 参考型番 ホクエイ BN-100MT

品名	材質	仕上げ
土台枠	高耐食亜鉛鋼板	ポリエステル系樹脂塗装
柱	溶融亜鉛メッキ鋼板	〃
壁パネル	〃	〃
母屋	〃	〃
横棧	〃	〃
屋根	高耐食亜鉛鋼板	〃
シャッター	溶融亜鉛メッキ鋼板	〃
レール	亜鉛メッキ鋼板	〃
アンカーボルト	SUS304	〃



公共建築課長

主査等

担当者

横須賀市 都市部 公共建築課

設計年月日 平成31年2月

工事名称市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事

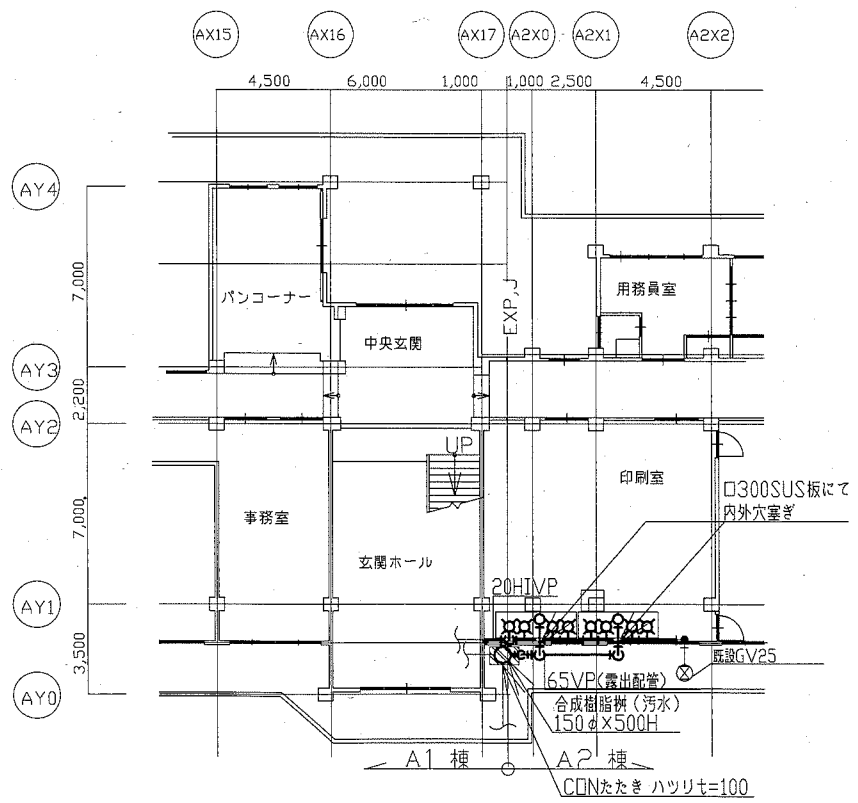
図面名称器具表・凡例・プロパン庫改修図

縮尺

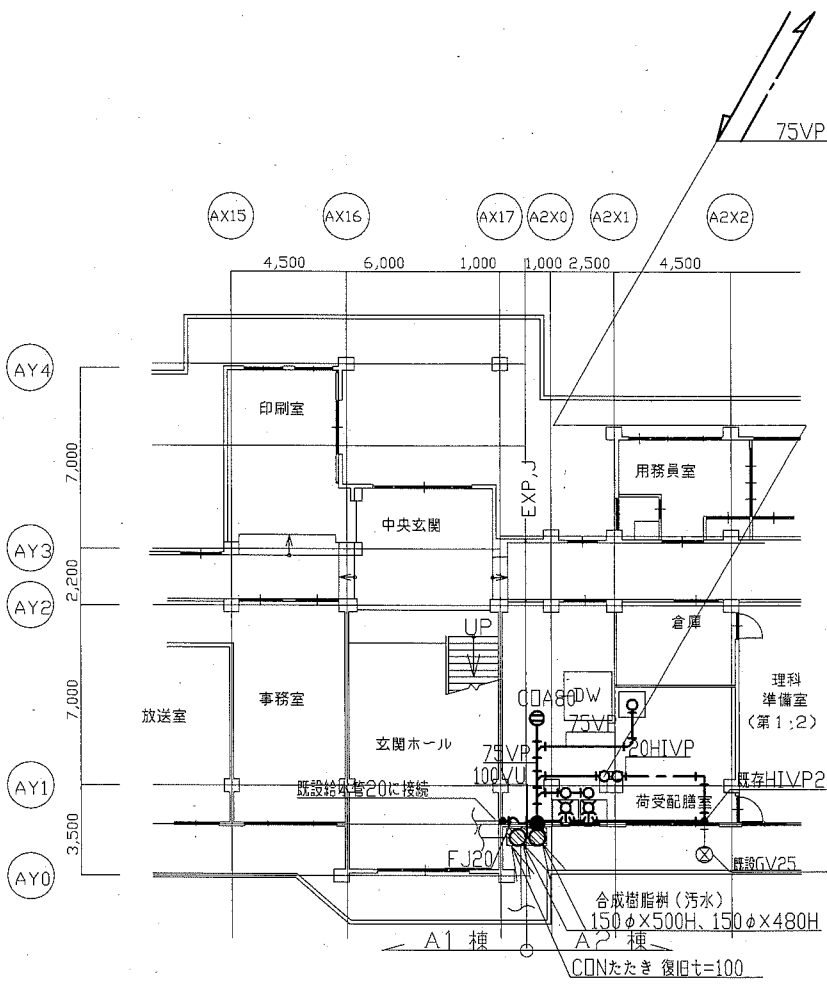
no scale

M-01

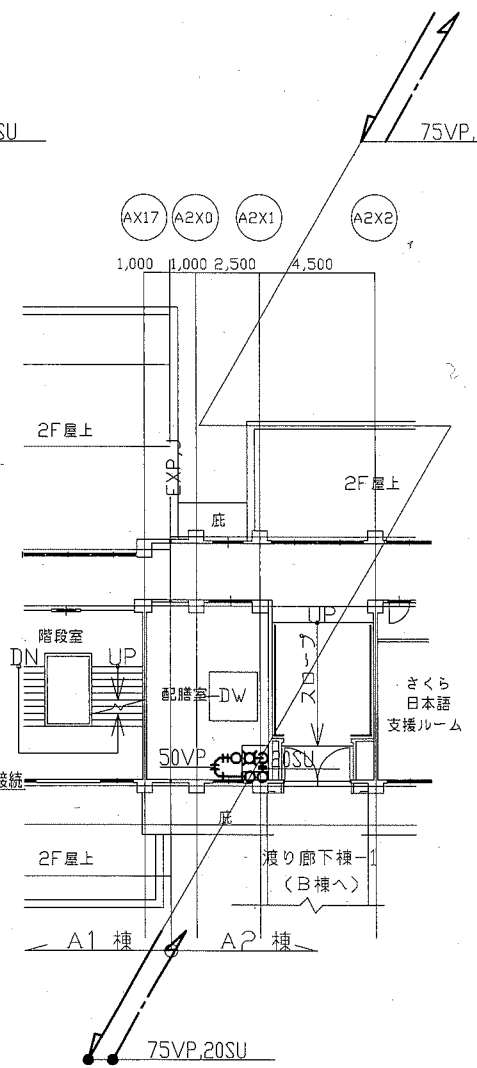
No.



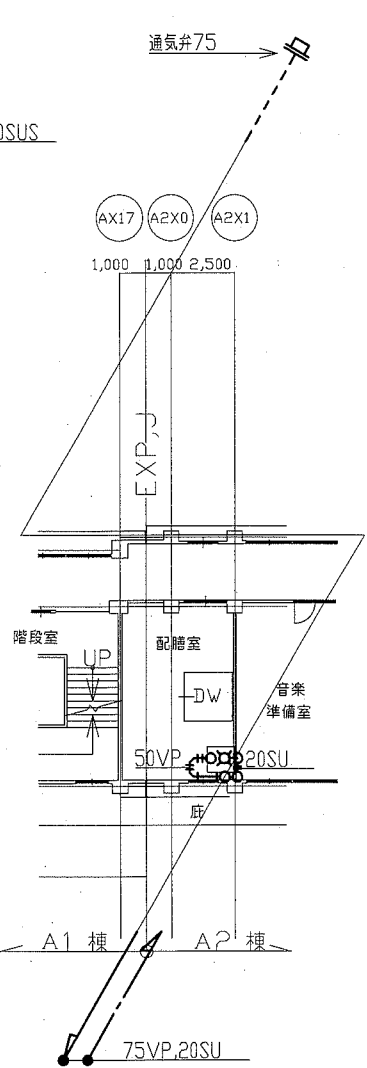
1階撤去図 1/200



1階改修後平面図 1/200



2階改修後平面図 1/200

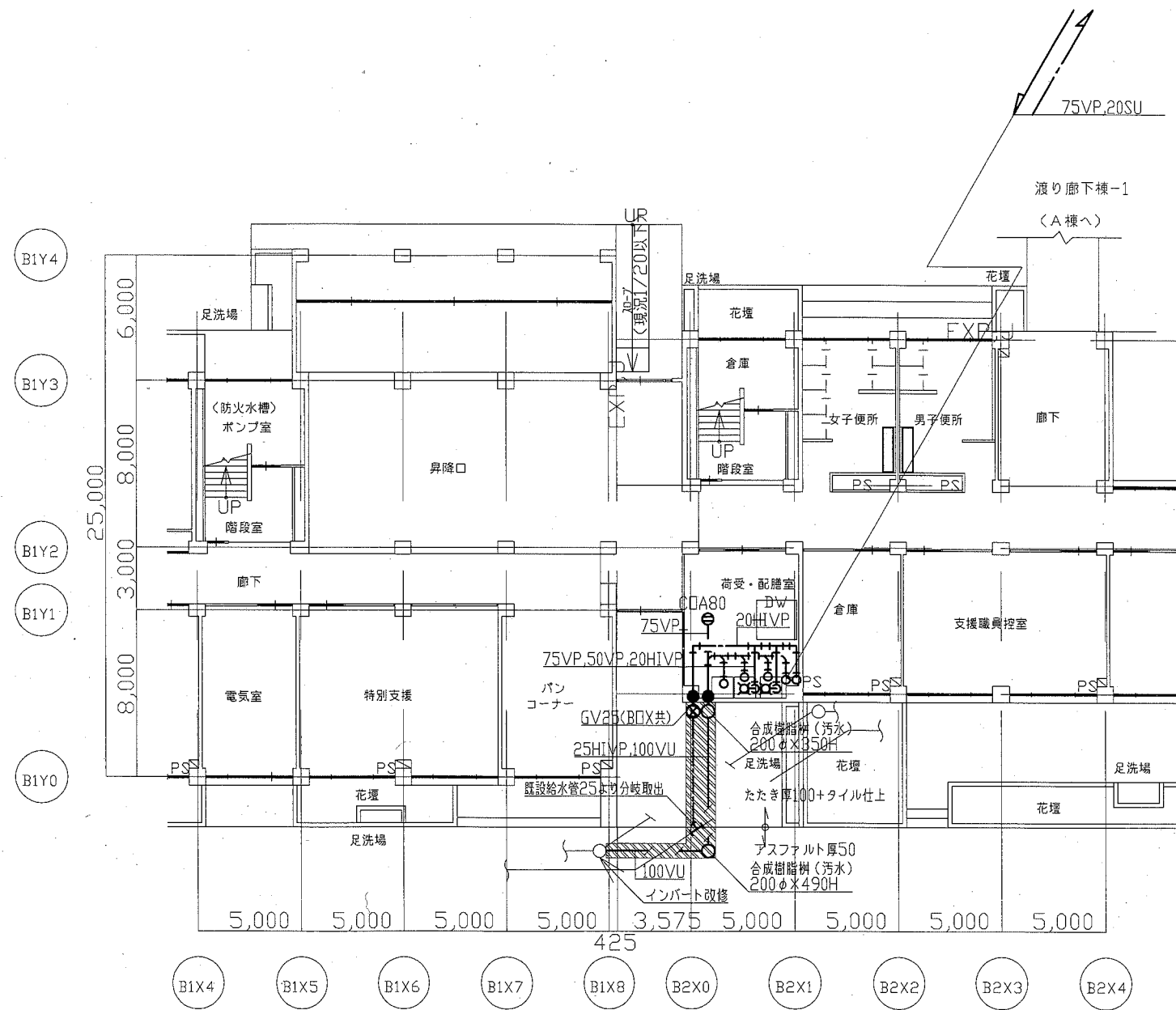


3階改修後平面図 1/200

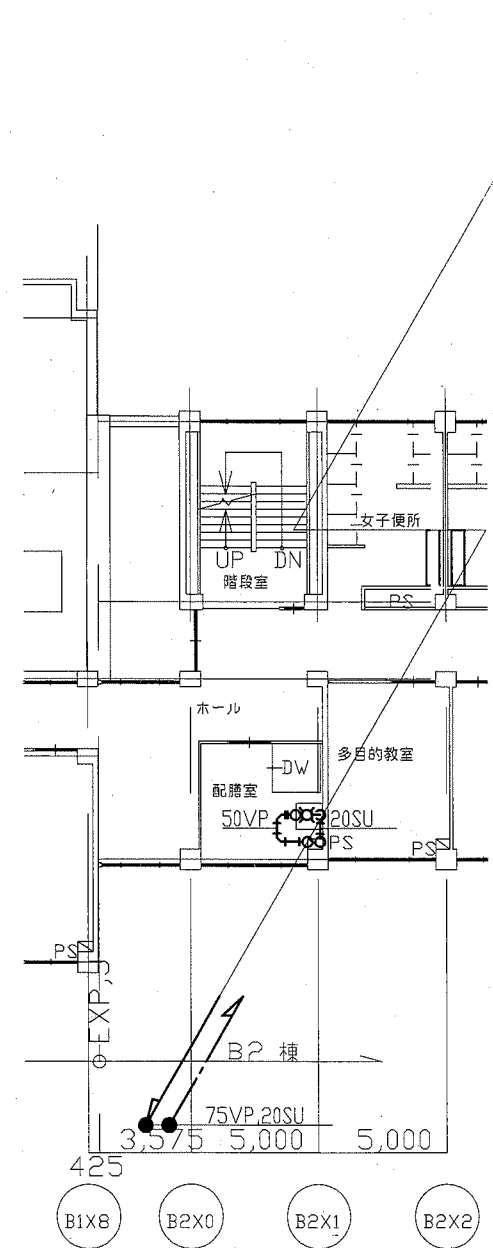
※●部は、配管切断箇所を示す

※新設衛生器具については衛生器具表(図番M-01)を参照  
 ※●部はコア抜き箇所を示す  
 ※各階PS内にGV設置(1階を除く)

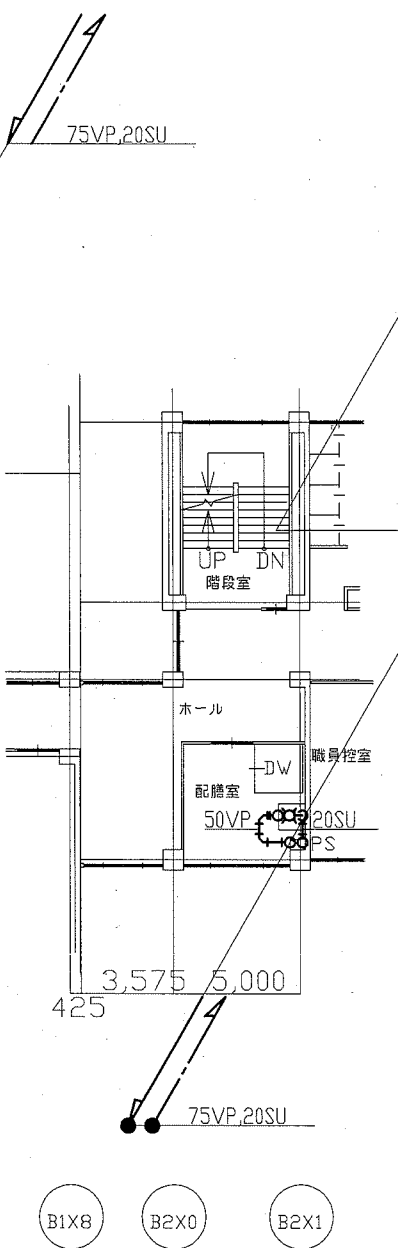
	公共施設課長	主査	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	M-02
				設計年月日 平成31年2月	図面名称 A棟各階衛生設備撤去改修図	A2 1:200	



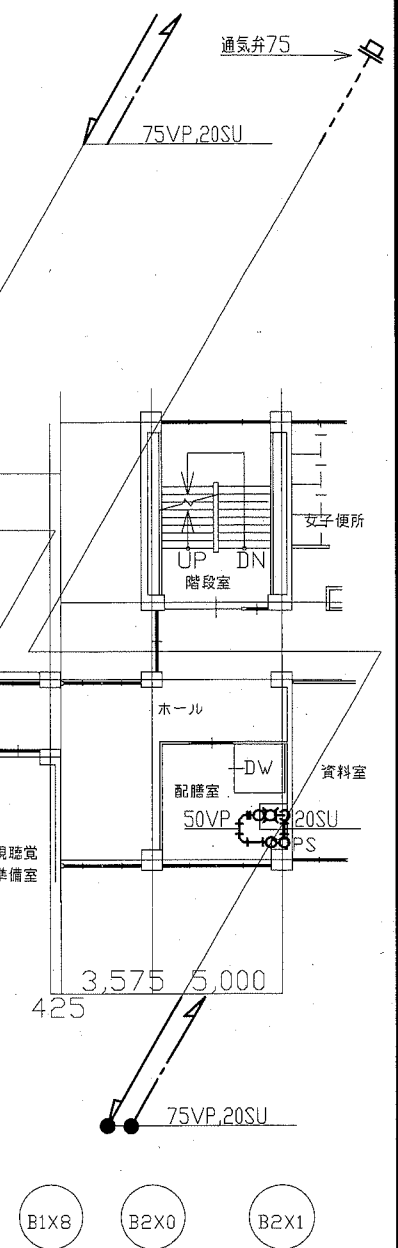
1階改修後平面図 1/200



2階改修後平面図 1/200



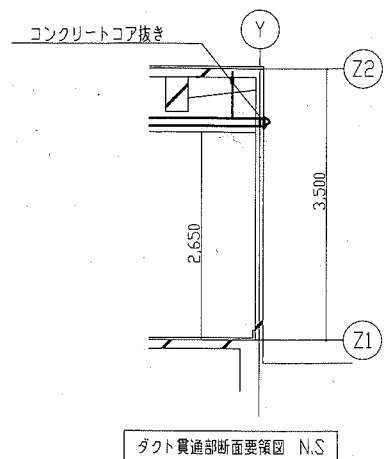
3階改修後平面図 1/200



4階改修後平面図 1/200

※新設衛生器具については衛生器具表(図番M-01)を参照  
 ■は舗装及び犬走り等撤去・復旧範囲を示す。W=500  
 ※●部はコア抜き箇所を示す  
 ※各階P.S内にGV設置(1階を除く)

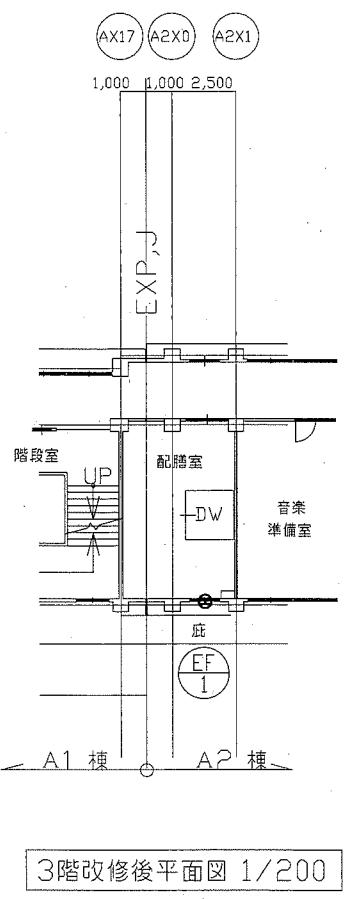
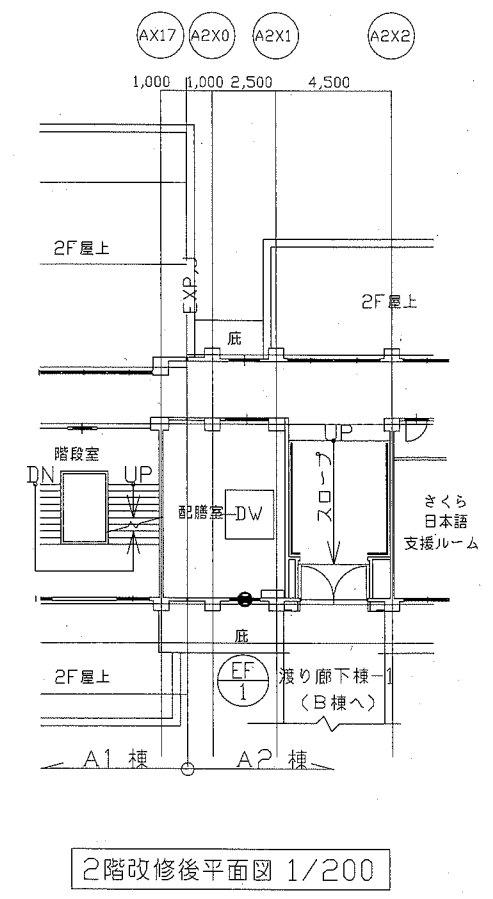
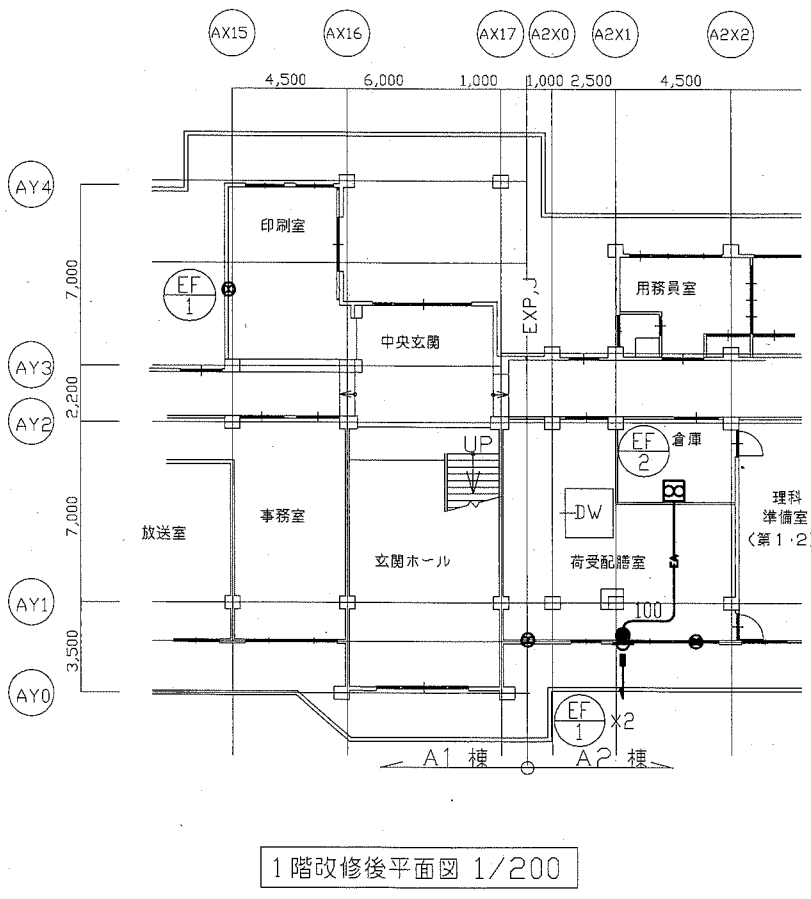
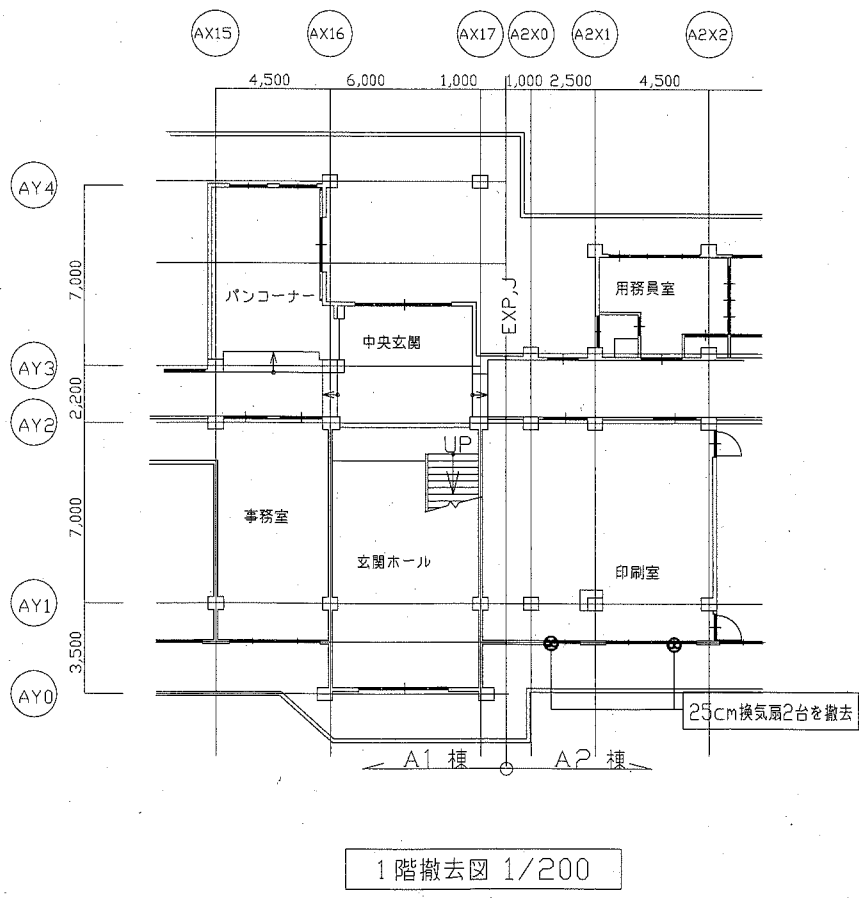
	公共建築課長	主査	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺	M-03 No.
				設計年月日 平成31年2月	図面名称 B棟各階衛生設備改修図	A2 1:200	



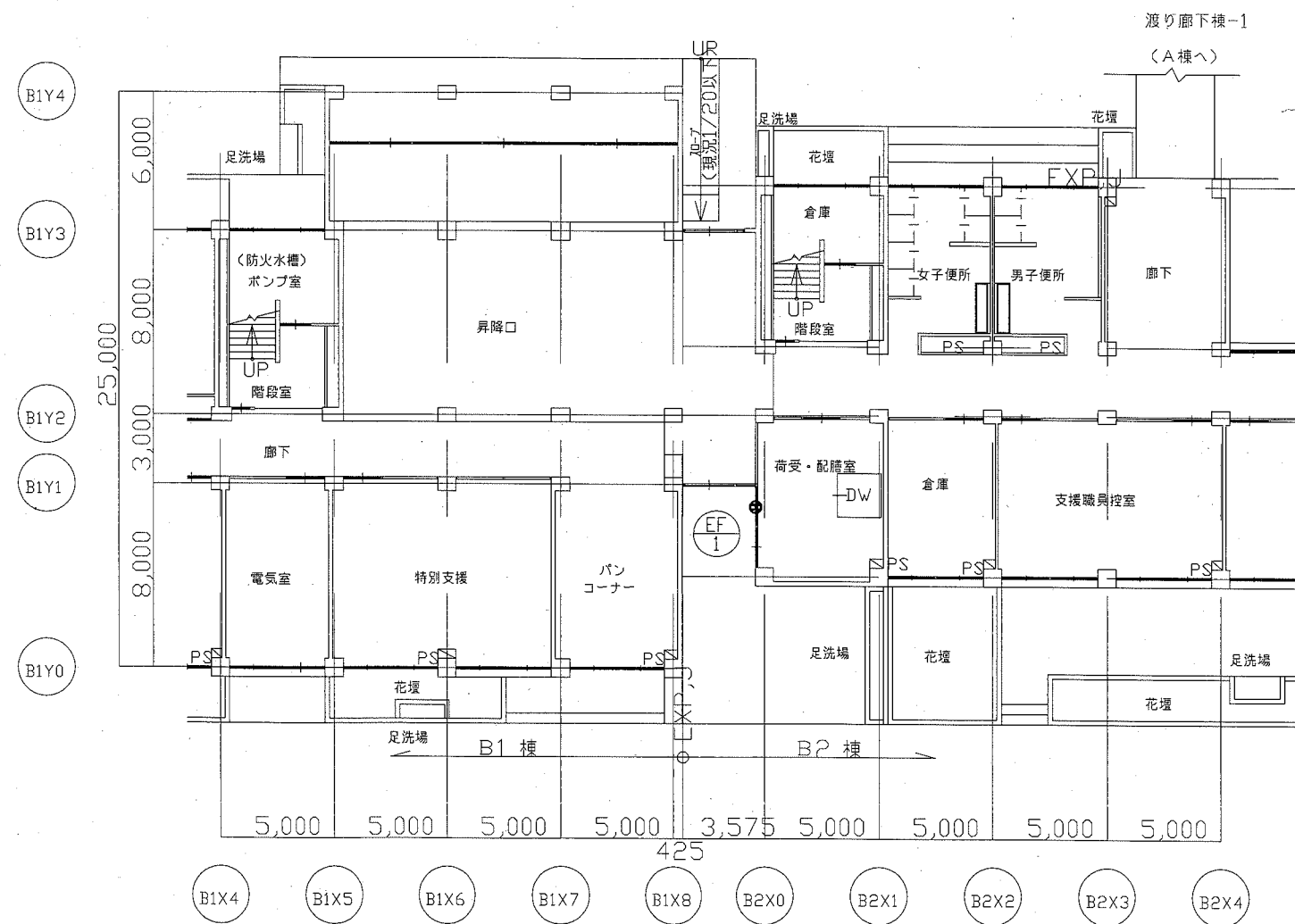
機器表

記号	機器名称	仕様	電気容量			台数	設置場所	備考
			φ	V	kW			
EF-1	換気扇	仕様 : 20cm 格子タイプ 電気式シャッター 学校改修用 能力 : 485 CMH × 10Pa 付属品 : ウェザーカバー (SUS) 防鳥網付	1	100		9	A・B棟各階配膳室 印刷室	スイッチは電気工事
EF-2	ダクト用換気扇	仕様 : φ100 格子タイプ 風圧式シャッター 能力 : 100 CMH × 20Pa 付属品 : パイプフード (SUS) 深型 ガラリ付	1	100		1	倉庫	スイッチは電気工事

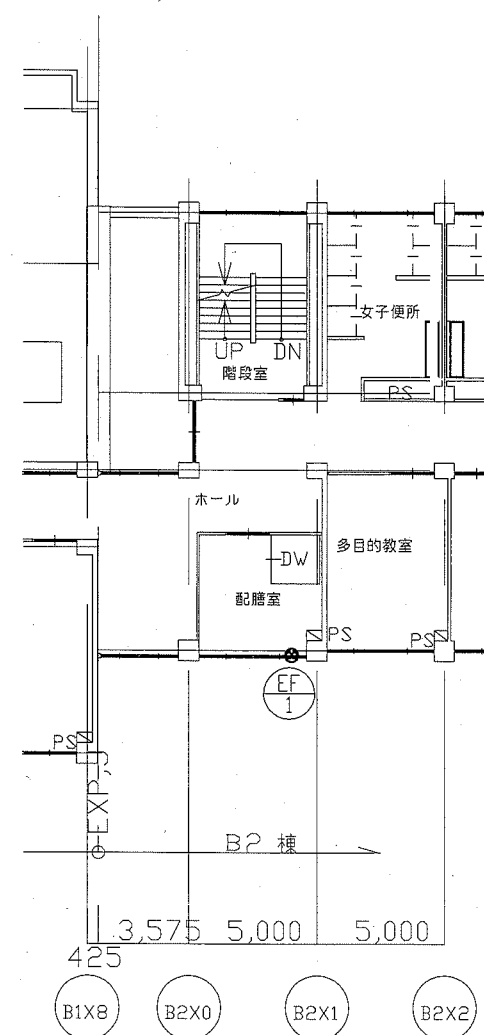
※ 換気扇は新設アルミパネル(建築図参照)に設置  
※ 屋内ドレン管は保温付とする



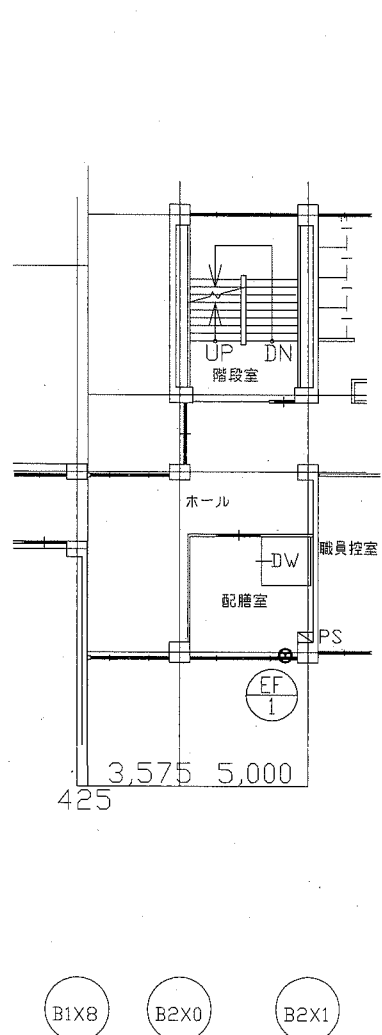
※●部はコア抜き箇所を示す



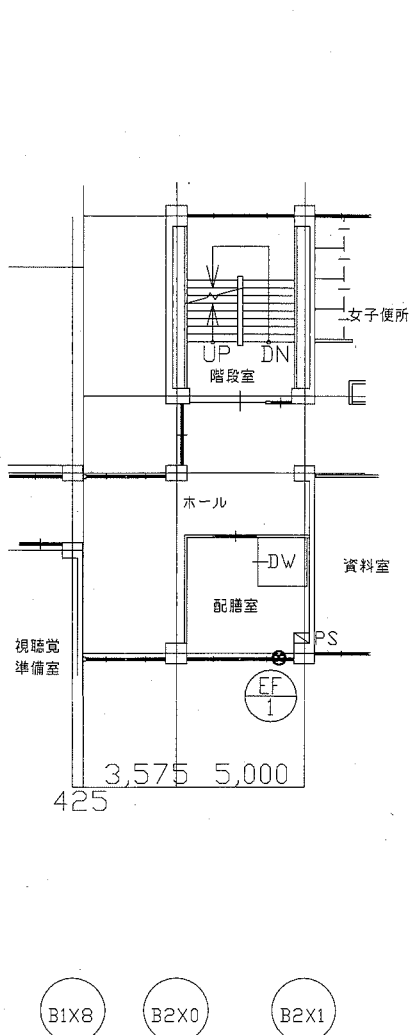
1階改修後平面図 1/200



2階改修後平面図 1/200




3階改修後平面図 1/200



4階改修後平面図 1/200

※ 換気扇は新設アルミパネル(建築図参照)に設置

公共建築課長	主査等	担当者	横須賀市 都市部 公共建築課	工事名称 市立坂本中学校昇降機設置建築その他工事	縮尺
			設計年月日 平成31年2月	図面名称 B棟各階空調設備改修図	A2 1:200
					M-05
					No.